

環境に関する県民等意識調査
調査結果報告書

令和7年2月

岐阜県

■調査結果報告書 目 次

1. 調査概要.....	1
1-1 調査目的.....	1
1-2 調査項目.....	1
1-3 調査地域、調査対象、調査方法等.....	1
1-4 回収結果.....	2
1-5 報告書の見方.....	2
1-6 属性.....	3
2. 一般県民を対象とする調査結果.....	8
2-1 環境に対する関心や行動について.....	8
2-2 環境に関する情報について.....	23
2-3 県が実施する環境施策について.....	28
3. 環境関連団体を対象とする調査結果.....	32
3-1 環境に対する関心や行動について.....	32
3-2 環境に関する情報について.....	50
3-3 県が実施する環境施策について.....	61
4. 企業を対象とする調査結果.....	65
4-1 環境に対する関心や行動について.....	65
4-2 環境に関する情報について.....	91
4-3 県が実施する環境施策について.....	96
5. 一般県民調査と環境関連団体調査、企業調査の比較結果.....	100
5-1 環境に対する関心や行動について.....	100
5-2 環境に関する情報について.....	104
5-3 県が実施する環境施策について.....	107
○資料 調査票（一般県民用調査票）.....	109
○資料 調査票（環境関連団体用調査票）.....	117
○資料 調査票（企業用調査票）.....	126

1. 調査概要

1-1 調査目的

県民、環境関連団体及び企業の環境に関する一般的な意識を把握・分析・検討し、岐阜県環境基本計画の改定版を検討する資料とします。

1-2 調査項目

- ・環境に対する関心や行動について
- ・環境に関する情報について
- ・県が実施する環境施策について

1-3 調査地域、調査対象、調査方法等

(1) 一般県民を対象とする調査

調査地域：岐阜県全域

調査対象：18歳以上の男女

標本数：2,000人

抽出方法：層化二段無作為抽出法

調査方法：郵送法

実施期間：令和6年10月28日（月）～12月5日（木）

調査主体：岐阜県 環境生活部 環境生活政策課

調査実施機関：株式会社東京商工リサーチ 岐阜支店

(2) 環境関連団体を対象とする調査

調査地域：岐阜県全域

調査対象：発注者が別途指定する団体

標本数：138団体

調査方法：郵送法

実施期間：令和6年10月28日（月）～12月5日（木）

調査主体：岐阜県 環境生活部 環境生活政策課

調査実施機関：株式会社東京商工リサーチ 岐阜支店

(3) 企業を対象とする調査

調査地域：岐阜県全域

調査対象：県内に本店を有し従業員数50名以上の企業

標本数：200社

調査方法：郵送法

実施期間：令和6年10月28日（月）～12月5日（木）

調査主体：岐阜県 環境生活部 環境生活政策課

調査実施機関：株式会社東京商工リサーチ 岐阜支店

1-4 回収結果

(1) 一般県民を対象とする調査

- ・ 897 人 (回収率 44.9%)

(2) 環境関連団体を対象とする調査

- ・ 57 団体 (回収率 41.3%)

(3) 企業を対象とする調査

- ・ 109 社 (回収率 54.5%)

1-5 報告書の見方

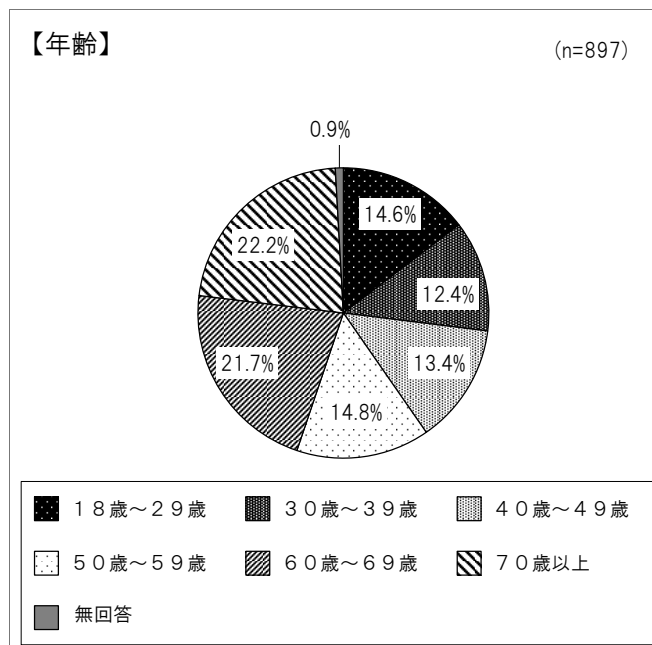
- ・ 比率はすべてパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 基数となるべき実数は「n」(回答者数)として掲載します。したがって比率は、n を 100%として算出しています。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をします。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超えます。
- ・ クロス集計について、回答数が 10 件を下回るものはコメントしていません。

1-6 属性

(1) 一般県民を対象とする調査

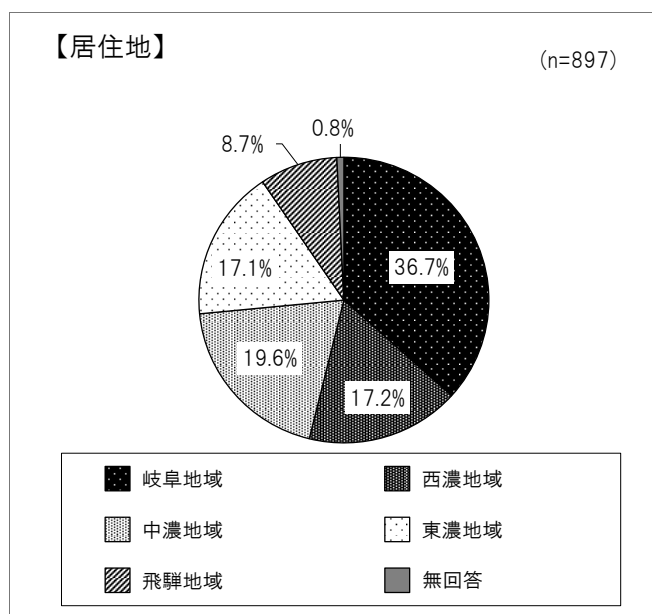
①年齢

図 1-1-1 年齢



②居住地

図 1-1-2 居住地



※岐阜地域…岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡

※西濃地域…大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡

※中濃地域…関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡

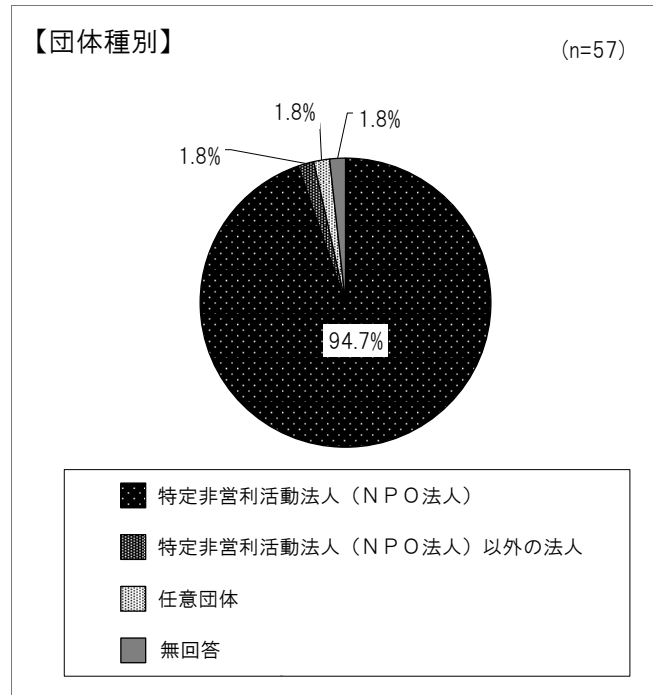
※東濃地域…多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市

※飛騨地域…高山市、飛騨市、下呂市、大野郡

(2) 環境関連団体を対象とする調査

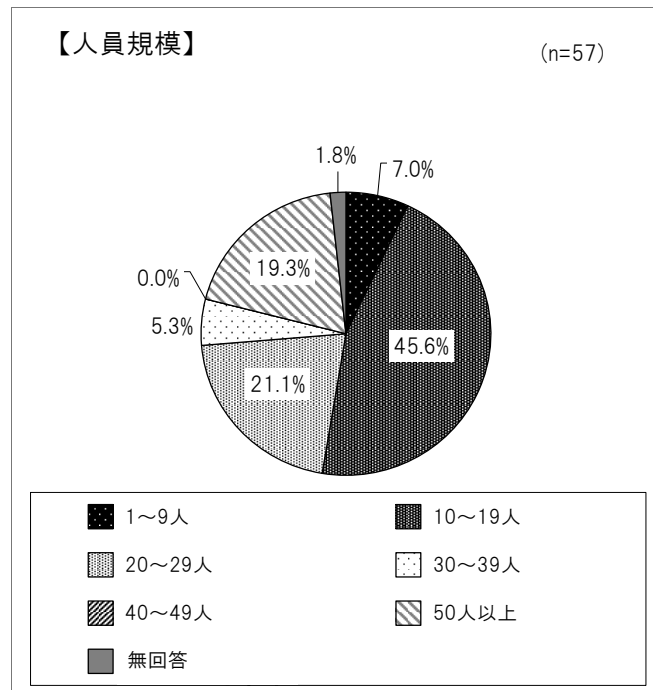
①団体種別

図 1-2-1 団体種別



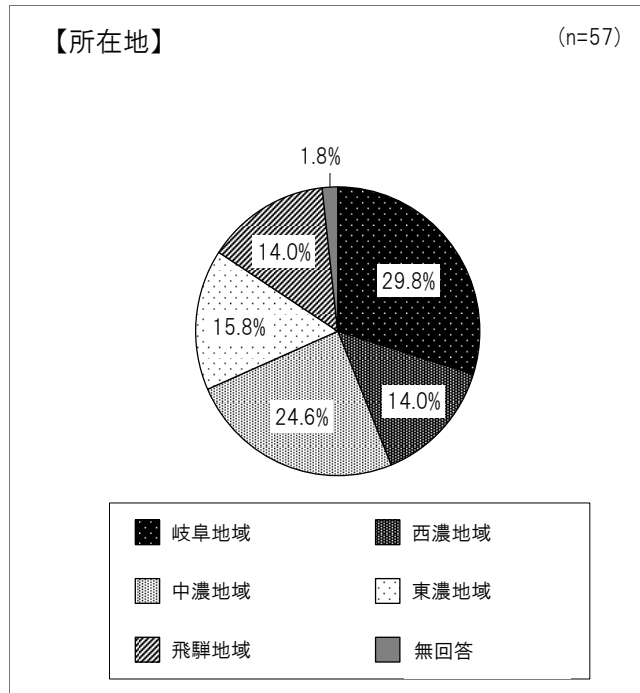
②人員規模

図 1-2-2 人員規模



③所在地

図 1-2-3 所在地



※岐阜地域…岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡

※西濃地域…大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡

※中濃地域…関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡

※東濃地域…多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市

※飛騨地域…高山市、飛騨市、下呂市、大野郡

(3) 企業を対象とする調査

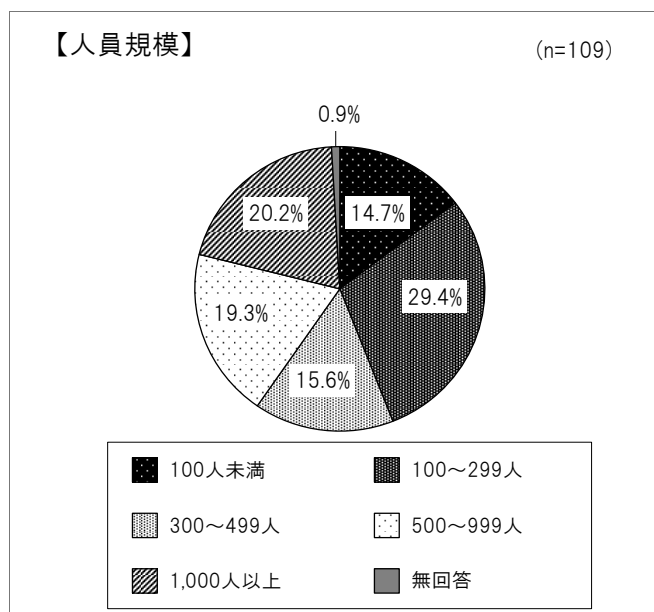
①業種別

図 1-3-1 業種別

【団体種別】		回答数	構成比
1	農業、林業、漁業	1	0.9%
2	鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.9%
3	建設業	13	11.9%
4	製造業	18	16.5%
5	電気・ガス・水道業	2	1.8%
6	情報通信業	1	0.9%
7	運輸業	3	2.8%
8	卸売業、小売業	22	20.2%
9	金融業、保険業	4	3.7%
10	不動産業、物品賃貸業	1	0.9%
11	学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0%
12	宿泊業、飲食サービス業	10	9.2%
13	生活関連サービス業、娯楽業	8	7.3%
14	教育、学習支援業	4	3.7%
15	医療、福祉	11	10.1%
16	複合サービス業	5	4.6%
17	その他	4	3.7%
18	無回答	1	0.9%
合計		109	100.0%

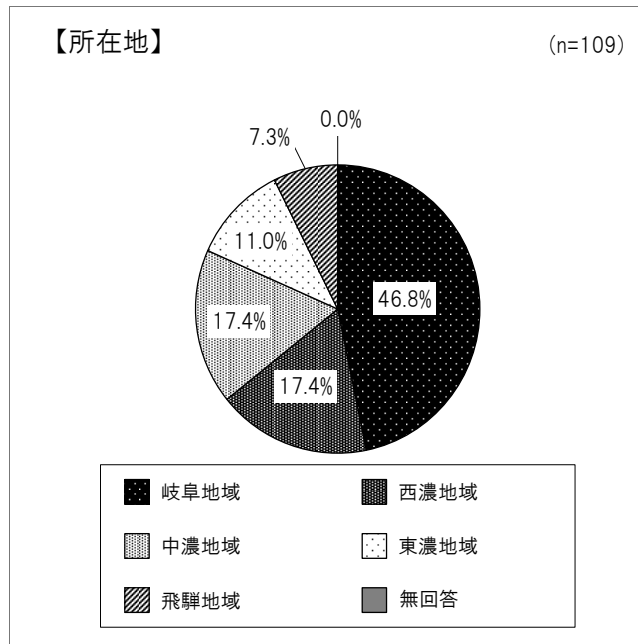
②人員規模

図 1-3-2 人員規模



③所在地

図 1-3-3 所在地



※岐阜地域…岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡

※西濃地域…大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡

※中濃地域…関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡

※東濃地域…多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市

※飛騨地域…高山市、飛騨市、下呂市、大野郡

2. 一般県民を対象とする調査結果

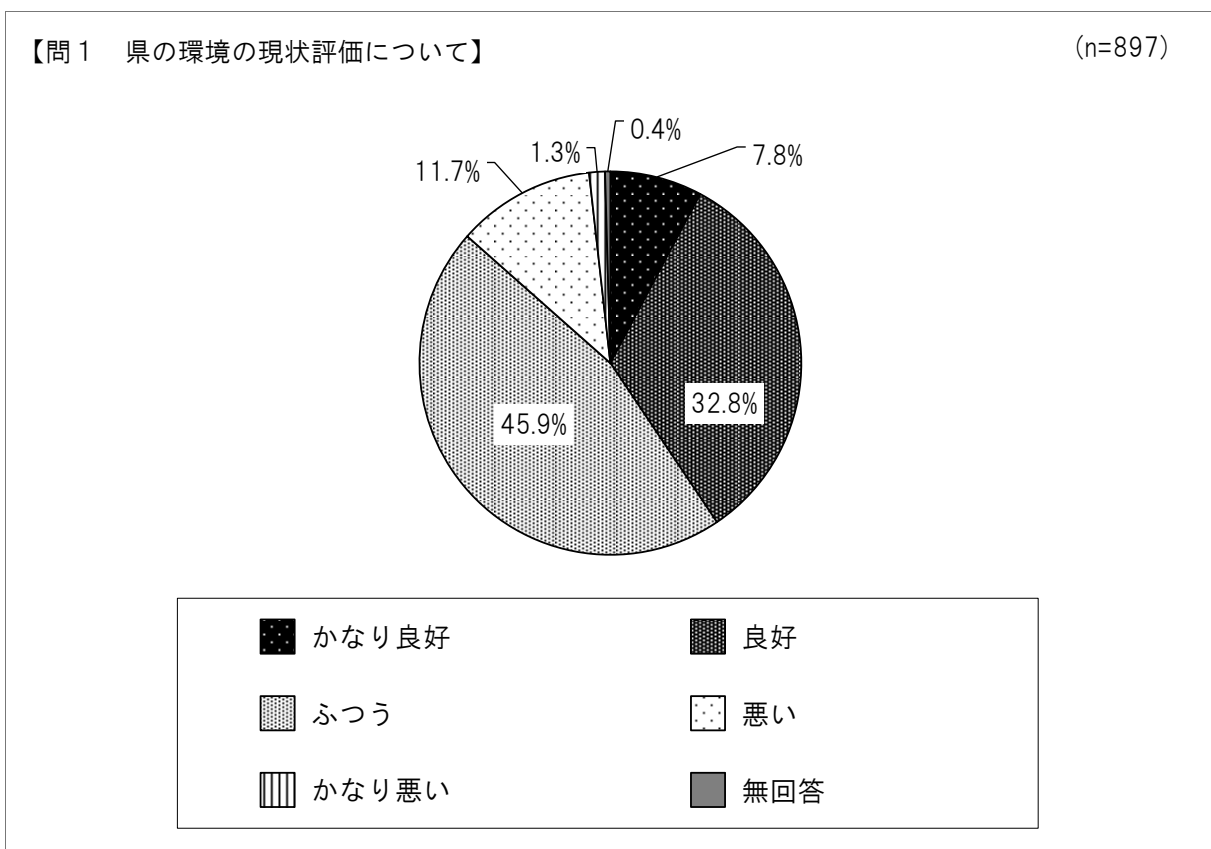
2-1 環境に対する関心や行動について

問1 あなたは、県の環境の現状（水、大気、自然などの状況）について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）
（4）、（5）に○をつけた方は、（ ）内の具体的な分野に○をつけてください。

（1）かなり良好
（2）良好
（3）ふつう
（4）悪い
（具体的な分野：水、土壌、大気、生活環境（騒音・悪臭等）、自然、動植物、その他）
（5）かなり悪い
（具体的な分野：水、土壌、大気、生活環境（騒音・悪臭等）、自然、動植物、その他）

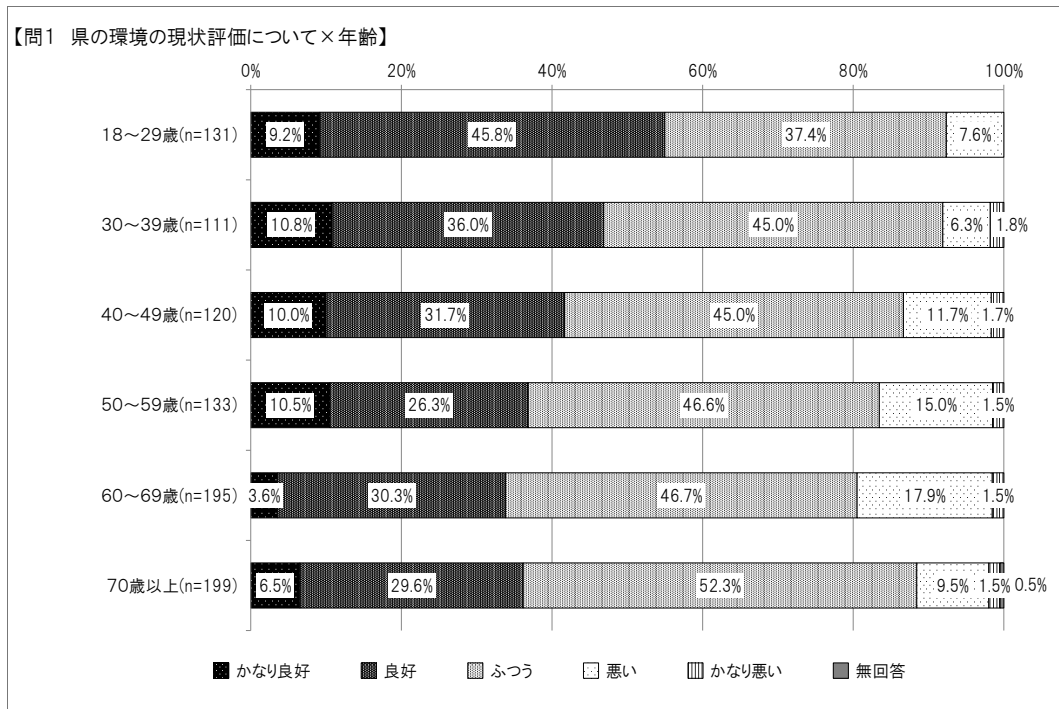
全体（図2-1-1）で見ると、「ふつう」が45.9%と最も高く、次いで「良好」（32.8%）、「悪い」（11.7%）の順となっています。

図2-1-1 県の環境の現状評価



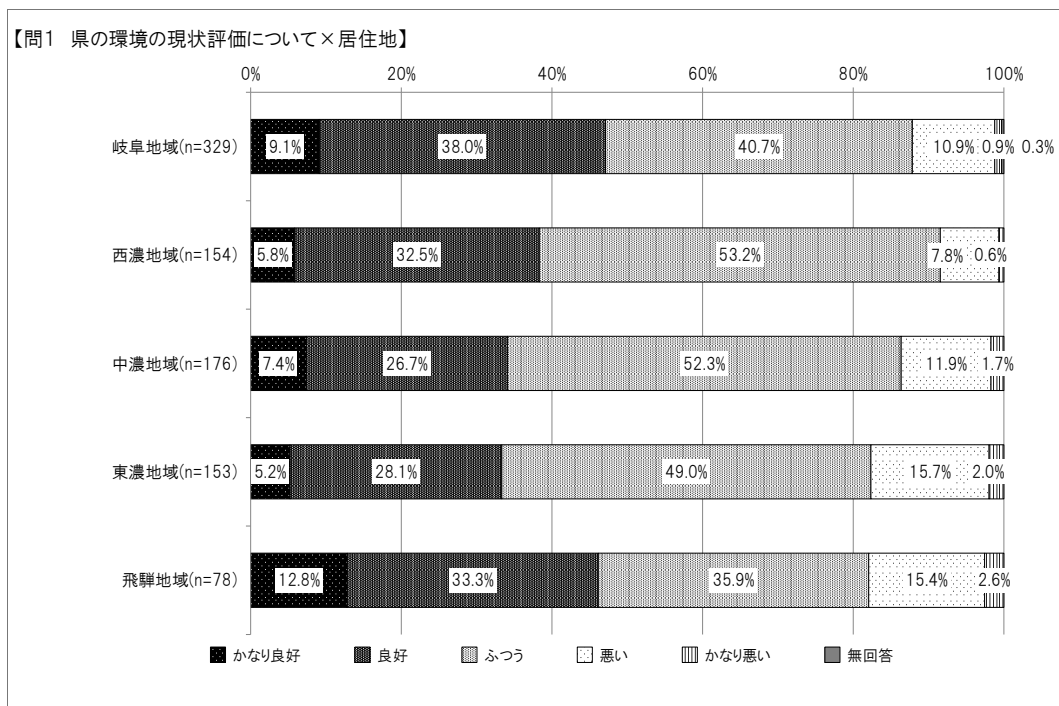
年齢別（図 2-1-2）で見ると、18～29 歳で「良好」が、30 代以上で「ふつう」が最も高くなっています。なお、60～69 歳では「かなり良好」が他の年齢区分と比べて低くなっています。

図 2-1-2 【年齢別】 県の環境の現状評価



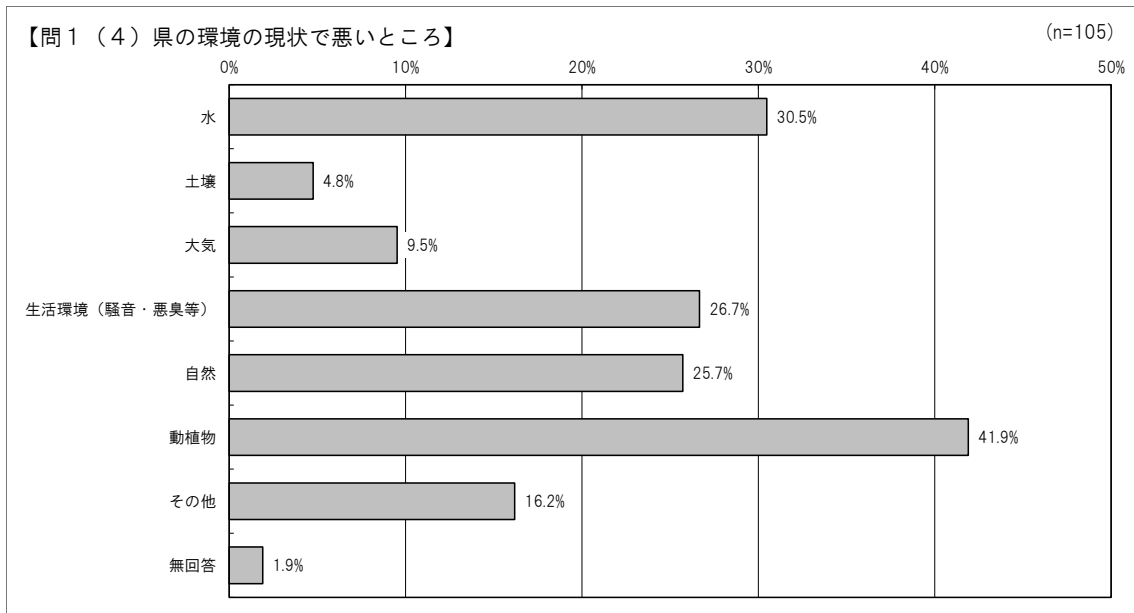
居住地別（図 2-1-3）で見ると、いずれの居住地においても「ふつう」が最も高くなっています。

図 2-1-3 【居住地別】 県の環境の現状評価



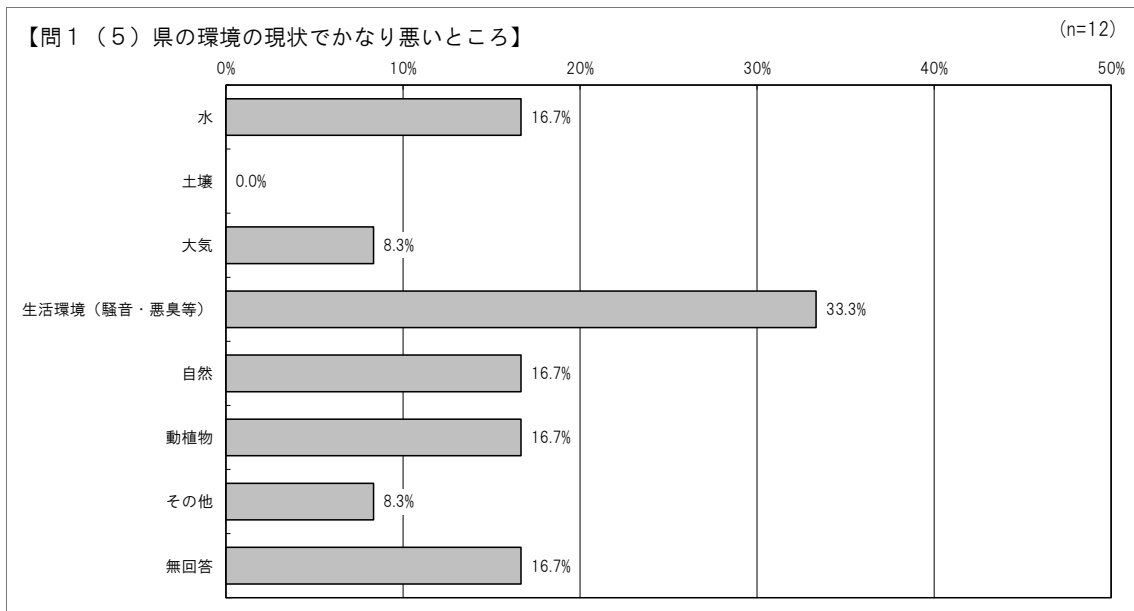
「悪い」の具体的分野(図 2-1-4)でみると、「動植物」が 41.9%と最も高く、次いで「水」(30.5%)、「生活環境(騒音・悪臭等)」(26.7%)の順となっています。

図 2-1-4 【「悪い」具体的分野】県の環境の現状評価



「かなり悪い」の具体的分野(図 2-1-5)でみると、「生活環境(騒音・悪臭等)」が 33.3%と最も高く、次いで「水」、「自然」、「動植物」(ともに 16.7%)の順となっています。

図 2-1-5 【「かなり悪い」具体的分野】県の環境の現状評価



問 2 あなたは、県の環境の現状について、5年前と比べてどのようになったと感じていますか。

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(4)、(5)に○をつけた方は、()内の具体的な分野に○をつけてください。

(1) かなり良くなった

(2) 良くなった

(3) 変わらない

(4) 悪くなった

(具体的な分野：水、土壌、大気、生活環境(騒音・悪臭等)、自然、動植物、その他)

(5) かなり悪くなった

(具体的な分野：水、土壌、大気、生活環境(騒音・悪臭等)、自然、動植物、その他)

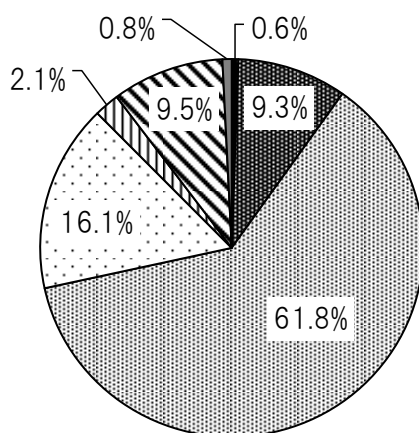
(6) わからない

全体(図2-2-1)で見ると、「変わらない」が61.8%と最も高く、次いで「悪くなった」(16.1%)、「わからない」(9.5%)の順となっています。

図2-2-1 県の環境の5年前との比較

【問2 県の環境の5年前との比較について】

(n=897)



■ かなり良くなった

■ 良くなった

■ 変わらない

■ 悪くなった

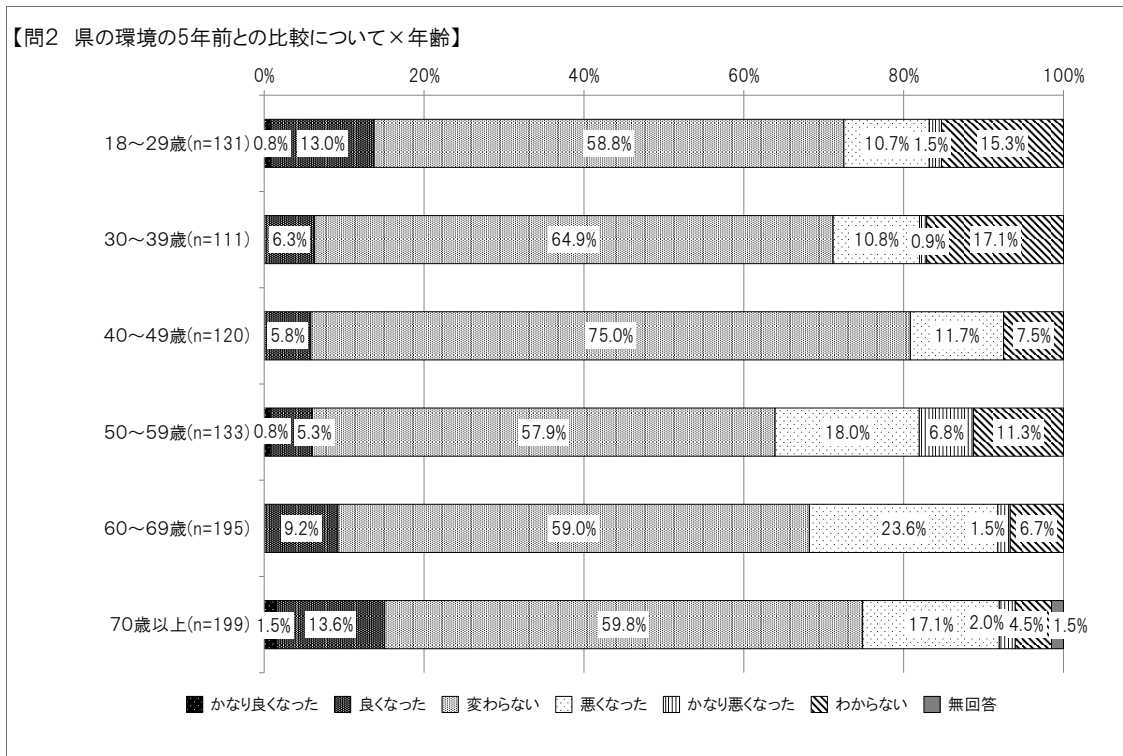
■ かなり悪くなった

■ わからない

■ 無回答

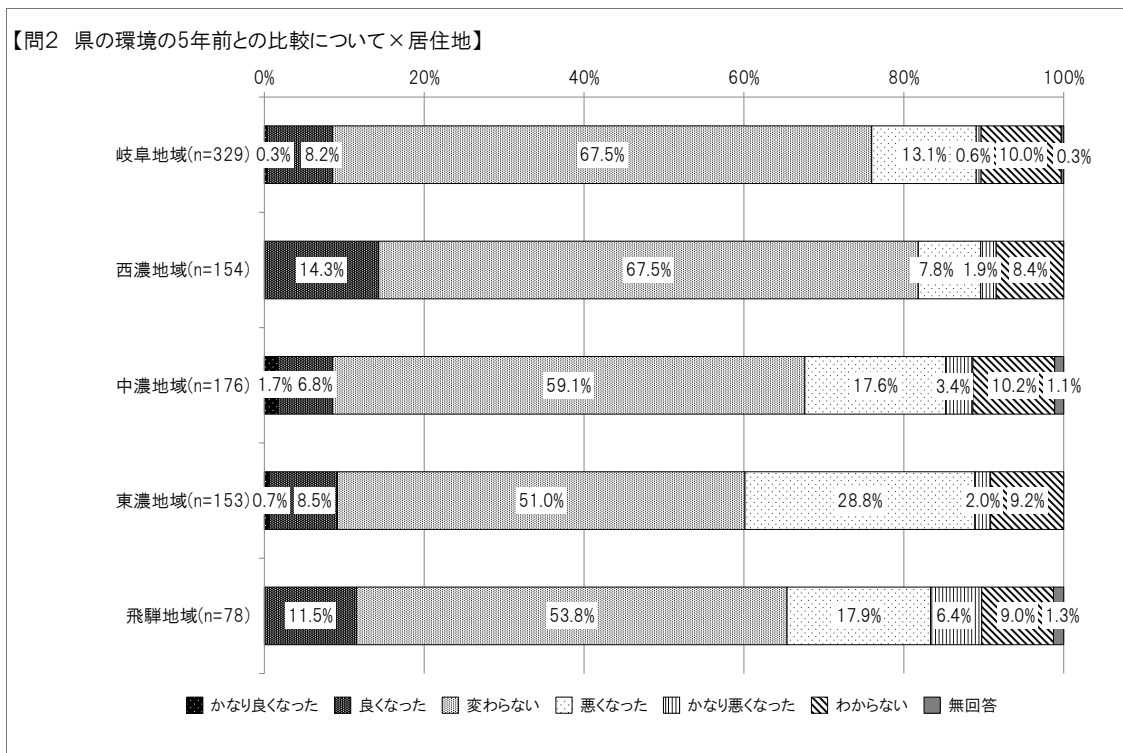
年齢別（図 2-2-2）で見ると、すべての年代において「変わらない」が最も高くなっています。なお、18～29 歳、70 歳以上では「良くなった」が他の年齢区分より高くなっています。

図 2-2-2 【年齢別】 県の環境の 5 年前との比較



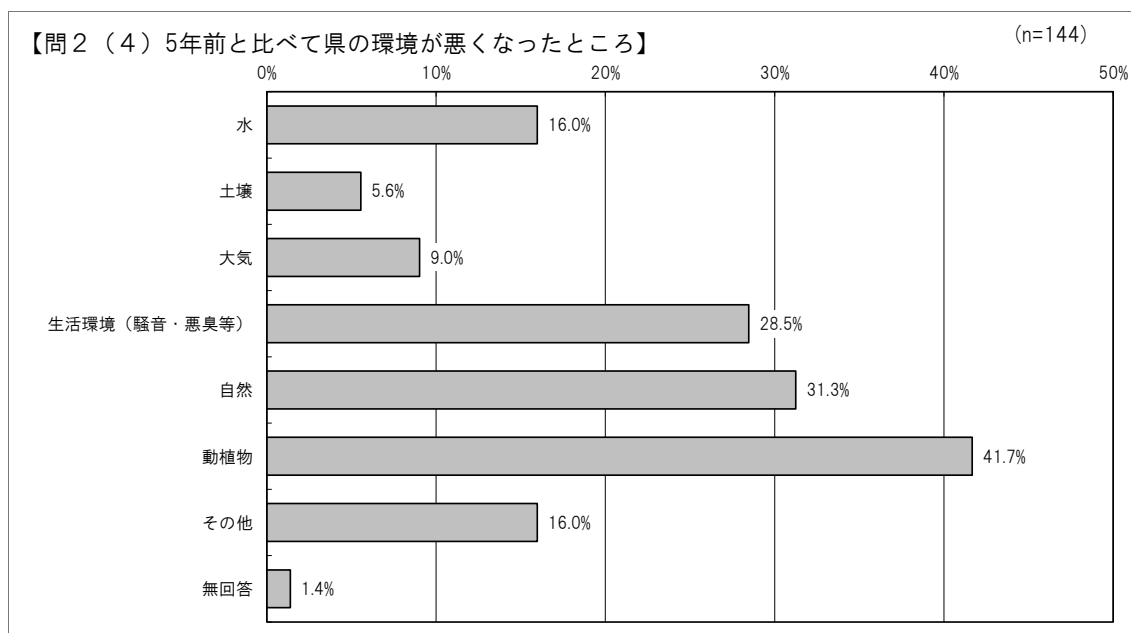
居住地別（図 2-2-3）で見ると、いずれの居住地においても「変わらない」が最も高くなっています。なお、東濃地域では「悪くなった」が他の居住地より高くなっています。

図 2-2-3 【居住地別】 県の環境の 5 年前との比較



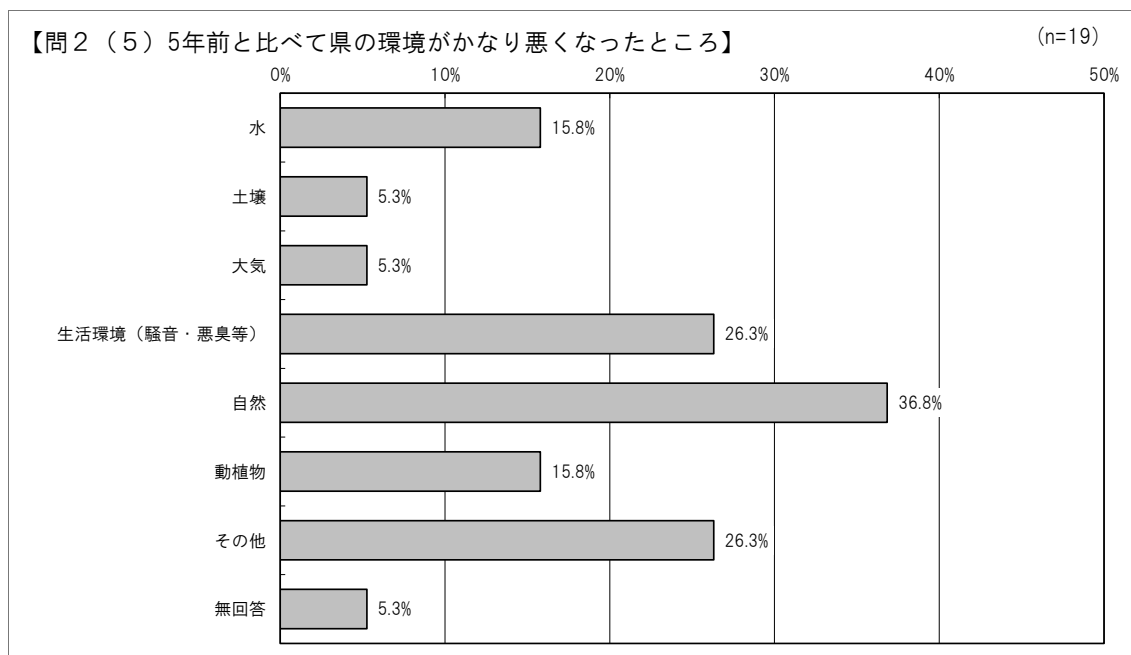
「悪くなった」の具体的分野（図 2-2-4）で見ると、「動植物」が 41.7%と最も高く、次いで「自然」（31.3%）、「生活環境（騒音・悪臭等）」（28.5%）の順となっています。

図 2-2-4 【「悪くなった」具体的分野】県の環境の 5 年前との比較



「かなり悪くなった」の具体的分野（図 2-2-5）で見ると、「自然」が 36.8%と最も高く、次いで「生活環境（騒音・悪臭等）」（26.3%）、「水」、「動植物」（ともに 15.8%）の順となっています。

図 2-2-5 【「かなり悪くなった」具体的分野】県の環境の 5 年前との比較



問3 あなたは、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【項目】

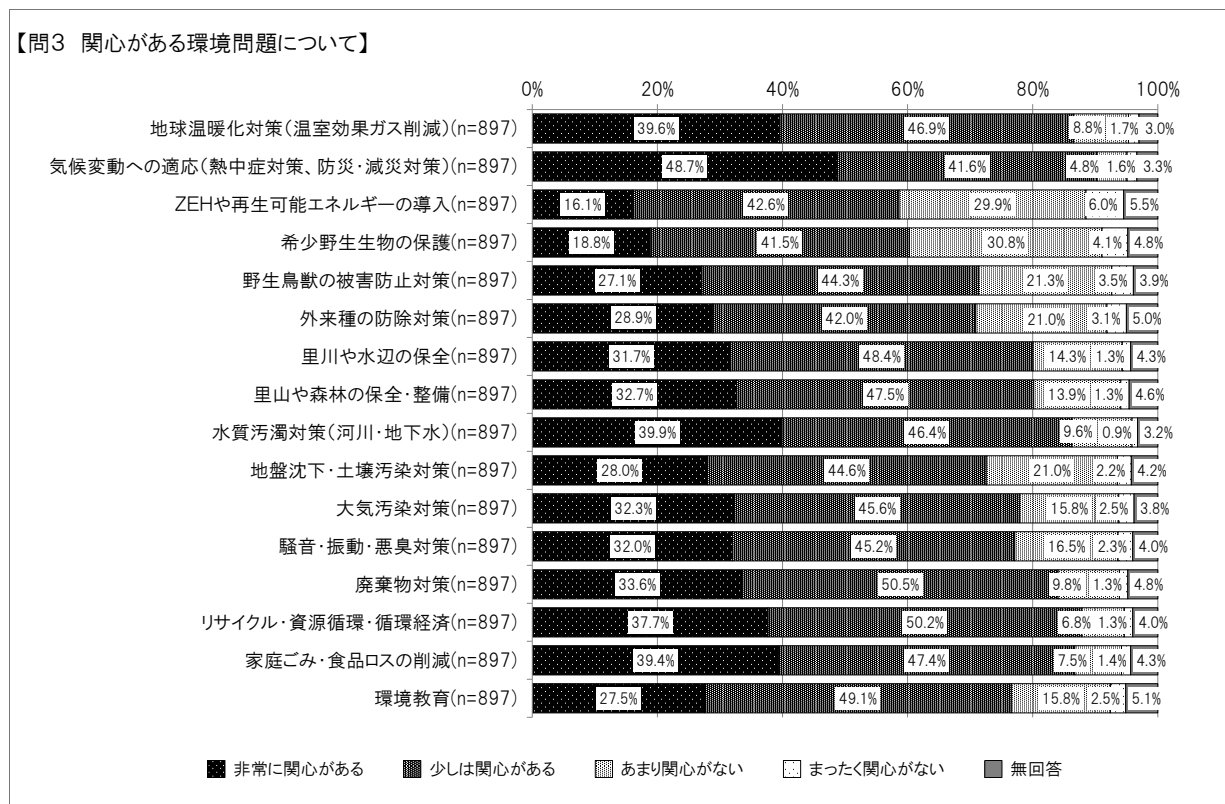
- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| (1) 地球温暖化対策(温室効果ガス削減) | (2) 気候変動への適応(熱中症対策、防災・減災対策) |
| (3) ZEHや再生可能エネルギーの導入 | (4) 希少野生生物の保護 |
| (5) 野生鳥獣の被害防止対策 | (6) 外来種の防除対策 |
| (7) 里川や水辺の保全 | (8) 里山や森林の保全・整備 |
| (9) 水質汚濁対策(河川・地下水) | (10) 地盤沈下・土壌汚染対策 |
| (11) 大気汚染対策 | (12) 騒音・振動・悪臭対策 |
| (13) 廃棄物対策 | (14) リサイクル・資源循環・環境経済 |
| (15) 家庭ごみ・食品ロスの削減 | (16) 環境教育 |

【選択肢】

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. 少しは関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. まったく関心がない |

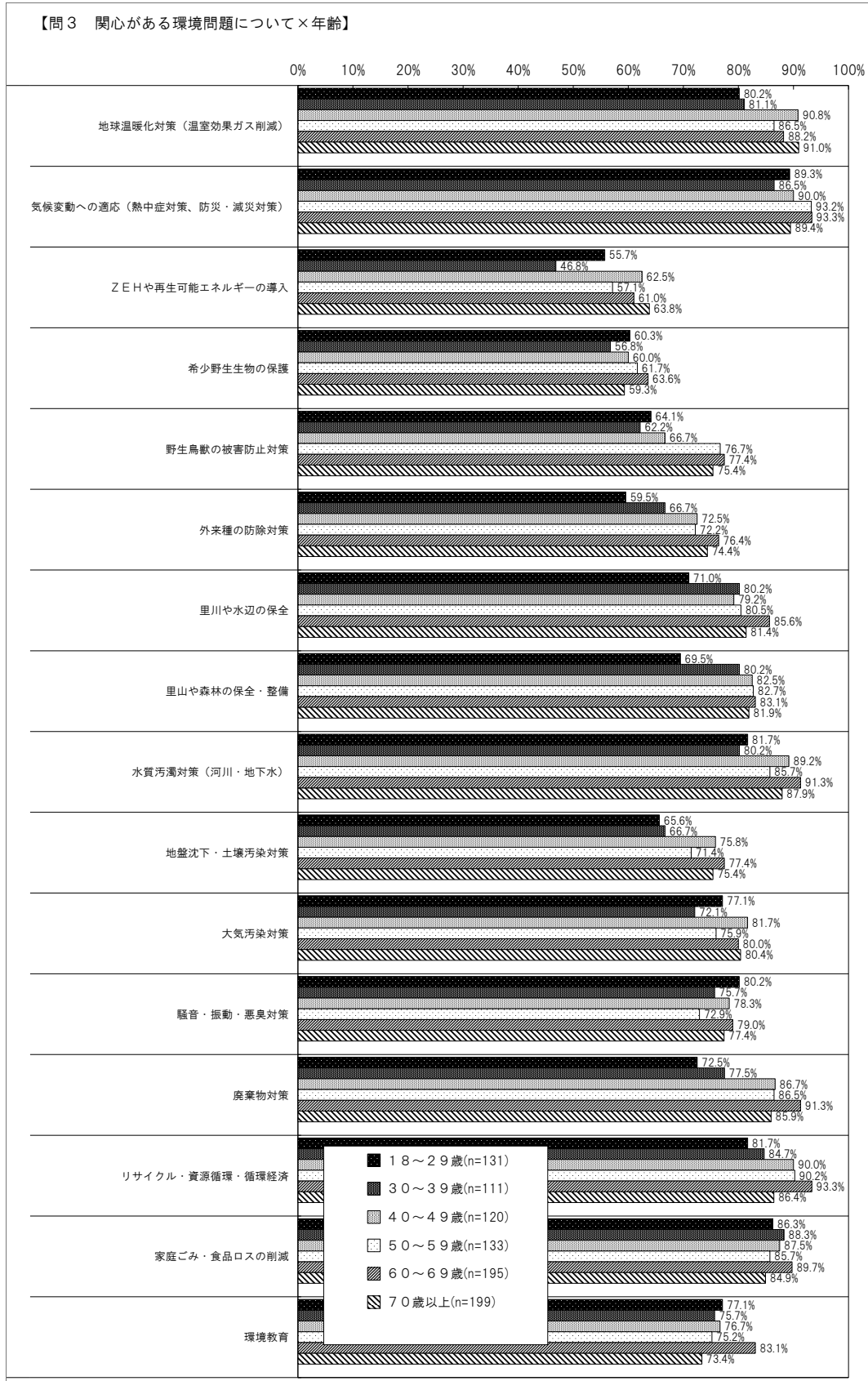
全体(図2-3-1)で見ると、「非常に関心がある」と「少しは関心がある」の合計について、『気候変動への適応』が90.3%と最も高く、次いで『リサイクル・資源循環・循環経済』(87.9%)、『家庭ごみ・食品ロスの削減』(86.8%)の順となっています。

図2-3-1 関心がある環境問題



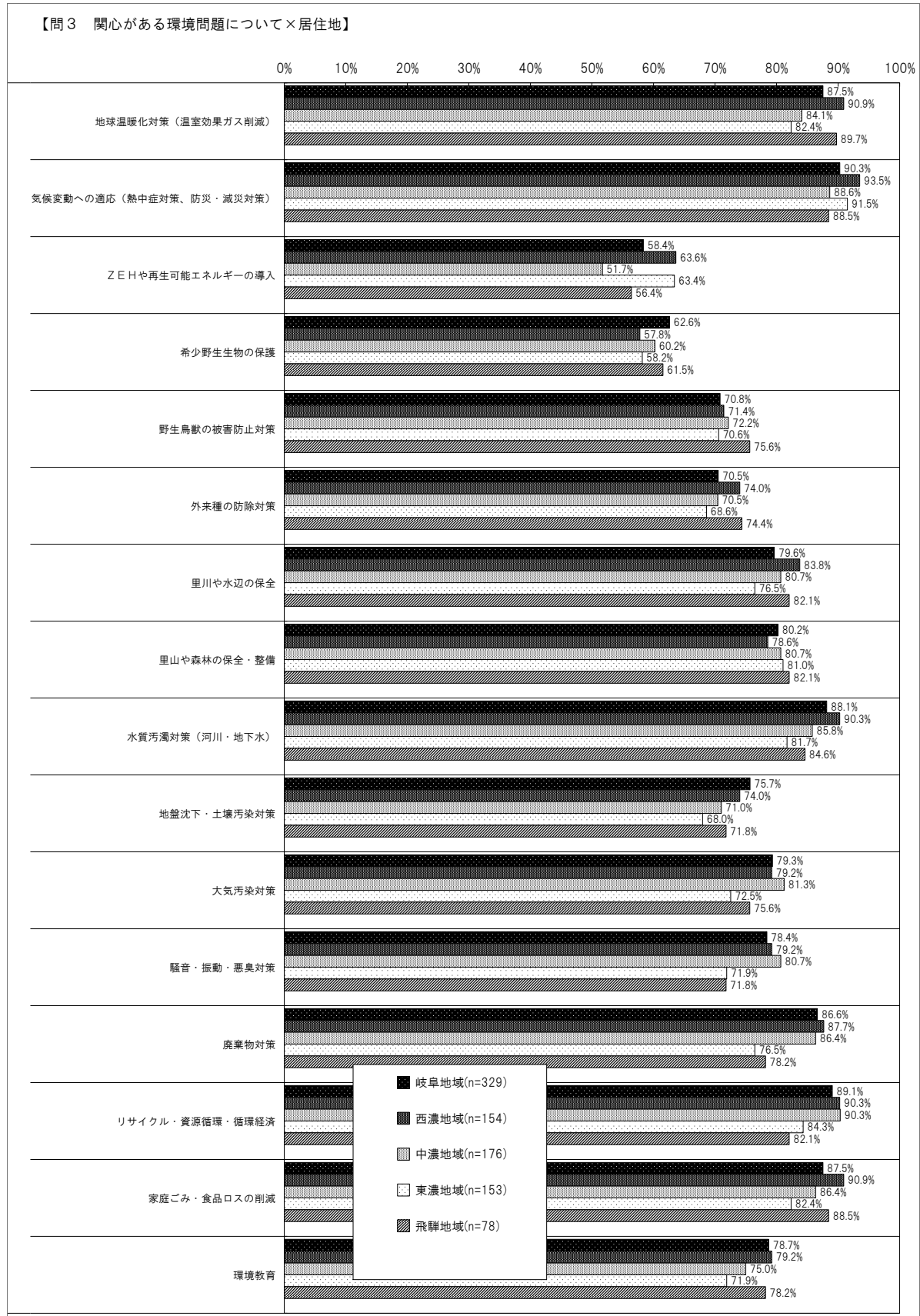
年齢別（図 2-3-2）で見ると、「非常に興味がある」と「少しは興味がある」の合計について、40～49 歳、70 歳以上では『希少野生生物の保護』が、他の年齢区分では『Z E H や再生可能エネルギーの導入』が最も低くなっています。

図 2-3-2 【年齢別】 関心がある環境問題



居住地別（図 2-3-3）でみると、「非常に関心がある」と「少しは関心がある」の合計について、いずれの居住地においても『希少野生生物の保護』や『ZEHや再生可能エネルギーの導入』が5～6割と低くなっています。

図 2-3-3 【居住地別】関心がある環境問題

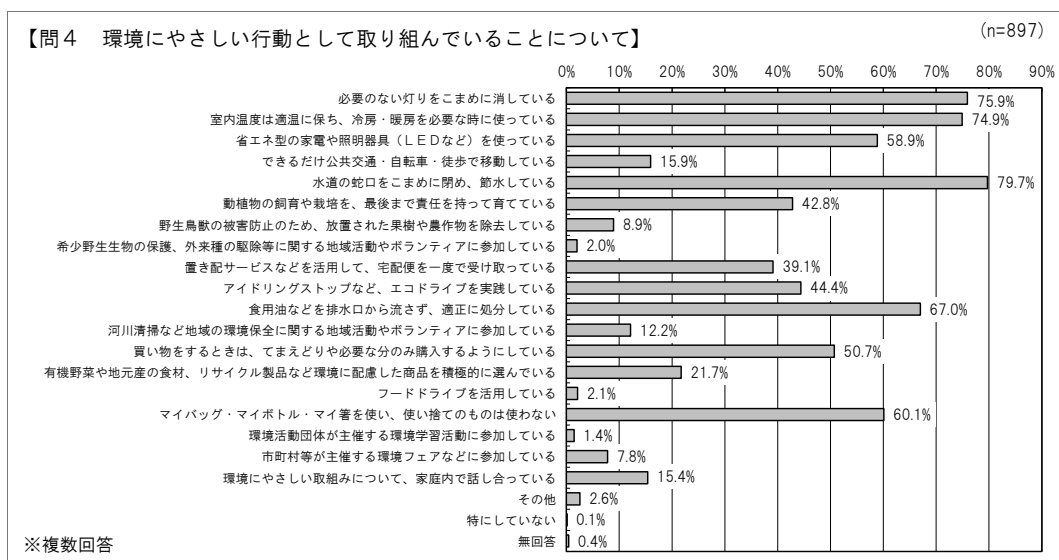


問4 あなたは、どのような環境にやさしい行動をしていますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 必要のない灯りをこまめに消している
- (2) 室内温度は適温に保ち、冷房・暖房を必要な時に使っている
- (3) 省エネ型の家電や照明器具(LEDなど)を使っている
- (4) できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動している
- (5) 水道の蛇口をこまめに閉め、節水している
- (6) 動植物の飼育や栽培を、最後まで責任を持って育てている
- (7) 野生鳥獣の被害防止のため、放置された果樹や農作物を除去している
- (8) 希少野生生物の保護、外来種の駆除等に関する地域活動やボランティアに参加している
- (9) 置き配サービスなどを活用して、宅配便を一度で受け取っている
- (10) アイドリングストップなど、エコドライブを実践している
- (11) 食用油などを排水口から流さず、適正に処分している
- (12) 河川清掃など地域の環境保全に関する地域活動やボランティアに参加している
- (13) 買い物をするときは、てまえどりや必要な分のみ購入するようにしている
- (14) 有機野菜や地元産の食材、リサイクル製品など環境に配慮した商品を積極的に選んでいる
- (15) フードドライブを活用している
- (16) マイバック・マイボトル・マイ箸を使い、使い捨てのものは使わない
- (17) 環境活動団体が主催する環境学習活動に参加している
- (18) 市町村等が主催する環境フェアなどに参加している
- (19) 環境にやさしい取組みについて、家庭内で話し合っている
- (20) その他
- (21) 特にしていない

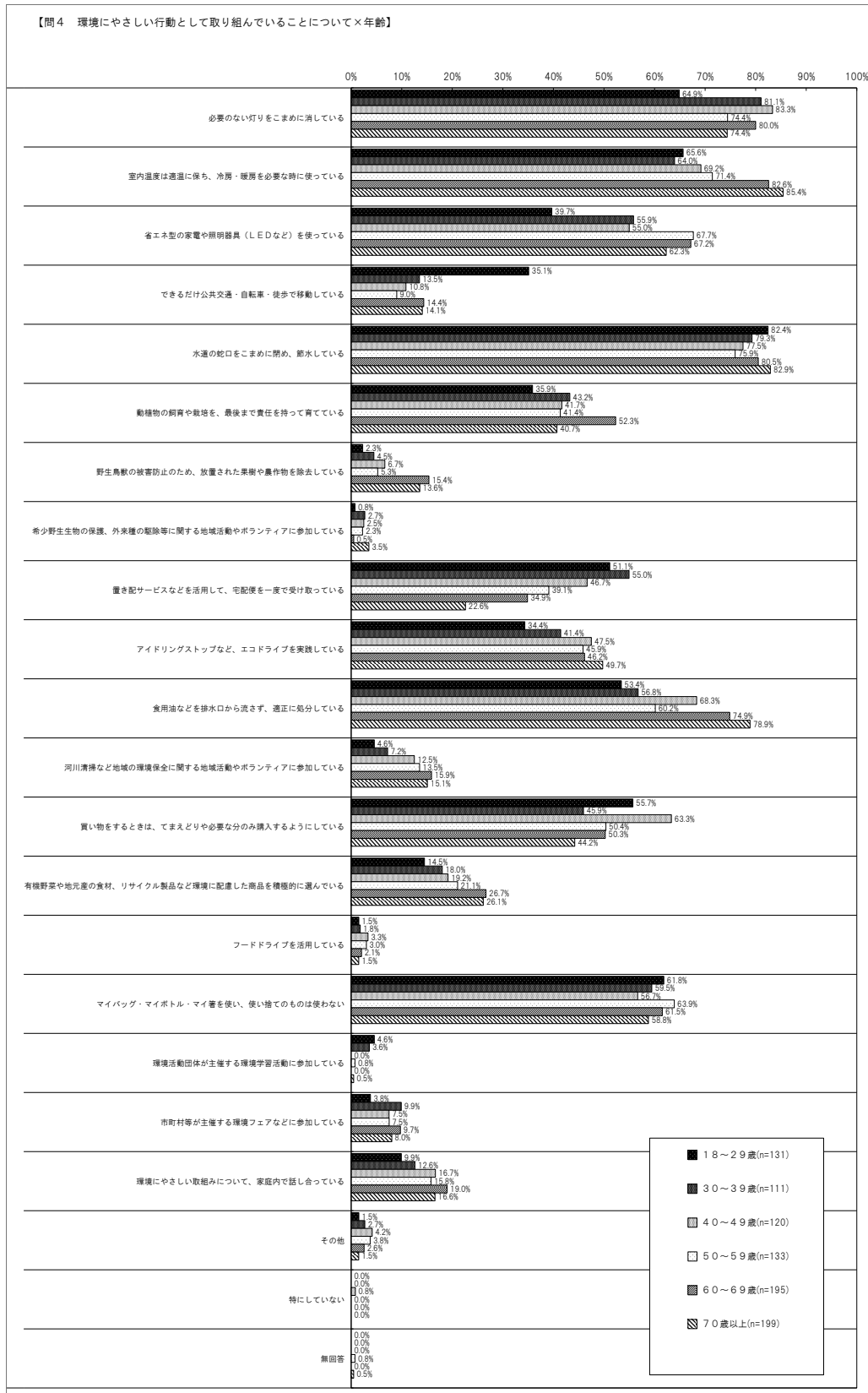
全体(図2-4-1)で見ると、「水道の蛇口をこまめに閉め、節水している」が79.7%と最も高く、次いで「必要のない灯りをこまめに消している」(75.9%)、「室内温度は適温に保ち、冷房・暖房を必要な時に使っている」(74.9%)の順となっています。

図2-4-1 環境にやさしい行動として取り組んでいること



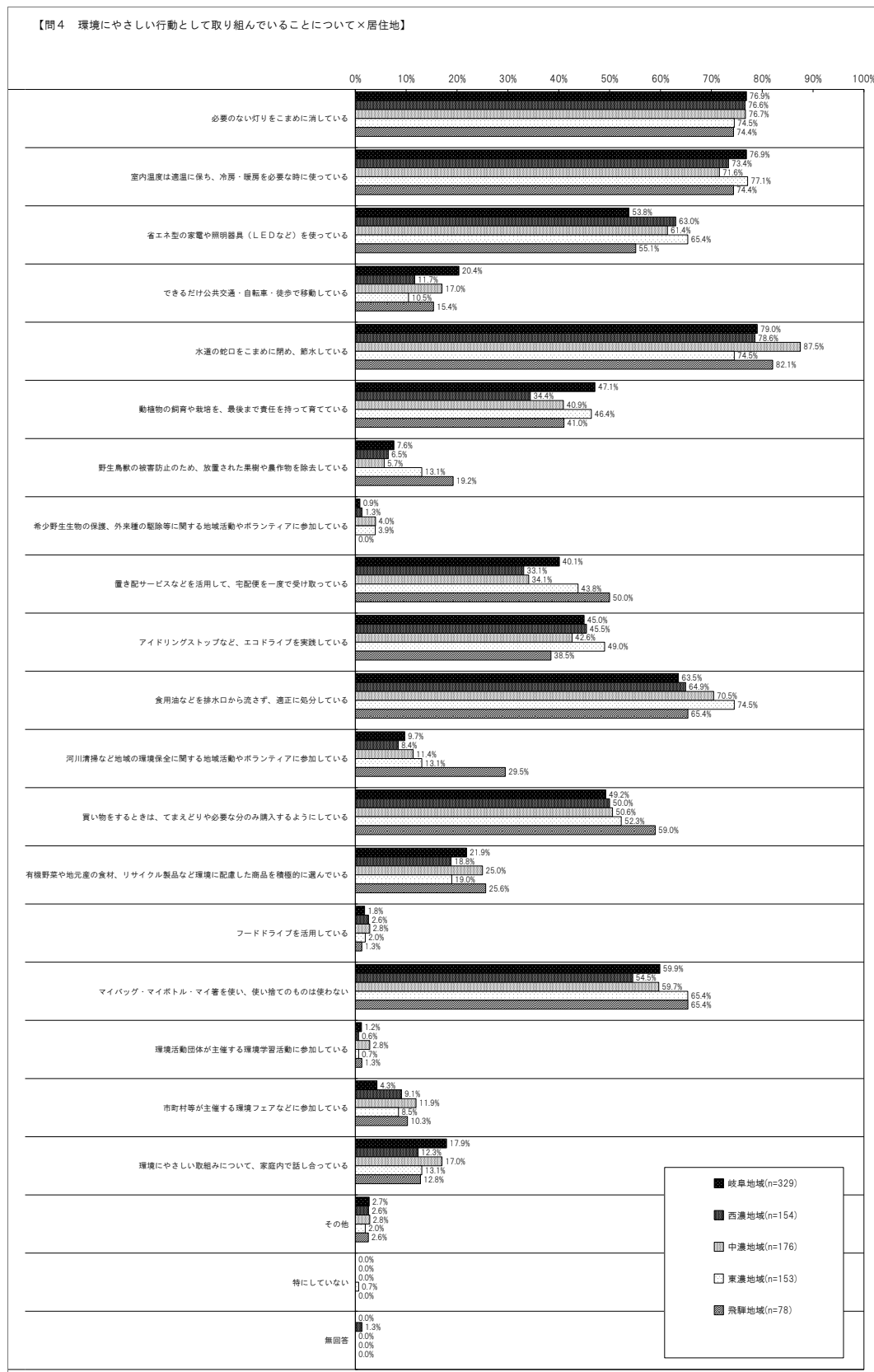
年齢別（図 2-4-2）で見ると、すべての年代において「水道の蛇口をこまめに閉め、節水している」が7割を超えて高くなっています。なお、「置き配サービスなどを活用して、宅配便を一度で受け取っている」は最も高かった30～39歳と最も低かった70歳以上とでは30ポイント以上の差があります。

図 2-4-2 【年齢別】環境にやさしい行動として取り組んでいること



居住地別（図 2-4-3）で見ると、すべての居住地において「必要のない灯りをこまめに消している」、「室内温度は適温に保ち、冷房・暖房を必要な時に使っている」、「水道の蛇口をこまめに閉め、節水している」が7割を超えて高くなっています。

図 2-4-3 【居住地別】環境にやさしい行動として取り組んでいること

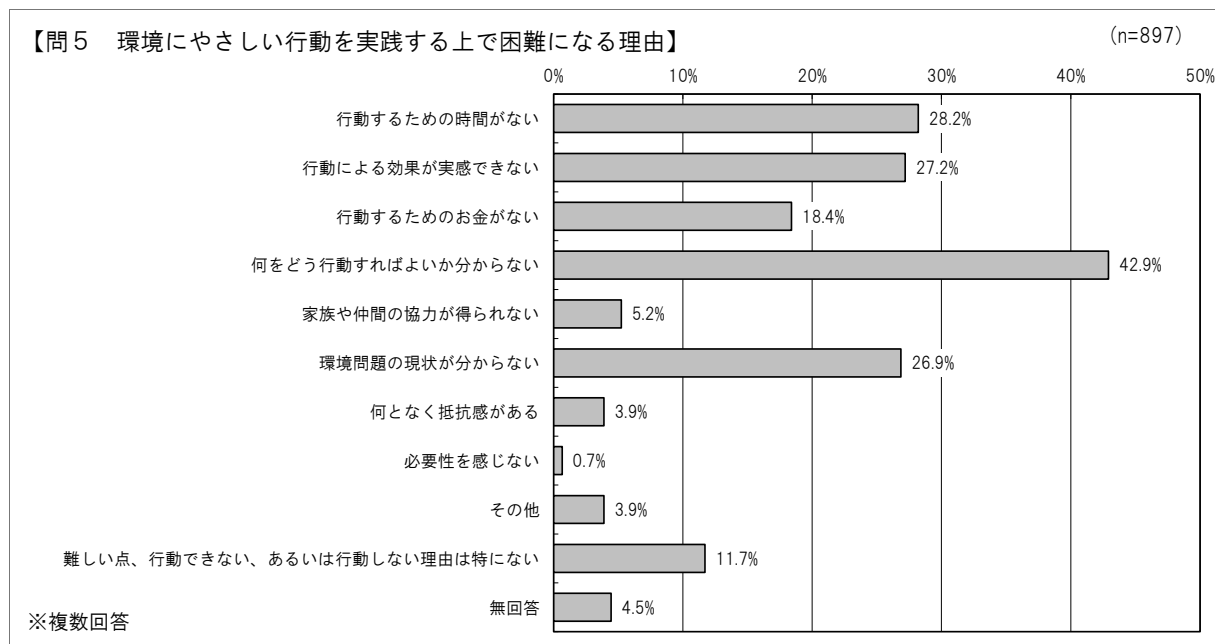


問5 あなたが環境にやさしい行動を実践するうえで、難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由は何ですか。次のうち、あなたの考えに近いものを3つ以内で選び、番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- (1) 行動するための時間がない
- (2) 行動による効果が実感できない
- (3) 行動するためのお金がない
- (4) 何をどう行動すればよいか分からない
- (5) 家族や仲間の協力が得られない
- (6) 環境問題の現状が分からない
- (7) 何となく抵抗感がある
- (8) 必要性を感じない
- (9) その他
- (10) 難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由は特にない

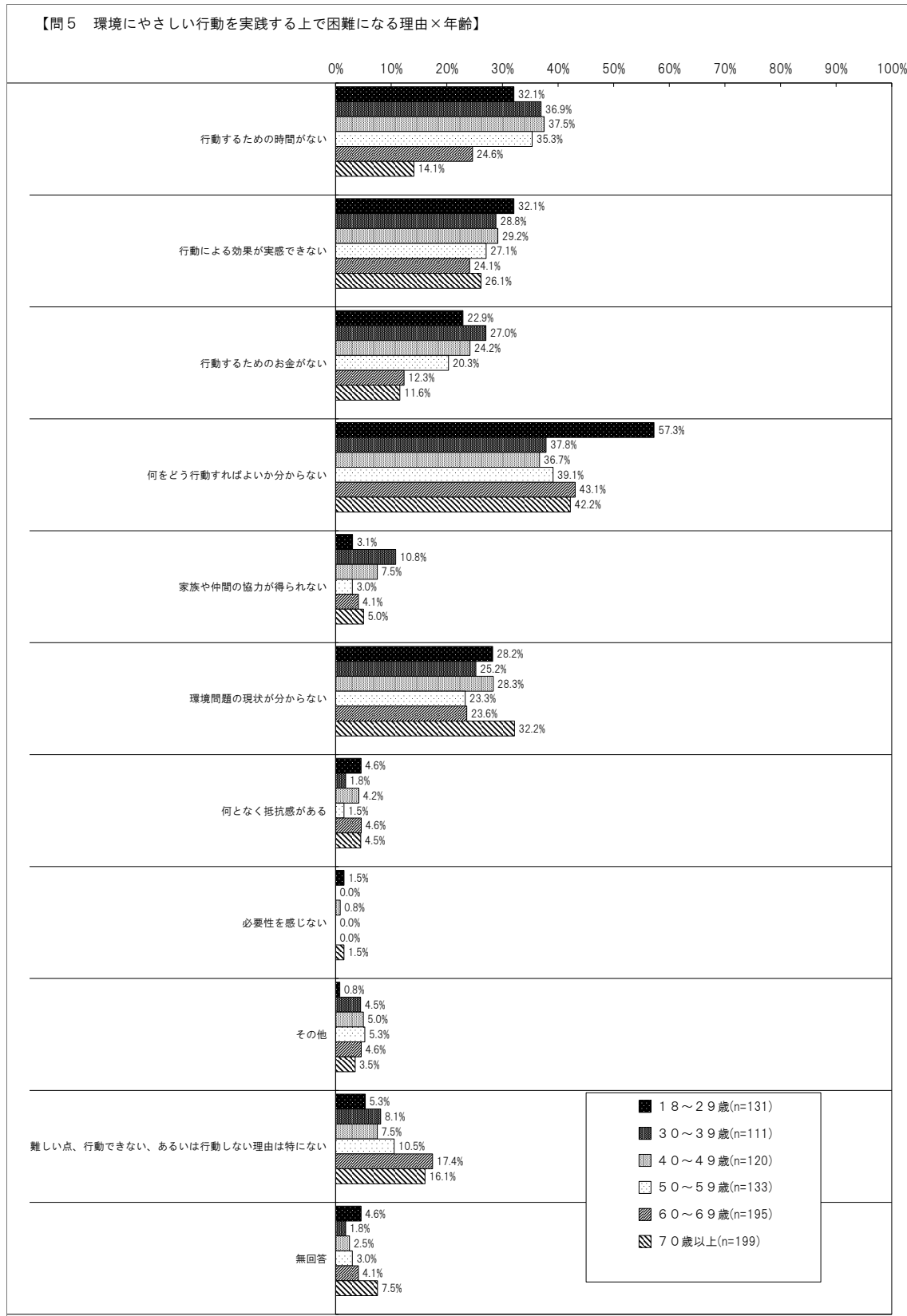
全体(図2-5-1)で見ると、「何をどう行動すればよいか分からない」が42.9%と最も高く、次いで「行動するための時間がない」(28.2%)、「行動による効果が実感できない」(27.2%)の順となっています。

図2-5-1 環境にやさしい行動を実践する上での困難



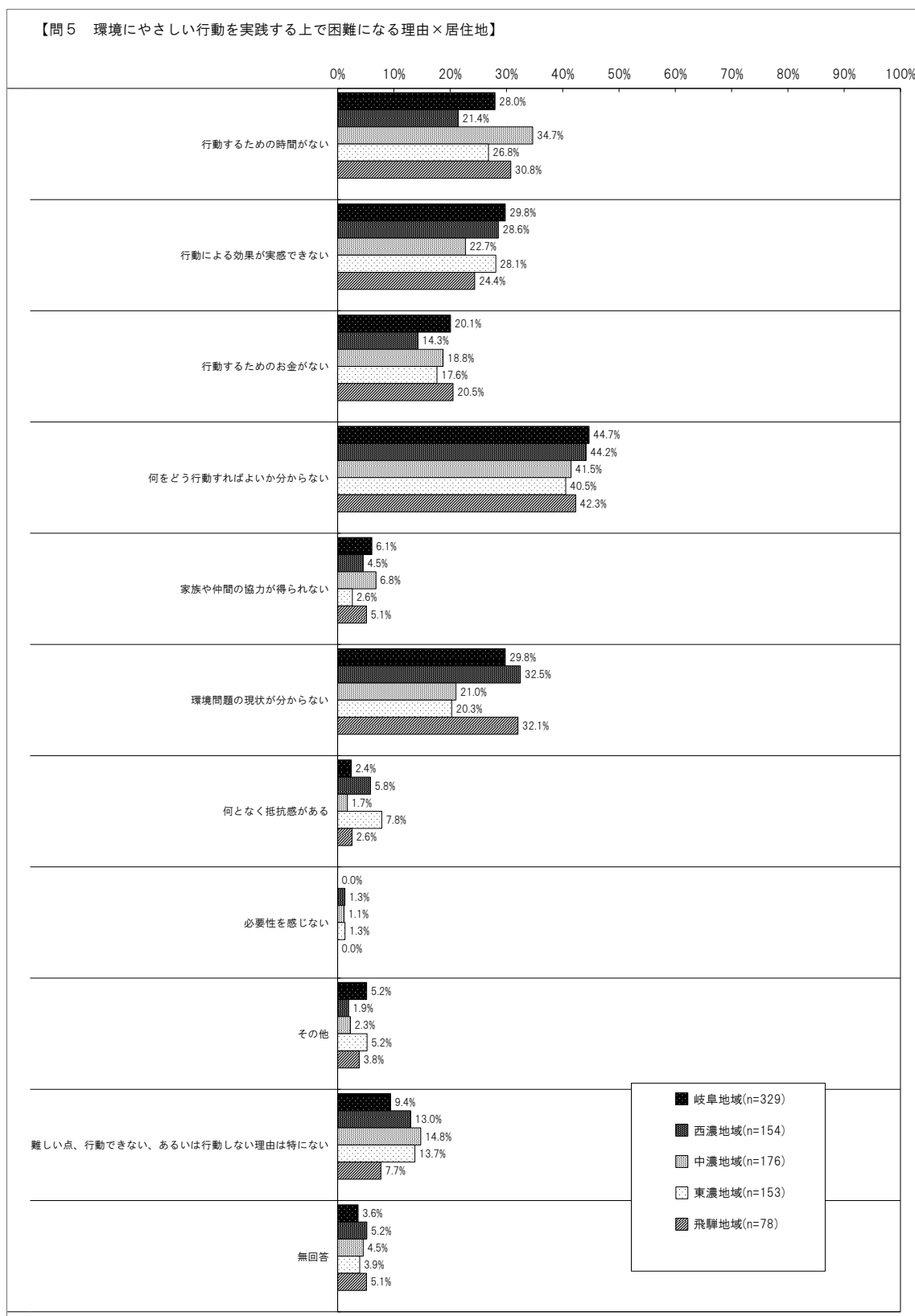
年齢別（図 2-5-2）で見ると、18～29 歳では「何をどう行動すればよいか分からない」が他の年齢区分と比べて高くなっています。なお、最も低かった 40～49 歳とでは 20 ポイント以上の差があります。

図 2-5-2 【年齢別】環境にやさしい行動を実践する上での困難



居住地別（図 2-5-3）で見ると、いずれの居住地においても「何をどう行動すればよいか分からない」が最も高くなっています。

図 2-5-3 【居住地別】環境にやさしい行動を実践する上での困難

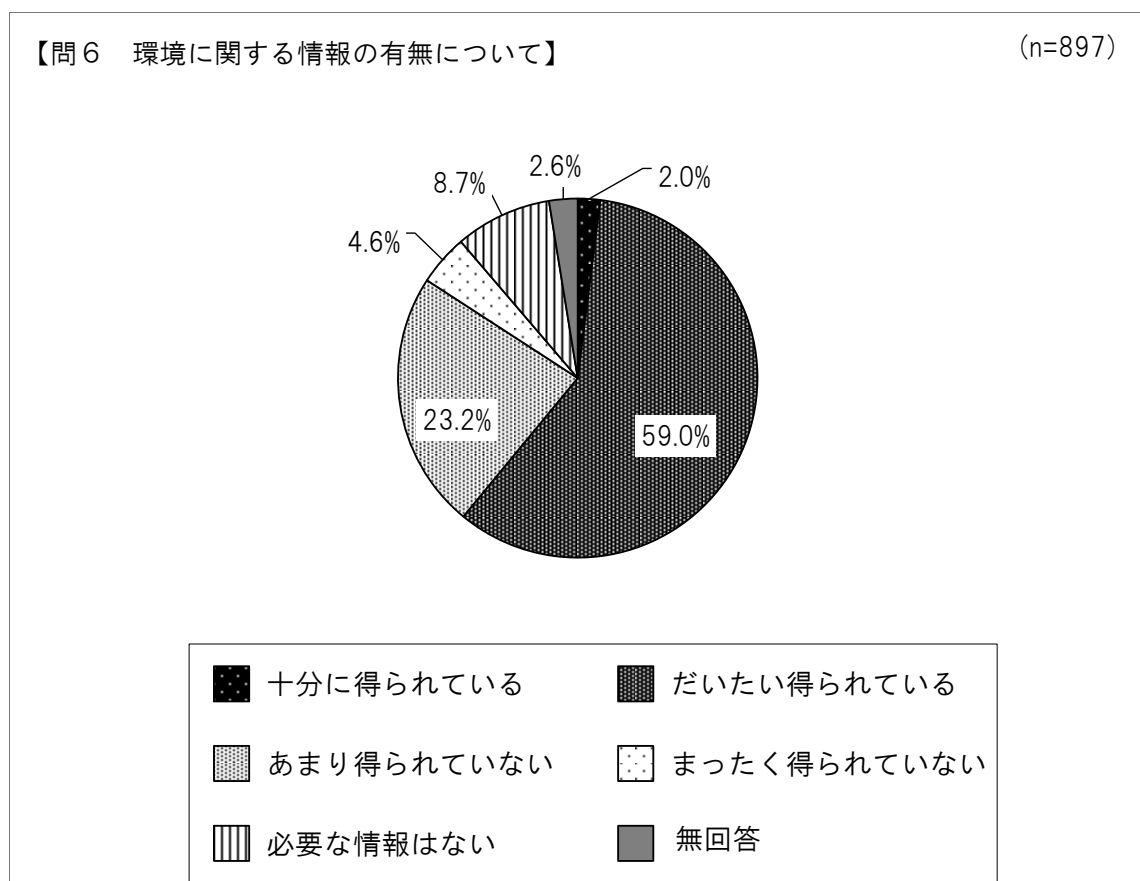


2-2 環境に関する情報について

- 問6 環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報は得られていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)
(3)、(4)に○をつけた方で、分かる方は、併せて得られていない情報を記入してください。
- (1) 十分に得られている
 - (2) だいたい得られている
 - (3) あまり得られていない
 - (4) まったく得られていない
 - (5) 必要な情報はない

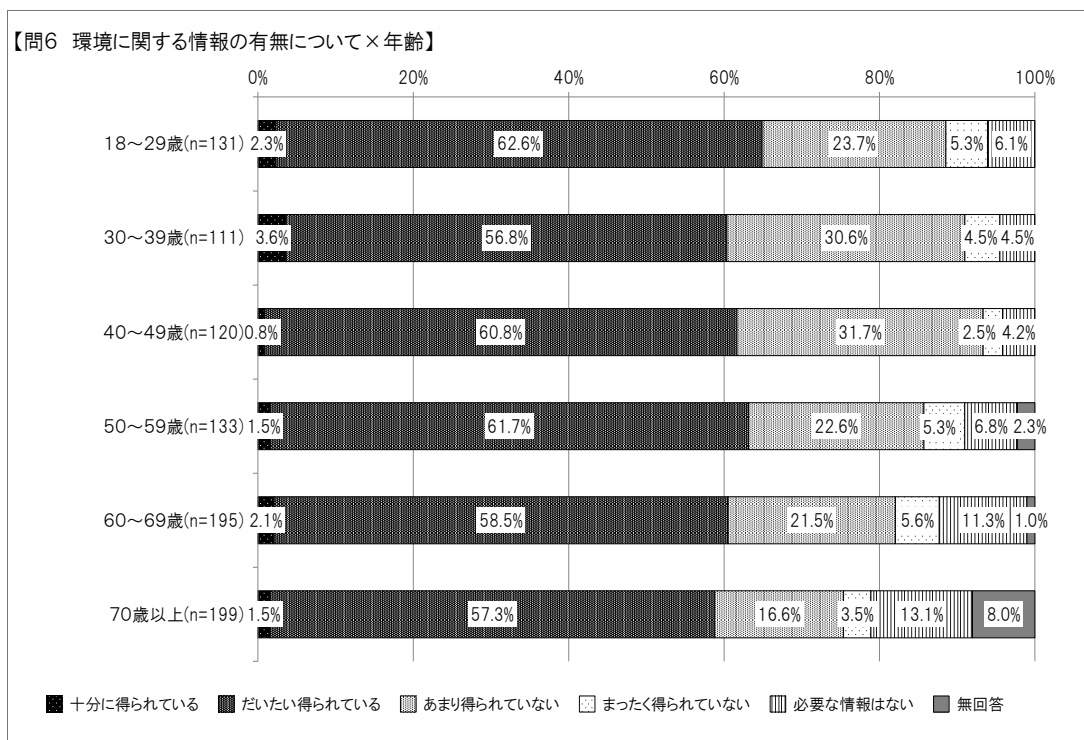
全体(図2-6-1)で見ると、「だいたい得られている」が59.0%と最も高く、次いで「あまり得られていない」(23.2%)、「必要な情報はない」(8.7%)の順となっています。

図 2-6-1 環境に関する情報の有無



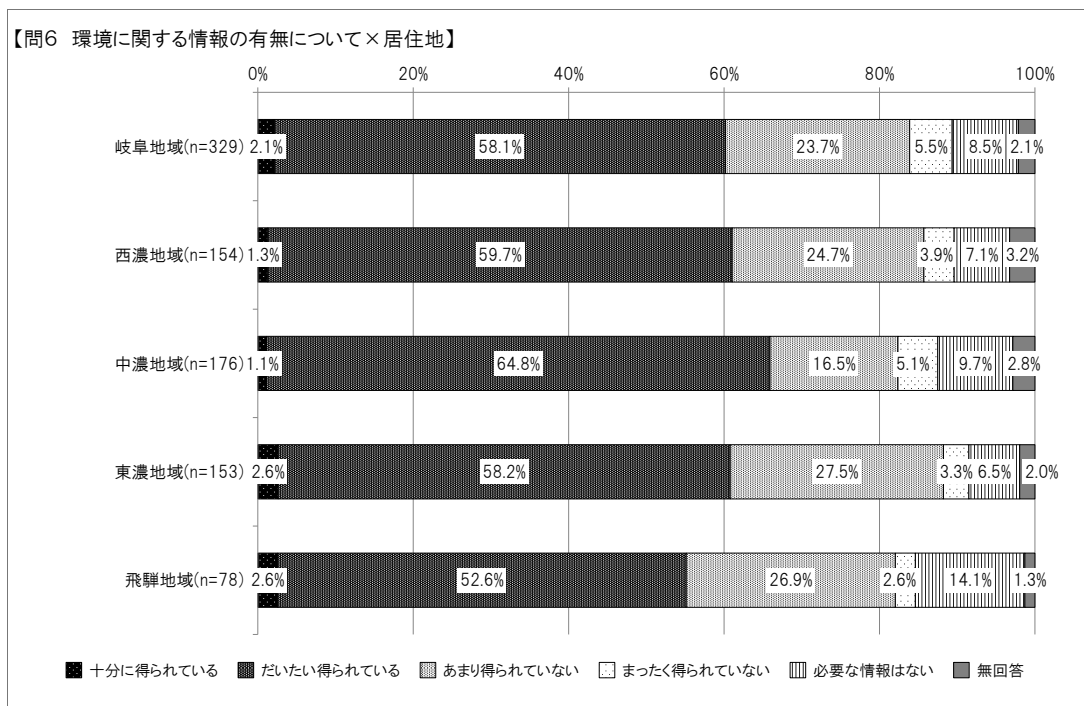
年齢別（図 2-6-2）で見ると、すべての年代において「だいたい得られている」が最も高くなっています。

図 2-6-2 【年齢別】環境に関する情報の有無



居住地別（図 2-6-3）で見ると、いずれの居住地においても「だいたい得られている」が最も高くなっています。なお、中濃地域では「あまり得られていない」が他の居住地と比べて低くなっています。

図 2-6-3 【居住地別】環境に関する情報の有無

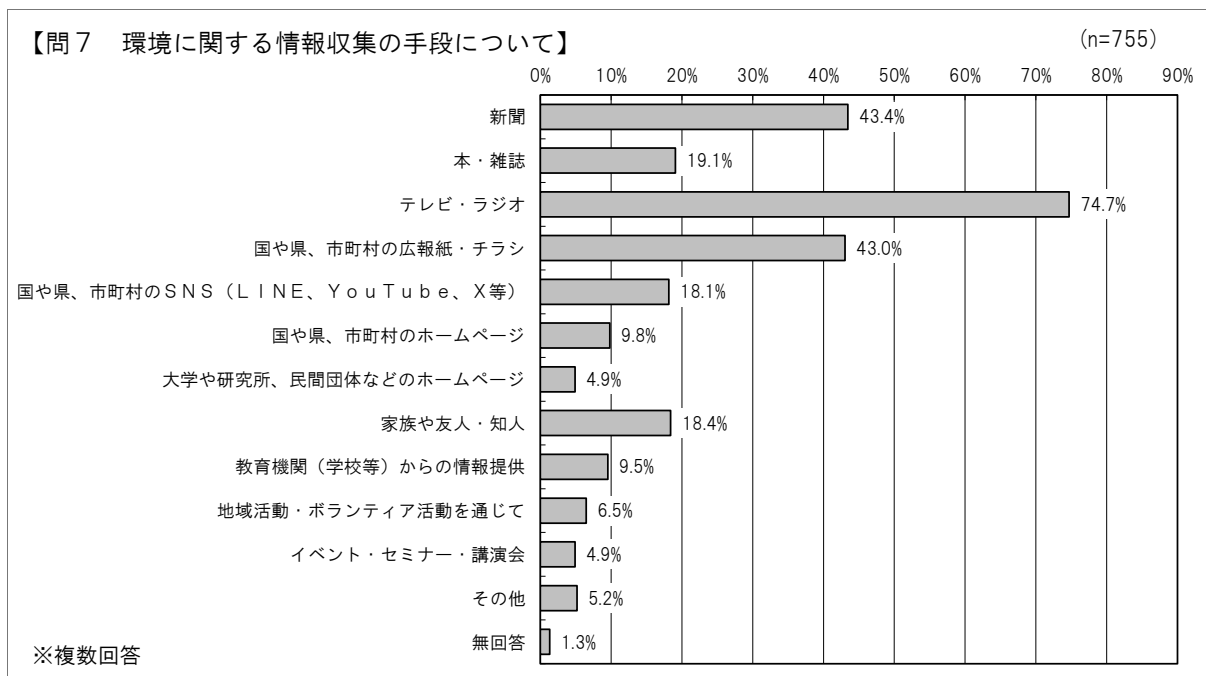


問7 問6で(1)～(3)を選んだ方に伺います。あなたが環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報を得る主な手段は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のSNS (LINE、YouTube、X (旧Twitter) 等)
- (6) 国や県、市町村のホームページ
- (7) 大学や研究所、民間団体などのホームページ
- (8) 家族や友人・知人
- (9) 教育機関(学校等)からの情報提供
- (10) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (11) イベント・セミナー・講演会
- (12) その他

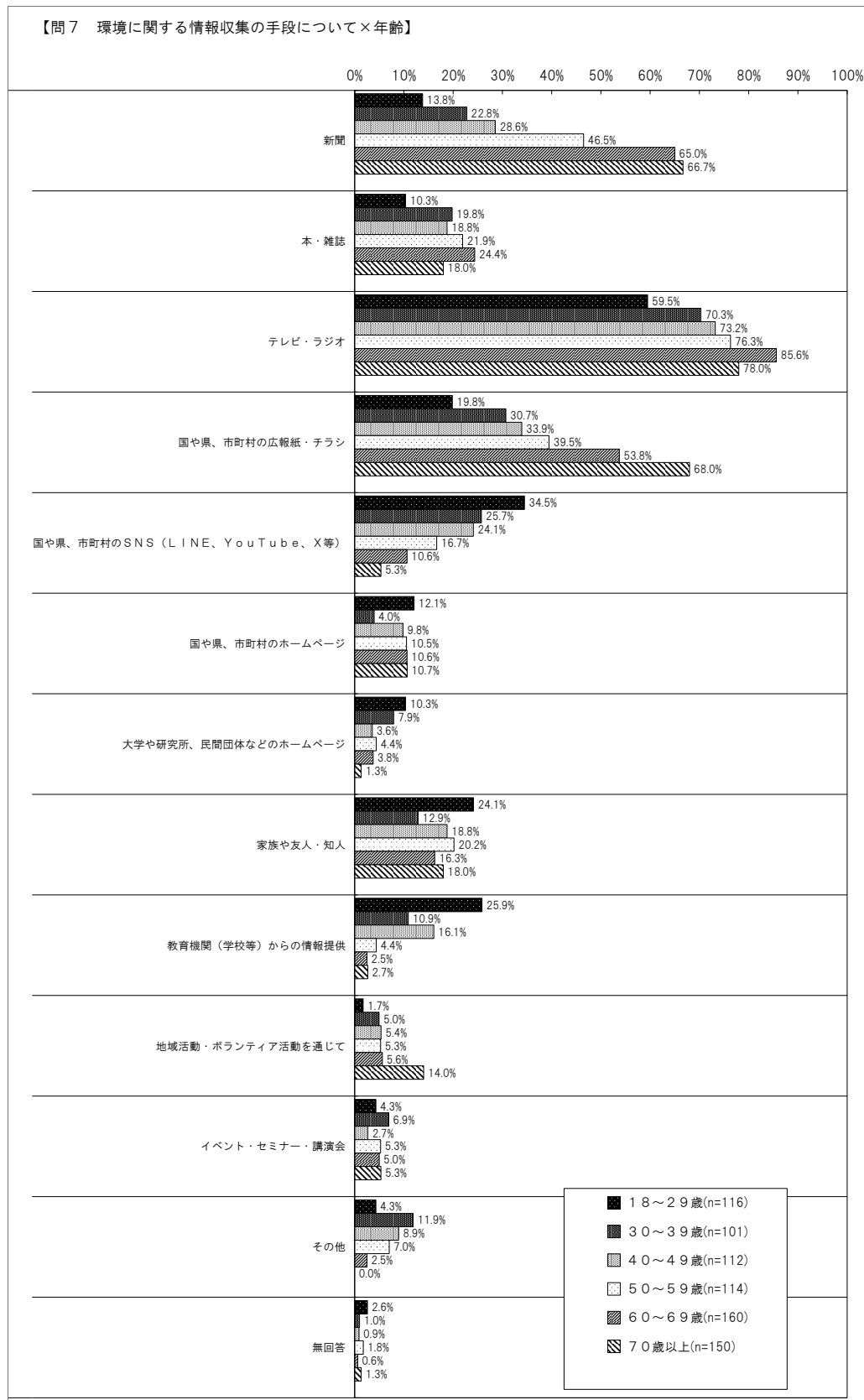
全体(図2-7-1)で見ると、「テレビ・ラジオ」が74.7%と最も高く、次いで「新聞」(43.4%)、「国や県、市町村の広報紙・チラシ」(43.0%)の順となっています。

図2-7-1 環境に関する情報収集の手段



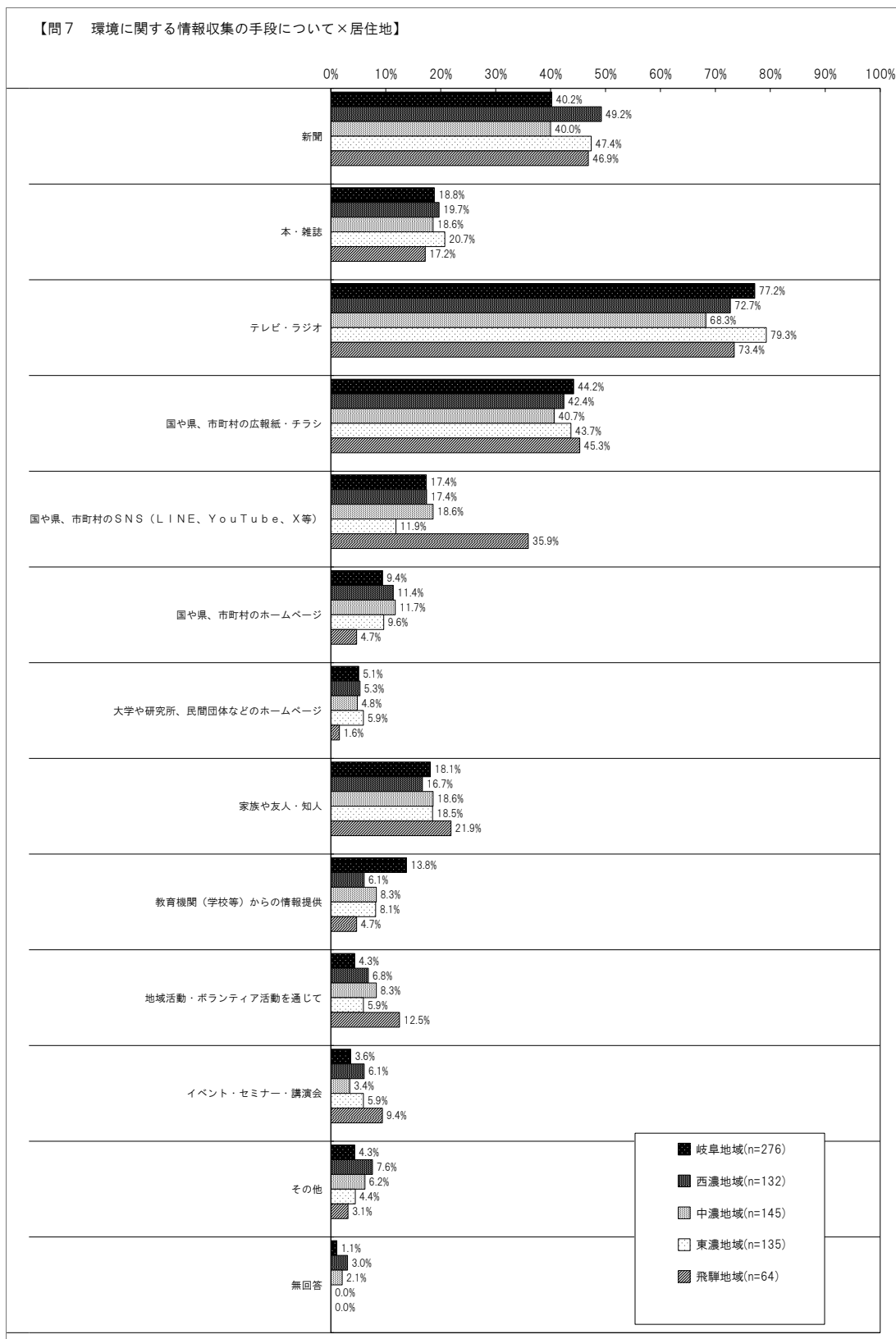
年齢別（図 2-7-2）でみると、「新聞」や「国や県、市町村の広報紙・チラシ」は年齢区分が高くなるにつれて高くなっており、「国や県、市町村の SNS」は年齢区分が低くなるにつれて高くなっています。

図 2-7-2 【年齢別】環境に関する情報収集の手段



居住地別（図 2-7-3）でみると、「国や県、市町村の SNS」は最も高かった飛騨地域と最も低かった東濃地域とでは 20 ポイント以上の差があります。

図 2-7-3 【居住地別】環境に関する情報収集の手段



2-3 県が実施する環境施策について

問8 県が現在行っている環境に関する以下の事業について、あなたはどの程度知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【項目】

- (1) 「ぎふエコアクション」の推進
- (2) 「脱炭素相談窓口」の設置
- (3) 「気候変動適応センター」における共同研究等の実施
- (4) G-クレジット制度の運用
- (5) 企業との協働による森林づくりの推進
- (6) 「岐阜県野生動物管理推進センター」における野生動物の管理
- (7) ツキノワグマによる被害の防止
- (8) 「ぎふジビエ」の推進
- (9) 「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承
- (10) 中部山岳国立公園の魅力増進事業
- (11) 「清流調査隊」の編成
- (12) 「カワガラスウォッチング(水生生物調査)」の実施
- (13) 「ぎふ食べきり運動」の推進
- (14) 「フードドライブ」の推進
- (15) 「環境にやさしい買い物(グリーン購入)」の普及
- (16) 「岐阜県リサイクル認定製品」の認定
- (17) 岐阜県プラスチック・スマート事業所「ぎふプラスマ!」の登録制度
- (18) 「岐阜県清掃活動ウェブサイト『クリーンアップぎふ～海まで届け清流!～』」の運営
- (19) 「清流ミナモの未来づくり」の推進
- (20) 「清流月間」における普及啓発の実施
- (21) 「環境教育推進員」の派遣
- (22) 「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成
- (23) 「ぎふ環境学習ポータルサイト」の運営
- (24) 「脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー」の開催

【選択肢】

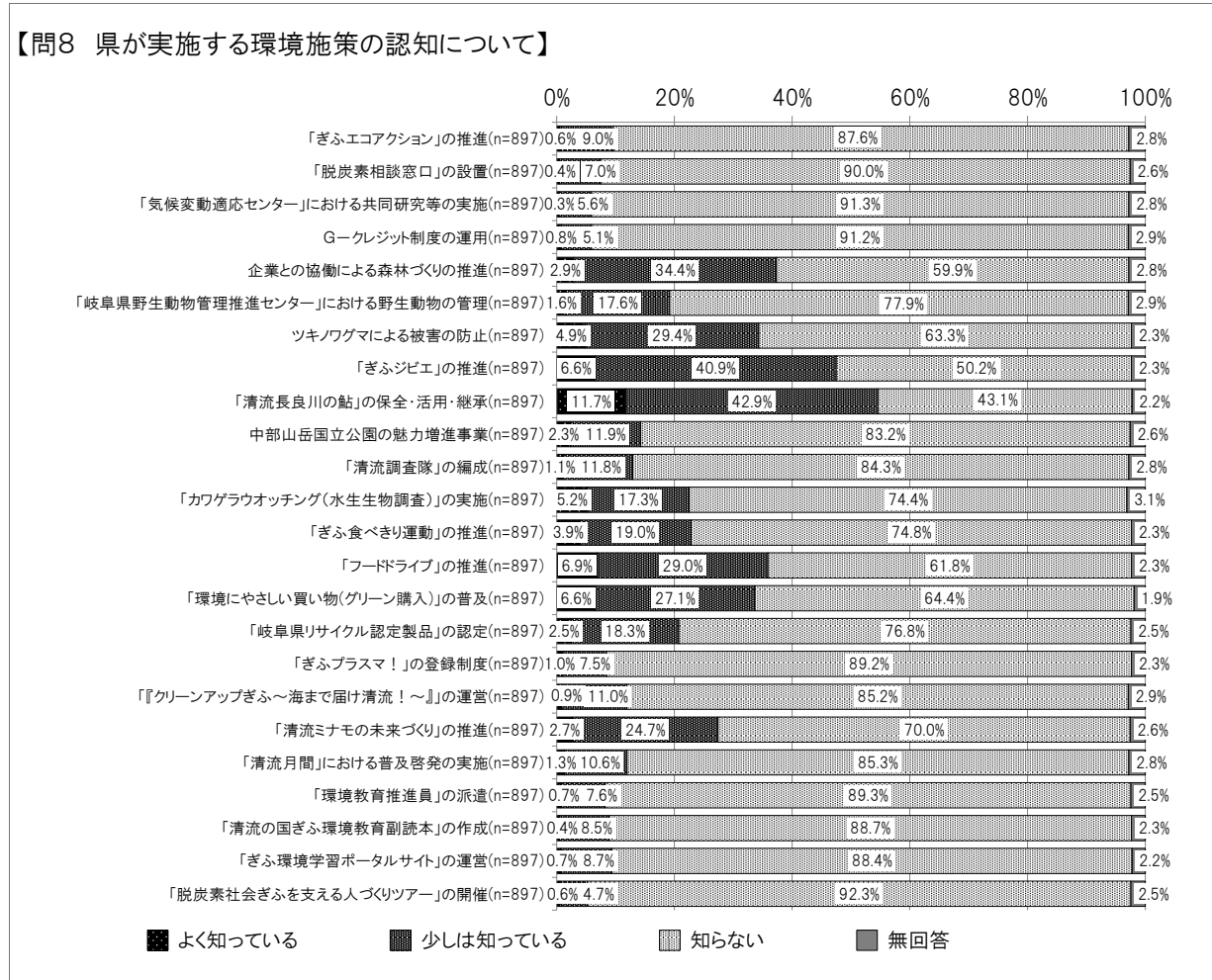
1. よく知っている

2. 少しは知っている

3. 知らない

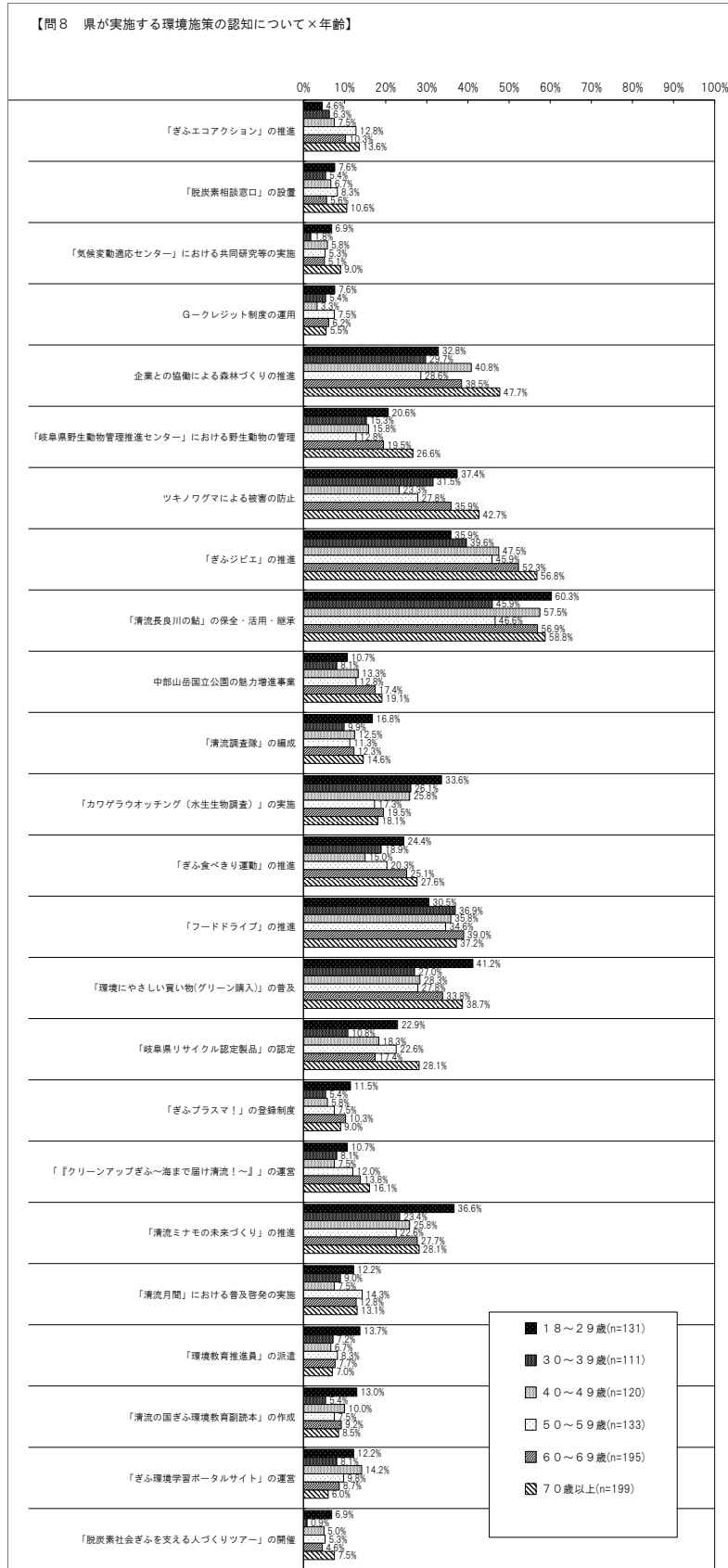
全体（図 2-8-1）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、『清流長良川の鮎』の保全・活用・継承』が 54.6%と最も高く、次いで『ぎふジビエ』の推進』(47.5%)、『企業との協働による森林づくりの推進』(37.3%) の順となっています。

図 2-8-1 県が実施する環境施策の認知



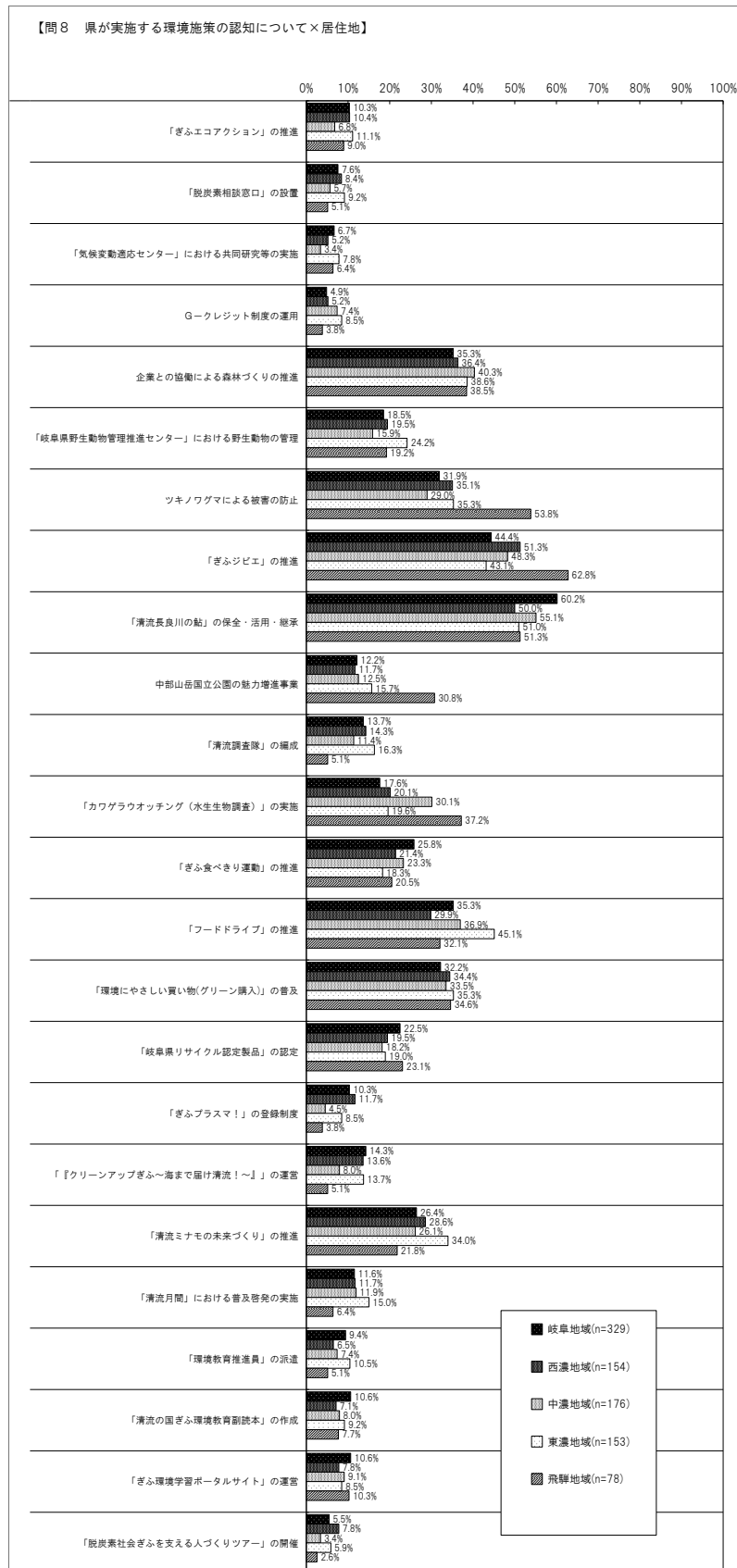
年齢別（図 2-8-2）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、『「ぎふジビエ」の推進』は最も高かった 70 歳以上と最も低かった 18～29 歳とでは 20 ポイント以上の差があります。

図 2-8-2 【年齢別】県が実施する環境施策の認知



居住地別（図 2-8-3）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、飛騨地域では『ツキノワグマによる被害の防止』や『「ぎふジビエ」の推進』、『中部山岳国立公園の魅力増進事業』が他の居住地と比べて10ポイント以上高くなっています。

図 2-8-3 【居住地別】県が実施する環境施策の認知



3. 環境関連団体を対象とする調査結果

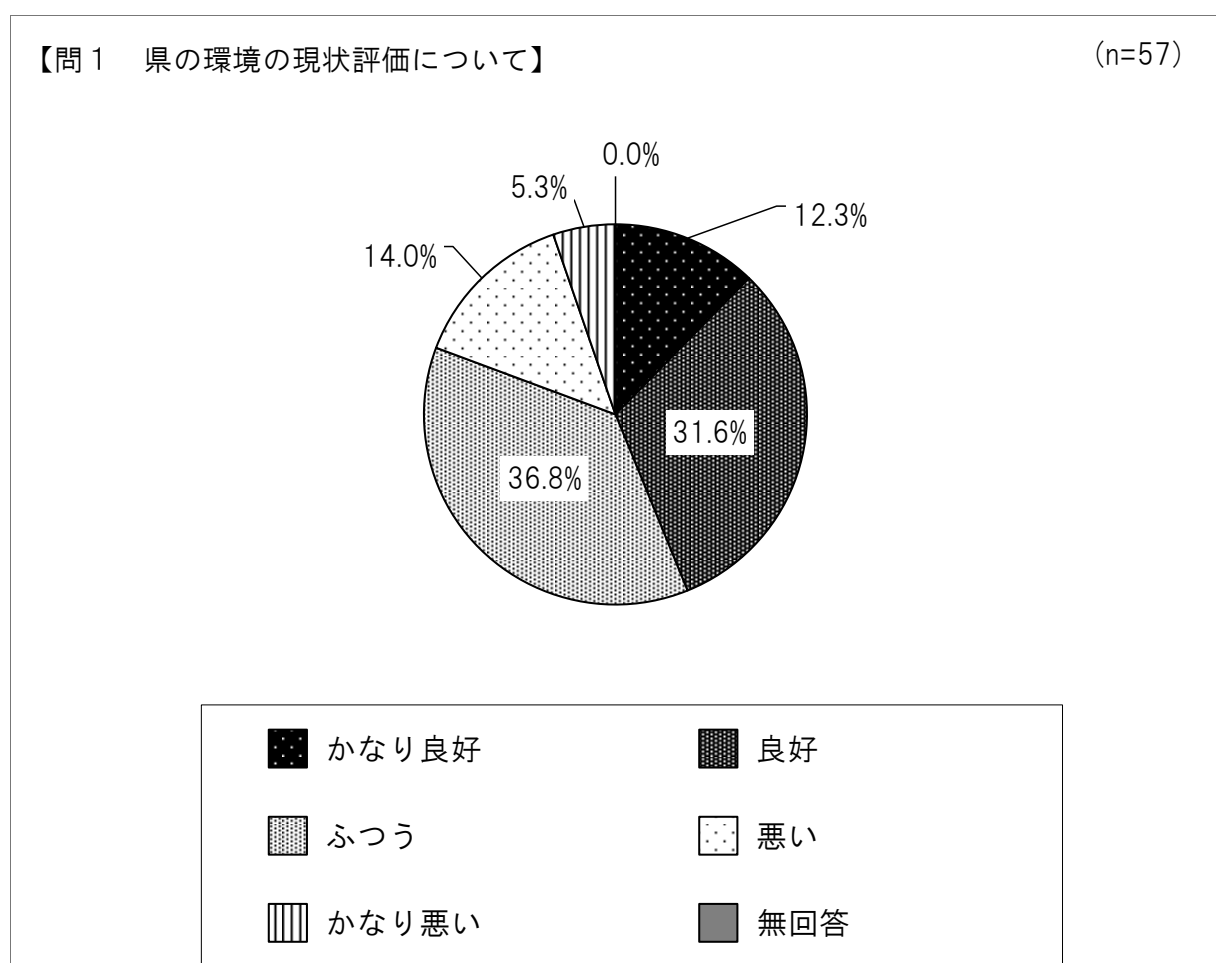
3-1 環境に対する関心や行動について

問1 貴団体は、県の環境の現状（水、大気、自然などの状況）について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）
（4）、（5）に○をつけた方は、（ ）内の具体的な分野に○をつけてください。

（1）かなり良好
（2）良好
（3）ふつう
（4）悪い
（具体的な分野：水、土壌、大気、生活環境（騒音・悪臭等）、自然、動植物、その他）
（5）かなり悪い
（具体的な分野：水、土壌、大気、生活環境（騒音・悪臭等）、自然、動植物、その他）

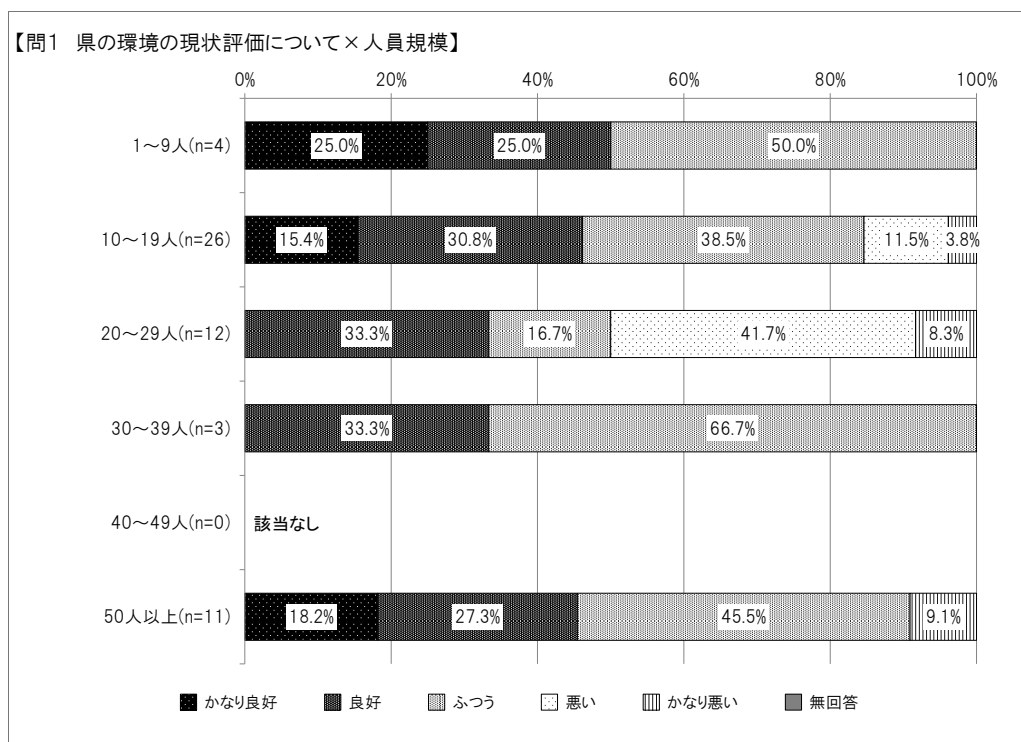
全体（図 3-1-1）で見ると、「ふつう」が 36.8%と最も高く、次いで「良好」（31.6%）、「悪い」（14.0%）の順となっています。

図 3-1-1 県の環境の現状評価



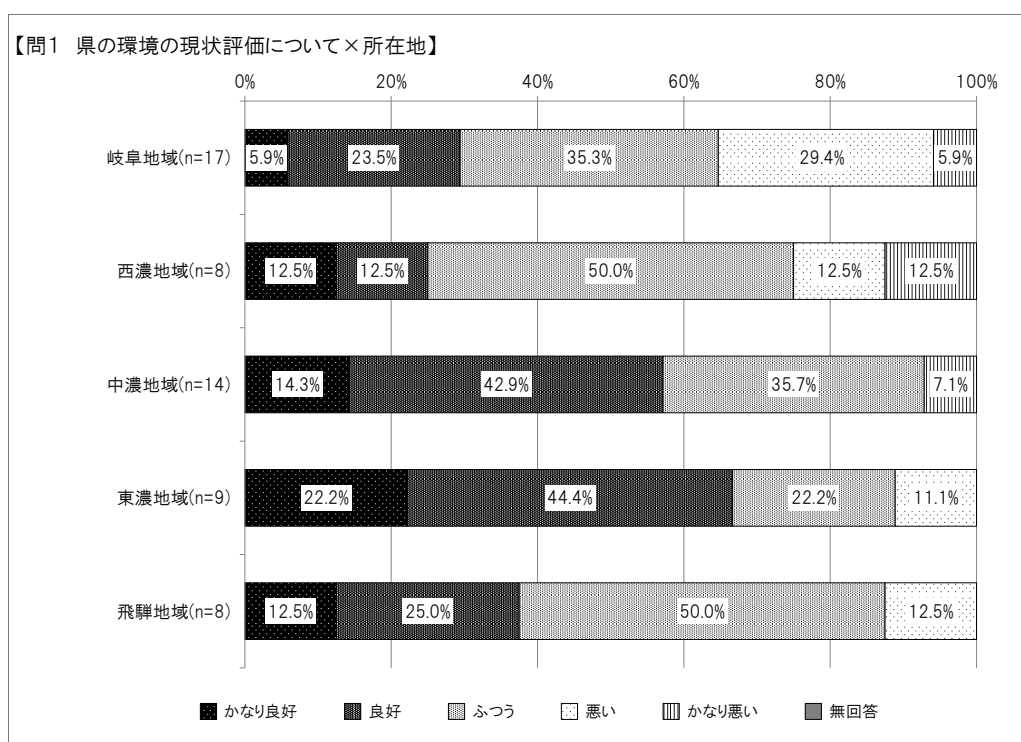
人員規模別（図 3-1-2）でみると、20～29 人では「悪い」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 3-1-2 【人員規模別】 県の環境の現状評価



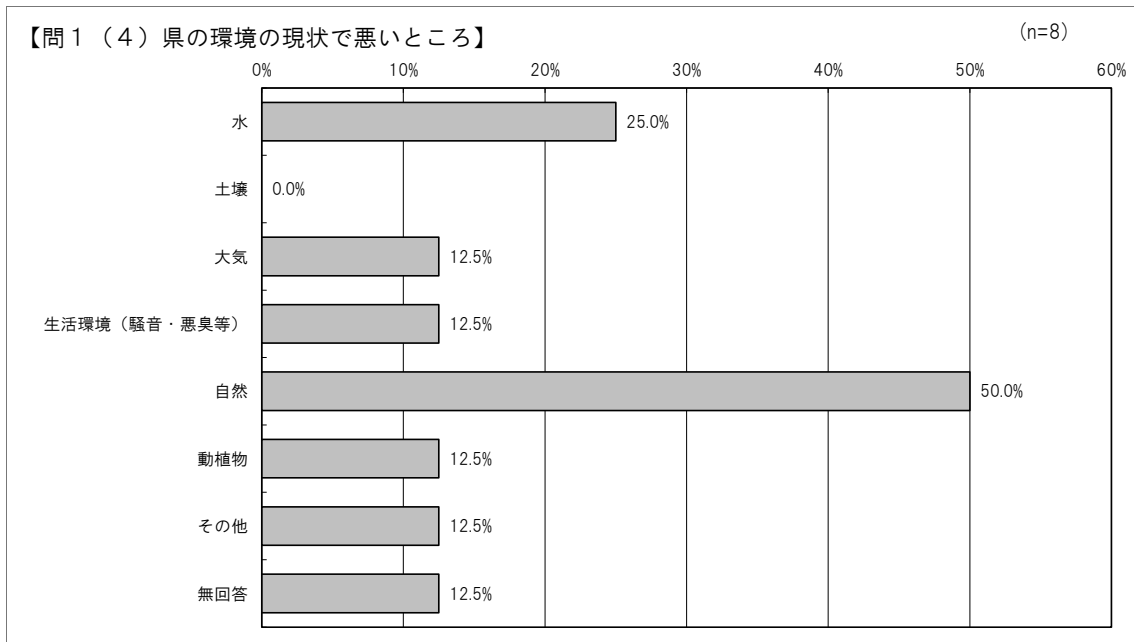
所在地別（図 3-1-3）でみると、岐阜地域では「悪い」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 3-1-3 【所在地別】 県の環境の現状評価



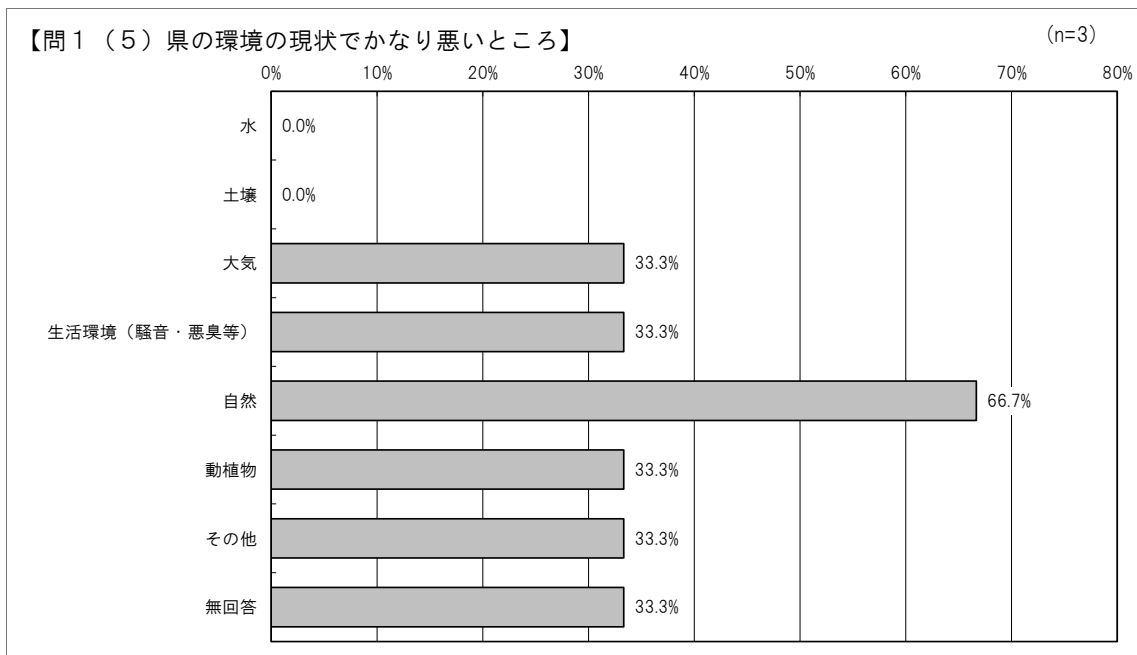
「悪い」の具体的分野（図 3-1-4）で見ると、「自然」が 50.0%と最も高く、次いで「水」（25.0%）の順となっています。

図 3-1-4 【「悪い」 具体的分野】 県の環境の現状評価



「かなり悪い」の具体的分野（図 3-1-5）で見ると、「自然」が 66.7%と最も高く、次いで「大気」、「生活環境（騒音・悪臭等）」、「動植物」（ともに 33.3%）の順となっています。

図 3-1-5 【「かなり悪い」 具体的分野】 県の環境の現状評価



問 2 貴団体は、県の環境の現状について、5年前と比べてどのようになったと感じていますか。

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(4)、(5)に○をつけた方は、()内の具体的な分野に○をつけてください。

(1) かなり良くなった

(2) 良くなった

(3) 変わらない

(4) 悪くなった

(具体的な分野：水、土壌、大気、生活環境(騒音・悪臭等)、自然、動植物、その他)

(5) かなり悪くなった

(具体的な分野：水、土壌、大気、生活環境(騒音・悪臭等)、自然、動植物、その他)

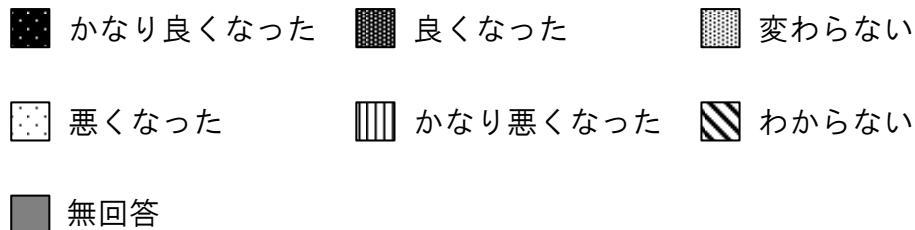
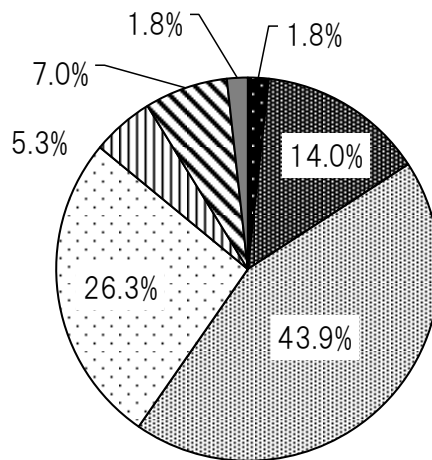
(6) わからない

全体(図3-2-1)で見ると、「変わらない」が43.9%と最も高く、次いで「悪くなった」(26.3%)、「良くなった」(14.0%)の順となっています。

図3-2-1 県の環境の5年前との比較

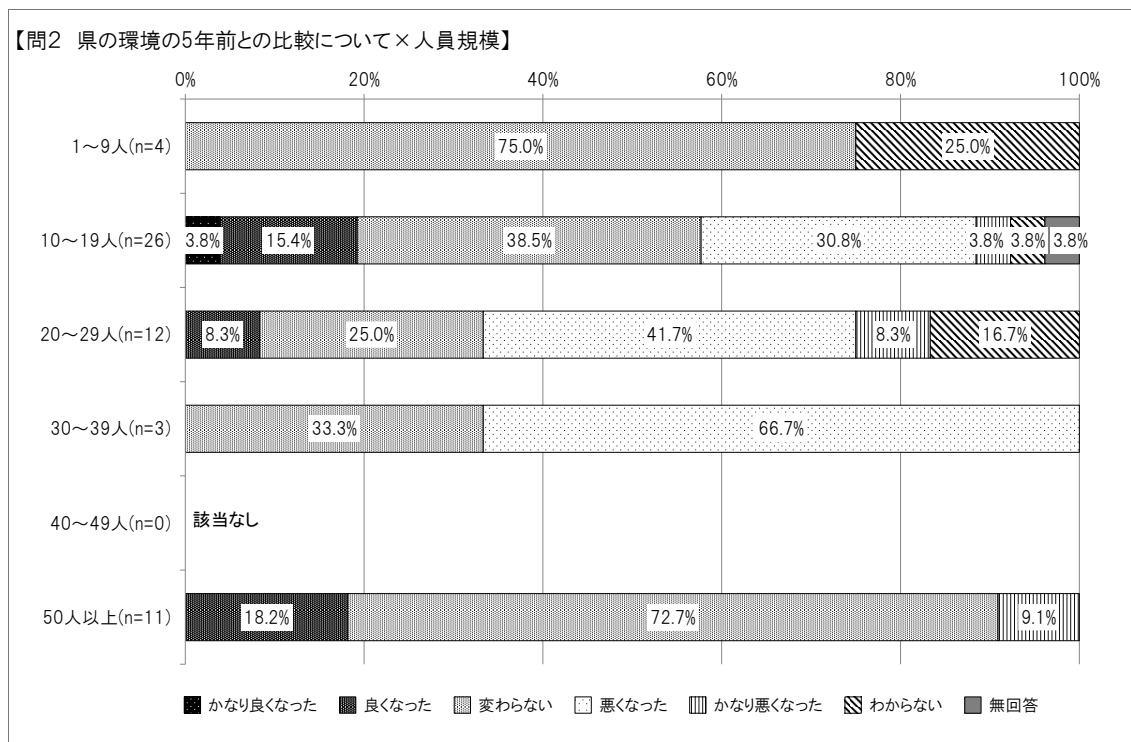
【問2 県の環境の5年前との比較について】

(n=57)



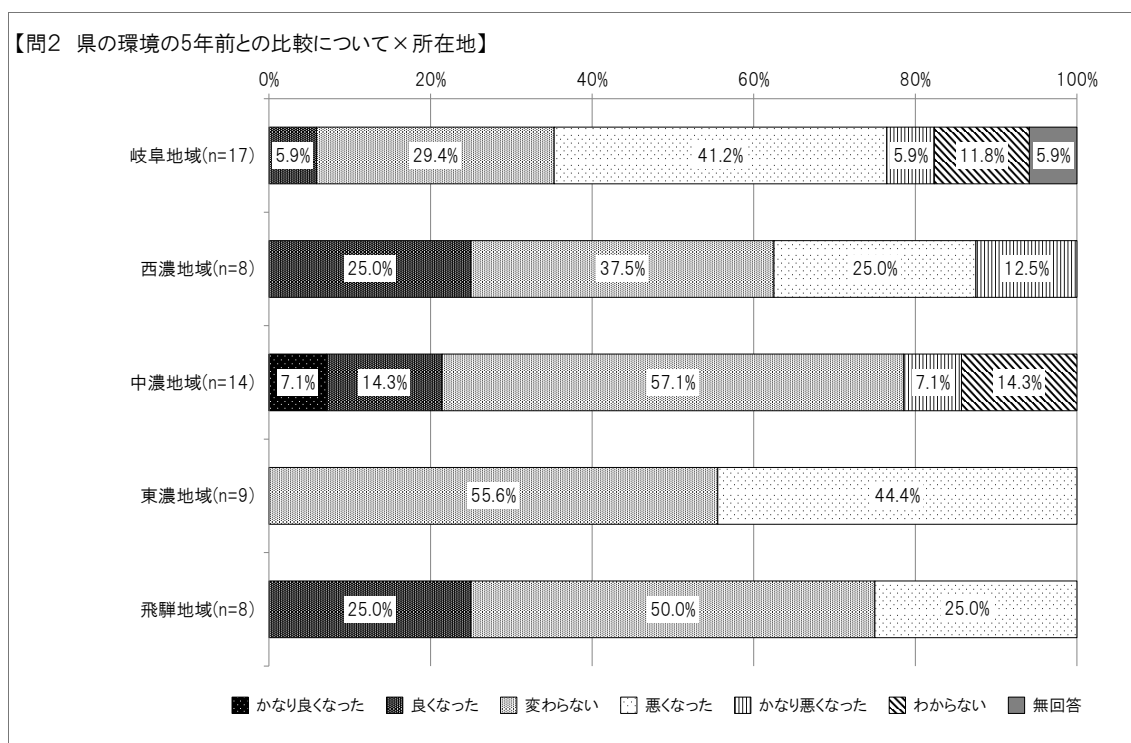
人員規模別（図 3-2-2）でみると、50 人以上では「変わらない」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 3-2-2 【人員規模別】 県の環境の 5 年前との比較



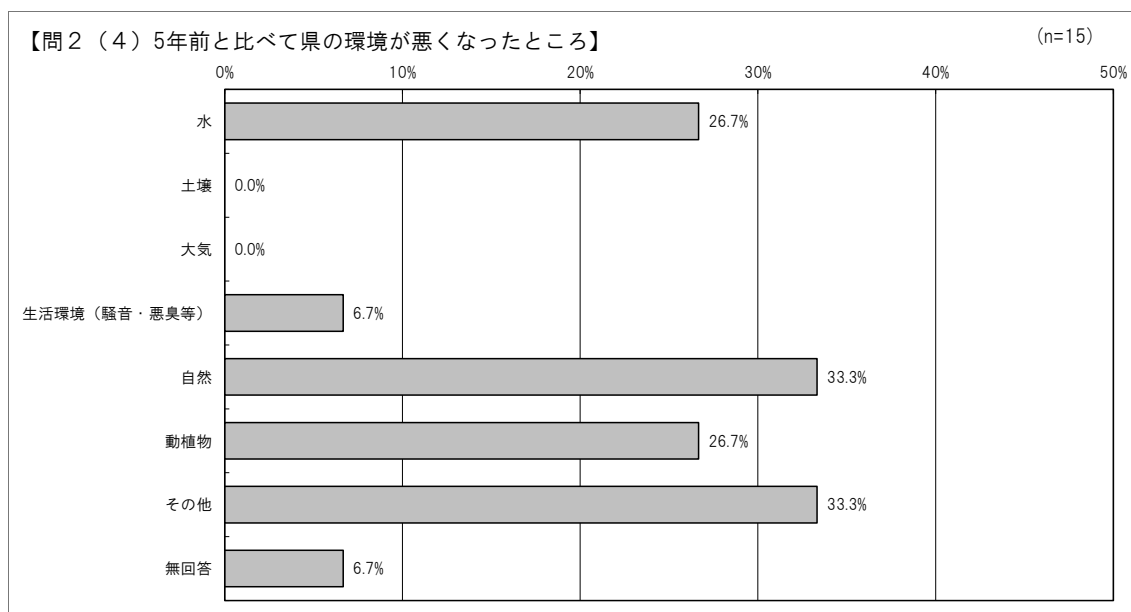
所在地別（図 3-2-3）でみると、中濃地域では「かなり良くなった」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 3-2-3 【所在地別】 県の環境の 5 年前との比較



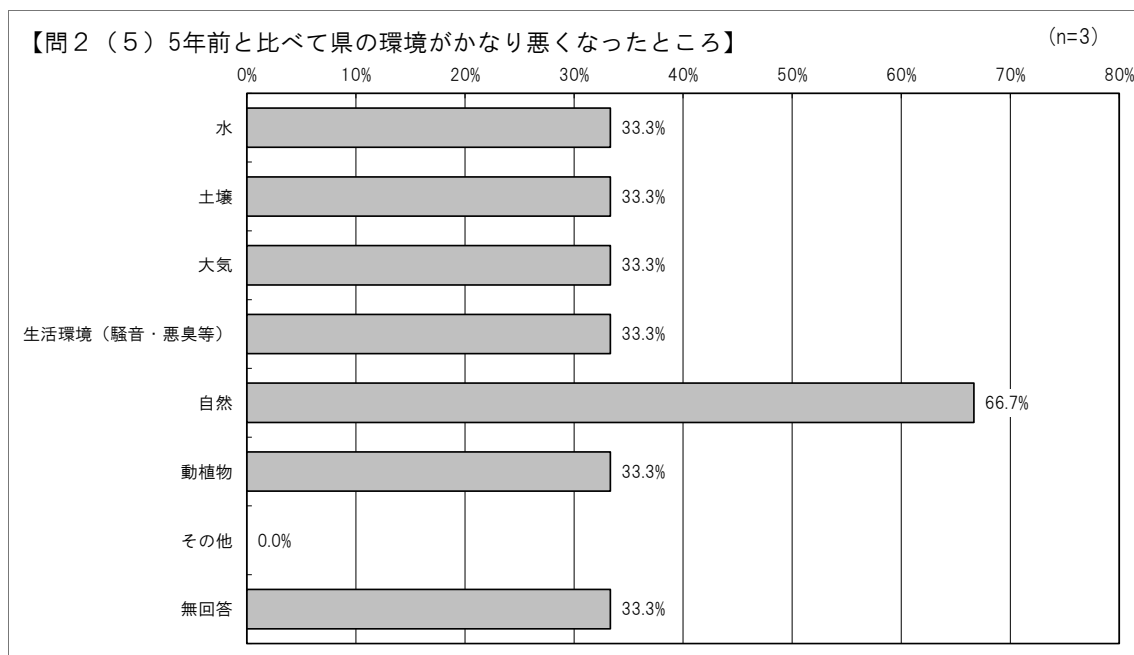
「悪くなった」の具体的分野（図 3-2-4）で見ると、「自然」が 33.3%と最も高く、次いで「水」、「動植物」（ともに 26.7%）の順となっています。

図 3-2-4 【「悪くなった」具体的分野】県の環境の 5 年前との比較



「かなり悪くなった」の具体的分野（図 3-2-5）で見ると、「自然」が 66.7%と最も高く、次いで「水」、「土壌」、「大気」、「生活環境（騒音・悪臭等）」、「動植物」（ともに 33.3%）の順となっています。

図 3-2-5 【「かなり悪くなった」具体的分野】県の環境の 5 年前との比較



問3 貴団体は、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【項目】

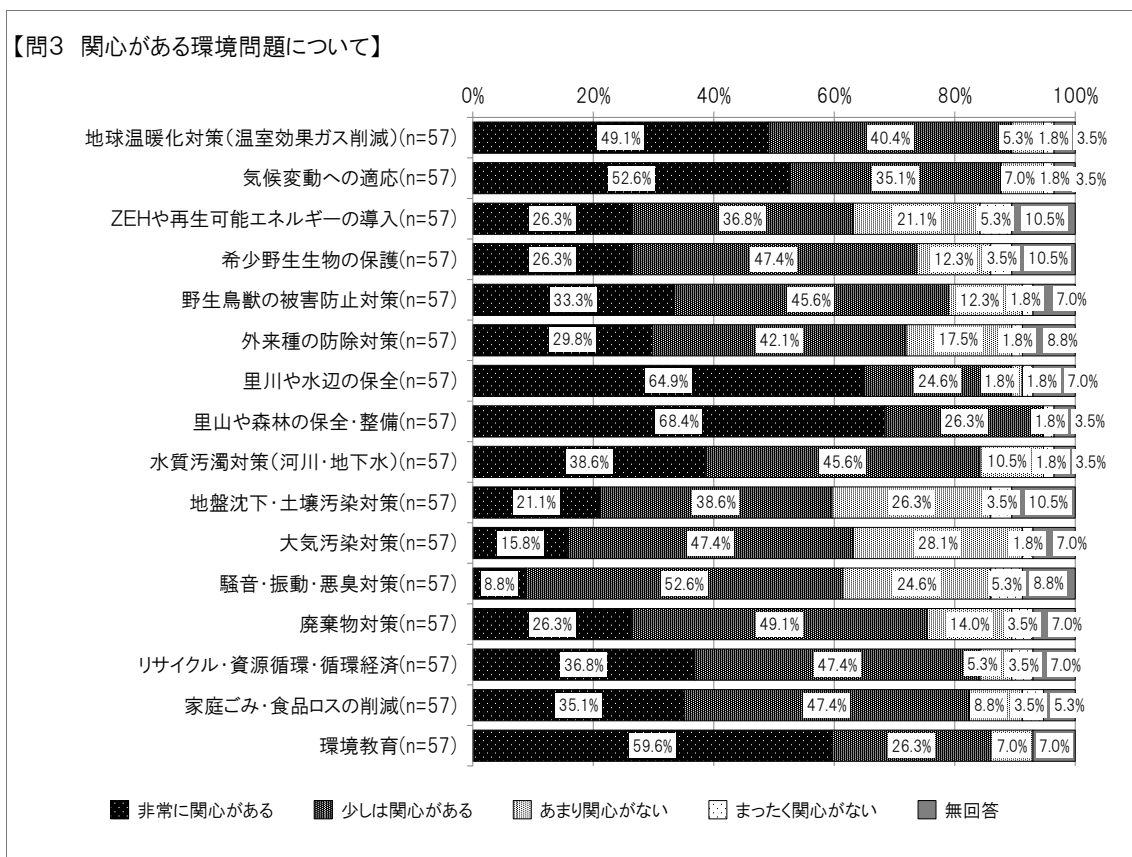
- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| (1) 地球温暖化対策(温室効果ガス削減) | (2) 気候変動への適応(熱中症対策、防災・減災対策) |
| (3) ZEHや再生可能エネルギーの導入 | (4) 希少野生生物の保護 |
| (5) 野生鳥獣の被害防止対策 | (6) 外来種の防除対策 |
| (7) 里川や水辺の保全 | (8) 里山や森林の保全・整備 |
| (9) 水質汚濁対策(河川・地下水) | (10) 地盤沈下・土壌汚染対策 |
| (11) 大気汚染対策 | (12) 騒音・振動・悪臭対策 |
| (13) 廃棄物対策 | (14) リサイクル・資源循環・環境経済 |
| (15) 家庭ごみ・食品ロスの削減 | (16) 環境教育 |

【選択肢】

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. 少しは関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. まったく関心がない |

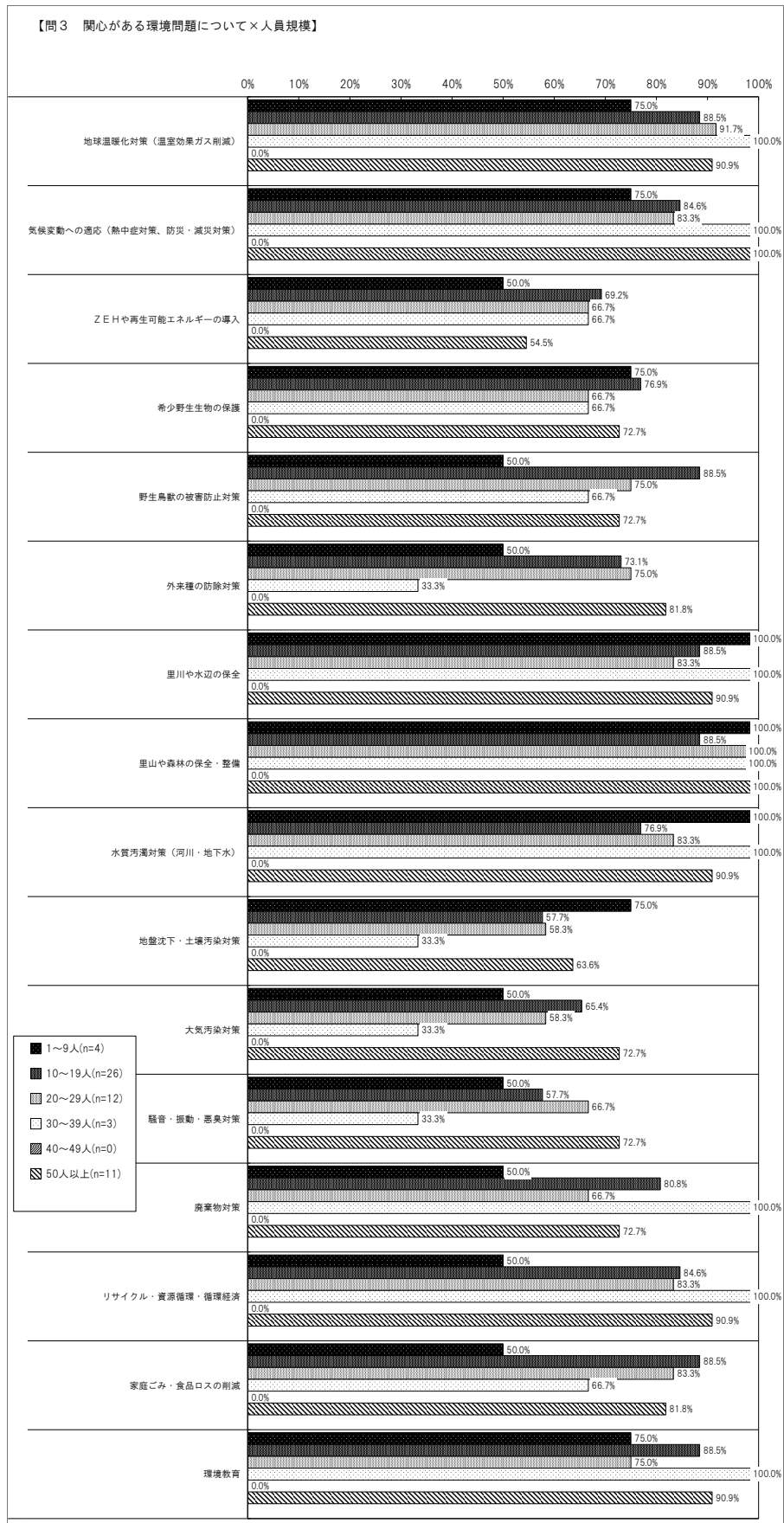
全体(図3-3-1)でみると、「非常に関心がある」と「少しは関心がある」の合計について、『里山や森林の保全・整備』が94.7%と最も高く、次いで『地球温暖化対策』、『里川や水辺の保全』(ともに89.5%)の順となっています。

図3-3-1 関心がある環境問題



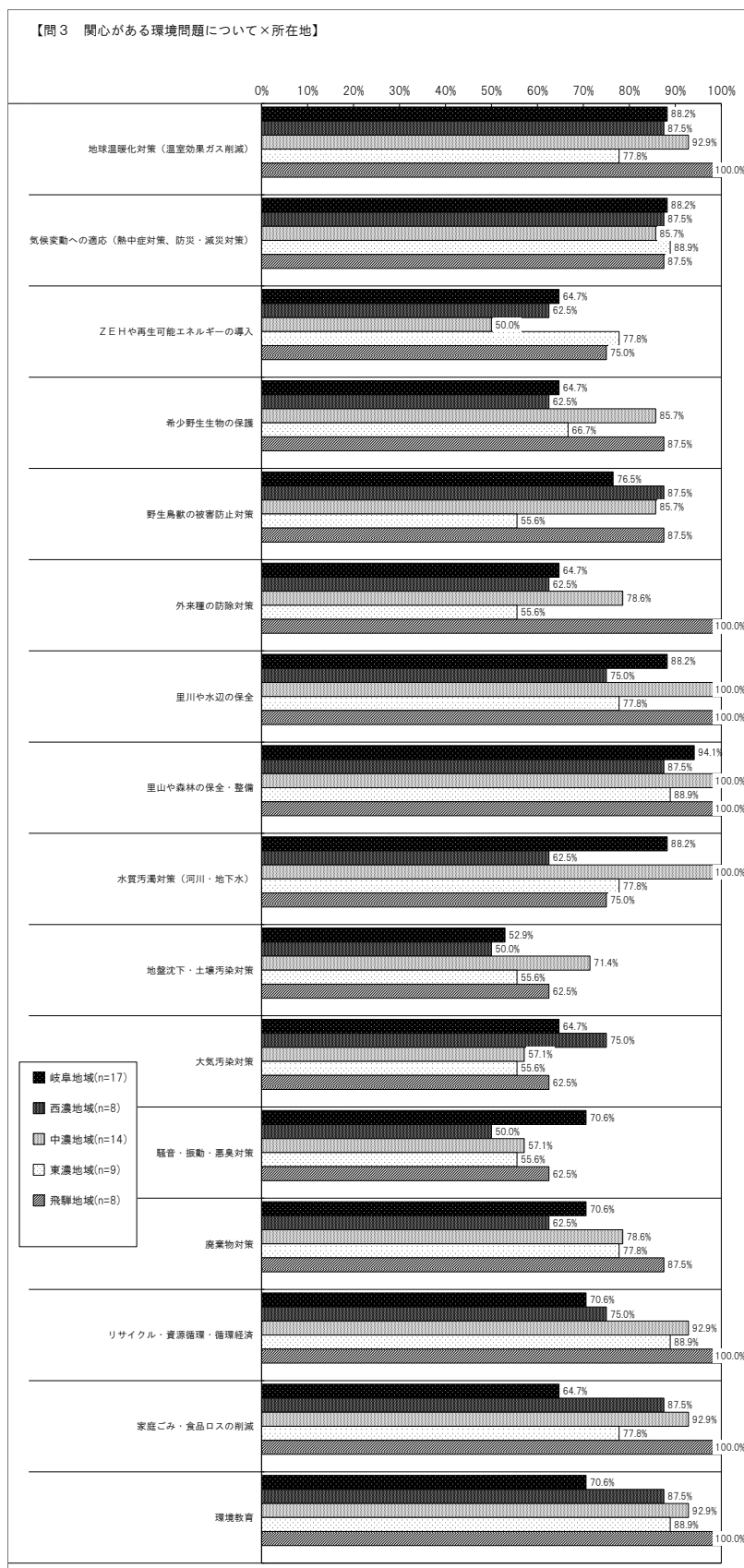
人員規模別（図 3-3-2）でみると、「非常に関心がある」と「少しは関心がある」の合計について、10～19 人では『野生鳥獣の被害防止対策』が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 3-3-2 【人員規模別】関心がある環境問題



所在地別（図 3-3-3）でみると、「非常に興味がある」と「少しは興味がある」の合計について、岐阜地域では『家庭ごみ・食品ロスの削減』が他の所在地と比べて低くなっています。

図 3-3-3 【所在地別】 関心がある環境問題



問4 貴団体において、現在実施されている環境活動と今後実施したい環境活動について、次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【項目】

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| (1) 地球温暖化防止活動 | (2) エコ通勤・エコドライブに関する活動 |
| (3) 省エネルギー・再生エネルギー等に関する活動 | (4) 地産地消に関する活動 |
| (5) 自然保護活動 | (6) 希少動植物の保護活動 |
| (7) 外来種の防除活動 | (8) 里地・里山の保全活動 |
| (9) 市街地等の緑化に関する活動 | (10) 森林整備に関する活動 |
| (11) ごみ減量化に関する活動 | (12) 3Rに関する活動 |
| (13) 食品ロス削減に関する活動 | (14) グリーン購入に関する活動 |
| (15) 水環境の保全に関する活動 | (16) 土壌環境の保全に関する活動 |
| (17) 大気環境の保全に関する活動 | (18) 生活環境の保全に関する活動 |
| (19) 環境美化活動 | (20) 自然体験等などの環境教育活動 |
| (21) 教育機関と連携した環境教育活動 | (22) その他 |

【選択肢】

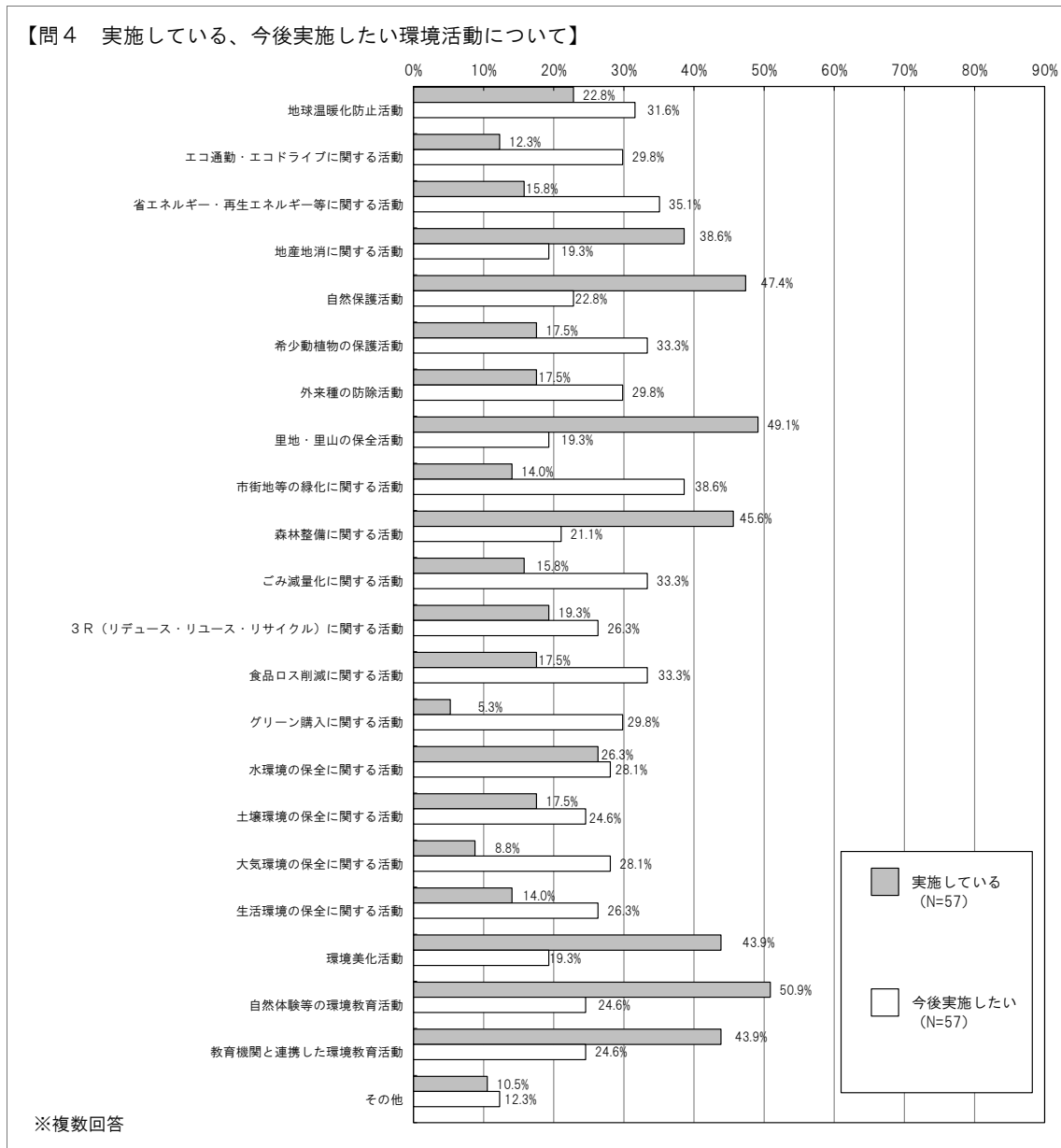
1. 現在実施している

2. 今後実施したい

全体（図 3-4-1）でみると、「現在実施している」について、『自然体験等などの環境教育活動』が 50.9%と最も高く、次いで『里地・里山の保全活動』（49.1%）、『自然保護活動』（47.4%）の順となっています。

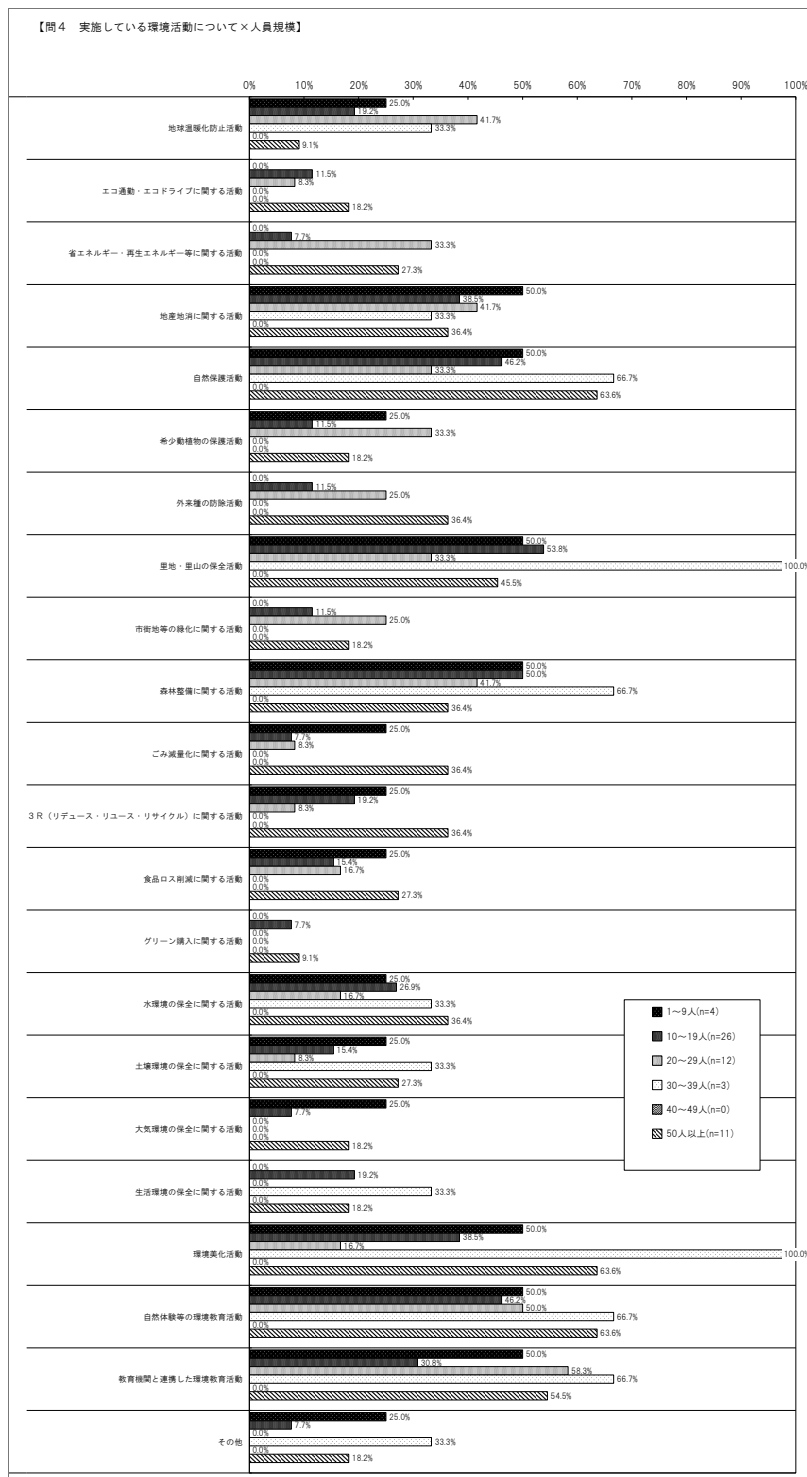
また、「今後実施したい」について、『市街地等の緑化に関する活動』が 38.6%と最も高く、次いで『省エネルギー・再生エネルギー等に関する活動』（35.1%）、『希少動植物の保護活動』、『ごみ減量化に関する活動』（ともに 33.3%）の順となっています。

図 3-4-1 実施している、今後実施したい環境活動

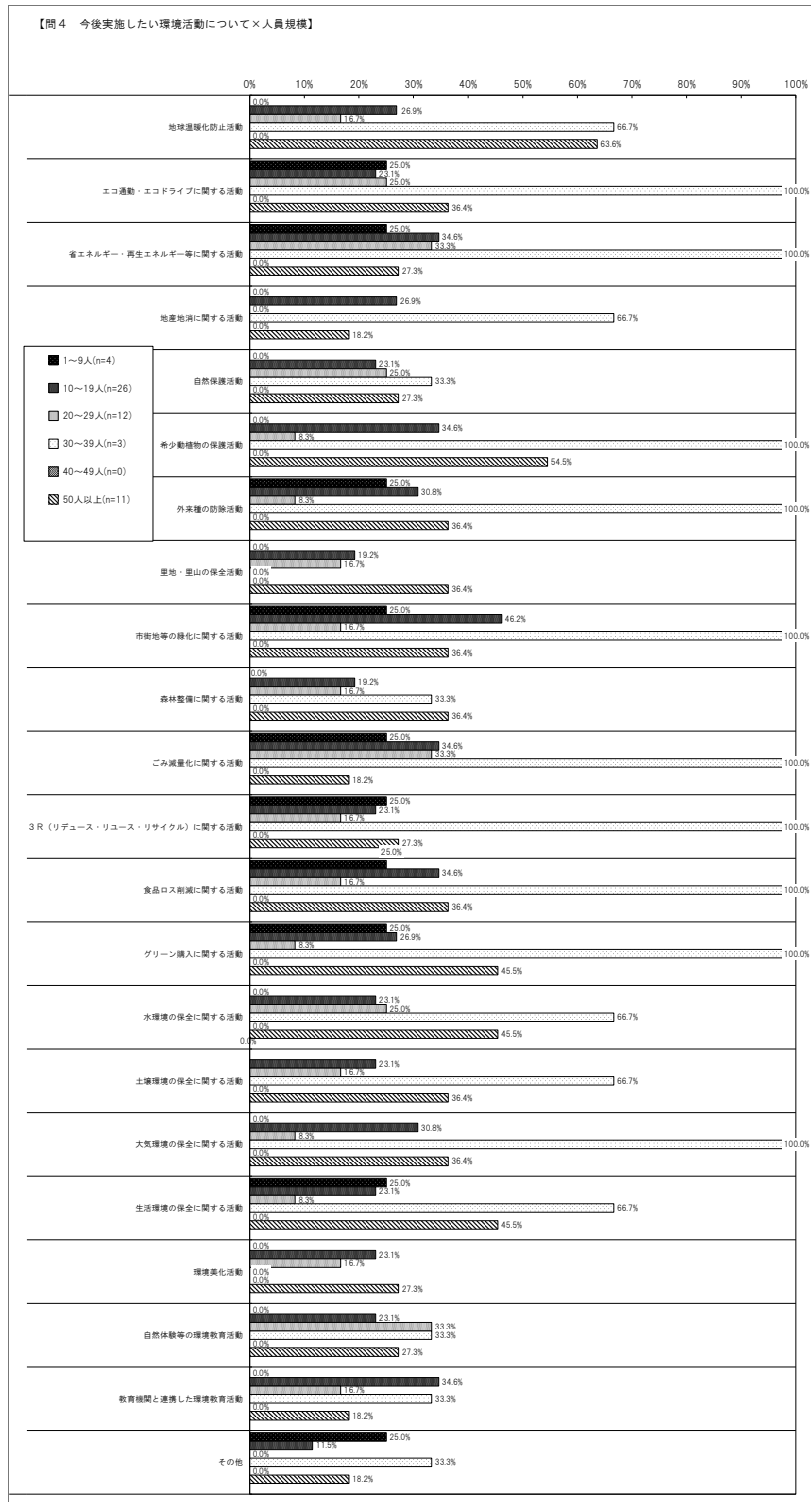


人員規模別（図 3-4-2）でみると、「現在実施している」について、20～29 人では『地球温暖化防止活動』が他の人員規模と比べて高くなっています。「今後実施したい」について、50 人以上では『希少動植物の保護活動』が 5 割を超えて高くなっています。

図 3-4-2 【人員規模別】実施している、今後実施したい環境活動
 <実施している環境活動>

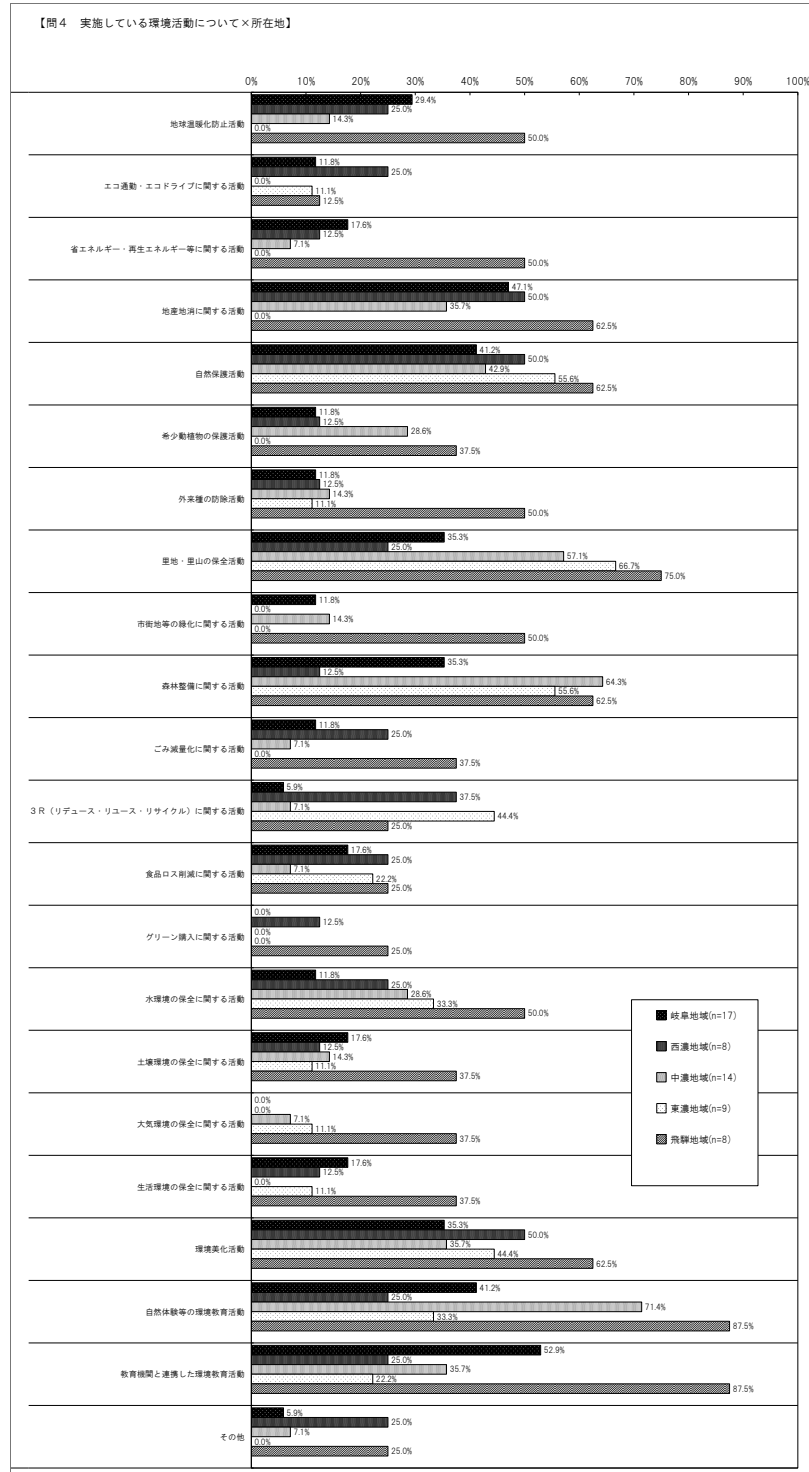


＜今後実施したい環境活動＞

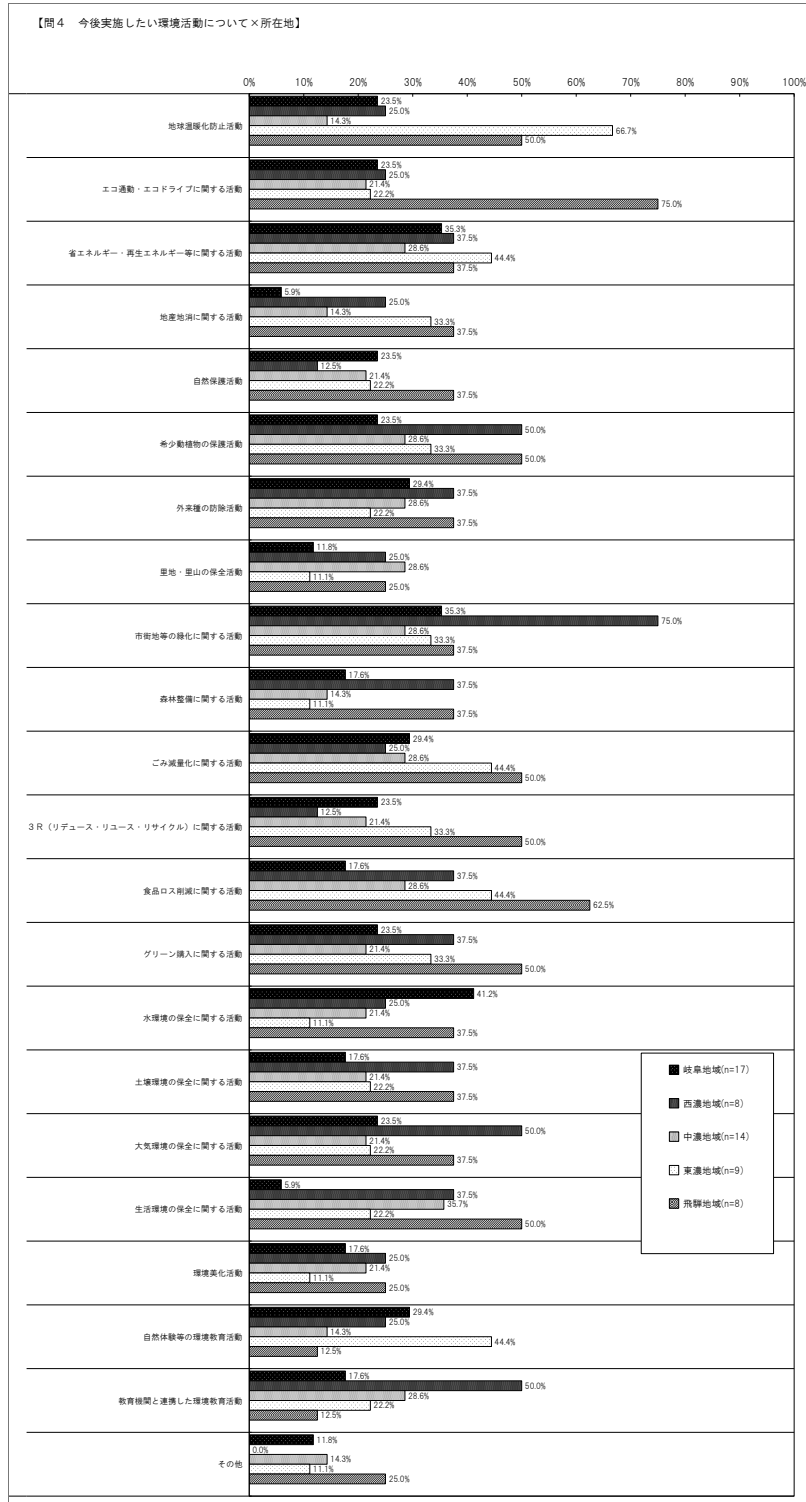


所在地別（図 3-4-3）でみると、「現在実施している」について、岐阜地域では『水環境の保全に関する活動』が他の所在地と比べて低くなっています。「今後実施したい」について、中濃地域では『地球温暖化防止活動』が他の所在地と比べて低くなっています。

図 3-4-3 【所在地別】実施している、今後実施したい環境活動
 <実施している環境活動>



＜今後実施したい環境活動＞

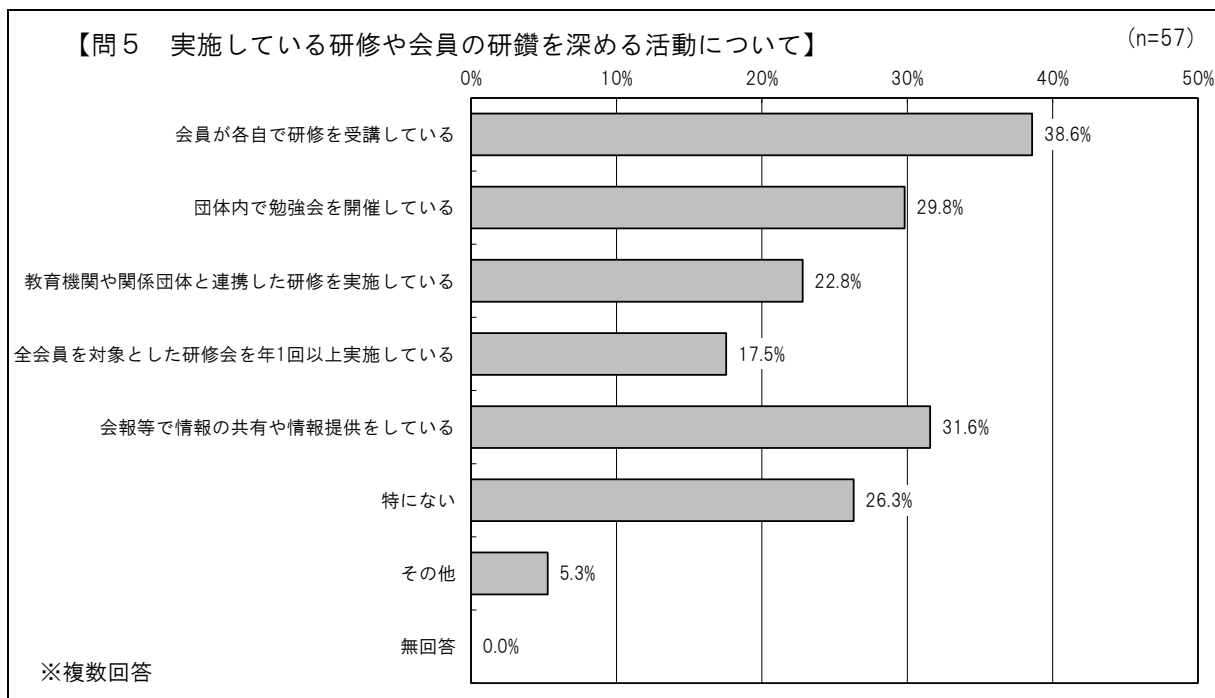


問5 貴団体内で実施している研修や会員の研鑽を深める活動について、次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 会員が各自で研修を受講している
- (2) 団体内で勉強会を開催している
- (3) 教育機関や関係団体と連携した研修を実施している
- (4) 全会員を対象とした研修会を年1回以上実施している
- (5) 会報等で情報の共有や情報提供をしている
- (6) 特にない
- (7) その他

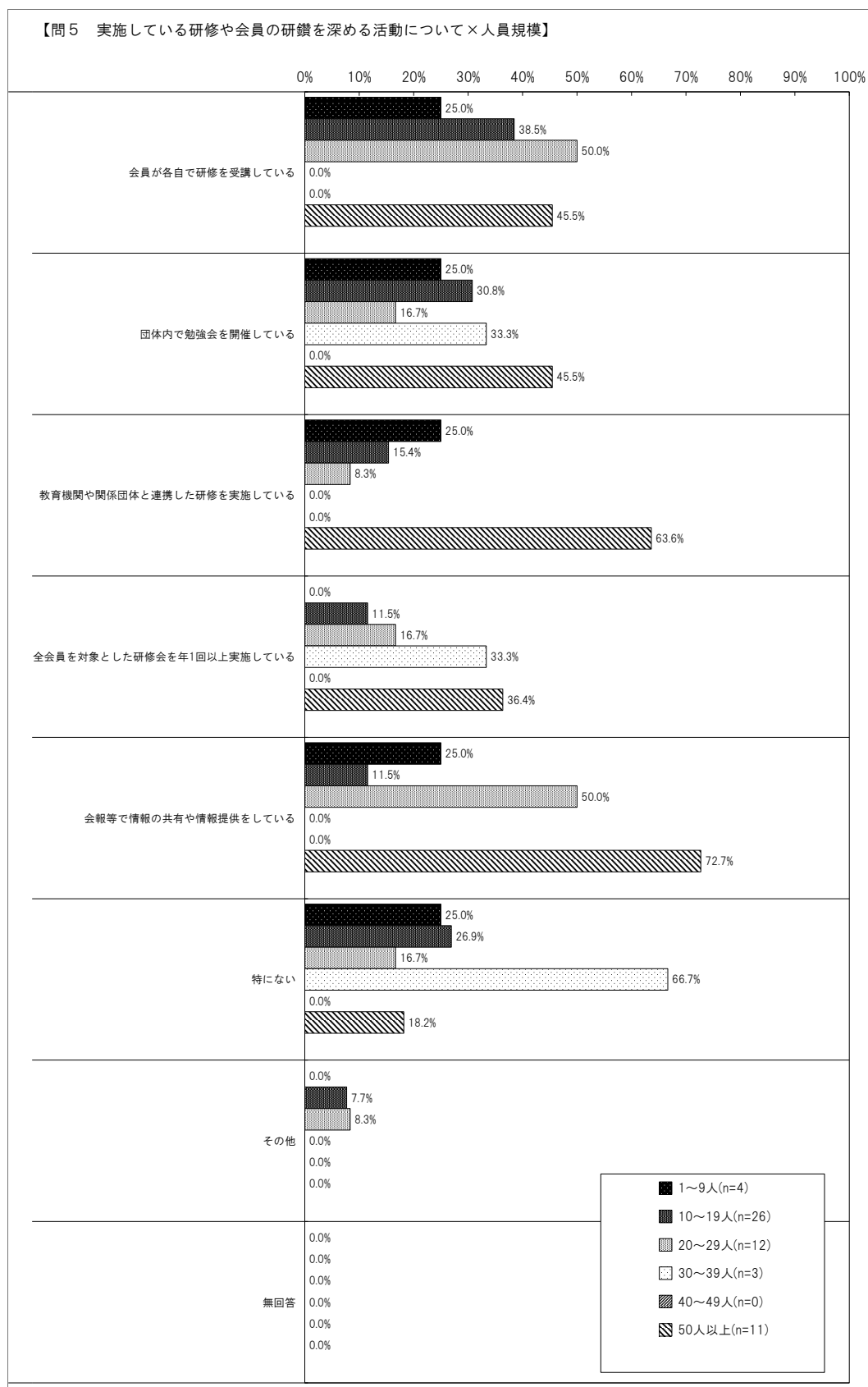
全体(図3-5-1)で見ると、「会員が各自で研修を受講している」が38.6%と最も高く、次いで「会報等で情報の共有や情報提供をしている」(31.6%)、「団体内で勉強会を開催している」(29.8%)の順となっています。

図3-5-1 実施している研修や会員の研鑽を深める活動



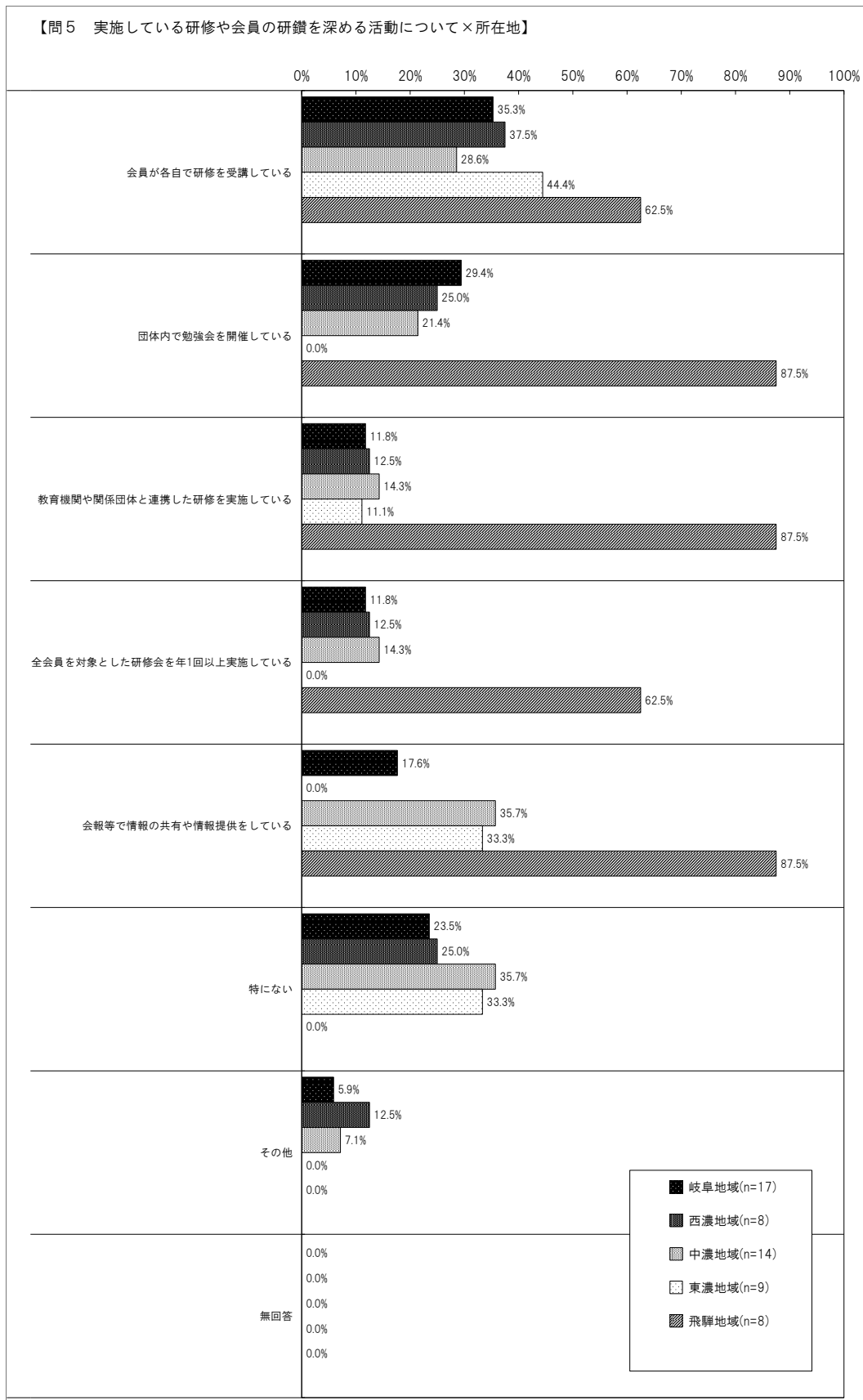
人員規模別（図 3-5-2）でみると、50 人以上では「教育機関や関係団体と連携した研修を実施している」や「会報等で情報の共有や情報提供をしている」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 3-5-2 【人員規模別】実施している研修や会員の研鑽を深める活動



所在地別（図 3-5-3）で見ると、岐阜地域では「会員が各自で研修を受講している」が高くなっています。

図 3-5-3 【所在地別】実施している研修や会員の研鑽を深める活動



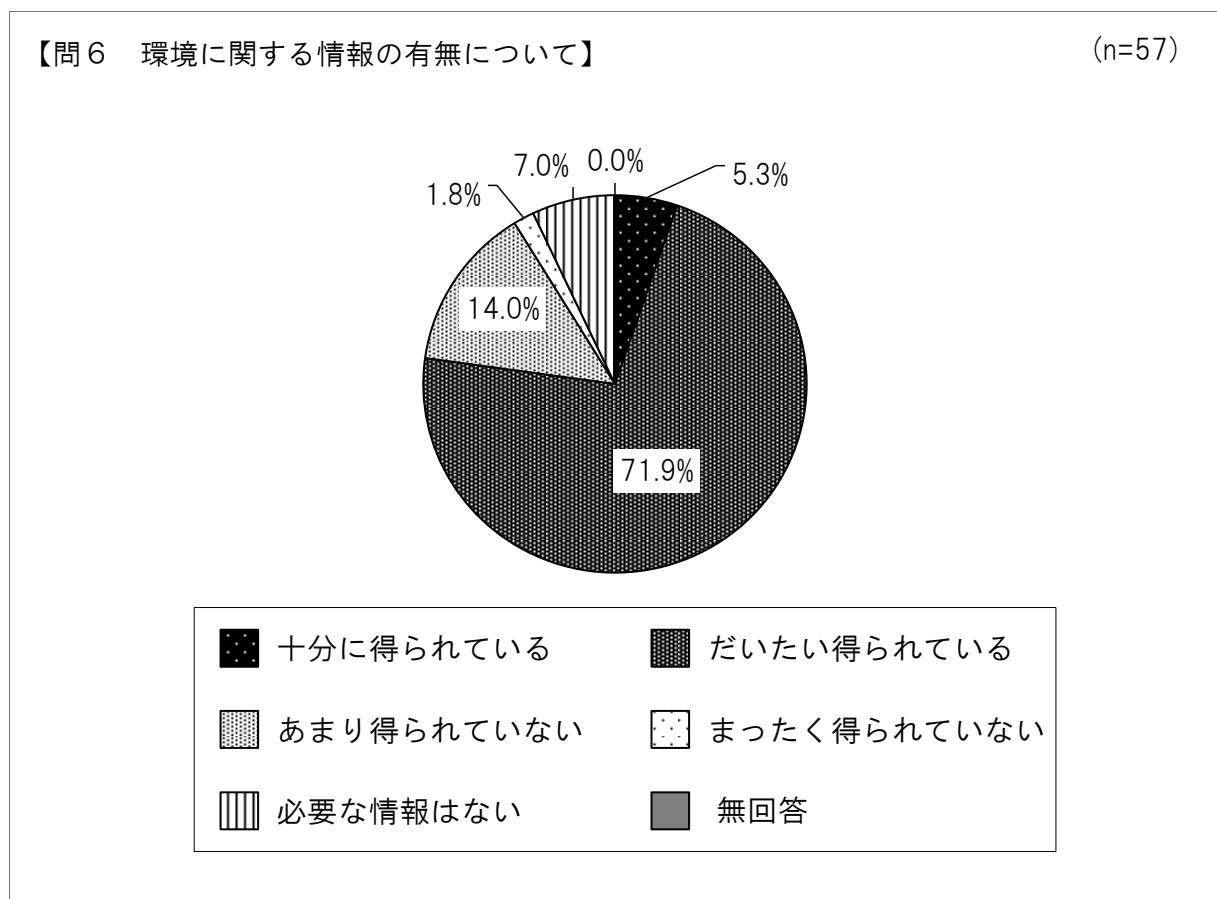
3-2 環境に関する情報について

問6 貴団体が環境問題を考えたり、環境活動を行ううえで必要な情報は得られていますか。
 次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)
 (3)、(4)に○をつけた方で、分かる方は、併せて得られていない情報を記入してください。

(1) 十分に得られている
 (2) だいたい得られている
 (3) あまり得られていない
 (4) まったく得られていない
 (5) 必要な情報はない

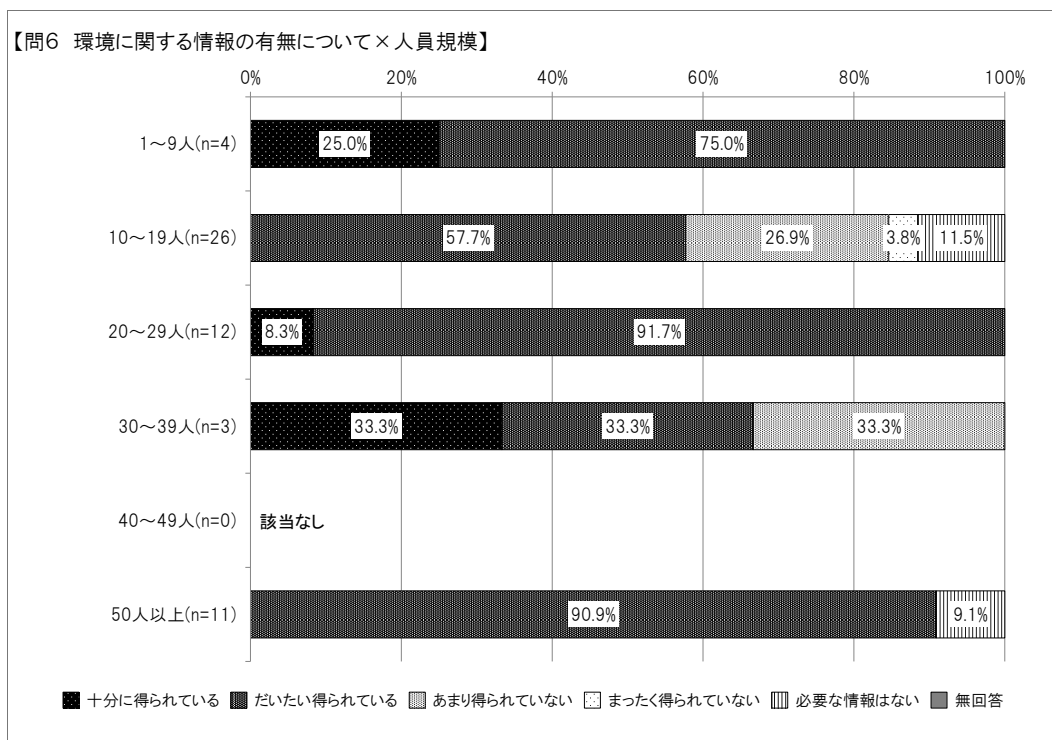
全体(図3-6-1)で見ると、「だいたい得られている」が71.9%と最も高く、次いで「あまり得られていない」(14.0%)の順となっています。

図 3-6-1 環境に関する情報の有無



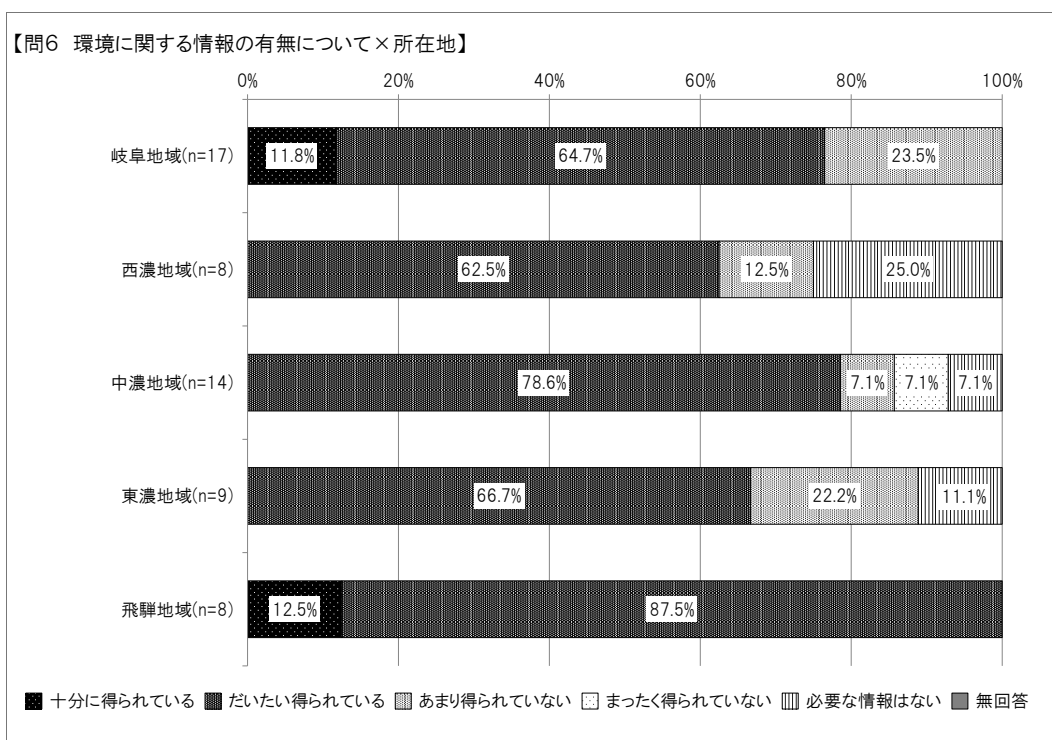
人員規模別（図 3-6-2）でみると、10～19 人で「まったく得られていない」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 3-6-2 【人員規模別】環境に関する情報の有無



所在地別（図 3-6-3）でみると、中濃地域では「まったく得られていない」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 3-6-3 【所在地別】環境に関する情報の有無



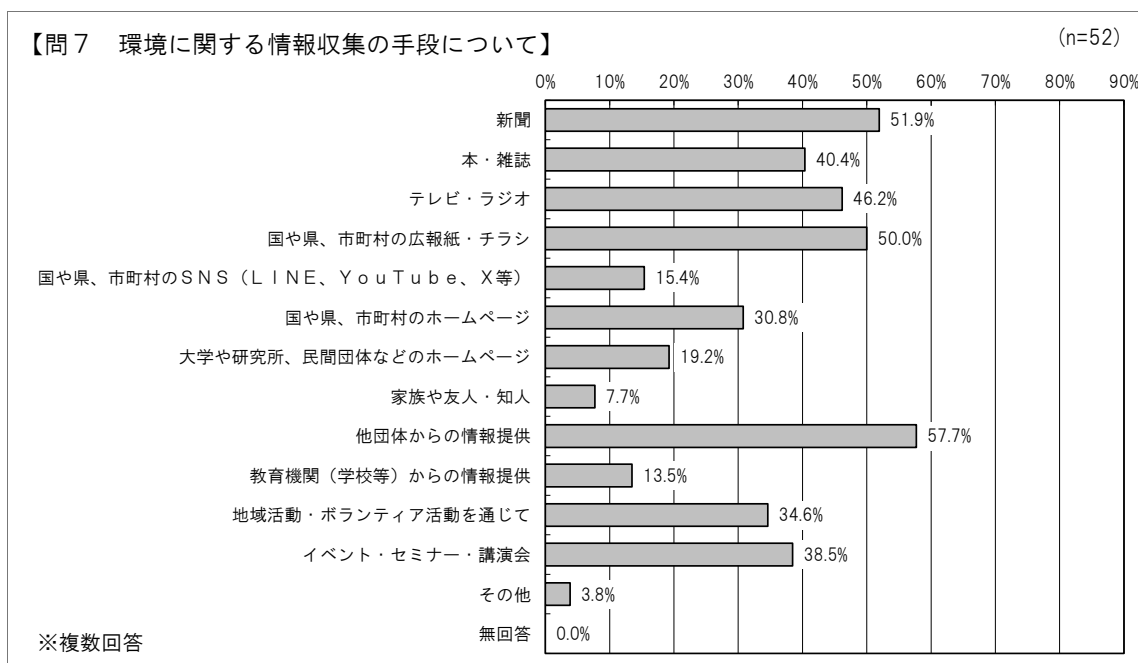
問7 問6で(1)～(3)を選んだ方に伺います。貴団体が環境問題を考えたり、環境活動を行ううえで必要な情報を得る主な手段は何ですか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のSNS (LINE、YouTube、X (旧Twitter) 等)
- (6) 国や県、市町村のホームページ
- (7) 大学や研究所、民間団体などのホームページ
- (8) 家族や友人・知人
- (9) 他団体からの情報提供
- (10) 教育機関(学校等)からの情報提供
- (11) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (12) イベント・セミナー・講演会
- (13) その他

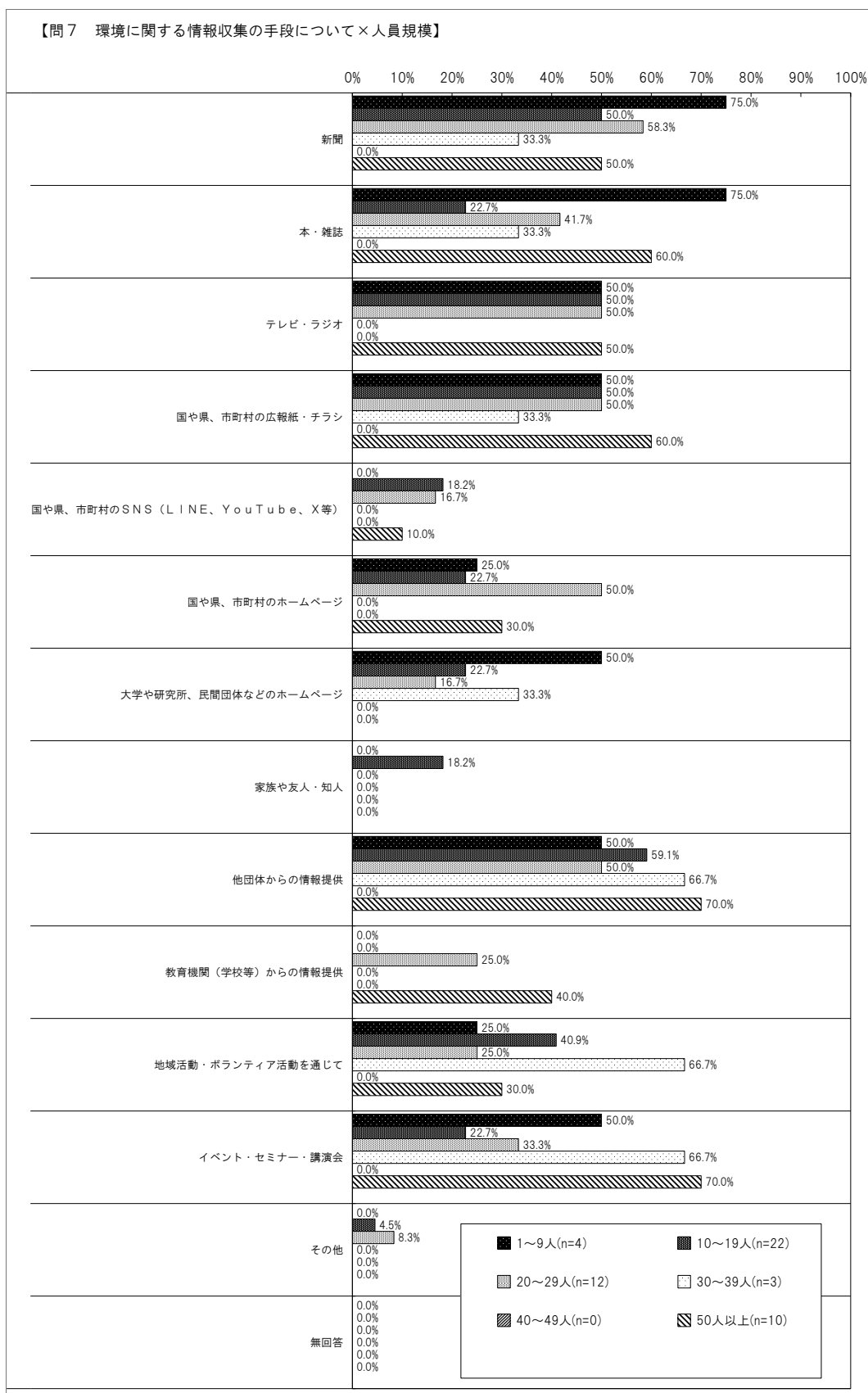
全体(図3-7-1)で見ると、「他団体からの情報提供」が57.7%と最も高く、次いで「新聞」(51.9%)、「国や県、市町村の広報紙・チラシ」(50.0%)の順となっています。

図3-7-1 環境に関する情報収集の手段



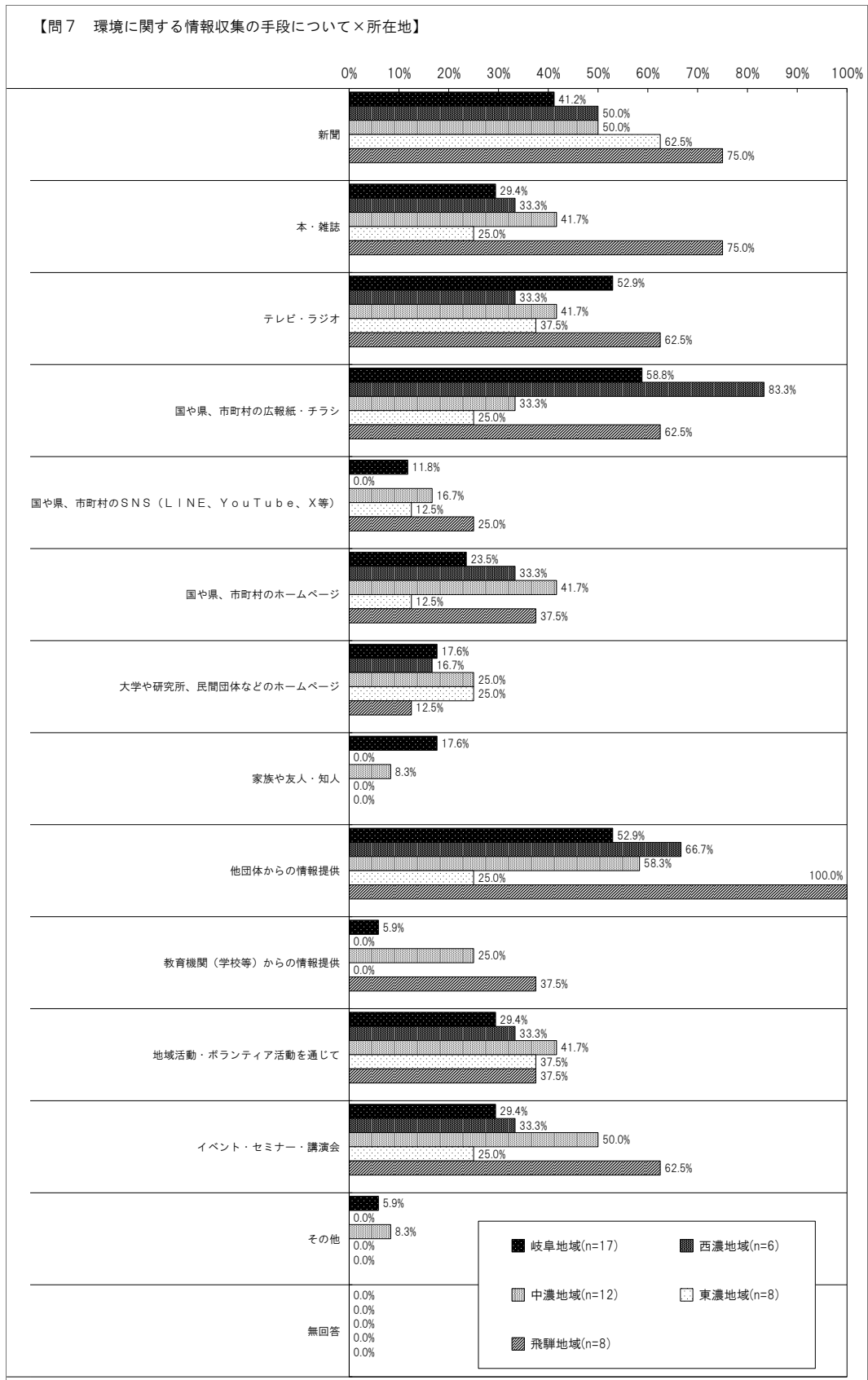
人員規模別（図 3-7-2）でみると、20～29 人では「国や県、市町村のホームページ」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 3-7-2 【人員規模別】環境に関する情報収集の手段



所在地別（図 3-7-3）で見ると、中濃地域では「国や県、市町村のホームページ」や「地域活動・ボランティア活動を通じて」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 3-7-3 【所在地別】環境に関する情報収集の手段

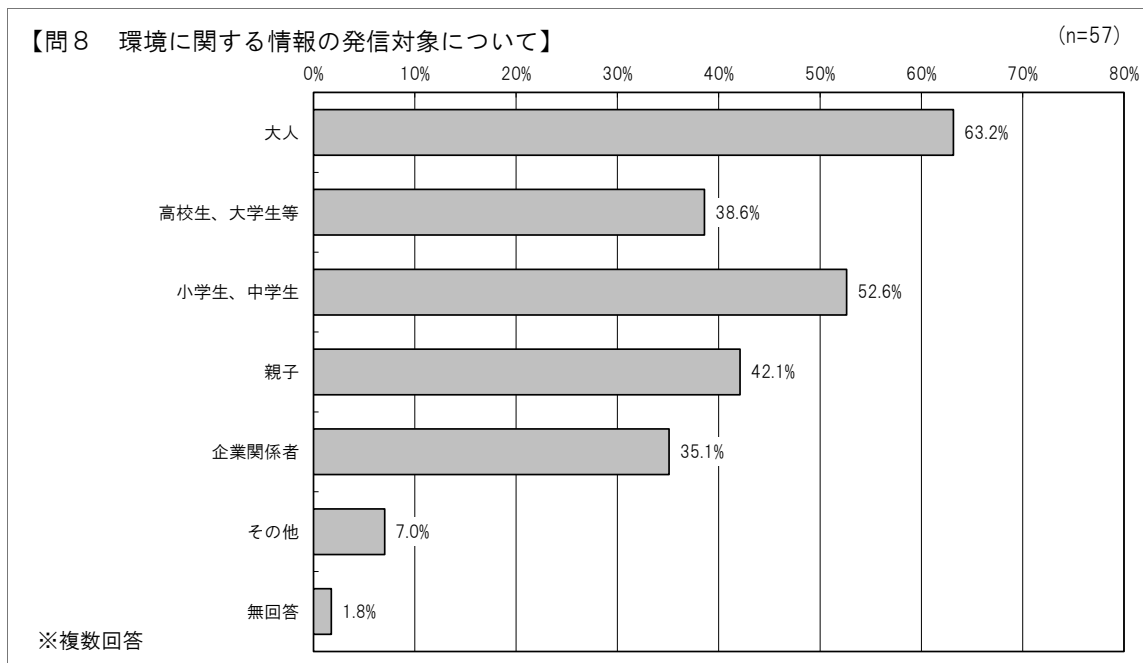


問8 貴団体が実施している環境活動には、どのような人に参加してもらいたいですか。
 次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 大人
- (2) 高校生、大学生等
- (3) 小学生、中学生
- (4) 親子
- (5) 企業関係者
- (6) その他

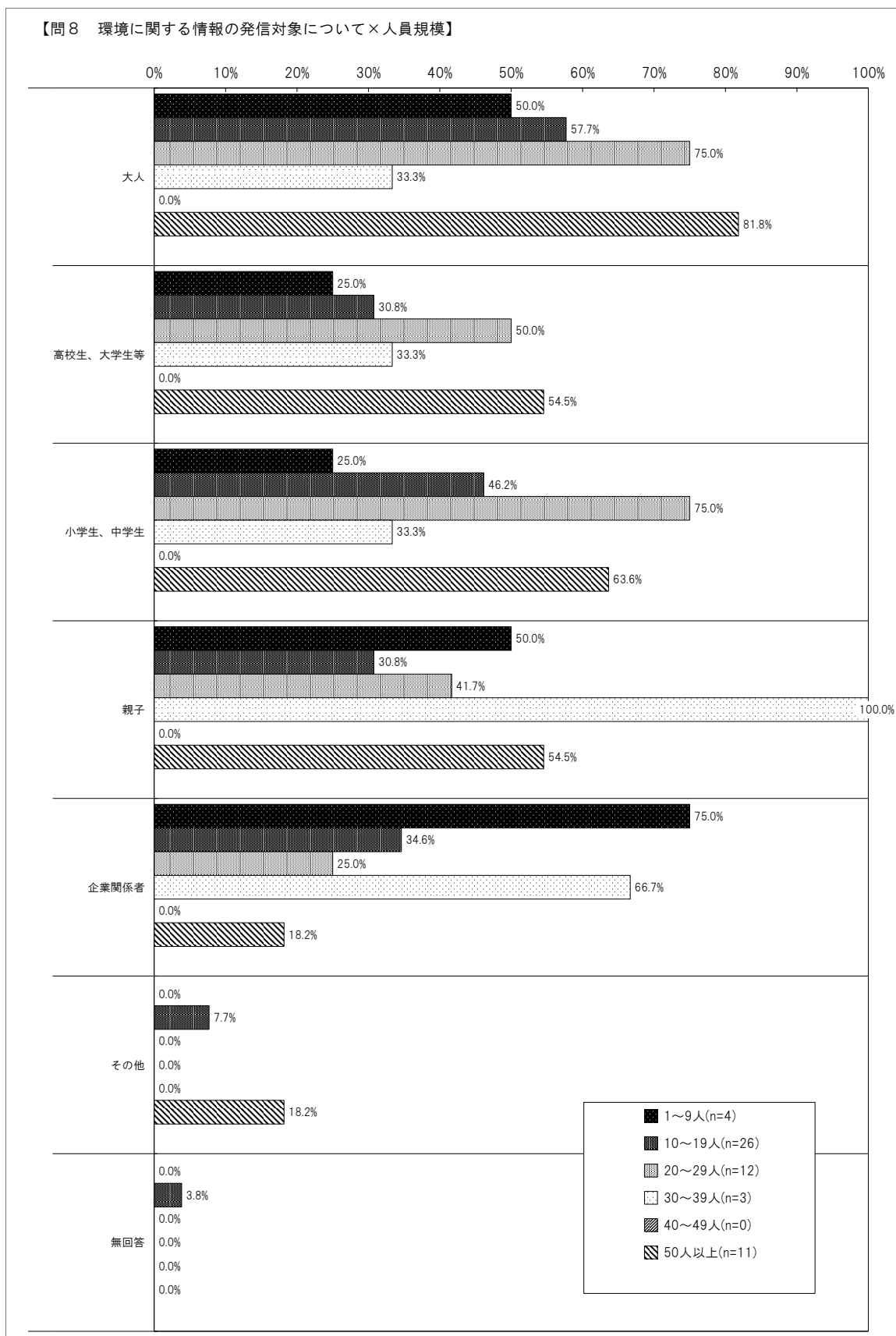
全体(図3-8-1)で見ると、「大人」が63.2%と最も高く、次いで「小学生、中学生」(52.6%)、「親子」(42.1%)の順となっています。

図3-8-1 環境に関する情報の発信対象



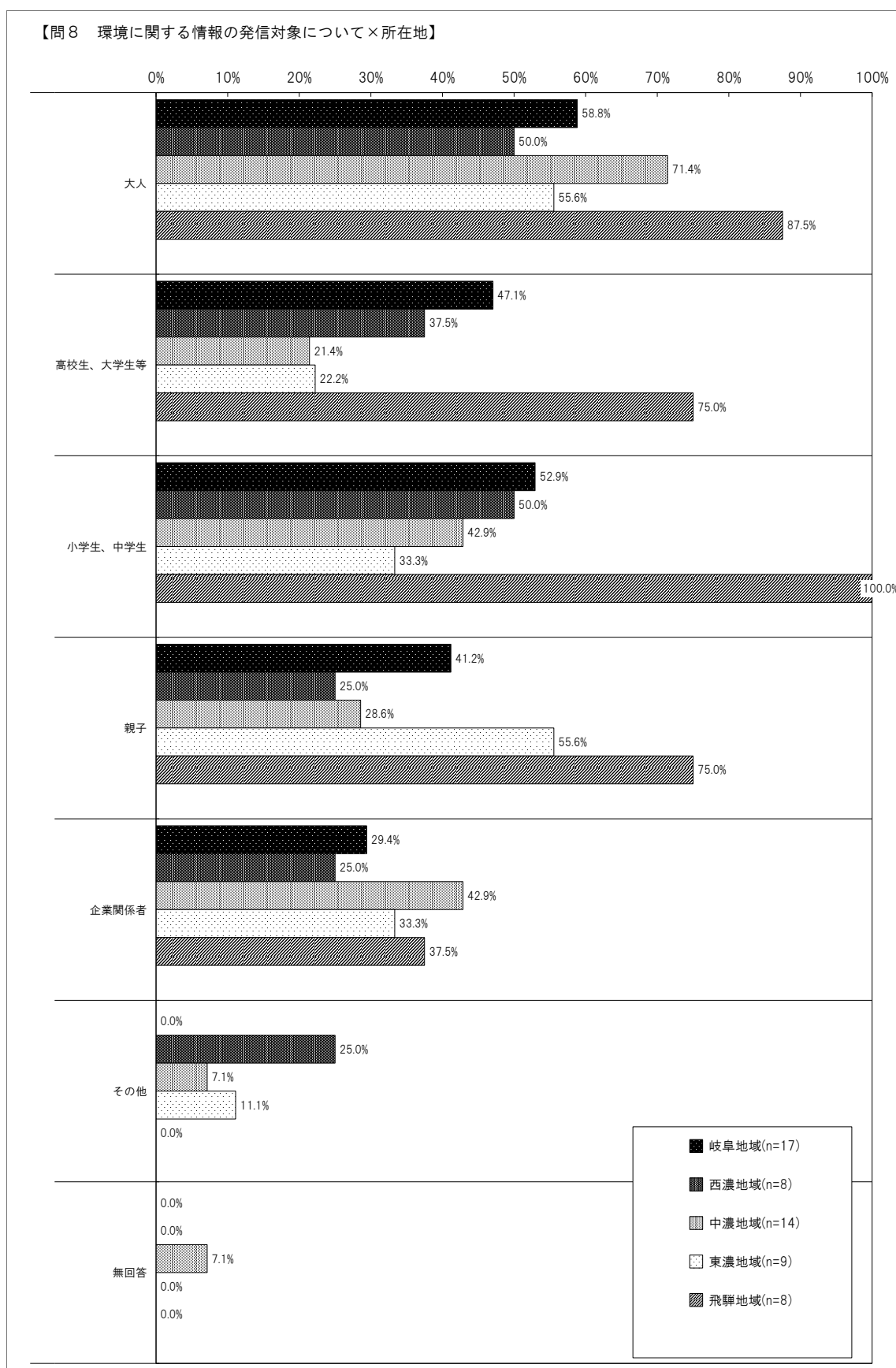
人員規模別（図 3-8-2）でみると、20～29 人では「小学生、中学生」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 3-8-2 【人員規模別】環境に関する情報の発信対象



所在地別（図 3-8-3）で見ると、中濃地域では「企業関係者」が他の所在地と比べて高くなっています。

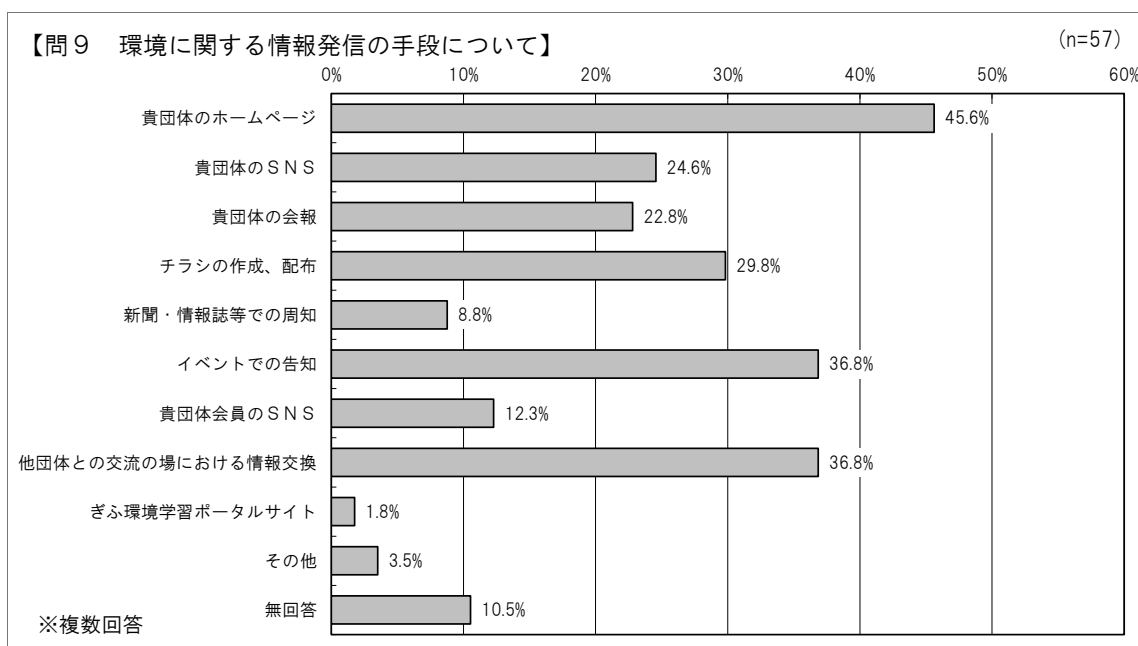
図 3-8-3 【所在地別】環境に関する情報の発信対象



- 問9 貴団体が行っている環境活動の情報をどのように発信していますか。
 次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)
- (1) 貴団体のホームページ
 - (2) 貴団体のSNS
 - (3) 貴団体の会報
 - (4) チラシの作成、配布
 - (5) 新聞・情報誌等での周知
 - (6) イベントでの告知
 - (7) 貴団体会員のSNS
 - (8) 他団体との交流の場における情報交換
 - (9) ぎふ環境学習ポータルサイト
 - (10) その他

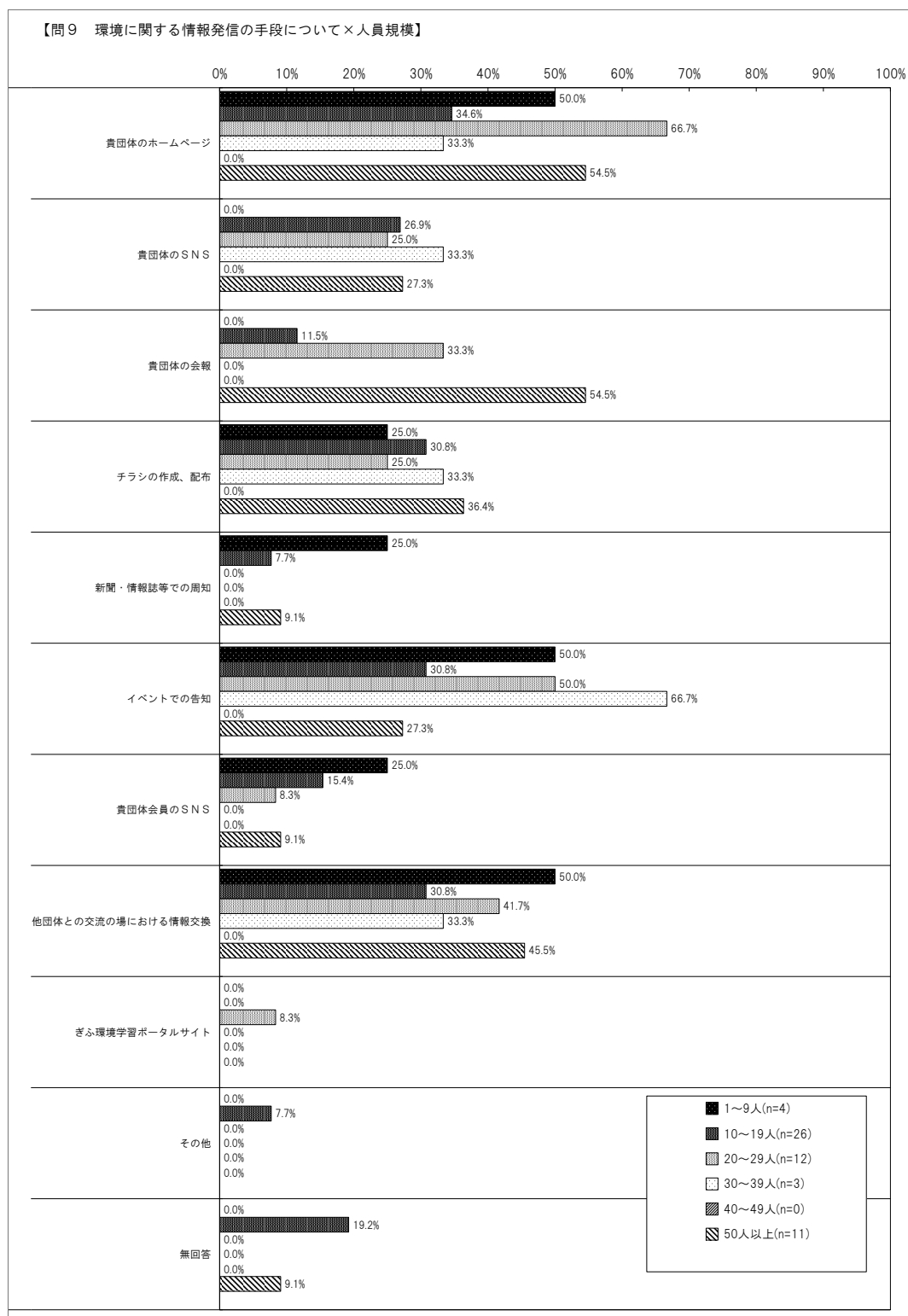
全体(図3-9-1)で見ると、「貴団体のホームページ」が45.6%と最も高く、次いで「イベントでの告知」、「他団体との交流の場における情報交換」(ともに36.8%)の順となっています。

図3-9-1 環境に関する情報発信の手段



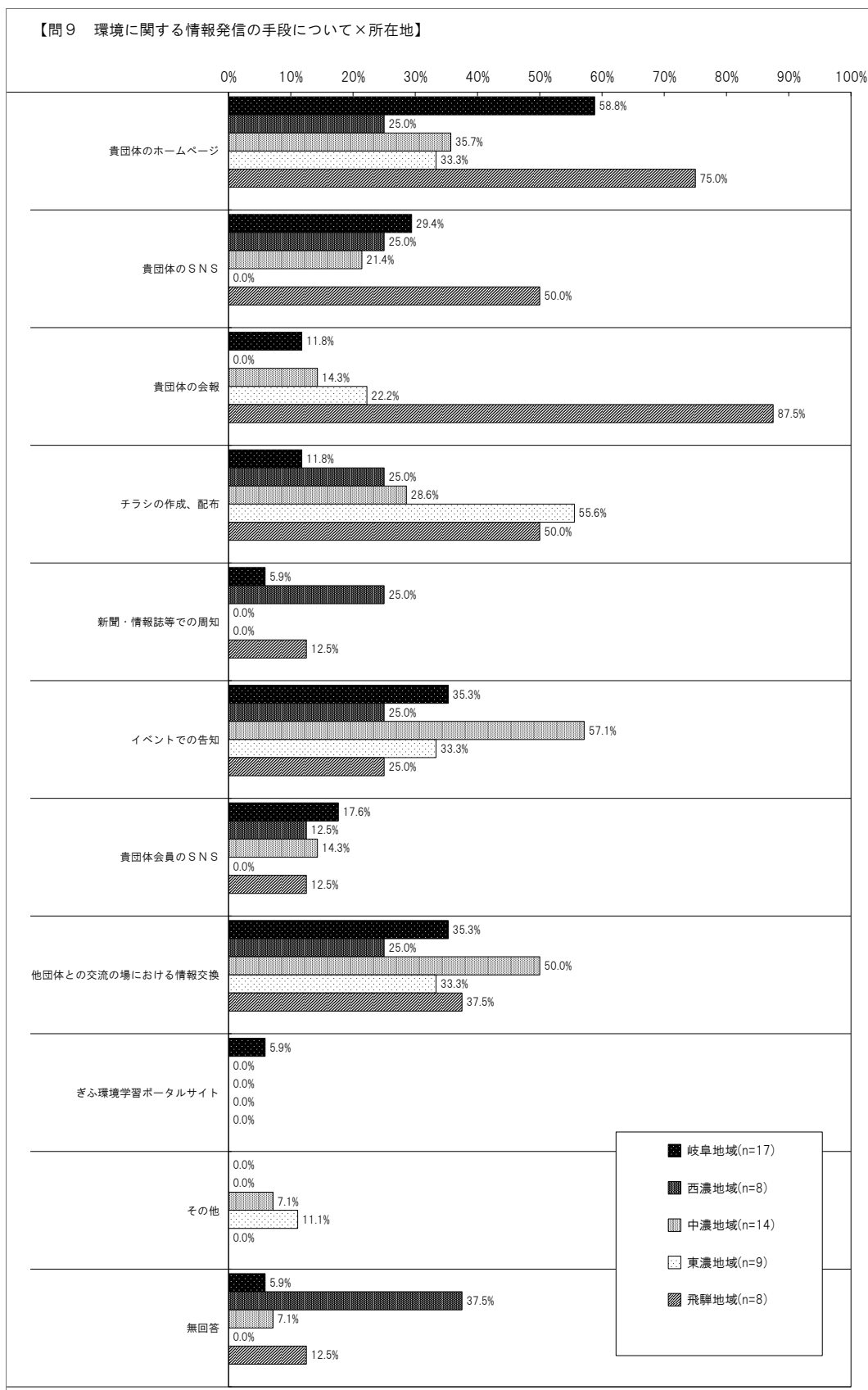
人員規模別（図 3-9-2）でみると、50 人以上では「貴団体の会報」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 3-9-2 【人員規模別】環境に関する情報発信の手段



所在地別（図 3-9-3）で見ると、中濃地域では「イベントでの告知」や「他団体との交流の場における情報交換」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 3-9-3 【所在地別】環境に関する情報発信の手段



3-3 県が実施する環境施策について

問 10 県が現在行っている環境に関する以下の事業について、貴団体はどの程度知っていますか。

次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【項目】

- (1) 「ぎふエコアクション」の推進
- (2) 「脱炭素相談窓口」の設置
- (3) 「気候変動適応センター」における共同研究等の実施
- (4) G-クレジット制度の運用
- (5) 企業との協働による森林づくりの推進
- (6) 「岐阜県野生動物管理推進センター」における野生動物の管理
- (7) ツキノワグマによる被害の防止
- (8) 「ぎふジビエ」の推進
- (9) 「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承
- (10) 中部山岳国立公園の魅力増進事業
- (11) 「清流調査隊」の編成
- (12) 「カワガラスウォッチング(水生生物調査)」の実施
- (13) 「ぎふ食べきり運動」の推進
- (14) 「フードドライブ」の推進
- (15) 「環境にやさしい買い物(グリーン購入)」の普及
- (16) 「岐阜県リサイクル認定製品」の認定
- (17) 岐阜県プラスチック・スマート事業所「ぎふプラスマ!」の登録制度
- (18) 「岐阜県清掃活動ウェブサイト『クリーンアップぎふ～海まで届け清流!～』」の運営
- (19) 「清流ミナモの未来づくり」の推進
- (20) 「清流月間」における普及啓発の実施
- (21) 「環境教育推進員」の派遣
- (22) 「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成
- (23) 「ぎふ環境学習ポータルサイト」の運営
- (24) 「脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー」の開催

【選択肢】

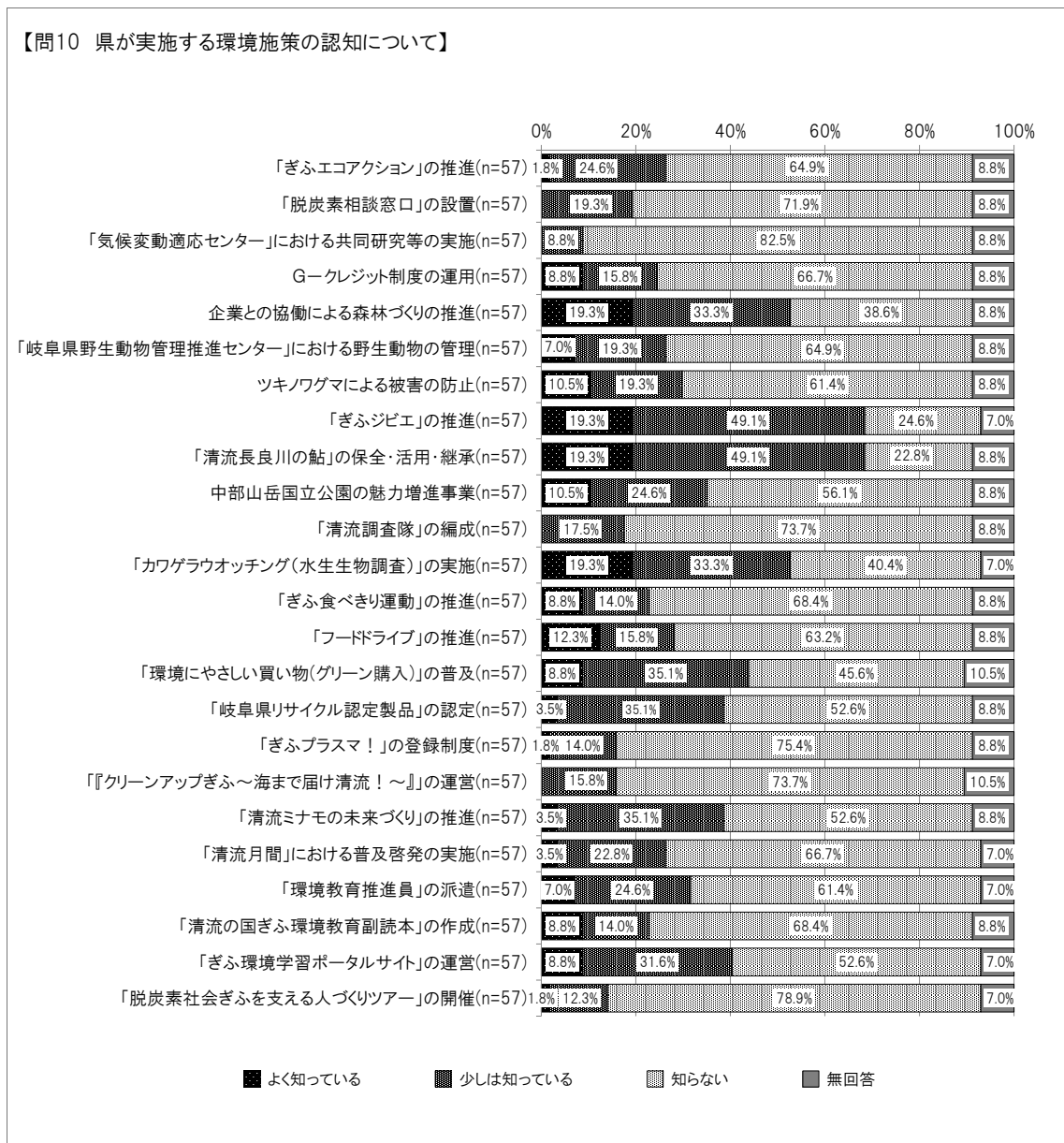
1. よく知っている

2. 少しは知っている

3. 知らない

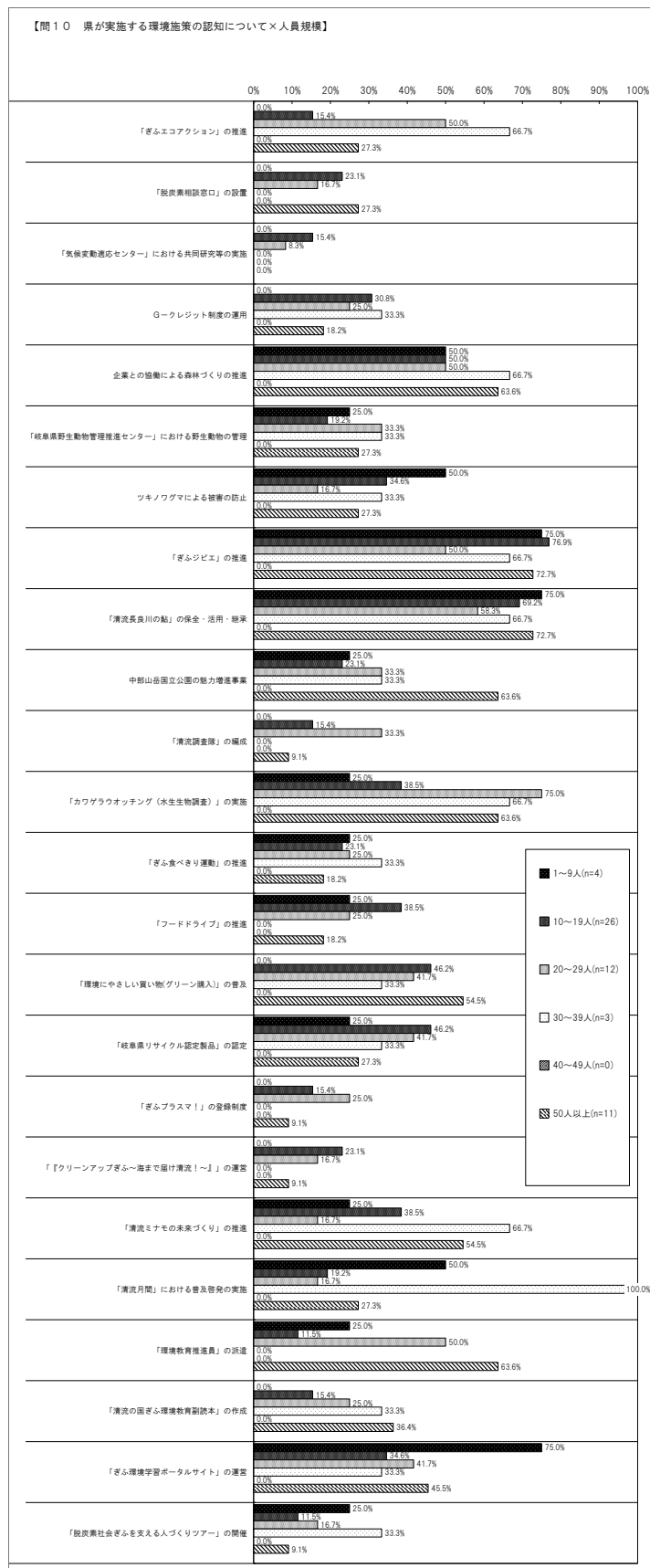
全体（図 3-10-1）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、『「ぎふジビエ」の推進』と『「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承』がともに 68.4%と最も高く、次いで『企業との協働による森林づくりの推進』と『「カワゲラウオッチング（水生生物調査）」の実施』（ともに 52.6%）となっています。

図 3-10-1 県が実施する環境施策の認知



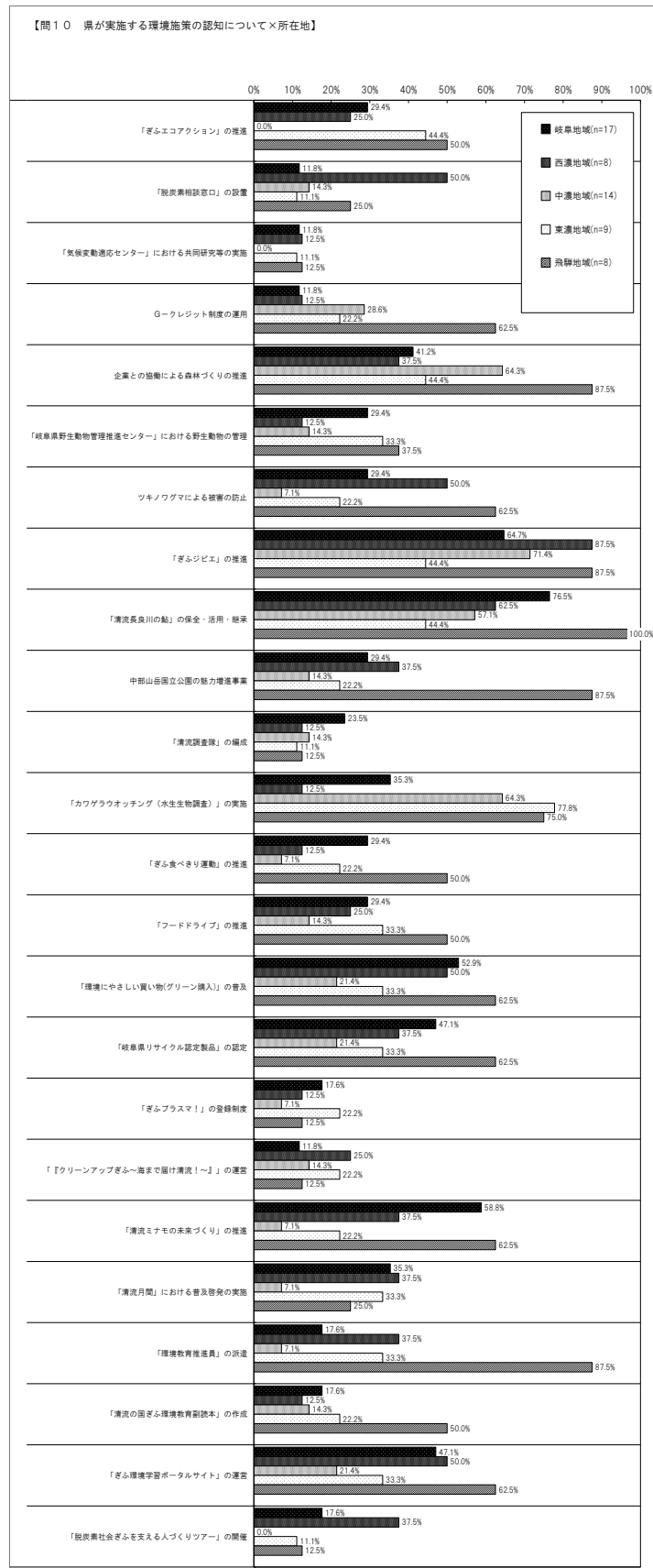
人員規模別（図 3-10-2）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、50人以上では『中部山岳国立公園の魅力増進事業』が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 3-10-2 【人員規模別】県が実施する環境施策の認知



所在地別（図 3-10-3）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、岐阜地域では『「清流調査隊」の編成』が他の所在地と比べて高くなっています。

図 3-10-3 【所在地別】 県が実施する環境施策の認知



4. 企業を対象とする調査結果

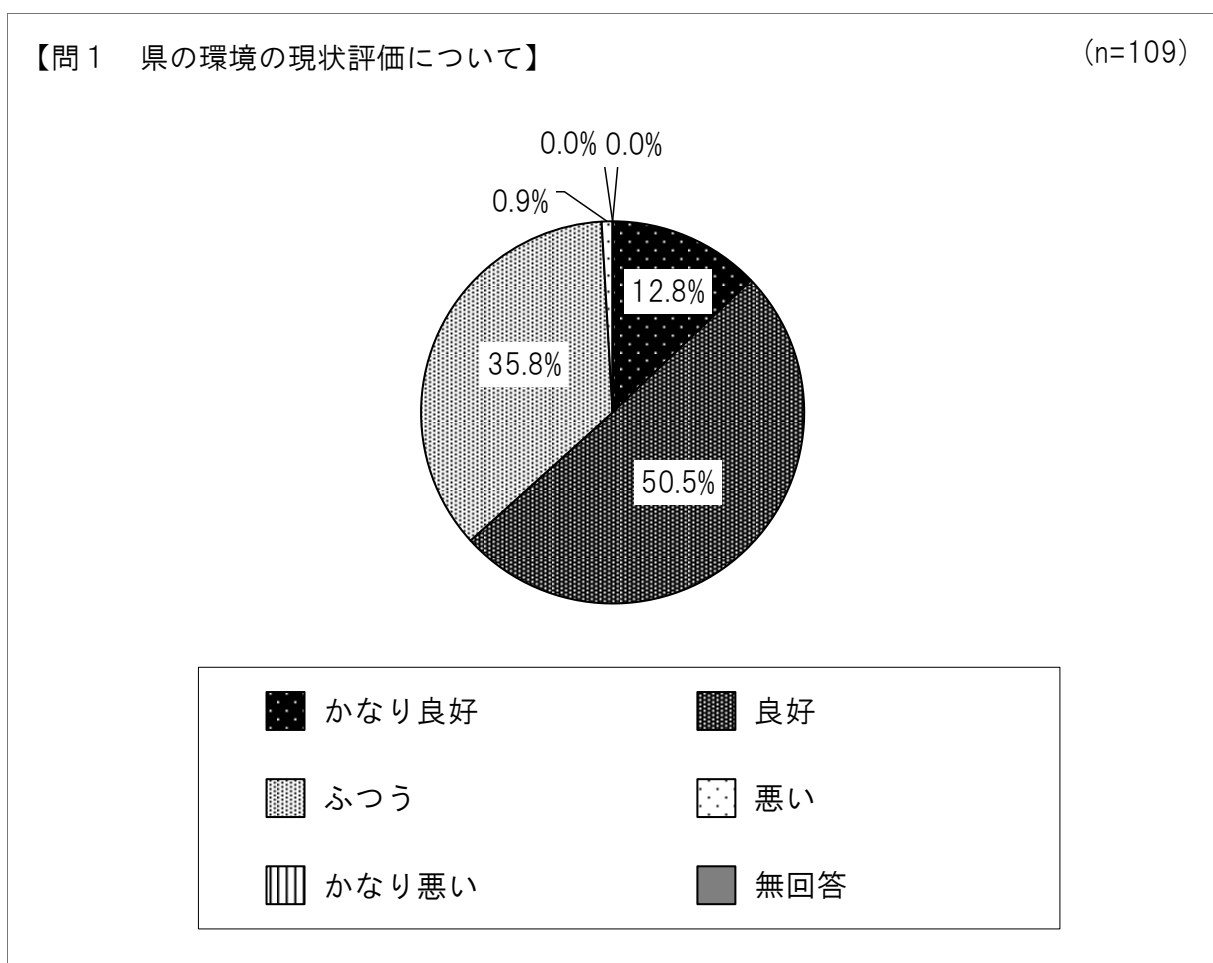
4-1 環境に対する関心や行動について

問1 貴社は、県の環境の現状（水、大気、自然などの状況）について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）
（4）、（5）に○をつけた方は、（ ）内の具体的な分野に○をつけてください。

（1）かなり良好
（2）良好
（3）ふつう
（4）悪い
（具体的な分野：水、土壌、大気、生活環境（騒音・悪臭等）、自然、動植物、その他）
（5）かなり悪い
（具体的な分野：水、土壌、大気、生活環境（騒音・悪臭等）、自然、動植物、その他）

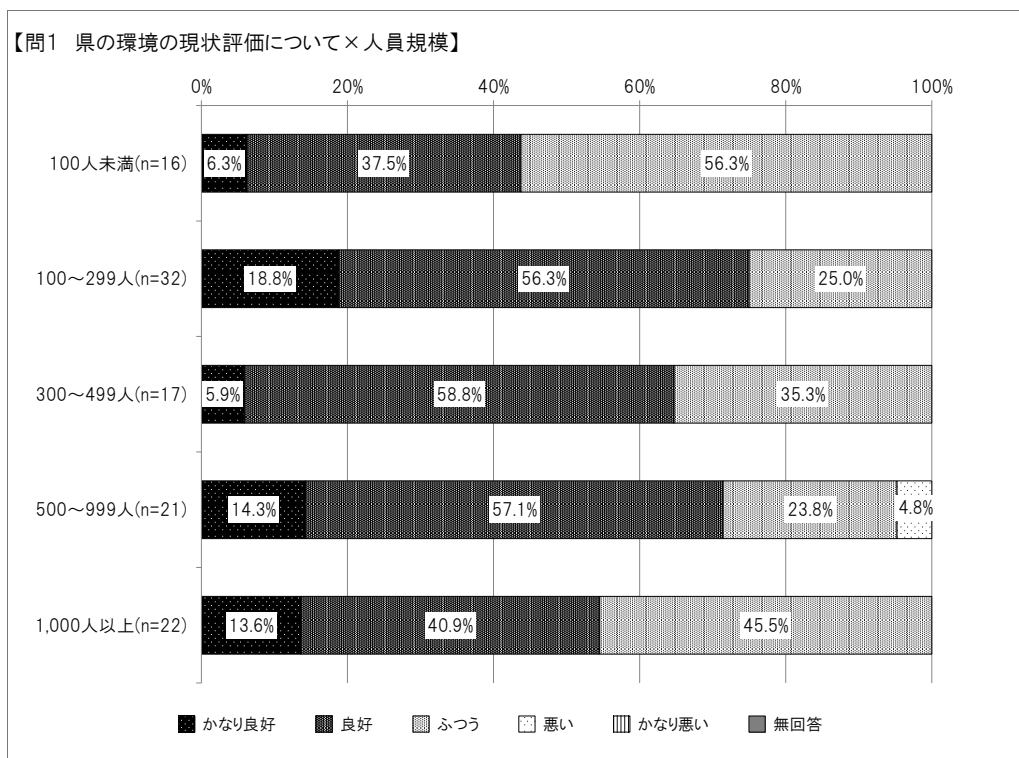
全体（図 4-1-1）で見ると、「良好」が 50.5%と最も高く、次いで「ふつう」（35.8%）、「かなり良好」（12.8%）の順となっています。

図 4-1-1 県の環境の現状評価



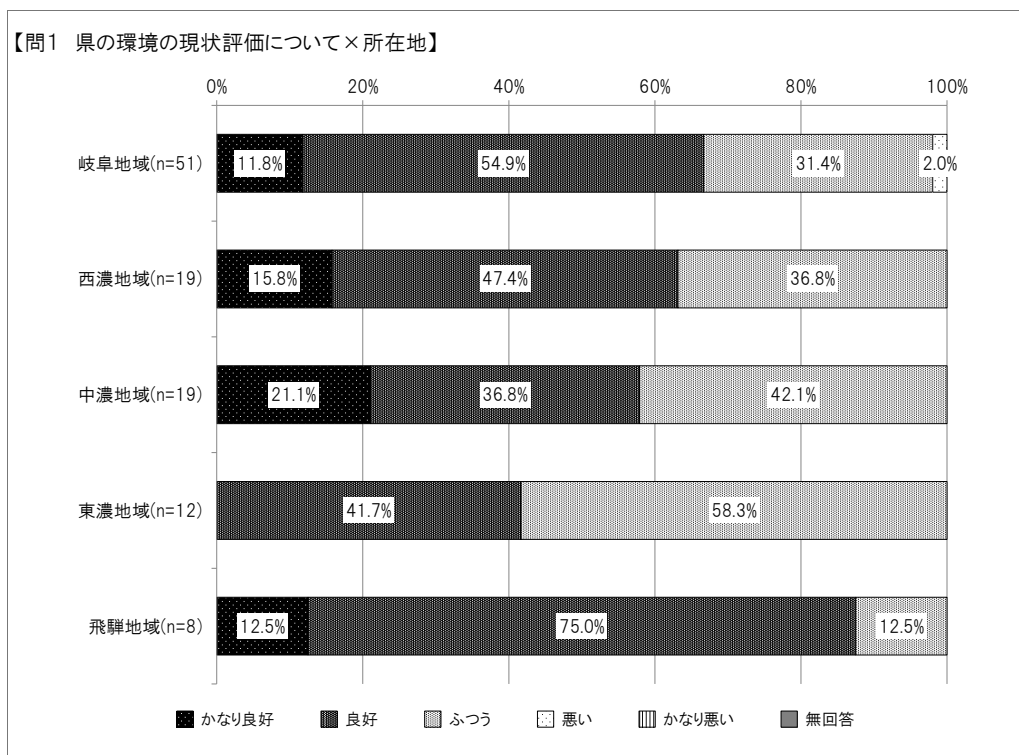
人員規模別（図 4-1-2）で見ると、100 人未満では「ふつう」が半数以上と、他の人員規模と比べて高くなっています。

図 4-1-2 【人員規模別】 県の環境の現状評価



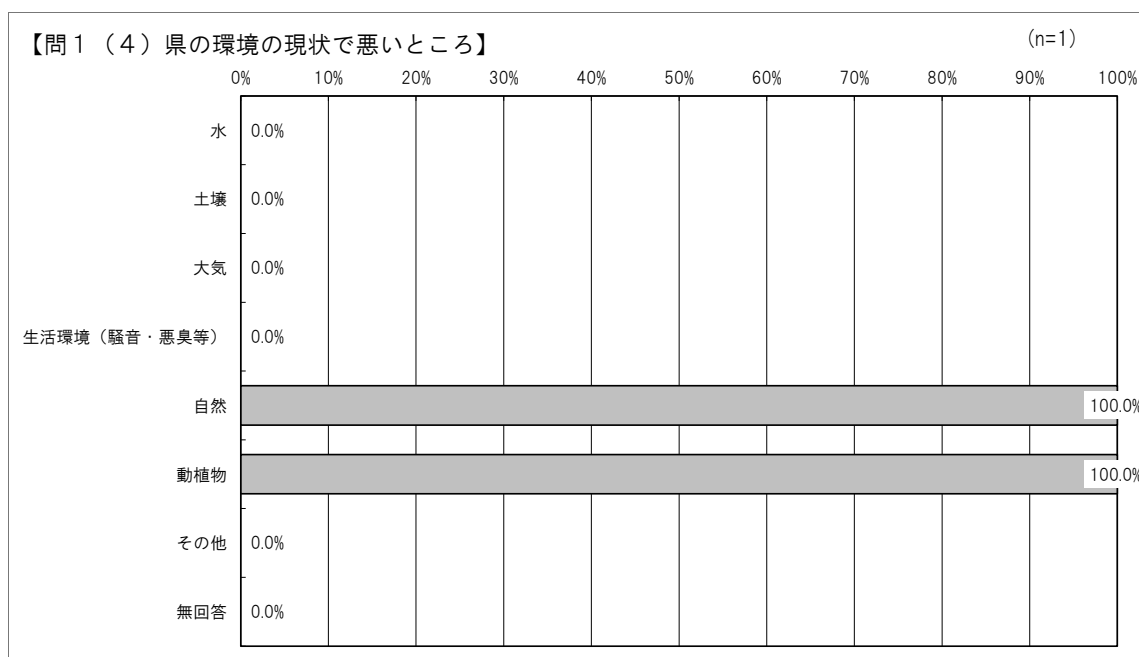
所在地別（図 4-1-3）で見ると、東濃地域では「ふつう」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-1-3 【所在地別】 県の環境の現状評価



「悪い」の具体的分野（図 4-1-4）で見ると、「自然」、「動植物」がともに 100.0% となっていますが、サンプル数が少ないため参考程度に留めます。

図 4-1-4 【「悪い」具体的分野】県の環境の現状評価



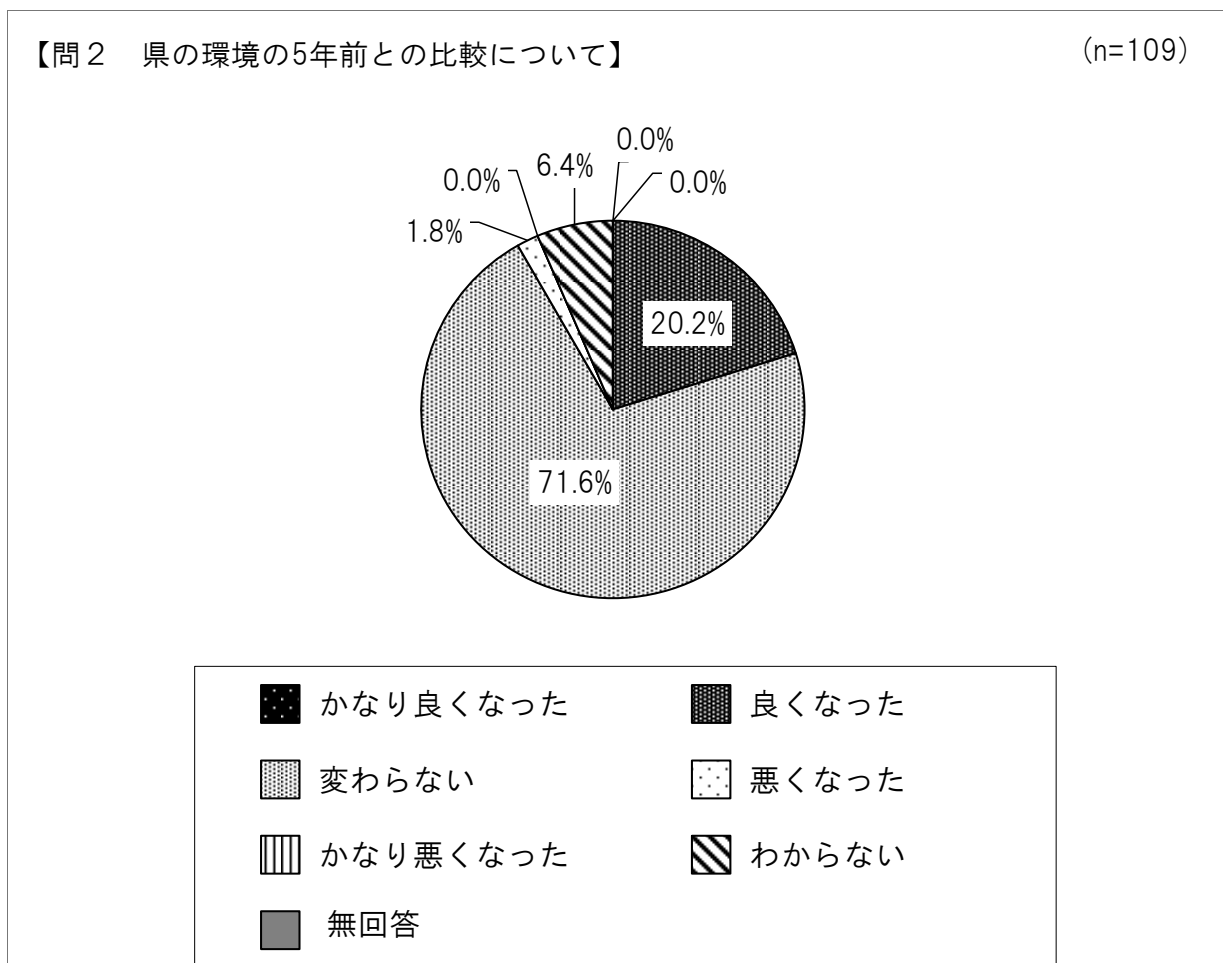
「かなり悪い」の具体的分野は回答者無しとなっています。

問2 貴社は、県の環境の現状について、5年前と比べてどのようになったと感じていますか。
 次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)
 (4)、(5)に○をつけた方は、()内の具体的な分野に○をつけてください。

(1) かなり良くなった
 (2) 良くなった
 (3) 変わらない
 (4) 悪くなった
 (具体的な分野：水、土壌、大気、生活環境(騒音・悪臭等)、自然、動植物、その他)
 (5) かなり悪くなった
 (具体的な分野：水、土壌、大気、生活環境(騒音・悪臭等)、自然、動植物、その他)
 (6) わからない

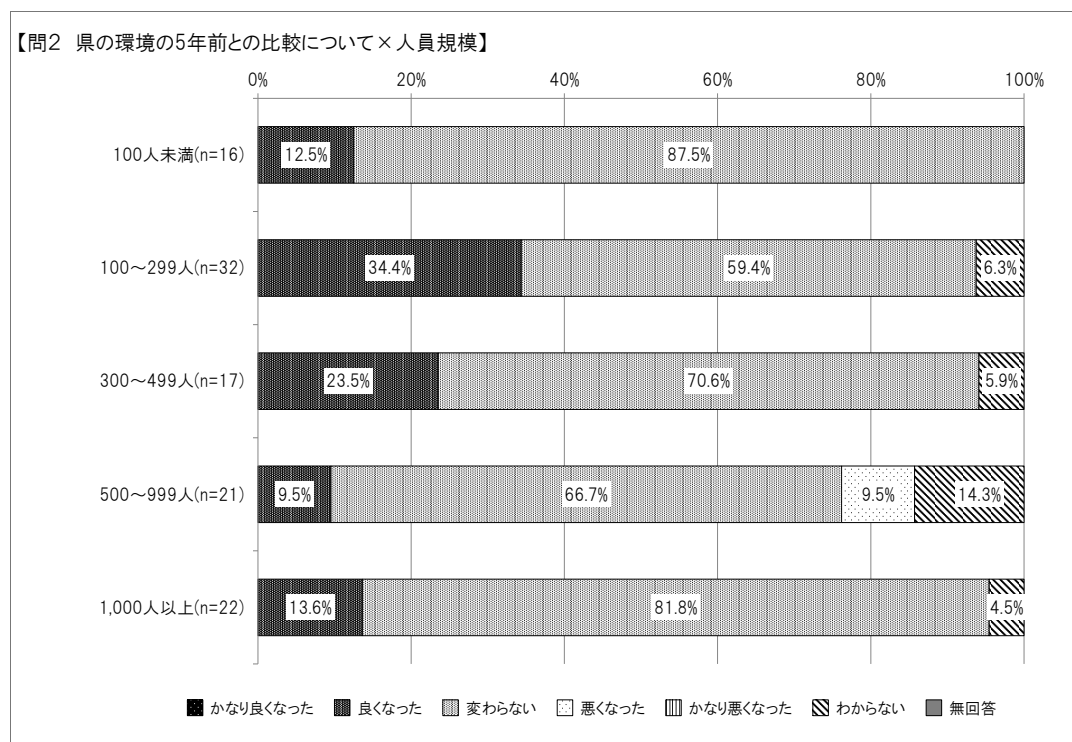
全体(図4-2-1)で見ると、「変わらない」が71.6%と最も高く、次いで「良くなった」(20.2%)、「わからない」(6.4%)の順となっています。

図4-2-1 県の環境の5年前との比較



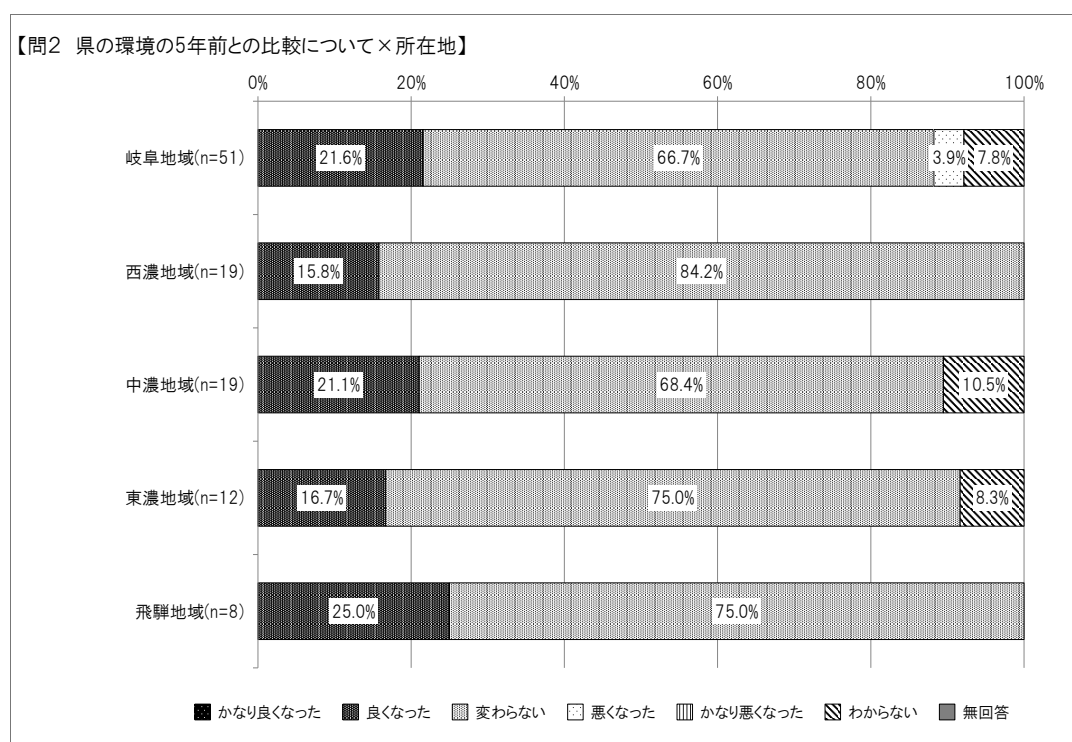
人員規模別（図 4-2-2）でみると、100～299 人では「良くなった」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 4-2-2 【人員規模別】 県の環境の 5 年前との比較



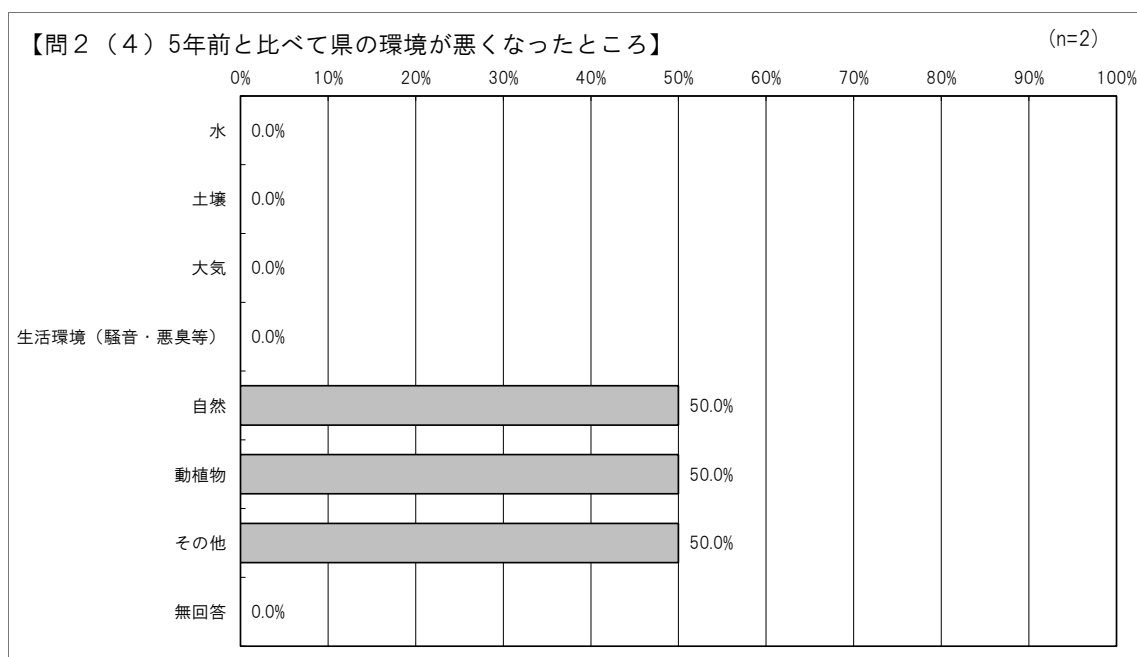
所在地別（図 4-2-3）でみると、西濃地域では「変わらない」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-2-3 【所在地別】 県の環境の 5 年前との比較



「悪くなった」の具体的分野（図 4-2-4）で見ると、「自然」、「動植物」がともに 50.0% となっていますが、サンプル数が少ないため参考程度に留めます。

図 4-2-4 【「悪くなった」具体的分野】県の環境の 5 年前との比較



「かなり悪くなった」の具体的分野は回答者無しとなっています。

問3 貴社は、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【項目】

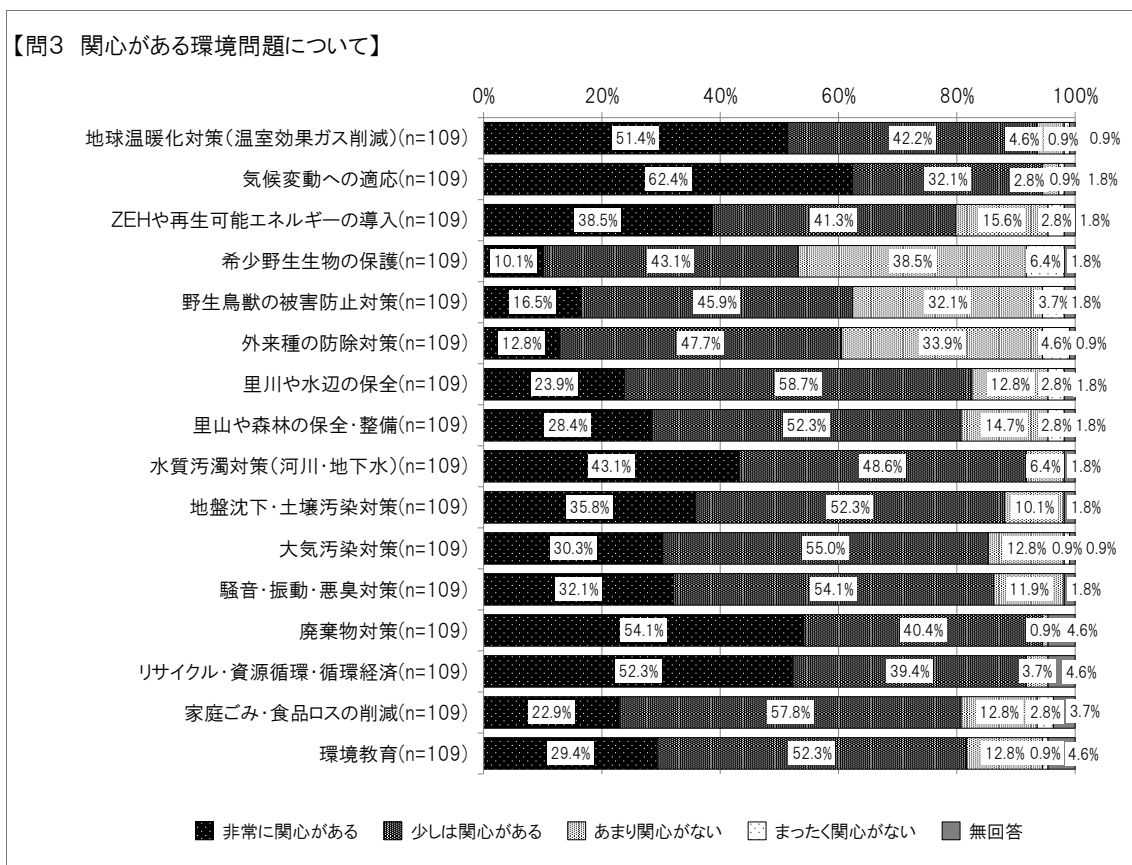
- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| (1) 地球温暖化対策(温室効果ガス削減) | (2) 気候変動への適応(熱中症対策、防災・減災対策) |
| (3) ZEHや再生可能エネルギーの導入 | (4) 希少野生生物の保護 |
| (5) 野生鳥獣の被害防止対策 | (6) 外来種の防除対策 |
| (7) 里川や水辺の保全 | (8) 里山や森林の保全・整備 |
| (9) 水質汚濁対策(河川・地下水) | (10) 地盤沈下・土壌汚染対策 |
| (11) 大気汚染対策 | (12) 騒音・振動・悪臭対策 |
| (13) 廃棄物対策 | (14) リサイクル・資源循環・環境経済 |
| (15) 家庭ごみ・食品ロスの削減 | (16) 環境教育 |

【選択肢】

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. 少しは関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. まったく関心がない |

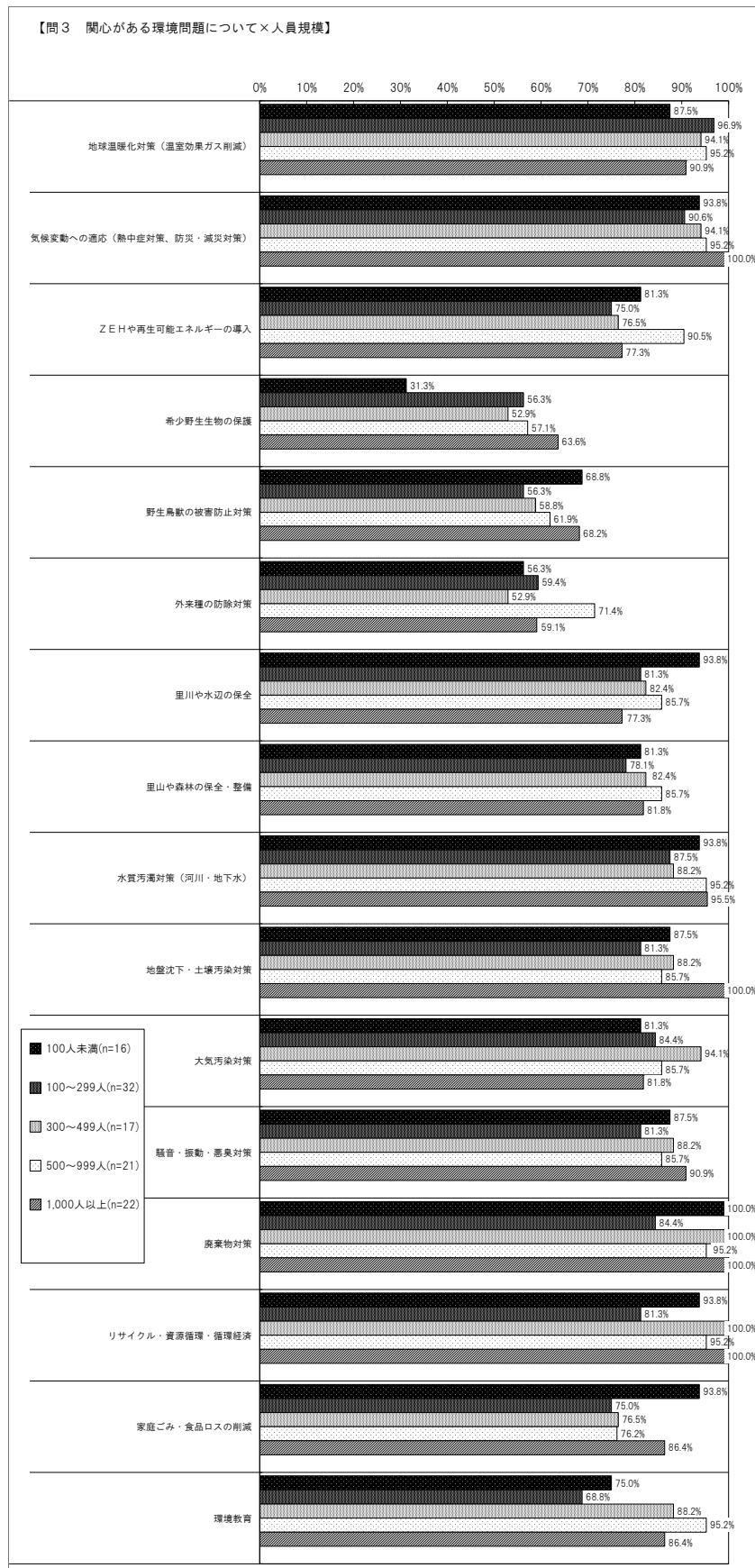
全体(図4-3-1)で見ると、「非常に関心がある」と「少しは関心がある」の合計について、『気候変動への適応』、『廃棄物対策』がともに94.5%と最も高く、次いで『地球温暖化対策(温室効果ガス削減)』(93.6%)、『水質汚濁対策(河川・地下水)』、『リサイクル・資源循環・循環経済』(ともに91.7%)の順となっています。

図4-3-1 関心がある環境問題



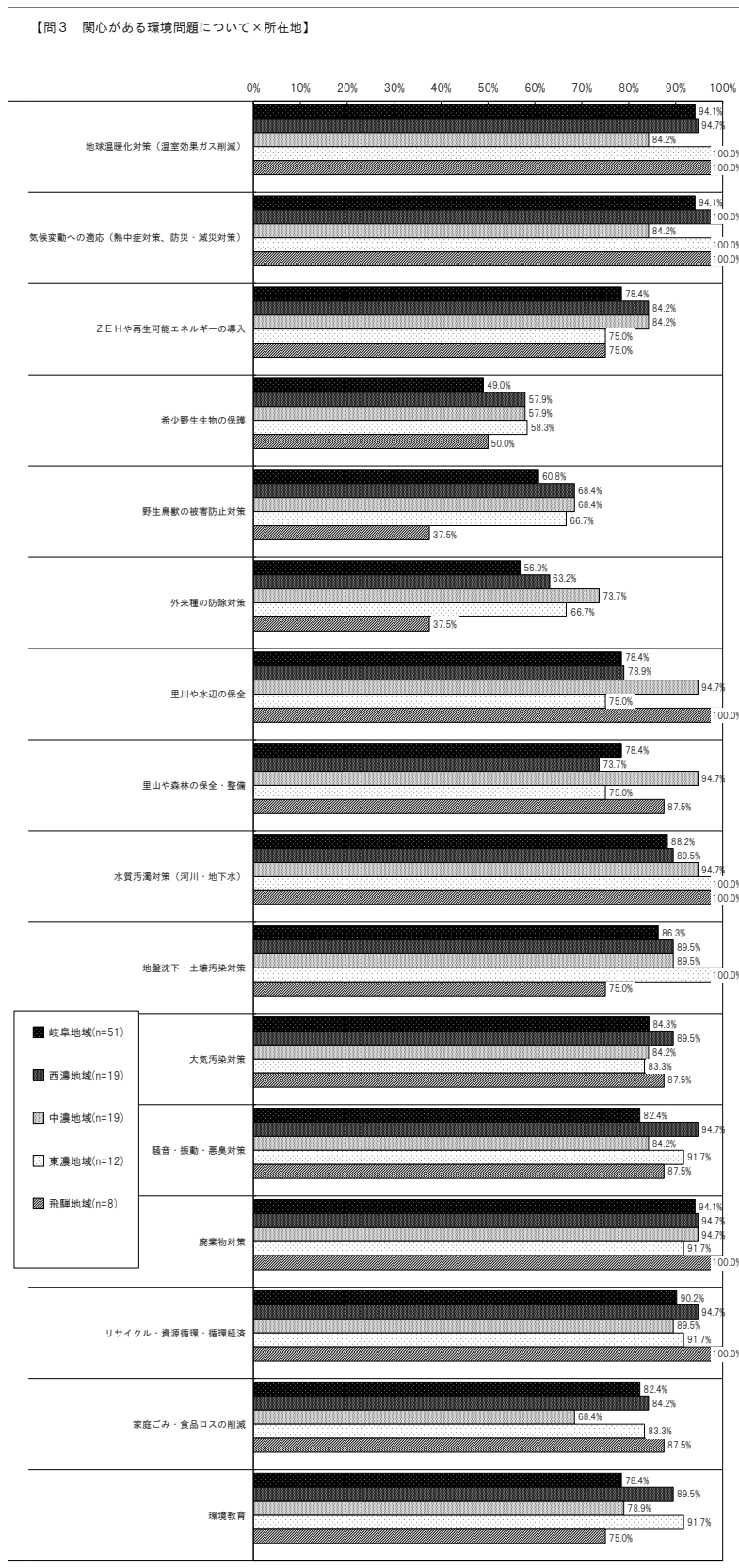
人員規模別（図 4-3-2）で見ると、「非常に関心がある」と「少しは関心がある」の合計について、100 人未満では『希少野生生物の保護』が他の人員規模と比べて低くなっています。

図 4-3-2 【人員規模別】関心がある環境問題



所在地別（図 4-3-3）で見ると、「非常に関心がある」と「少しは関心がある」の合計について、中濃地域では『家庭ごみ・食品ロスの削減』が他の所在地と比べて低くなっています。

図 4-3-3 【所在地別】関心がある環境問題

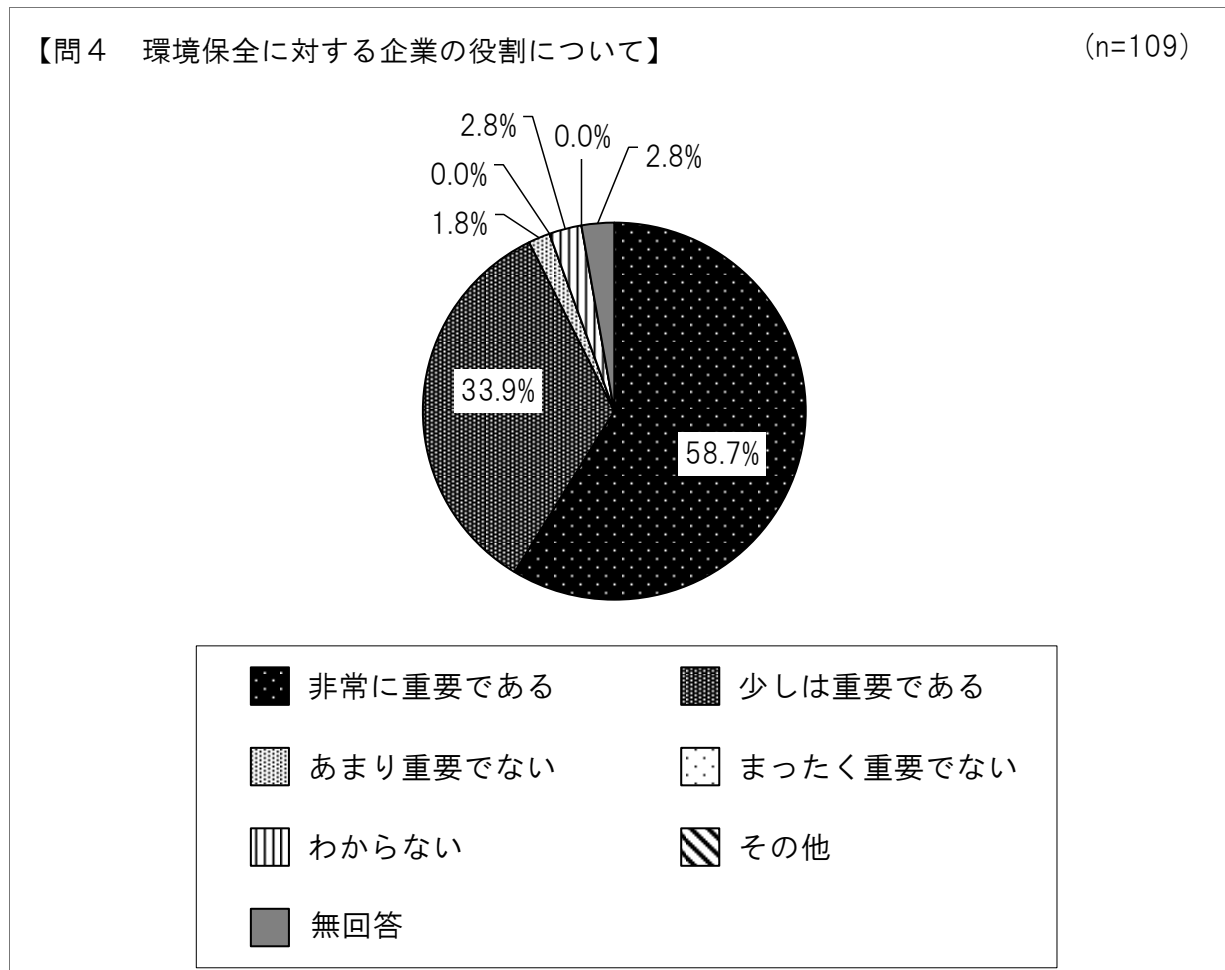


問4 貴社では、環境保全に対する企業の役割について、どのようにお考えですか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(1) 非常に重要である
 (2) 少しは重要である
 (3) あまり重要でない
 (4) まったく重要でない
 (5) わからない
 (6) その他

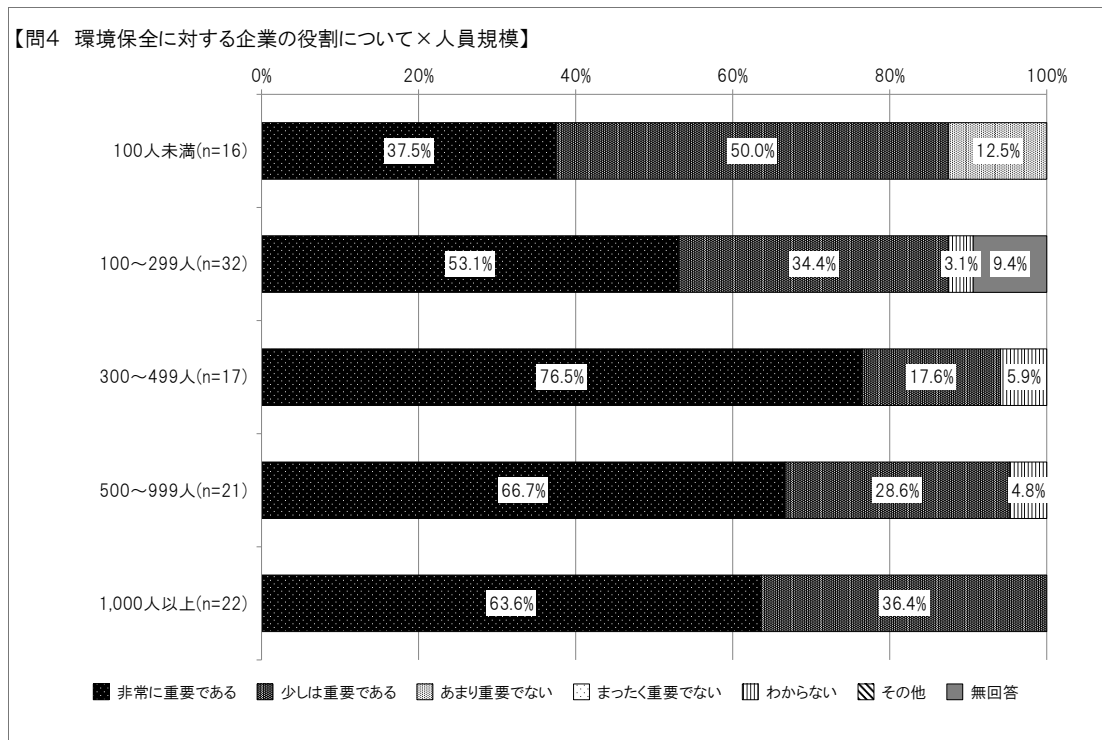
全体(図4-4-1)で見ると、「非常に重要である」が58.7%と最も高く、次いで「少しは重要である」(33.9%)、「わからない」(2.8%)の順となっています。

図4-4-1 環境保全に対する企業の役割



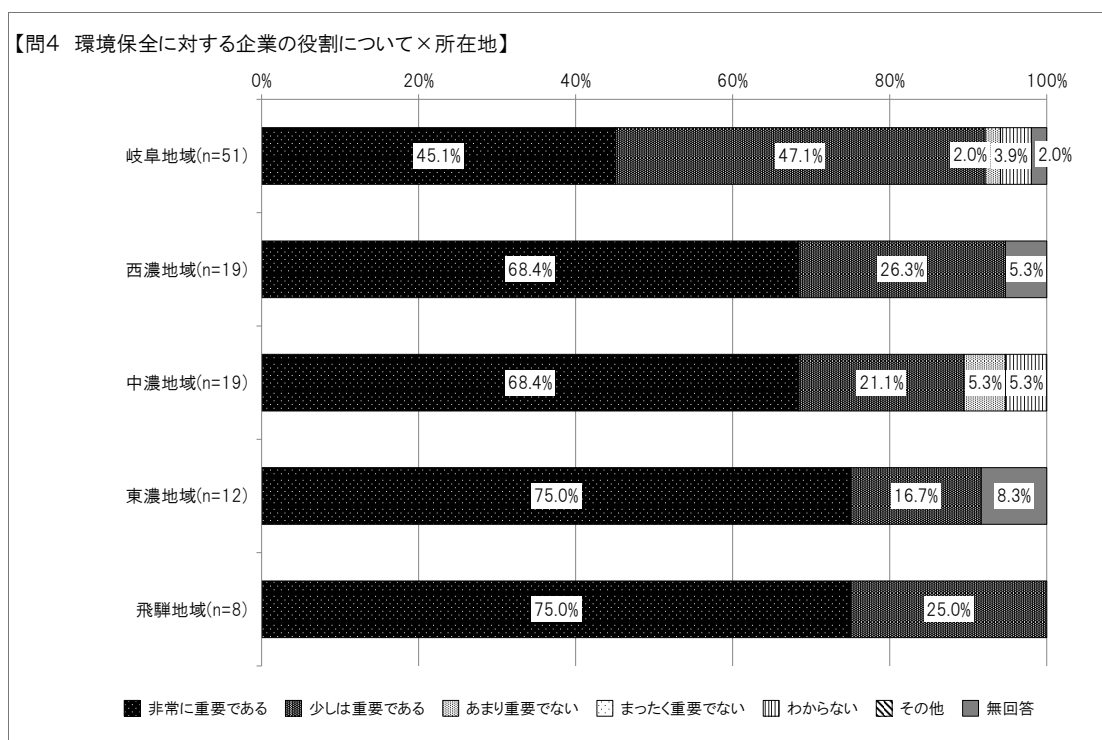
人員規模別（図 4-4-2）で見ると、100 人未満では「非常に重要である」が他の人員規模と比べて低くなっています。

図 4-4-2 【人員規模別】環境保全に対する企業の役割



所在地別（図 4-4-3）で見ると、岐阜地域では「非常に重要である」が他の所在地と比べて低くなっています。

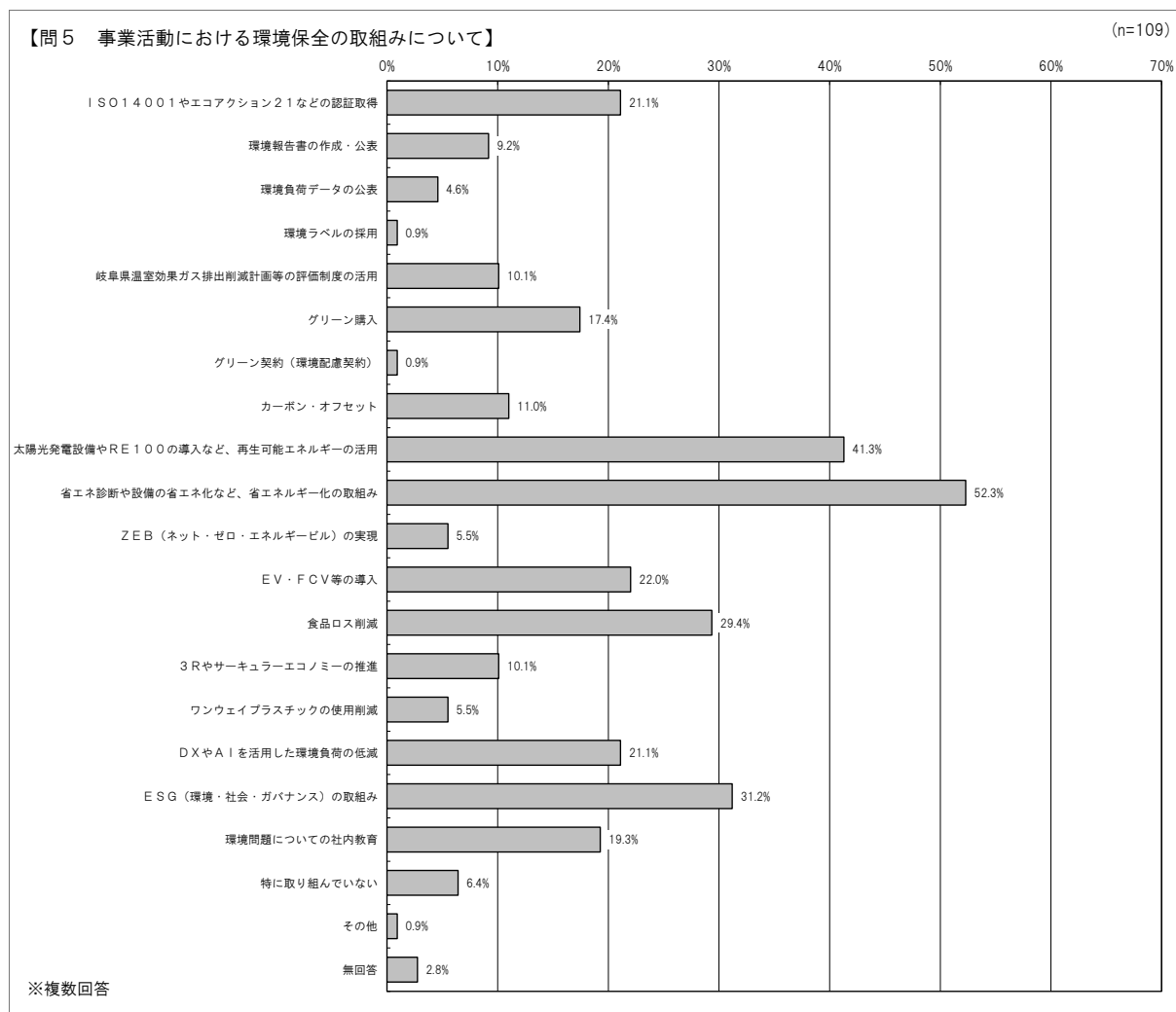
図 4-4-3 【所在地別】環境保全に対する企業の役割



- 問5 貴社では、事業活動においてどのような環境保全の取組みを実施していますか。
次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)
- (1) ISO14001 やエコアクション2.1などの認証取得
 - (2) 環境報告書の作成・公表
 - (3) 環境負荷データの公表
 - (4) 環境ラベルの採用
 - (5) 岐阜県温室効果ガス排出削減計画等の評価制度の活用
 - (6) グリーン購入
 - (7) グリーン契約（環境配慮契約）
 - (8) カーボン・オフセット
 - (9) 太陽光発電設備やRE100の導入など、再生可能エネルギーの活用
 - (10) 省エネ診断や設備の省エネ化など、省エネルギー化の取組み
 - (11) ZEB（ネット・ゼロ・エネルギービル）の実現
 - (12) EV・FCV等の導入
 - (13) 食品ロス削減
 - (14) 3Rやサーキュラーエコノミーの推進
 - (15) ワンウェイプラスチックの使用削減
 - (16) DXやAIを活用した環境負荷の低減
 - (17) ESG（環境・社会・ガバナンス）の取組み
 - (18) 環境問題についての社内教育
 - (19) 特に取り組んでいない
 - (20) その他

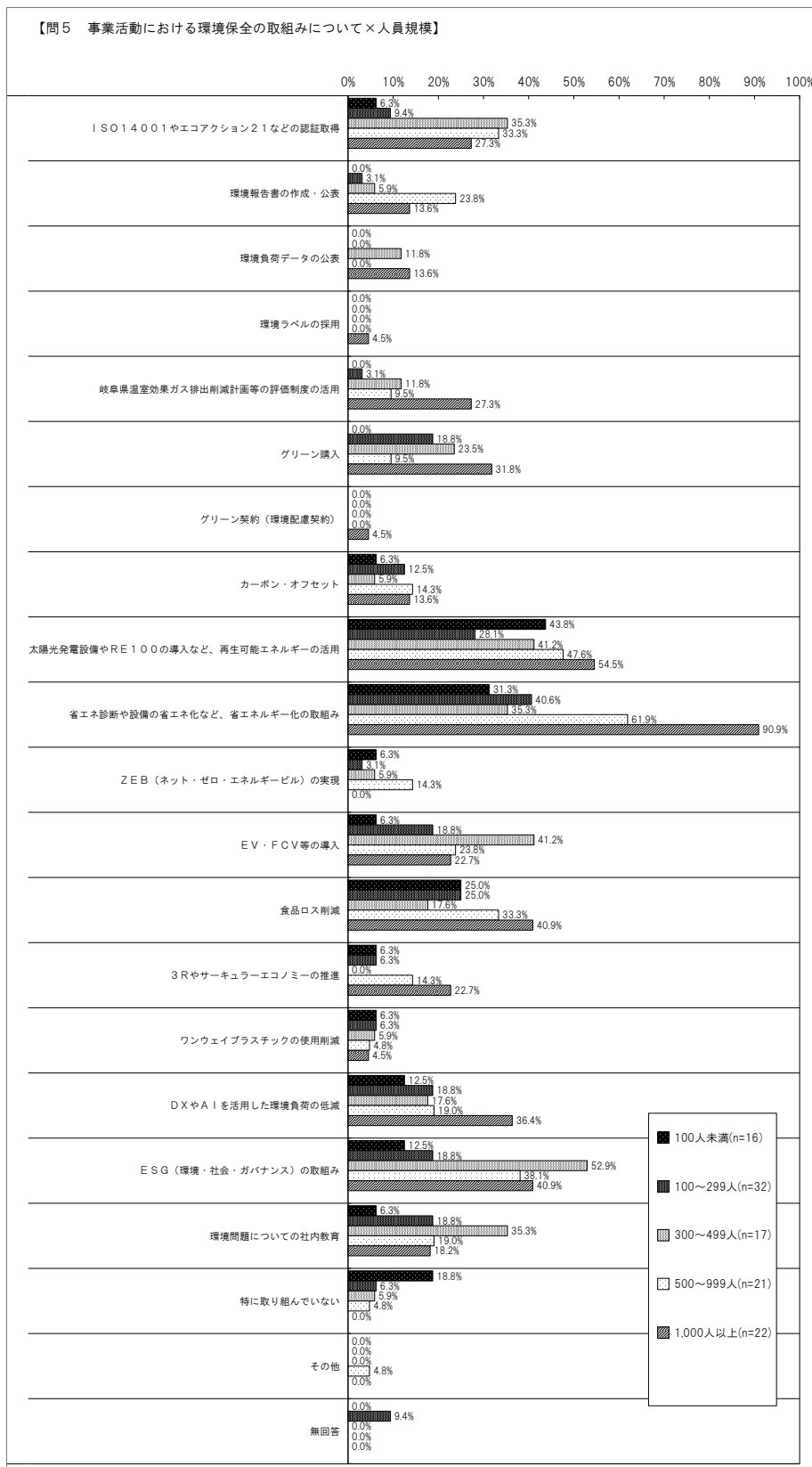
全体（図 4-5-1）でみると、「省エネ診断や設備の省エネ化など、省エネルギー化の取組み」が 52.3%と最も高く、次いで「太陽光発電設備やRE100の導入など、再生可能エネルギーの活用」（41.3%）、「ESG（環境・社会・ガバナンス）の取組み」（31.2%）の順となっています。

図 4-5-1 事業活動における環境保全の取組み



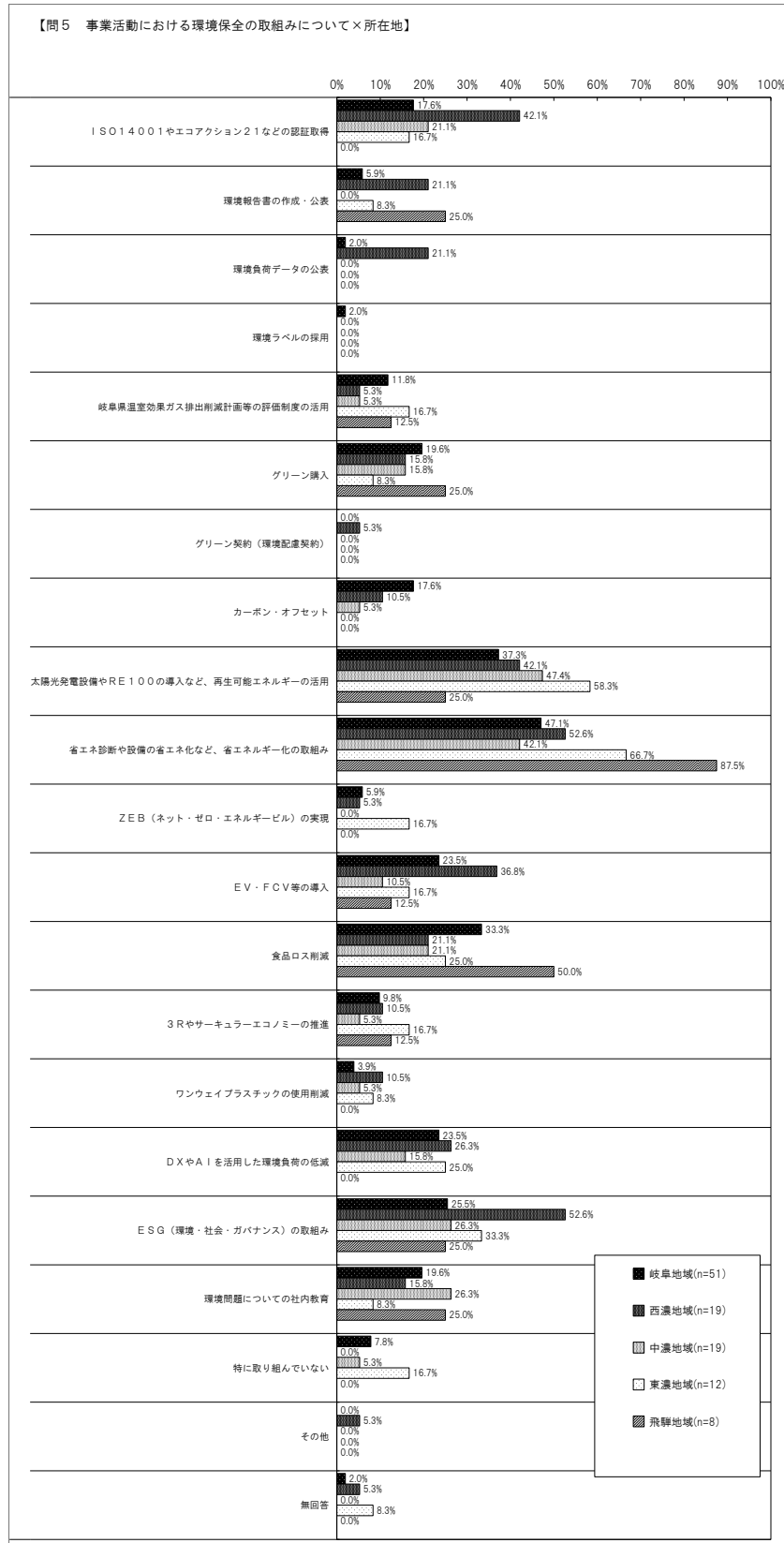
人員規模別（図 4-5-2）でみると、「省エネ診断や設備の省エネ化など、省エネルギー化の取組み」では1,000人以上が他の人員規模と比べて高く、最も低かった100人未満とでは50ポイント以上の差があります。

図 4-5-2 【人員規模別】事業活動における環境保全の取組み



所在地別（図 4-5-3）で見ると、西濃地域では「ISO14001やエコアクション21などの認証取得」や「ESG（環境・社会・ガバナンス）の取組み」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-5-3 【所在地別】事業活動における環境保全の取組み

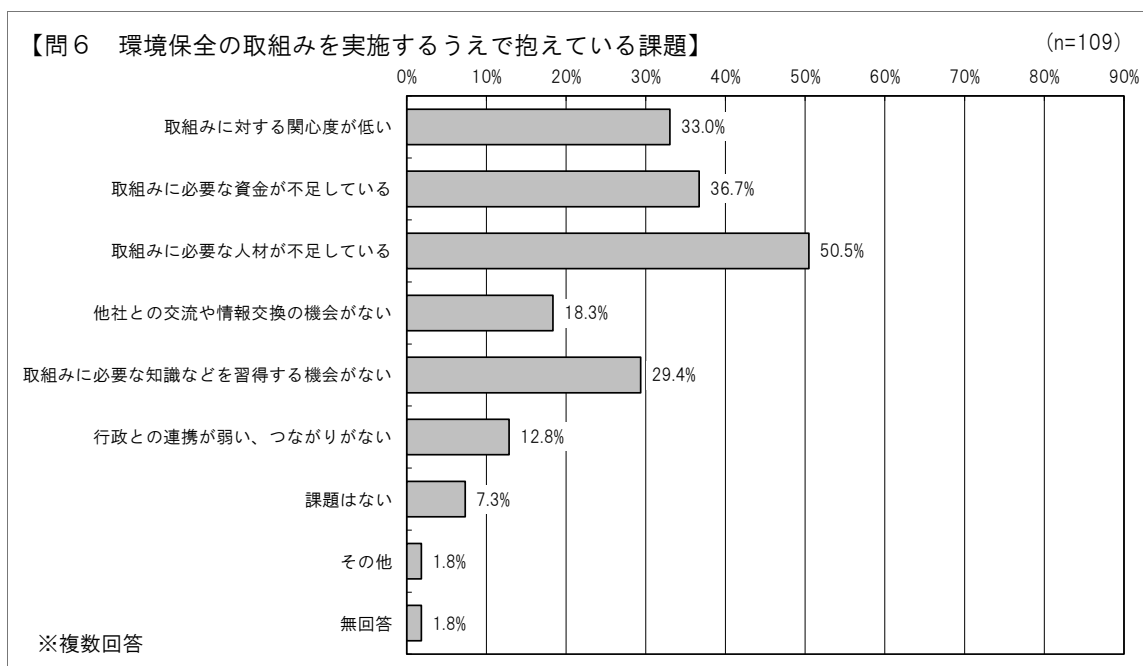


問6 貴社において、環境保全の取組みを実践するうえで抱えている課題はありますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 取組みに対する関心度が低い
- (2) 取組みに必要な資金が不足している
- (3) 取組みに必要な人材が不足している
- (4) 他社との交流や情報交換の機会がない
- (5) 取組みに必要な知識などを習得する機会がない
- (6) 行政との連携が弱い、つながりがない
- (7) 課題はない
- (8) その他

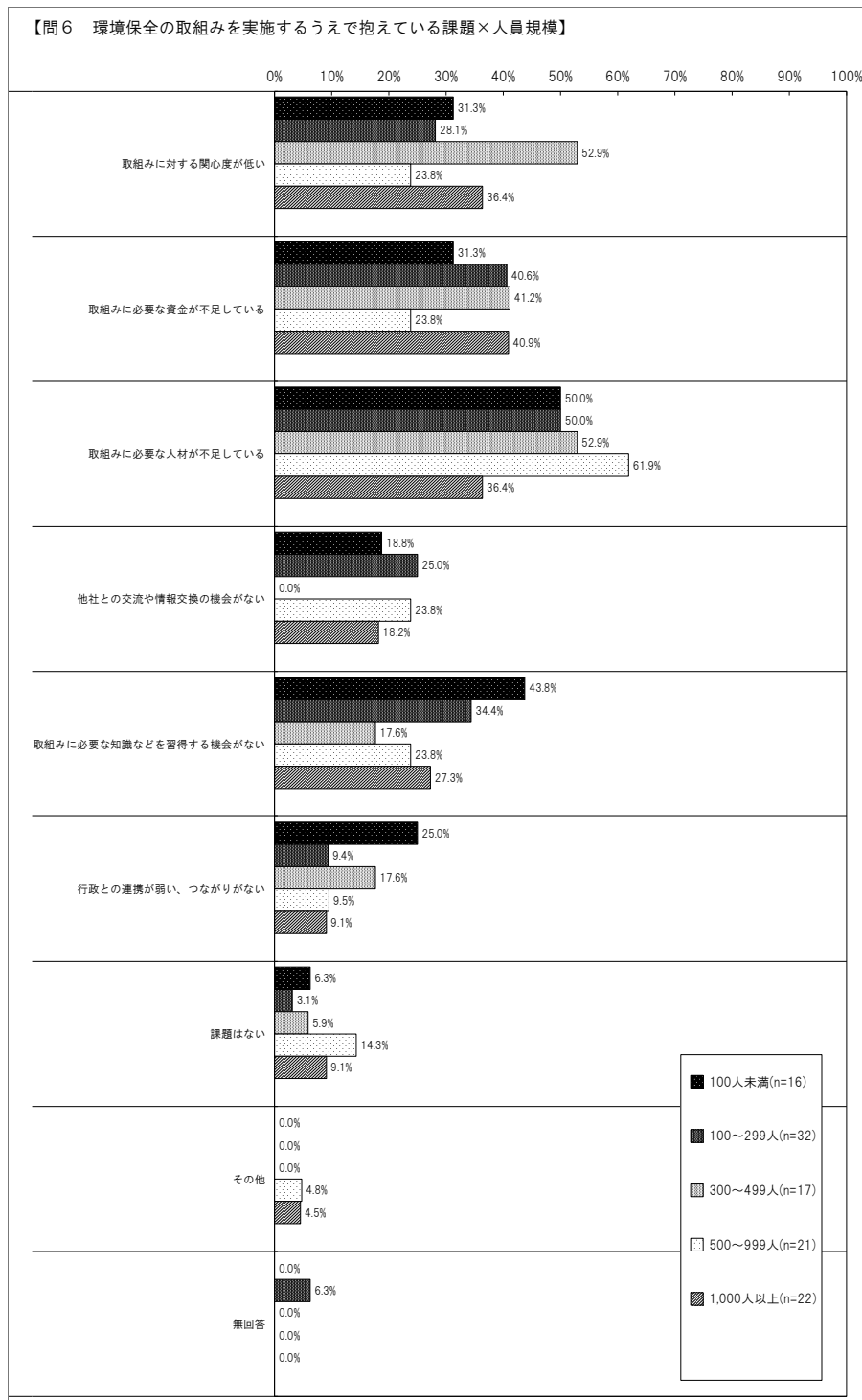
全体(図4-6-1)で見ると、「取組みに必要な人材が不足している」が50.5%と最も高く、次いで「取組みに必要な資金が不足している」(36.7%)、「取組みに対する関心度が低い」(33.0%)の順となっています。

図4-6-1 環境保全の取組みをするうえでの課題



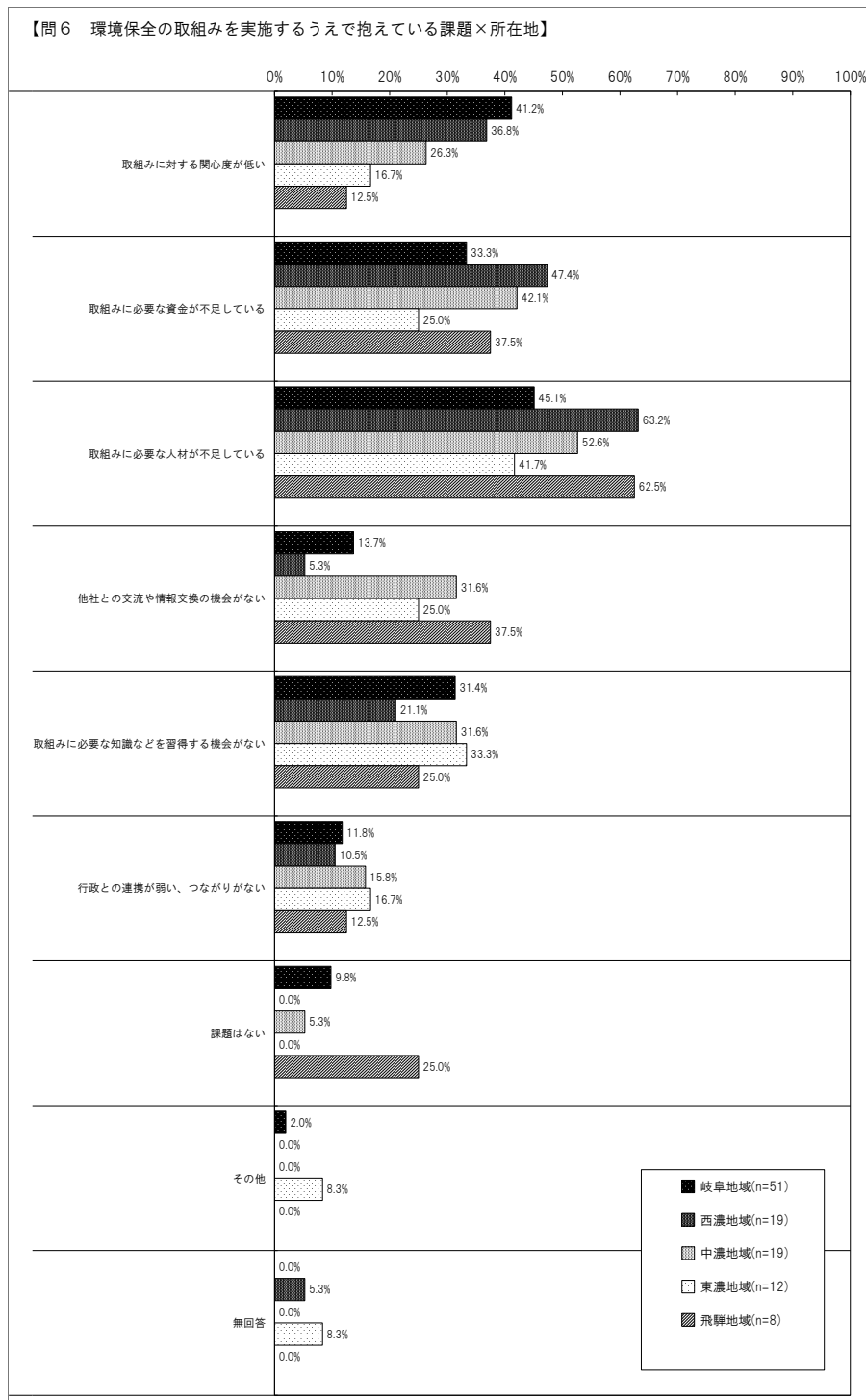
人員規模別（図 4-6-2）でみると、300～499 人では「取組みに対する関心度が低い」が他の人員規模と比べて高くなっています。

図 4-6-2 【人員規模別】環境保全の取組みをするうえでの課題



所在地別（図 4-6-3）で見ると、いずれの所在地においても「取組に必要な人材が不足している」が高くなっています。

図 4-6-3 【所在地別】環境保全の取組みをするうえでの課題

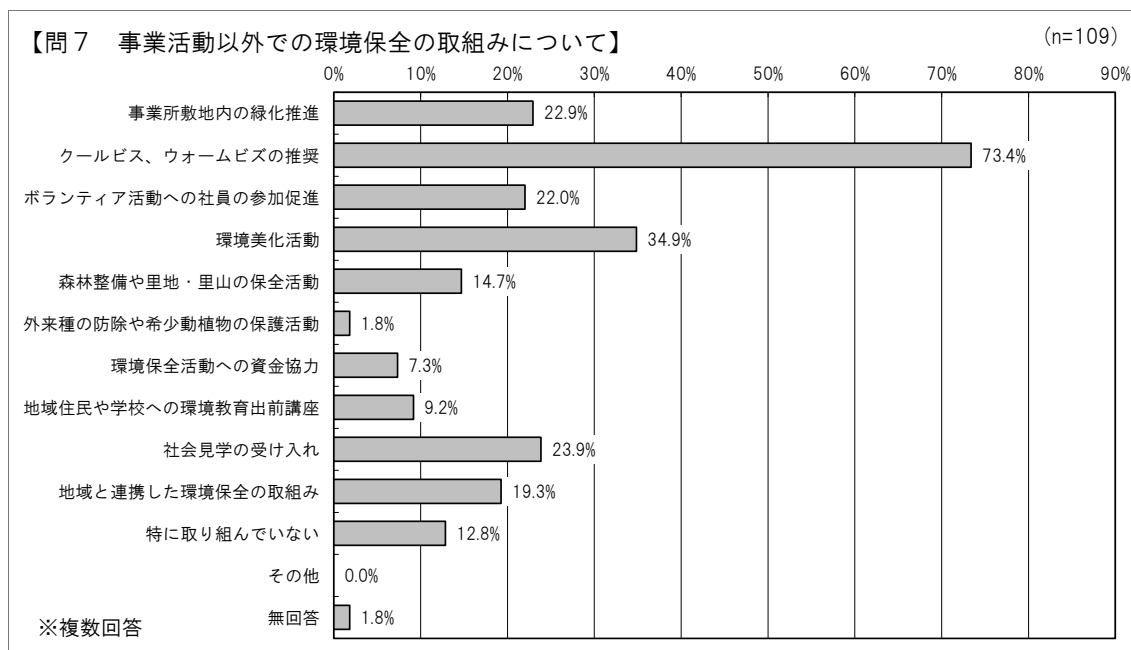


問7 貴社では、事業活動以外でどのような環境保全の取組みを実施していますか。
 次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 事業所敷地内の緑化推進
- (2) クールビズ、ウォームビズの推奨
- (3) ボランティア活動への社員の参加促進
- (4) 環境美化活動
- (5) 森林整備や里地・里山の保全活動
- (6) 外来種の防除や希少動植物の保護活動
- (7) 環境保全活動への資金協力
- (8) 地域住民や学校への環境教育出前講座
- (9) 社会見学の受け入れ
- (10) 地域と連携した環境保全の取組み
- (11) 特に取り組んでいない
- (12) その他

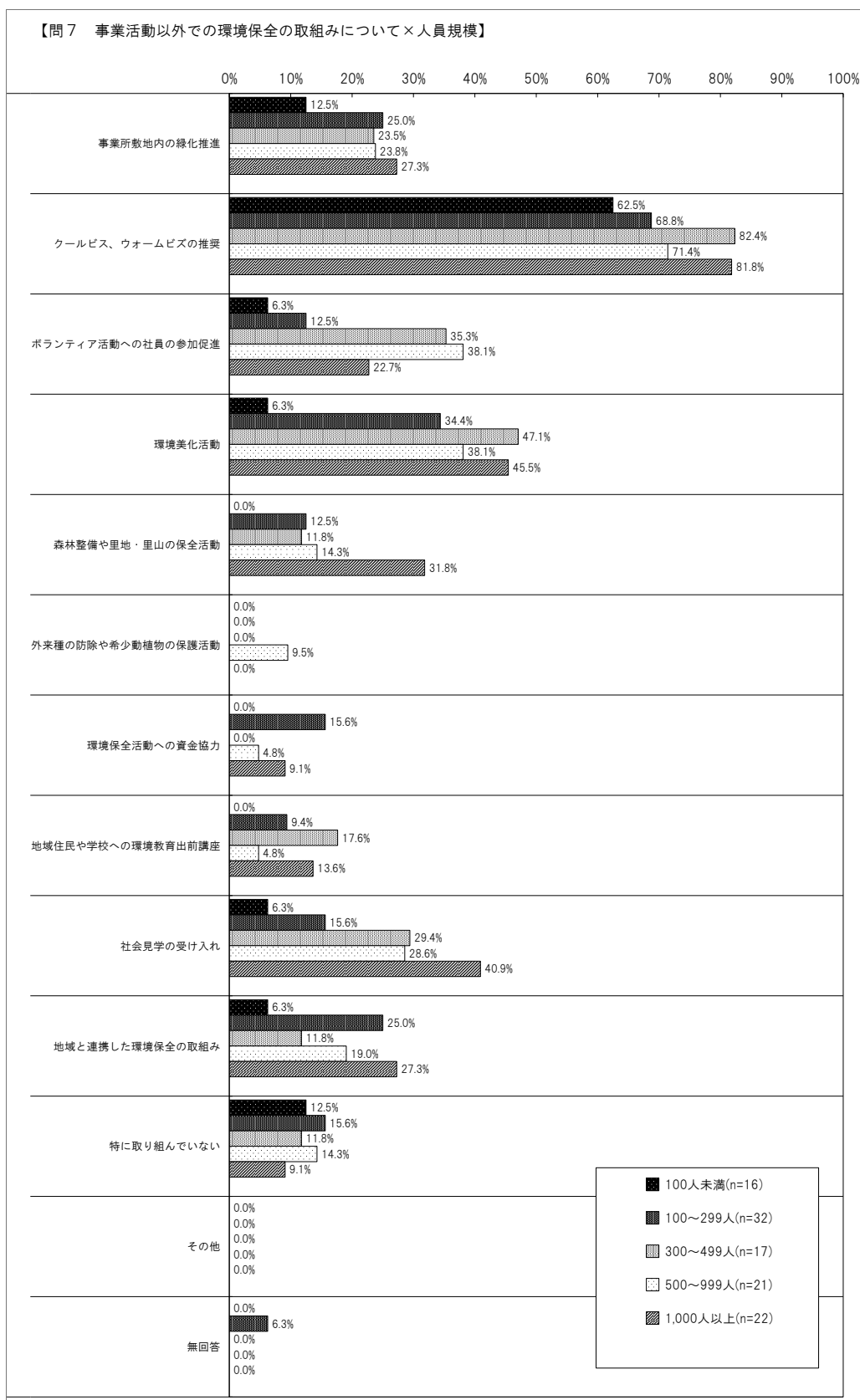
全体(図4-7-1)で見ると、「クールビズ、ウォームビズの推奨」が73.4%と最も高く、次いで「環境美化活動」(34.9%)、「社会見学の受け入れ」(23.9%)の順となっています。

図4-7-1 事業活動以外での環境保全の取組み



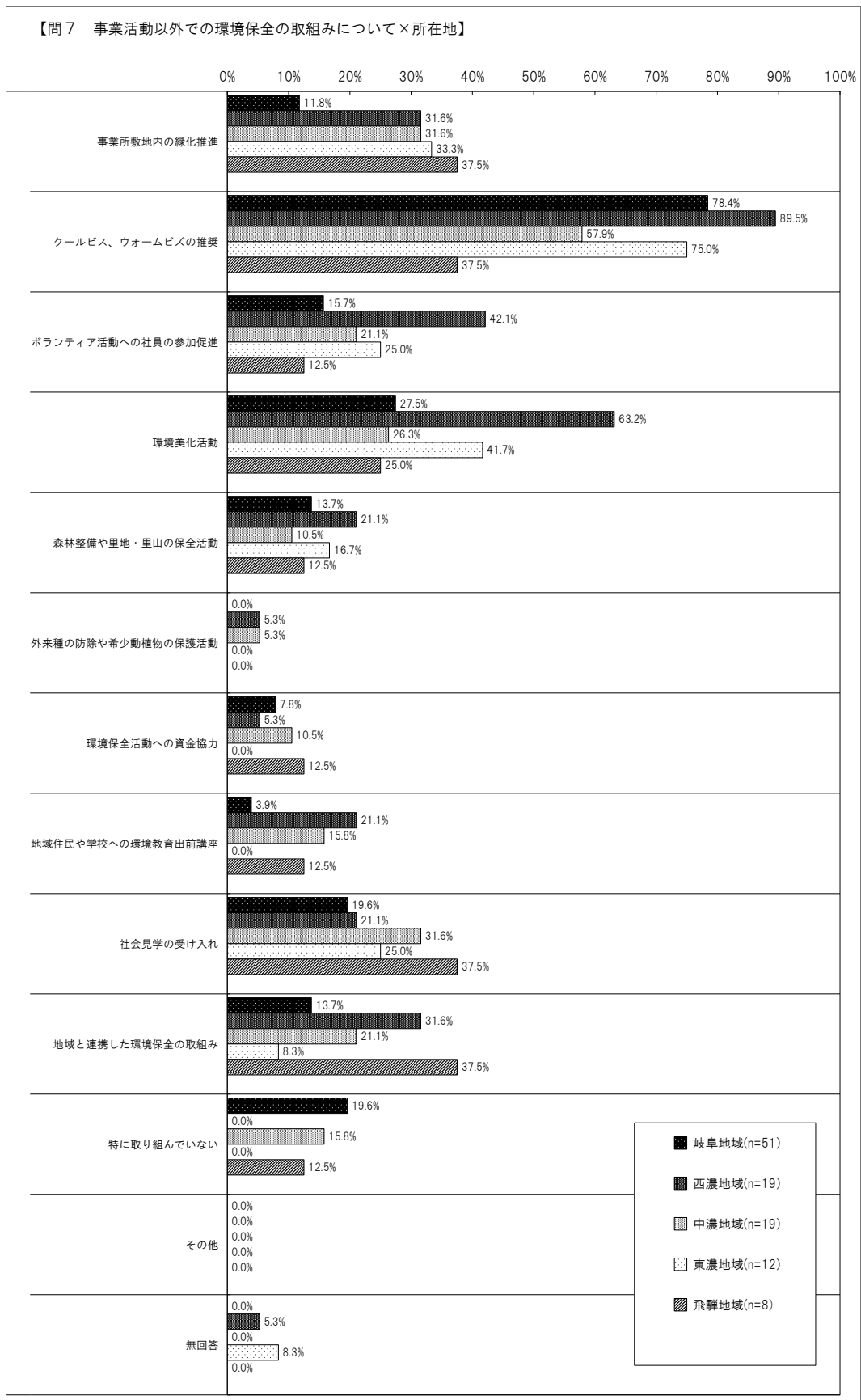
人員規模別（図 4-7-2）でみると、「社会見学の受け入れ」では人員規模が大きくなるにつれて概ね高くなっています。

図 4-7-2 【人員規模別】事業活動以外での環境保全の取組み



所在地別（図 4-7-3）で見ると、いずれの所在地においても「クールビズ、ウォームビズの推奨」が高くなっています。

図 4-7-3 【所在地別】事業活動以外での環境保全の取り組み



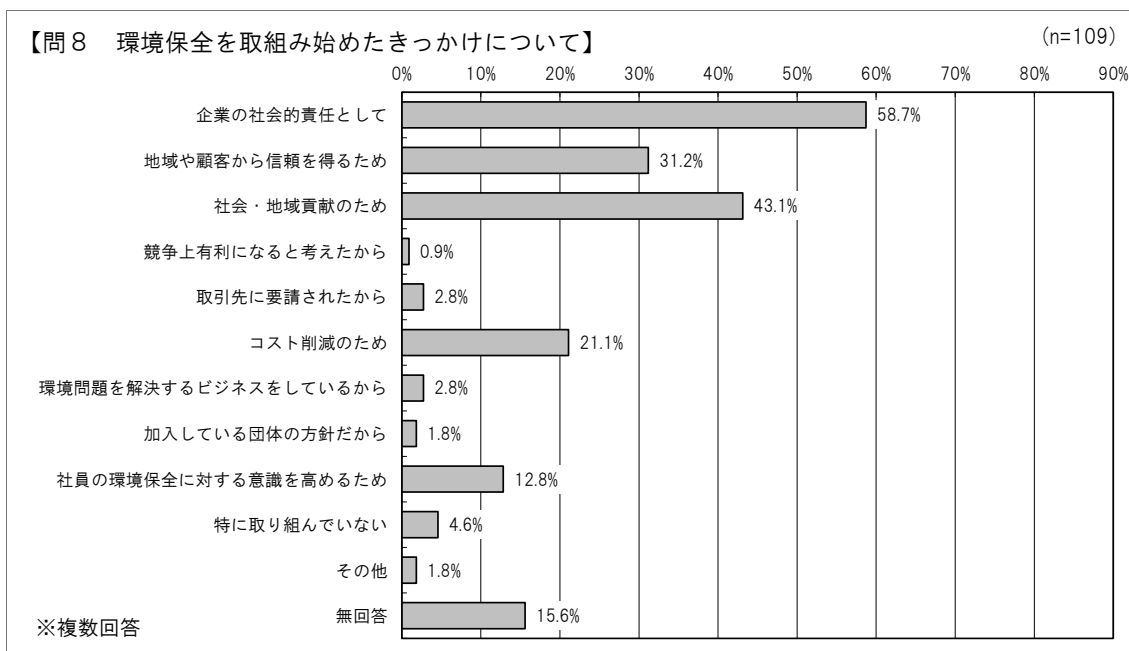
問8 問5・問7でお伺いした取組みを始めたきっかけは何ですか。

次のうち、あてはまるものを3つ以内で選び、番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- (1) 企業の社会的責任として
- (2) 地域や顧客から信頼を得るため
- (3) 社会・地域貢献のため
- (4) 競争上有利になると考えたから
- (5) 取引先に要請されたから
- (6) コスト削減のため
- (7) 環境問題を解決するビジネスをしているから
- (8) 加入している団体の方針だから
- (9) 社員の環境保全に対する意識を高めるため
- (10) 特に取り組んでいない
- (11) その他

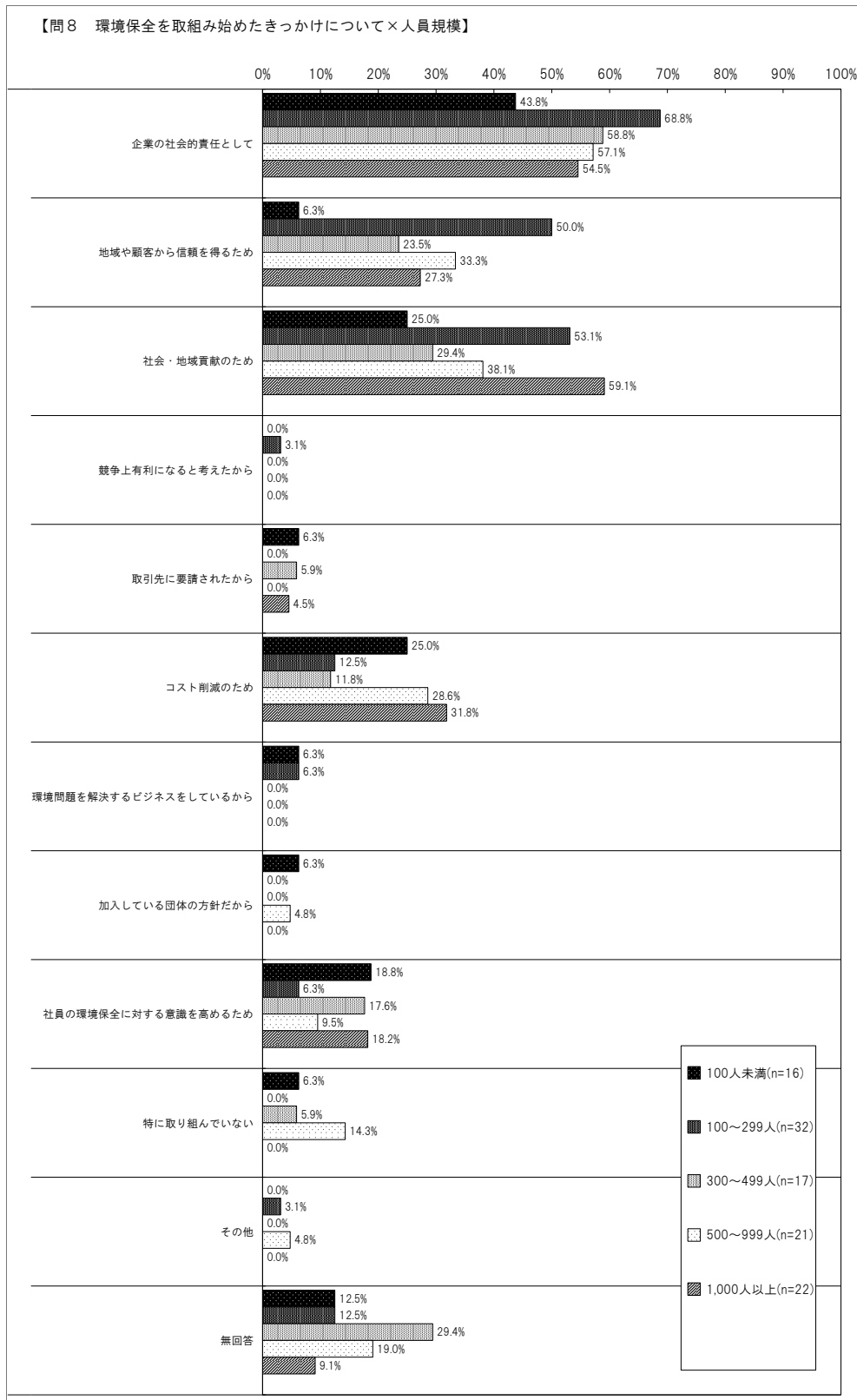
全体(図4-8-1)でみると、「企業の社会的責任として」が58.7%と最も高く、次いで「社会・地域貢献のため」(43.1%)、「地域や顧客から信頼を得るため」(31.2%)の順となっています。

図4-8-1 環境保全を取組み始めたきっかけ



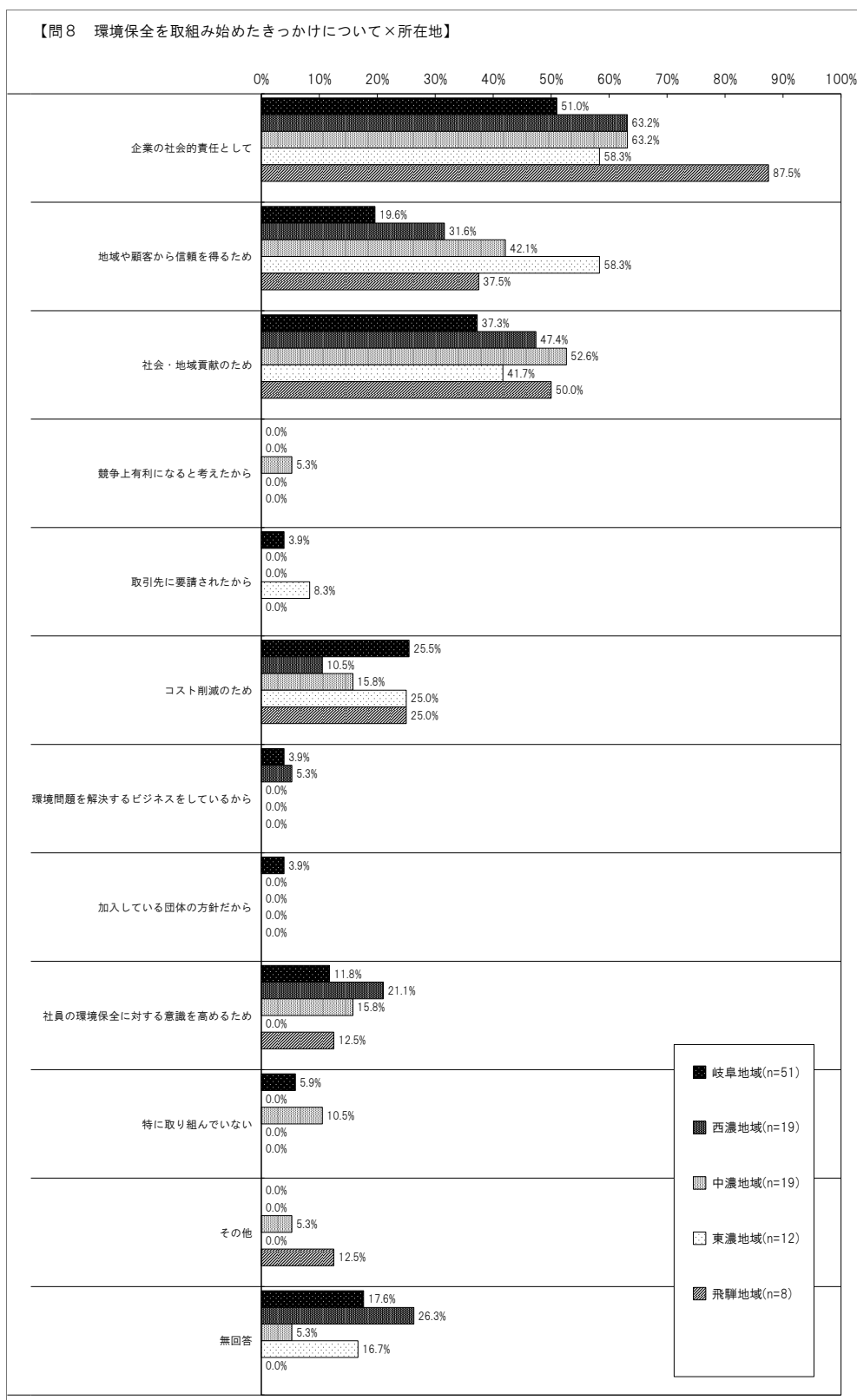
人員規模別（図 4-8-2）でみると、「地域や顧客から信頼を得るため」では最も高かった 100～299 人と、最も低かった 100 人未満では 40 ポイント以上の差があります。

図 4-8-2 【人員規模別】環境保全を取組み始めたきっかけ



所在地別（図 4-8-3）で見ると、岐阜地域では「地域や顧客から信頼を得るため」が他の所在地と比べて低くなっています。

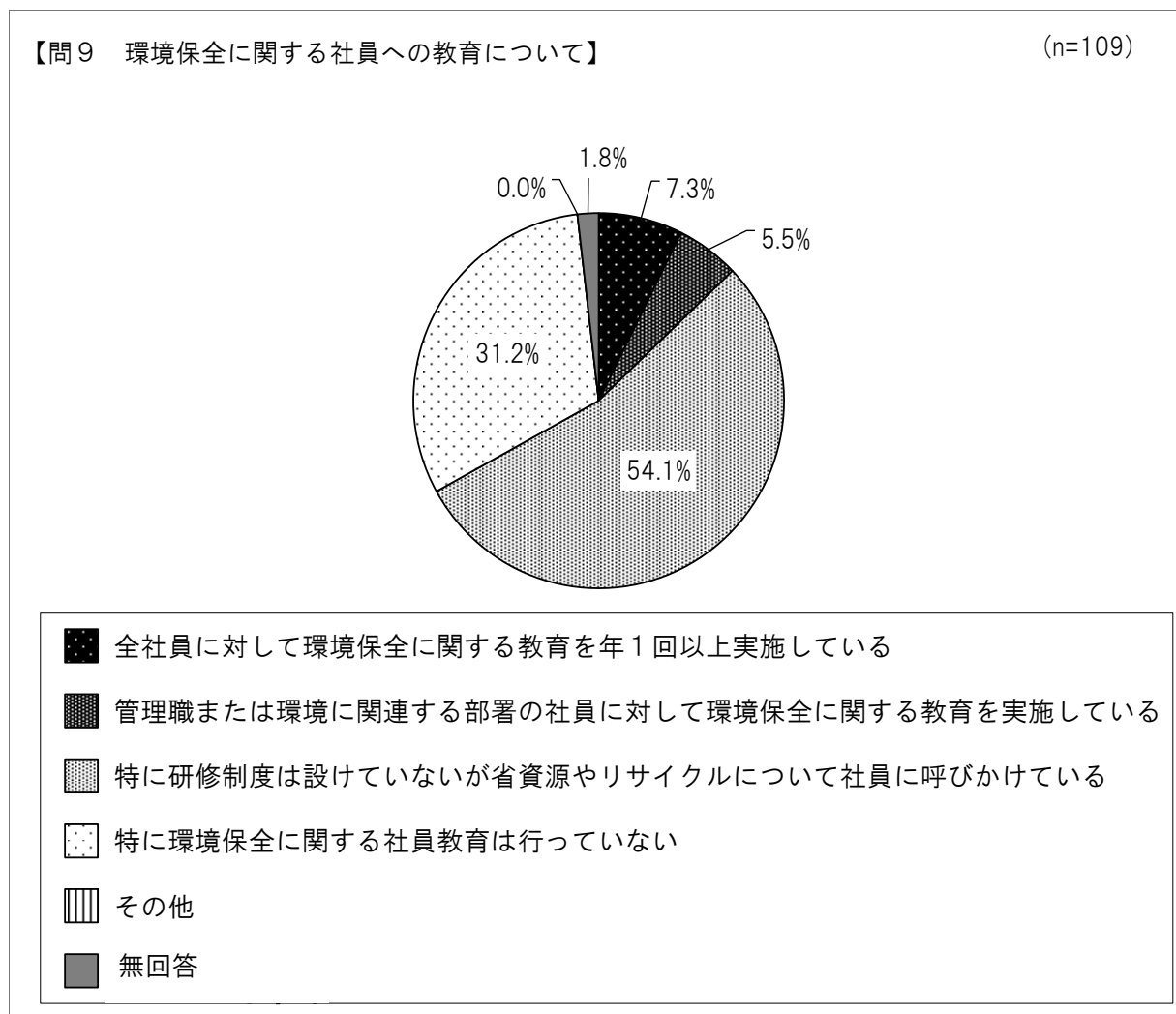
図 4-8-3 【所在地別】環境保全を取組み始めたきっかけ



- 問9 貴社において、環境保全に関する社員への教育をどのように実施していますか。
次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)
(1)、(2)に○をつけた方は、()に内容を記入してください。
- (1) 全社員に対して環境保全に関する教育を年1回以上実施している
 - (2) 管理職または環境に関連する部署の社員に対して環境保全に関する教育を実施している
 - (3) 特に研修制度は設けていないが省資源やリサイクルについて社員に呼びかけている
 - (4) 特に環境保全に関する社員教育は行っていない
 - (5) その他

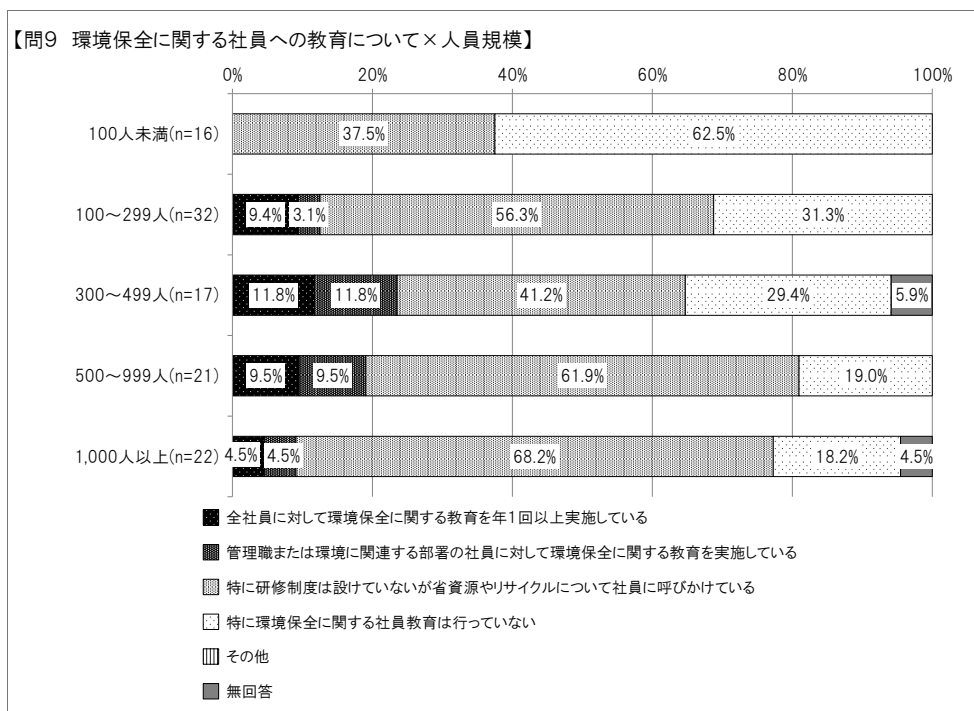
全体(図4-9-1)で見ると、「特に研修制度は設けていないが省資源やリサイクルについて社員に呼びかけている」が54.1%で最も高く、次いで「特に環境保全に関する社員教育は行っていない」(31.2%)、「全社員に対して環境保全に関する教育を年1回以上実施している」(7.3%)の順となっています。

図4-9-1 環境保全に関する社員への教育



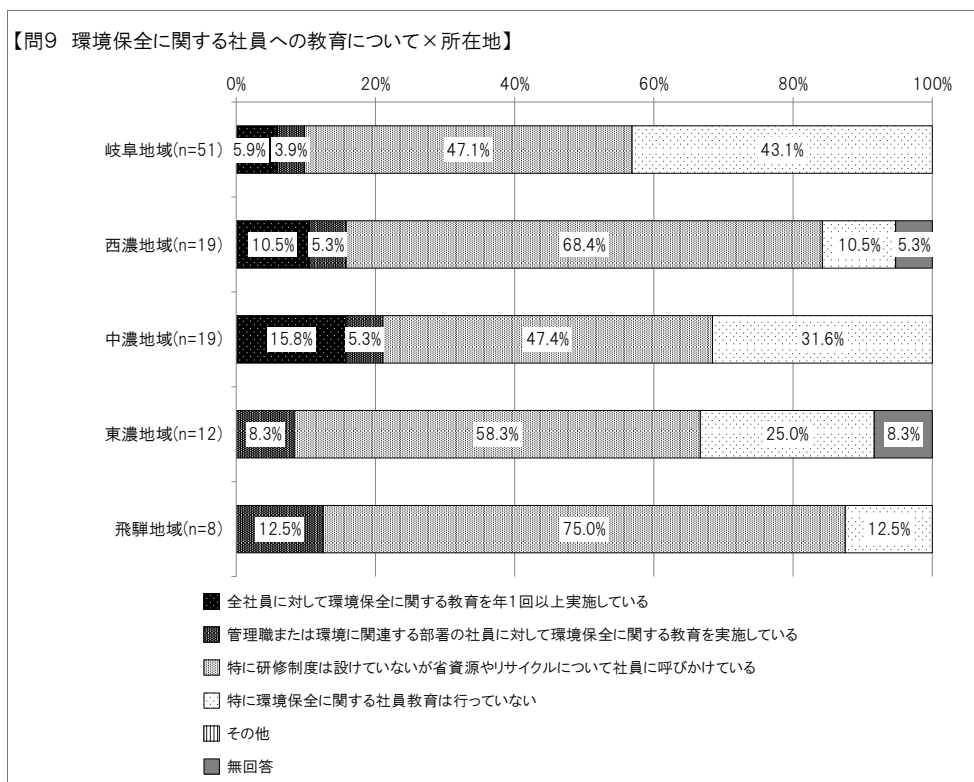
人員規模別（図 4-9-2）で見ると、100 人未満では「全社員に対して環境保全に関する教育を年 1 回以上実施している」が他の人員規模と比べて低くなっています。

図 4-9-2 【人員規模別】環境保全に関する社員への教育



所在地別（図 4-9-3）で見ると、岐阜地域では「特に環境保全に関する社員教育は行っていない」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-9-3 【所在地別】環境保全に関する社員への教育

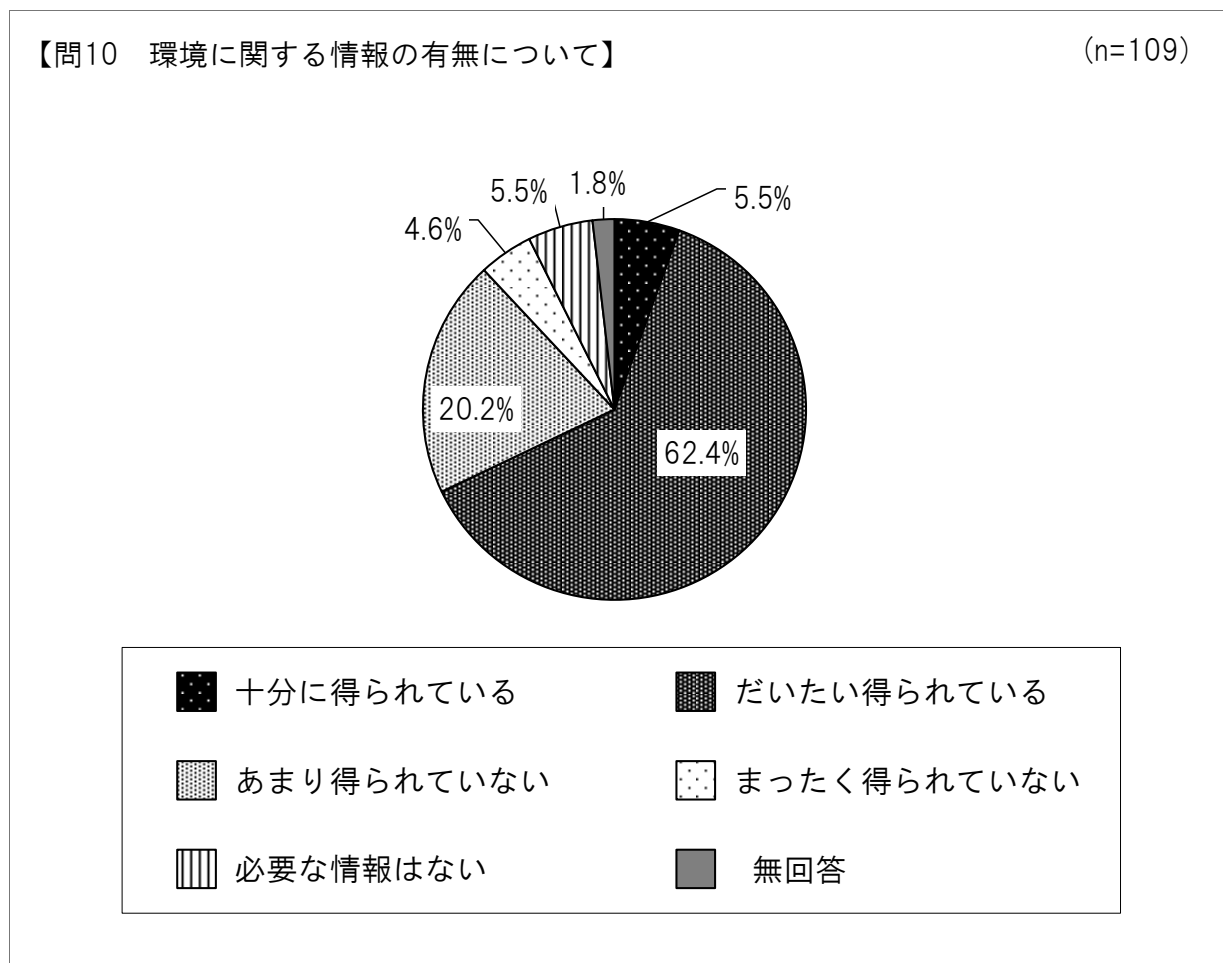


4-2 環境に関する情報について

問 10 貴社が環境問題を考えたり、環境保全の取組みをするために必要な情報は得られていますか。
次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)
(3)、(4)に○をつけた方で、分かる方は、併せて得られていない情報を記入してください。
(1) 十分に得られている
(2) だいたい得られている
(3) あまり得られていない
(4) まったく得られていない
(5) 必要な情報はない

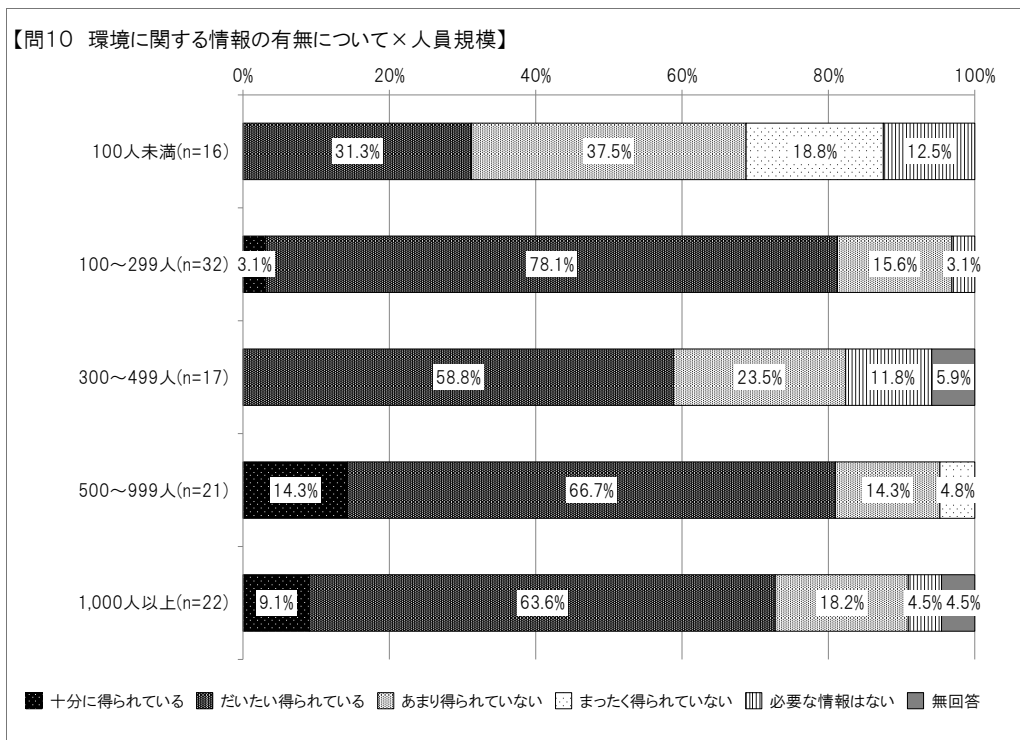
全体(図 4-10-1)で見ると、「だいたい得られている」が 62.4%と最も高く、次いで「あまり得られていない」(20.2%)、「十分に得られている」、「必要な情報はない」(ともに 5.5%)の順となっています。

図 4-10-1 環境に関する情報の有無



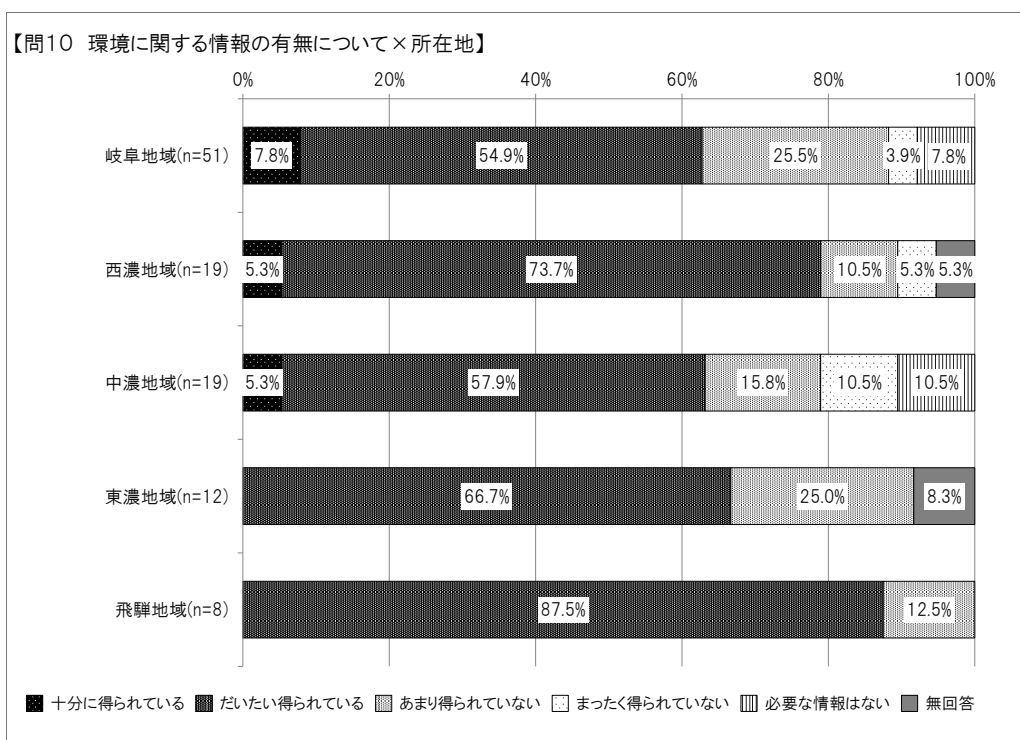
人員規模別（図 4-10-2）で見ると、500 人以上では「十分に得られている」が 1 割前後と他の人員規模と比べて高くなっています。

図 4-10-2 【人員規模別】環境に関する情報の有無



所在地別（図 4-10-3）で見ると、岐阜地域と東濃地域では「あまり得られていない」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-10-3 【所在地別】環境に関する情報の有無



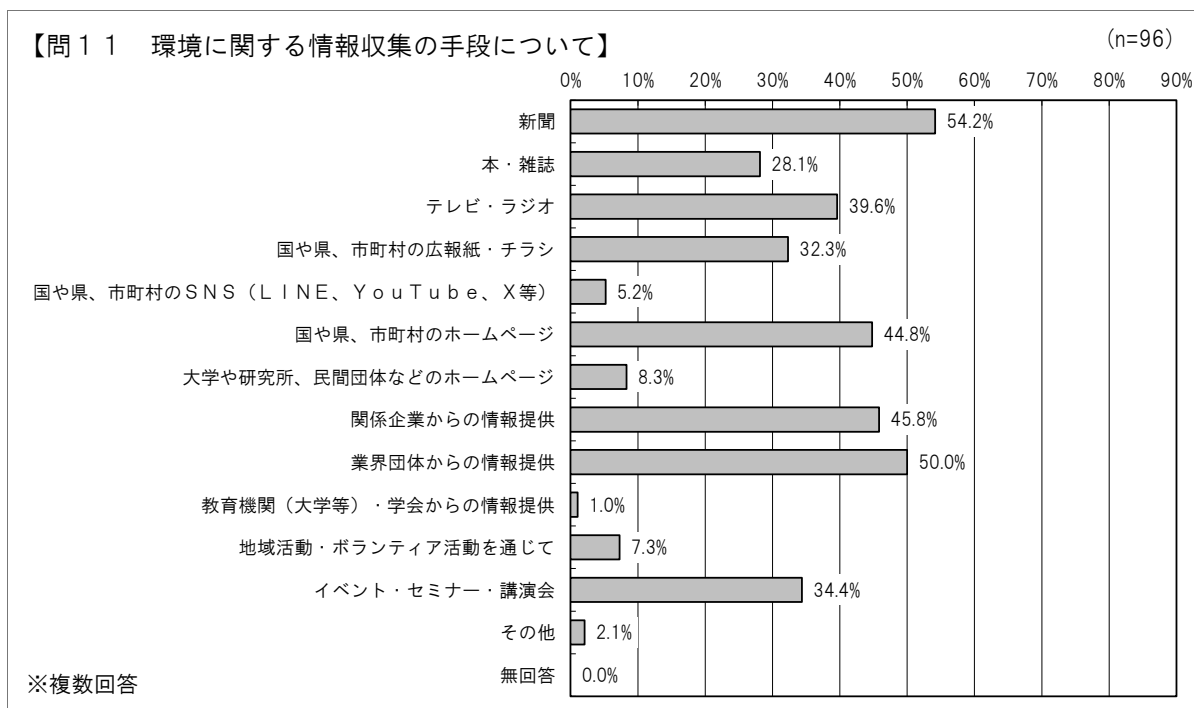
問 11 問 10で(1)～(3)を選んだ方に伺います。貴社が環境問題を考えたり、環境保全の取り組みをするために情報を得る主な手段は何ですか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のSNS (LINE、YouTube、X (旧Twitter) 等)
- (6) 国や県、市町村のホームページ
- (7) 大学や研究所、民間団体などのホームページ
- (8) 関係企業からの情報提供
- (9) 業界団体からの情報提供
- (10) 教育機関(大学等)・学会からの情報提供
- (11) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (12) イベント・セミナー・講演会
- (13) その他

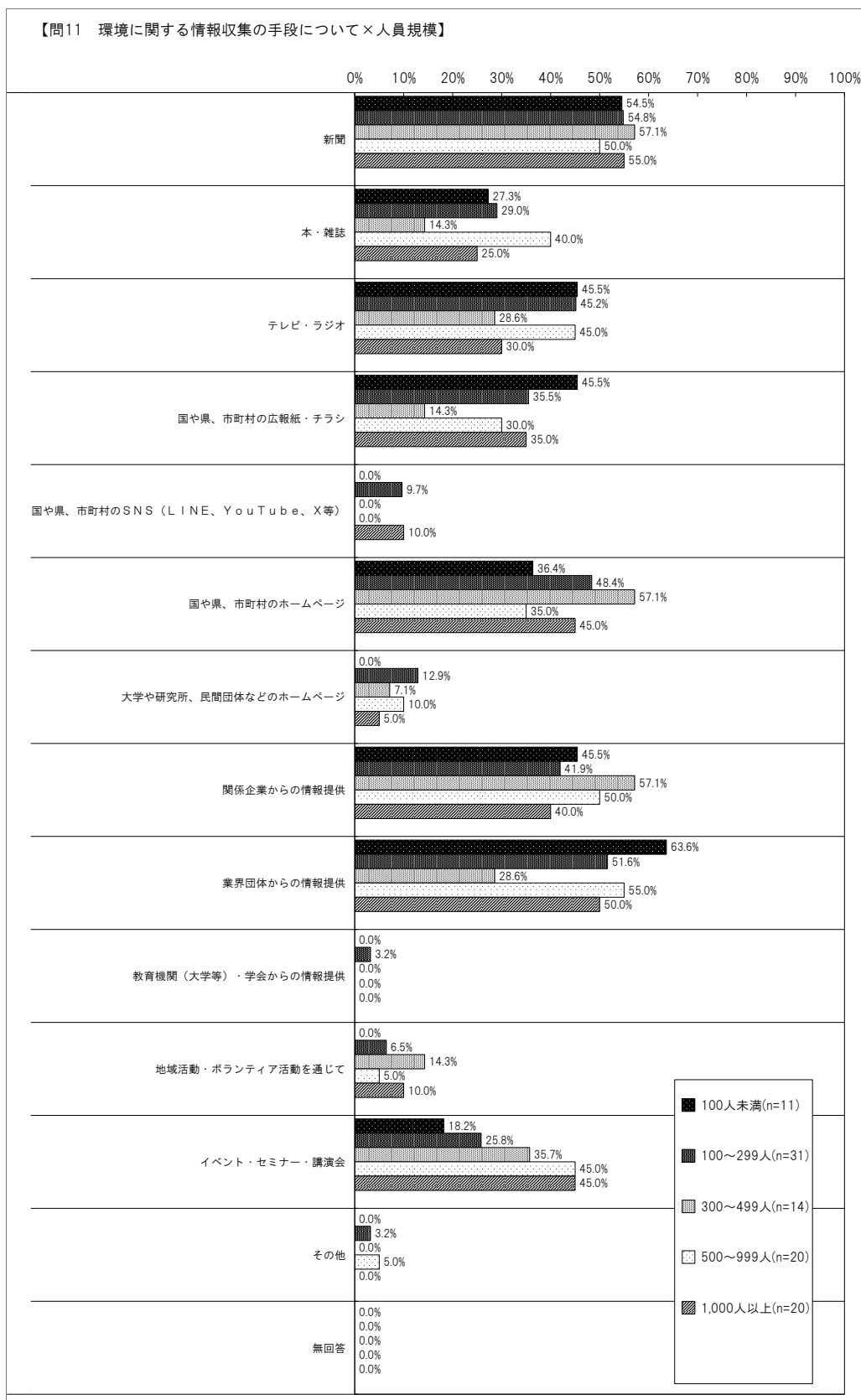
全体(図4-11-1)で見ると、「新聞」が54.2%と最も高く、次いで「業界団体からの情報提供」(50.0%)、「関係企業からの情報提供」(45.8%)の順となっています。

図4-11-1 環境に関する情報収集の手段



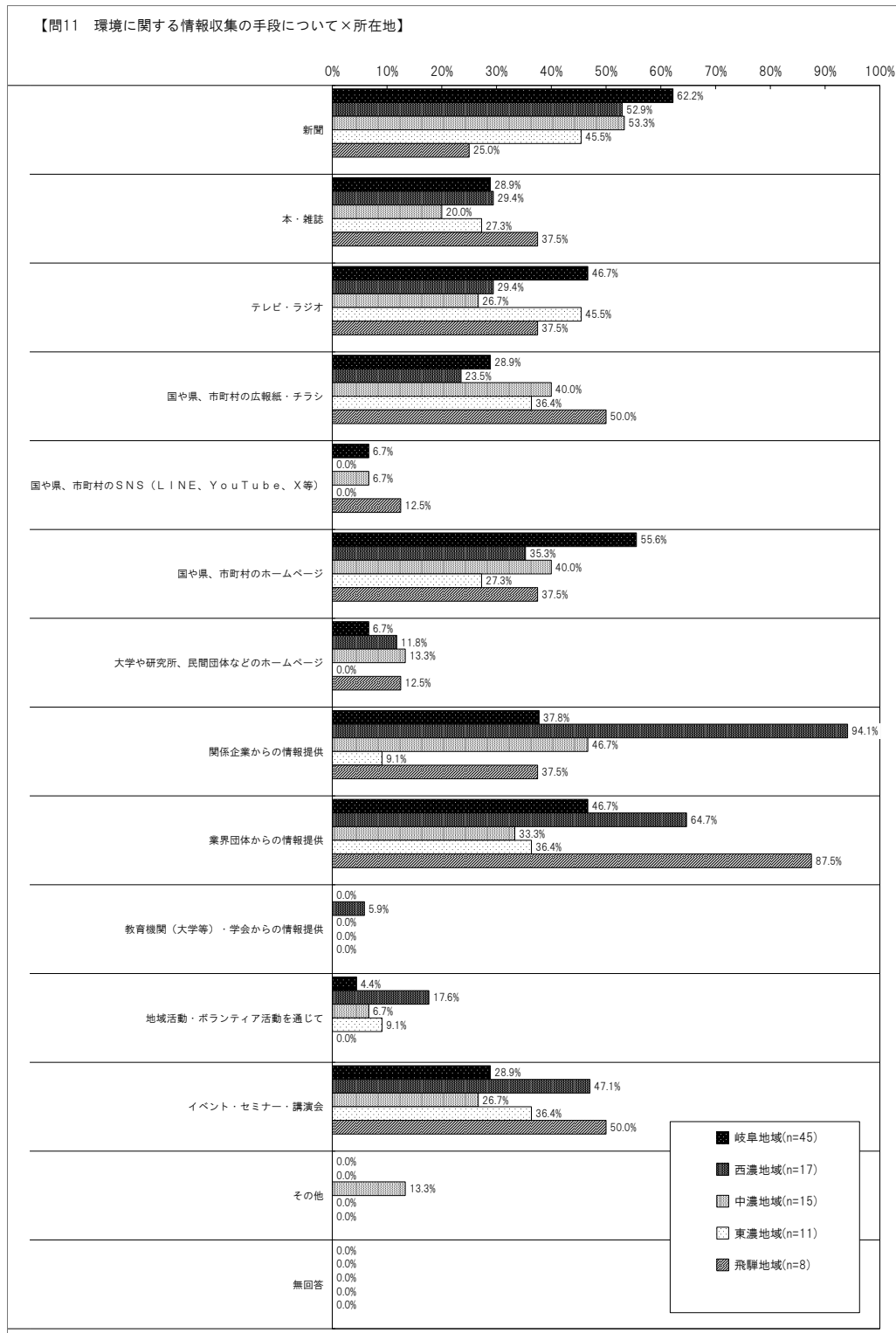
人員規模別（図 4-11-2）でみると、「イベント・セミナー・講演会」では人員規模が大きくなるにつれて高くなっています。

図 4-11-2 【人員規模別】環境に関する情報収集の手段



所在地別（図 4-11-3）で見ると、西濃地域では「関係企業からの情報提供」が他の所在地と比べて高くなっています。

図 4-11-3 【所在地別】環境に関する情報収集の手段



4-3 県が実施する環境施策について

問 12 県が現在行っている環境に関する以下の事業について、貴社はどの程度知っていますか。

次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

【項目】

- (1) 「ぎふエコアクション」の推進
- (2) 「脱炭素相談窓口」の設置
- (3) 「気候変動適応センター」における共同研究等の実施
- (4) G-クレジット制度の運用
- (5) 企業との協働による森林づくりの推進
- (6) 「岐阜県野生動物管理推進センター」における野生動物の管理
- (7) ツキノワグマによる被害の防止
- (8) 「ぎふジビエ」の推進
- (9) 「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承
- (10) 中部山岳国立公園の魅力増進事業
- (11) 「清流調査隊」の編成
- (12) 「カワガラスウォッチング(水生生物調査)」の実施
- (13) 「ぎふ食べきり運動」の推進
- (14) 「フードドライブ」の推進
- (15) 「環境にやさしい買い物(グリーン購入)」の普及
- (16) 「岐阜県リサイクル認定製品」の認定
- (17) 岐阜県プラスチック・スマート事業所「ぎふプラスマ!」の登録制度
- (18) 「岐阜県清掃活動ウェブサイト『クリーンアップぎふ～海まで届け清流!～』」の運営
- (19) 「清流ミナモの未来づくり」の推進
- (20) 「清流月間」における普及啓発の実施
- (21) 「環境教育推進員」の派遣
- (22) 「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成
- (23) 「ぎふ環境学習ポータルサイト」の運営
- (24) 「脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー」の開催

【選択肢】

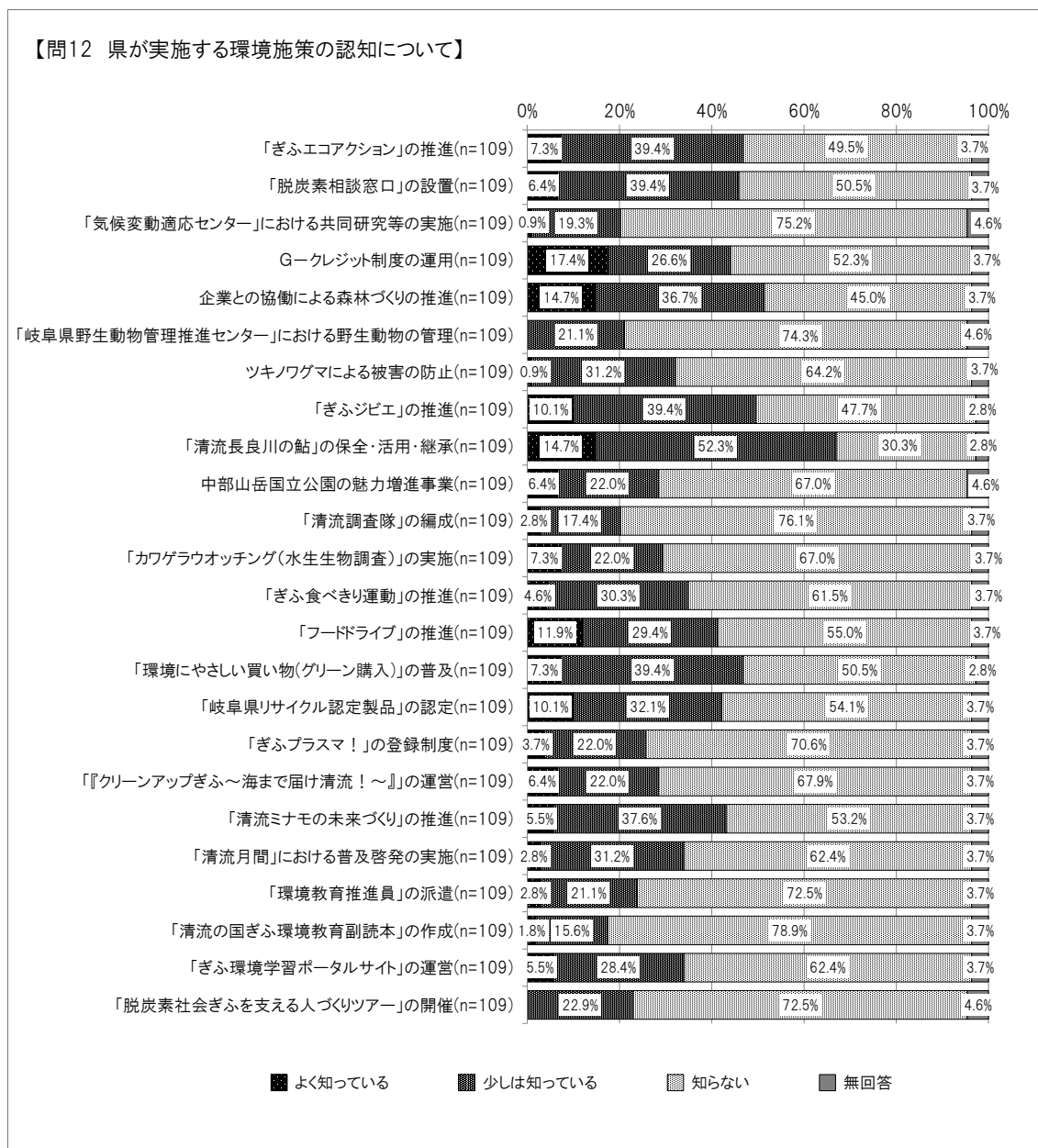
1. よく知っている

2. 少しは知っている

3. 知らない

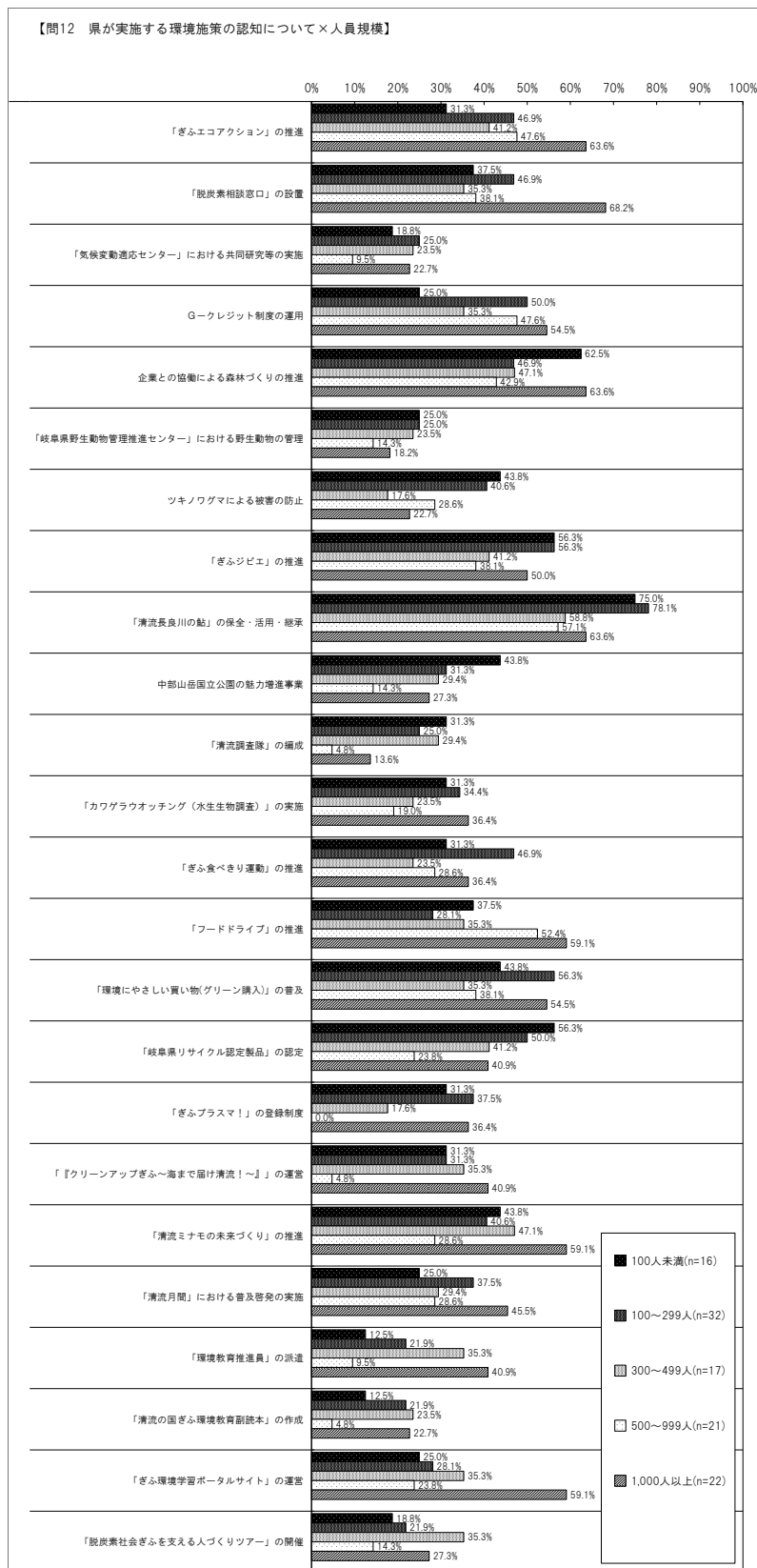
全体（図 4-12-1）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、『清流長良川の鮎』の保全・活用・継承』が 67.0%と最も高く、次いで『企業との協働による森林づくりの推進』（51.4%）、『「ぎふジビエ」の推進』（49.5%）の順となっています。

図 4-12-1 県が実施する環境施策の認知



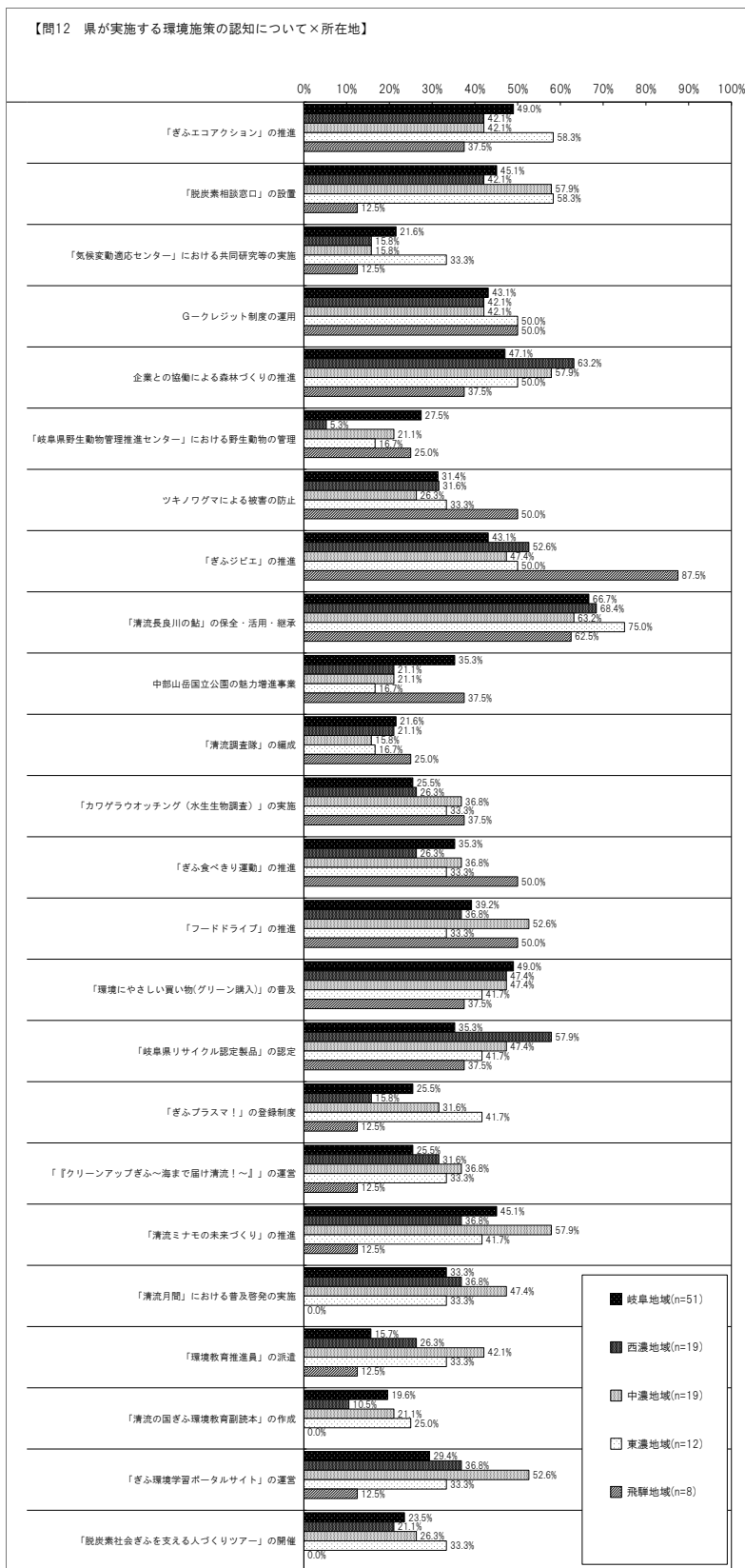
人員規模別（図 4-12-2）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、1,000 人以上では『「ぎふエコアクション」の推進』、『「脱炭素相談窓口」の設置』、『「清流ミナモの未来づくり」の推進』、『「ぎふ環境学習ポータルサイト」の運営』の4つの項目で他の人員規模と比べて10ポイント以上高くなっています。

図 4-12-2 【人員規模別】県が実施する環境施策の認知



所在地別（図 4-12-3）で見ると、「よく知っている」と「少しは知っている」の合計について、西濃地域では『岐阜県野生動物管理推進センター』における野生動物の管理』が他の所在地と比べて低くなっています。

図 4-12-3 【所在地別】県が実施する環境施策の認知



5. 一般県民調査と環境関連団体調査、企業調査の比較結果

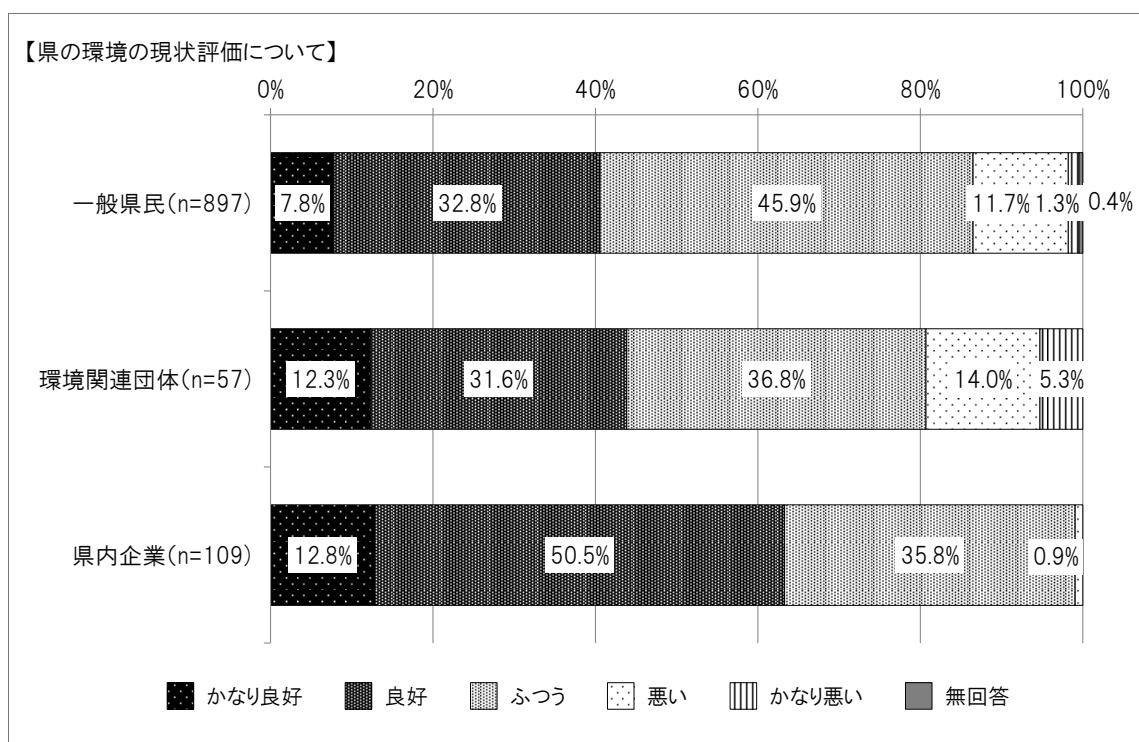
5-1 環境に対する関心や行動について

比較1 県の環境の現状（水、大気、自然などの状況）について、どのように感じていますか。
 次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）

(1) かなり良好
 (2) 良好
 (3) ふつう
 (4) 悪い
 (5) かなり悪い

各調査（図 5-1）を比較すると、「良好」は企業が 50.5%と最も高く、次いで県民が 32.8%、団体が 31.6%の順となっています。

図 5-1 【比較】県の環境の現状評価



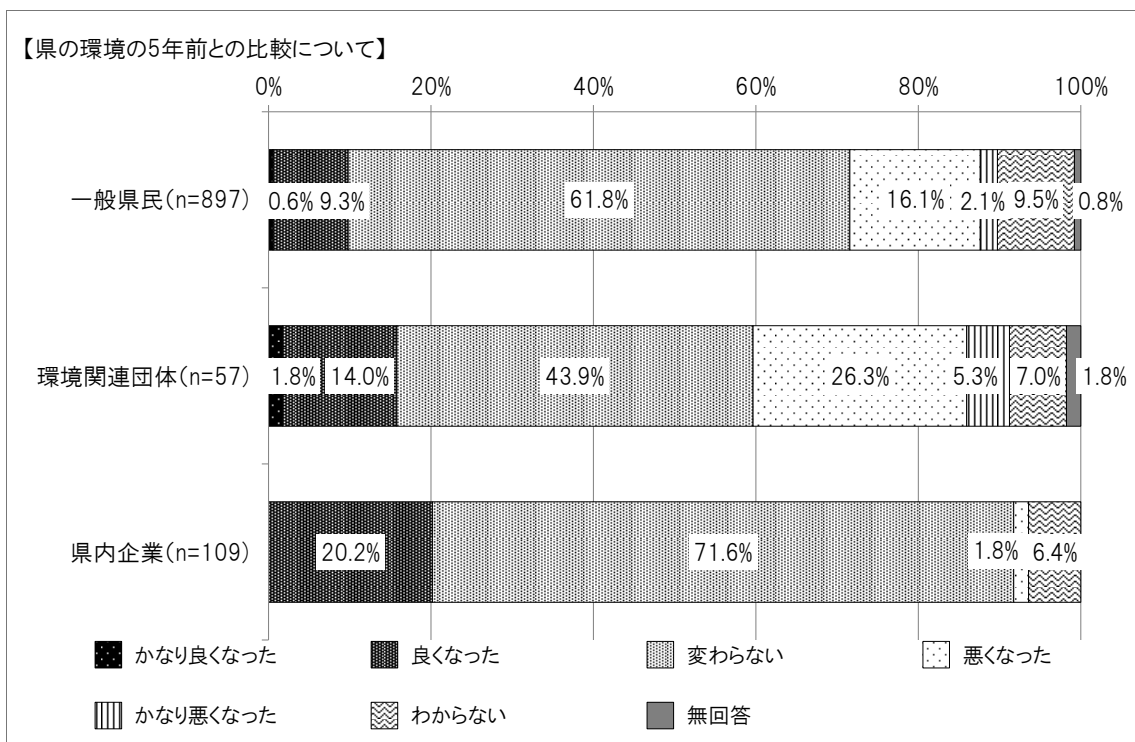
比較2 県の環境の現状について、5年前と比べてどのようになったと感じていますか。

次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

- (1) かなり良くなった
- (2) 良くなった
- (3) 変わらない
- (4) 悪くなった
- (5) かなり悪くなった
- (6) わからない

各調査(図5-2)を比較すると、「良くなった」は企業が20.2%と最も高く、次いで団体が14.0%、県民が9.3%の順となっています。

図5-2 【比較】県の環境の5年前との比較



比較3 環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、
あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

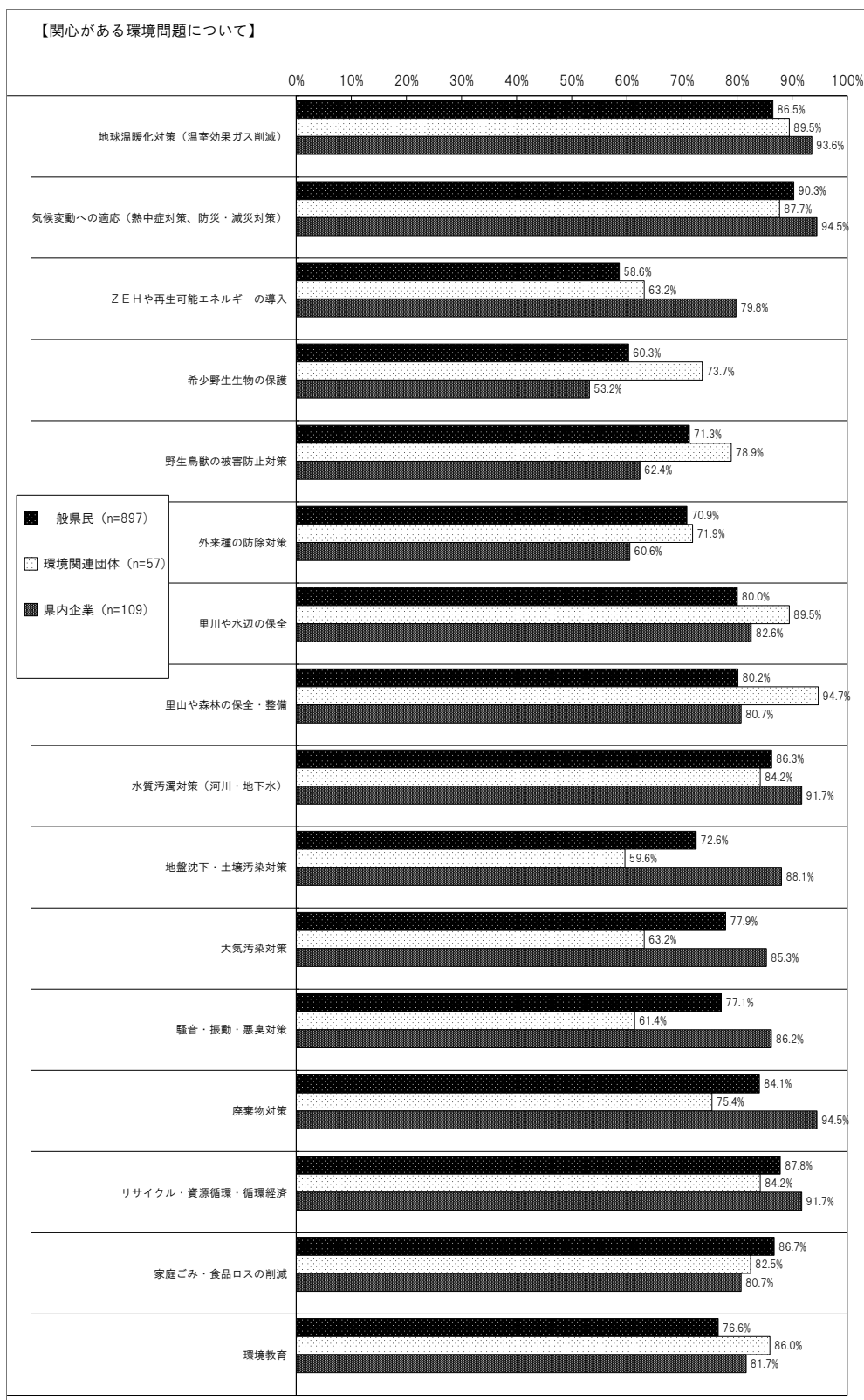
【項目】

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| (1) 地球温暖化対策(温室効果ガス削減) | (2) 気候変動への適応(熱中症対策、防災・減災対策) |
| (3) ZEHや再生可能エネルギーの導入 | (4) 希少野生生物の保護 |
| (5) 野生鳥獣の被害防止対策 | (6) 外来種の防除対策 |
| (7) 里川や水辺の保全 | (8) 里山や森林の保全・整備 |
| (9) 水質汚濁対策(河川・地下水) | (10) 地盤沈下・土壌汚染対策 |
| (11) 大気汚染対策 | (12) 騒音・振動・悪臭対策 |
| (13) 廃棄物対策 | (14) リサイクル・資源循環・環境経済 |
| (15) 家庭ごみ・食品ロスの削減 | (16) 環境教育 |

※各項目の回答数は「非常に関心がある」と「少しは関心がある」を合わせたものとなります。

各調査（図 5-3）を比較すると、県民では「家庭ごみ・食品ロスの削減」が他の調査より高くなっており、団体では「希少野生生物の保護」、「野生鳥獣の被害防止対策」、「外来種の防除対策」、「里川や水辺の保全」、「里山や森林の保全・整備」、「環境教育」の6つの項目で他の調査より高くなっており、その他の項目については企業が他の調査より高くなっています。

図 5-3 【比較】 関心がある環境問題



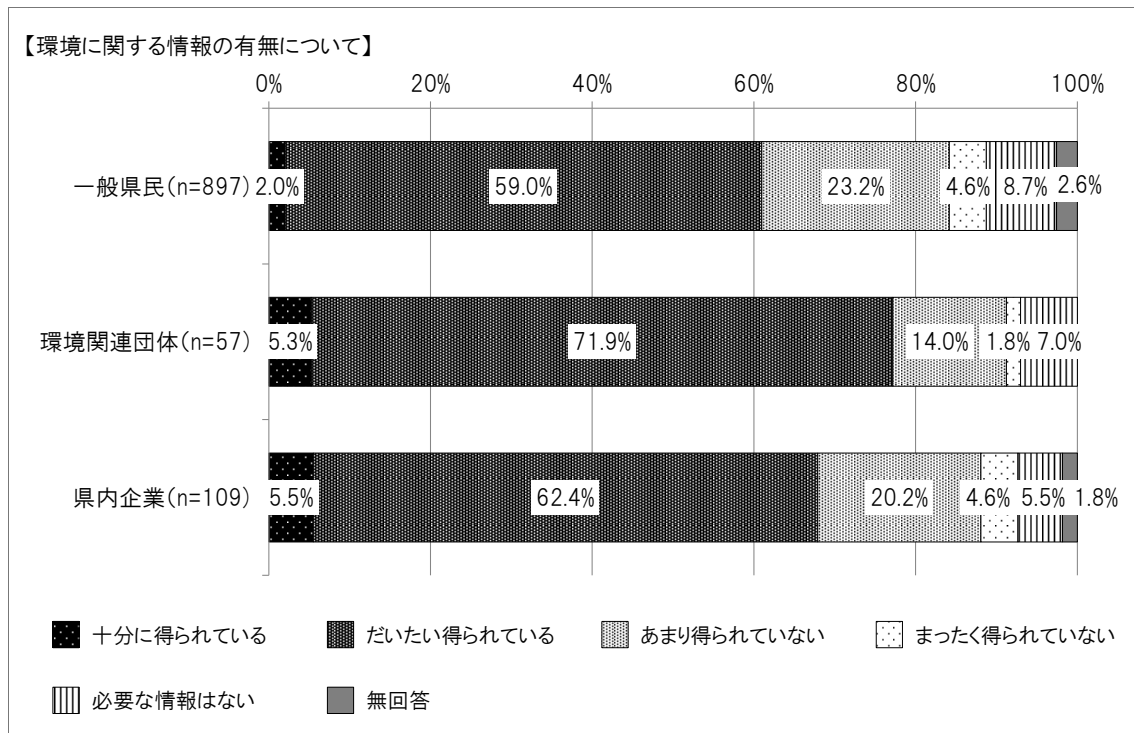
5-2 環境に関する情報について

比較4 環境問題を考えたり、環境活動を行ううえで必要な情報は得られていますか。
 次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(1) 十分に得られている
 (2) だいたい得られている
 (3) あまり得られていない
 (4) まったく得られていない
 (5) 必要な情報はない

各調査(図5-4)を比較すると、「だいたい得られている」は団体が71.9%と最も高く、次いで企業が62.4%、県民が59.0%の順となっています。

図5-4 【比較】環境に関する情報の有無



比較5 前問で(1)～(3)を選んだ方に伺います。環境問題を考えたり、環境活動を行ううえで必要な情報を得る主な手段は何ですか。

次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のSNS (LINE、YouTube、X (旧Twitter) 等)
- (6) 国や県、市町村のホームページ
- (7) 大学や研究所、民間団体などのホームページ
- (8) 家族や友人・知人
- (9) 業界団体 (他団体) からの情報提供
- (10) 関係企業からの情報提供
- (11) 教育機関 (学校等) からの情報提供
- (12) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (13) イベント・セミナー・講演会
- (14) その他

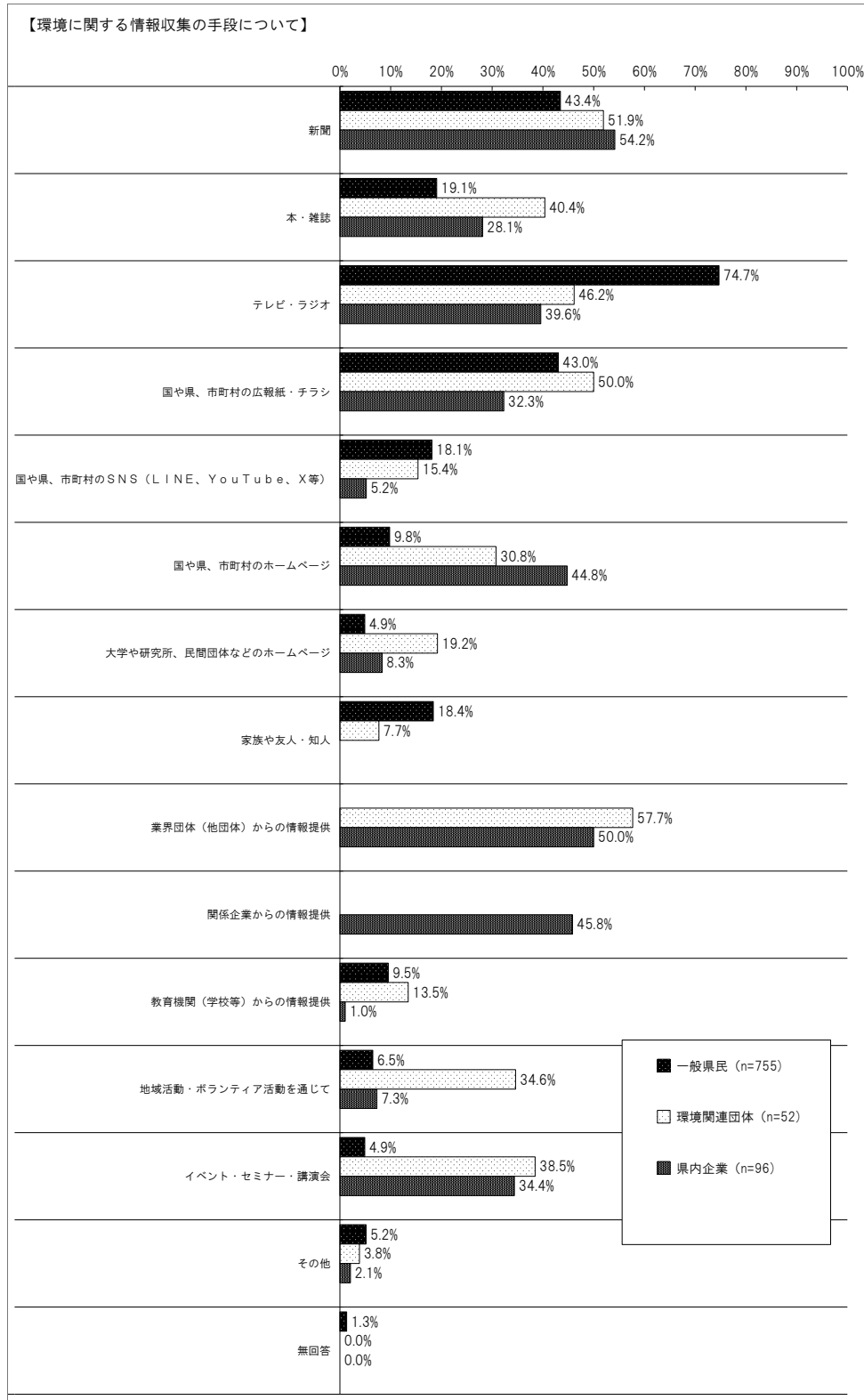
※1 「家族や友人・知人」、「業界団体からの情報提供 (他団体からの情報提供)」、「関係企業からの情報提供」について、確認していない調査では記載しておりません。

※2 「業界団体からの情報提供」と「他団体からの情報提供」は同一の選択肢として扱っています。

※3 「教育機関 (学校等) からの情報提供」と「教育機関 (大学等)・学会からの情報提供」は同一の選択肢として扱っています。

各調査（図 5-5）を比較すると、県民は「テレビ・ラジオ」が 20 ポイント以上、他の調査より高くなっており、団体では「地域活動・ボランティア活動を通じて」が 20 ポイント以上、「本・雑誌」や「大学や研究所、民間団体などのホームページ」が 10 ポイント以上、他の調査より高くなっており、企業では「国や県、市町村のホームページ」が 10 ポイント以上、他の調査より高くなっています。

図 5-5 【比較】環境に関する情報収集の手段



5-3 県が実施する環境施策について

比較6 県が現在行っている環境に関する以下の事業について、どの程度知っていますか。

次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

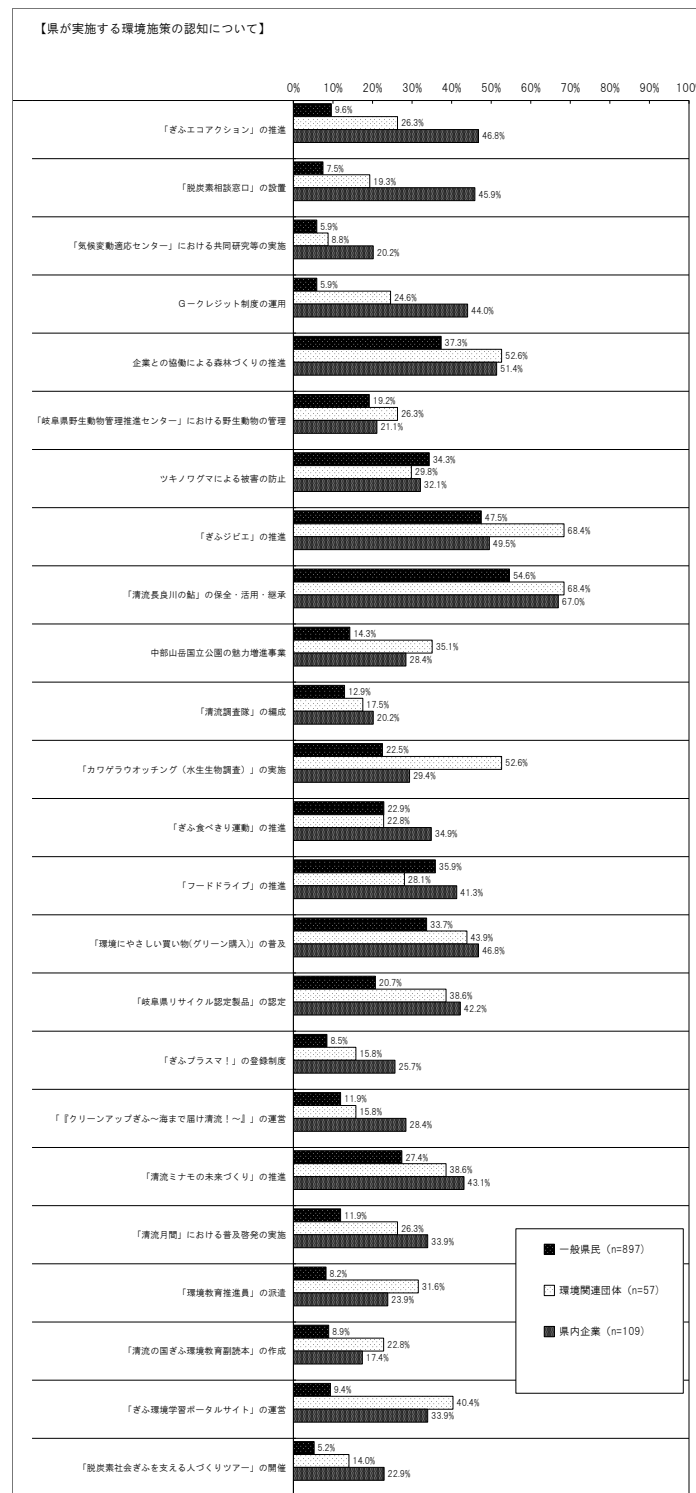
【項目】

- (1) 「ぎふエコアクション」の推進
- (2) 「脱炭素相談窓口」の設置
- (3) 「気候変動適応センター」における共同研究等の実施
- (4) G-クレジット制度の運用
- (5) 企業との協働による森林づくりの推進
- (6) 「岐阜県野生動物管理推進センター」における野生動物の管理
- (7) ツキノワグマによる被害の防止
- (8) 「ぎふジビエ」の推進
- (9) 「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承
- (10) 中部山岳国立公園の魅力増進事業
- (11) 「清流調査隊」の編成
- (12) 「カワガラスウォッチング(水生生物調査)」の実施
- (13) 「ぎふ食べきり運動」の推進
- (14) 「フードドライブ」の推進
- (15) 「環境にやさしい買い物(グリーン購入)」の普及
- (16) 「岐阜県リサイクル認定製品」の認定
- (17) 岐阜県プラスチック・スマート事業所「ぎふプラスマ！」の登録制度
- (18) 「岐阜県清掃活動ウェブサイト『クリーンアップぎふ～海まで届け清流！～』」の運営
- (19) 「清流ミナモの未来づくり」の推進
- (20) 「清流月間」における普及啓発の実施
- (21) 「環境教育推進員」の派遣
- (22) 「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成
- (23) 「ぎふ環境学習ポータルサイト」の運営
- (24) 「脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー」の開催

※各項目の回答数は「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせたものとなります。

各調査（図 5-6）を比較すると、県民は『ツキノワグマによる被害の防止』を除く、すべての項目で他の調査より概ね低くなっています。団体では『企業との協働による森林づくりの推進』、『岐阜県野生動物管理推進センター』における野生動物の管理』、『「ぎふジビエ」の推進』、『「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承』、『中部山岳国立公園の魅力増進事業』、『「カワゲラウオッチング（水生生物調査）」の実施』、『「環境教育推進員」の派遣』、『「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成』、『「ぎふ環境学習ポータルサイト」の運営』の9項目で他の調査より高くなっており、その他の項目については企業が他の調査より高くなっています。

図 5-6 【比較】県が実施する環境施策の認知



環境に関する意識調査（県民のみなさまへ）
【ご協力のお願ひ】

日頃から県政の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
岐阜県では、令和3年3月に「岐阜県環境基本計画（第6次）」を策定し、環境の保全及び創出に関する様々な取組みを推進しておりますが、令和8年3月に計画が満了することから次期計画の策定を検討しております。

つきましては、次期計画の策定に当たり、県民のみなさまの環境に対するお考えやご意見などをお伺いするため、県内に居住する満18歳以上の方2,000人を無作為に選ばせていただき、アンケート調査を行うことといたしました。

この調査票は無記名でご回答いただき、記入された内容は、すべて統計的な数値として処理を行い、調査結果としてホームページ等で公表しますが、回答者が特定されたり、回答いただいた内容を本調査以外の目的に使用することは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年10月
岐阜県

《ご記入にあたってのお願い》

- ・ 回答は、該当する番号に○を付けてください。なお、「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが（ ）内に具体的な内容を記入してください。

《調査票の返送方法》

- ・ 同封の返信用封筒に入れて、**令和6年11月22日（金）**までにご投函ください（切手は不要です）。

《調査結果の公表予定》

- ・ 公表時期は令和7年3月頃を予定しています。
県ホームページに掲載（<http://www.pref.gifu.lg.jp/>）

【問い合わせ先】

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
岐阜県 環境生活部 環境生活政策課 政策企画係
電 話：（県庁代表）058-272-1111（内線2912）
F A X：058-278-2605

環境に関する意識調査票（県民のみなさまへ）

はじめに

調査を統計的に分析するために、あなたご自身のことについておたずねします。
該当する番号に○を付けてください。

① あなたの年齢を教えてください。

1	18歳～29歳	2	30歳～39歳	3	40歳～49歳
4	50歳～59歳	5	60歳～69歳	6	70歳以上

（令和6年10月1日現在の満年齢でお答えください。）

② あなたのお住まいの地域を教えてください。

1	岐阜地域 （岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
2	西濃地域 （大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
3	中濃地域 （関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）
4	東濃地域 （多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）
5	飛騨地域 （高山市、飛騨市、下呂市、大野郡）

環境に対する関心や行動について伺います

問1 あなたは、県の環境の現状（水、大気、自然などの状況）について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）（4）、（5）に○をつけた方は、（ ）内の具体的な分野に○をつけてください。

- (1) かなり良好
- (2) 良好
- (3) ふつう
- (4) 悪い

（具体的な分野：水・土壌・大気・生活環境（騒音・悪臭等）・自然・動植物・その他（ ））

- (5) かなり悪い

（具体的な分野：水・土壌・大気・生活環境（騒音・悪臭等）・自然・動植物・その他（ ））

問2 あなたは、県の環境の現状について、5年前と比べてどのようになったと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）（4）、（5）に○をつけた方は、（ ）内の具体的な分野に○をつけてください。

- (1) かなり良くなった
- (2) 良くなった
- (3) 変わらない
- (4) 悪くなった

（具体的な分野：水・土壌・大気・生活環境（騒音・悪臭等）・自然・動植物・その他（ ））

- (5) かなり悪くなった

（具体的な分野：水・土壌・大気・生活環境（騒音・悪臭等）・自然・動植物・その他（ ））

- (6) わからない

問3 あなたは、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	分野	非常に 関心がある	少しは 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
気 候 変 動	(1) 地球温暖化対策（温室効果ガス削減）	1	2	3	4
	(2) 気候変動への適応（熱中症対策、防災・減災対策）	1	2	3	4
	(3) ZEH※や再生可能エネルギーの導入	1	2	3	4
自 然	(4) 希少野生生物の保護	1	2	3	4
	(5) 野生鳥獣の被害防止対策	1	2	3	4
	(6) 外来種の防除対策	1	2	3	4
	(7) 里川や水辺の保全	1	2	3	4
	(8) 里山や森林の保全・整備	1	2	3	4
環 境	(9) 水質汚濁対策（河川・地下水）	1	2	3	4
	(10) 地盤沈下・土壌汚染対策	1	2	3	4
	(11) 大気汚染対策	1	2	3	4
	(12) 騒音・振動・悪臭対策	1	2	3	4

廃棄物	(13) 廃棄物対策	1	2	3	4
	(14) リサイクル・資源循環・循環経済	1	2	3	4
	(15) 家庭ごみ・食品ロスの削減	1	2	3	4
	(16) 環境教育	1	2	3	4

※ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは

家庭で使用するエネルギーと、太陽光発電などで創るエネルギーをバランスして、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする家のこと。

問4 あなたは、どのような環境にやさしい行動をしていますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

【気候変動】

- (1) 必要のない灯りをこまめに消している
- (2) 室内温度は適温に保ち、冷房・暖房を必要な時に使っている
- (3) 省エネ型の家電や照明器具（LEDなど）を使っている
- (4) できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動している

【自然】

- (5) 水道の蛇口をこまめに閉め、節水している
- (6) 動植物の飼育や栽培を、最後まで責任を持って育てている
- (7) 野生鳥獣の被害防止のため、放置された果樹や農作物を除去している
- (8) 希少野生生物の保護、外来種の駆除等に関する地域活動やボランティアに参加している

【環境】

- (9) 置き配サービスなどを活用して、宅配便を一度で受け取っている
- (10) アイドリングストップなど、エコドライブを実践している
- (11) 食用油などを排水口から流さず、適正に処分している
- (12) 河川清掃など地域の環境保全に関する地域活動やボランティアに参加している

【廃棄物】

- (13) 買い物をするときは、てまえどりや必要な分のみ購入するようにしている
- (14) 有機野菜や地元産の食材、リサイクル製品など環境に配慮した商品を積極的に選んでいる
- (15) フードドライブ※を活用している
- (16) マイバッグ・マイボトル・マイ箸を使い、使い捨てのものは使わない

【環境教育等】

- (17) 環境活動団体が主催する環境学習活動に参加している
- (18) 市町村等が主催する環境フェアなどに参加している
- (19) 環境にやさしい取組みについて、家庭内で話し合っている
- (20) その他（具体的に： _____ ）
- (21) 特にしていない

※フードドライブとは

家庭から出る未利用食品を集め、食品を必要とする地域の福祉施設などに寄付を行う活動です。

問5 あなたが環境にやさしい行動を実践するうえで、難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由は何ですか。次のうち、あなたの考えに近いものを3つ以内で選び、番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- (1) 行動するための時間がない
- (2) 行動による効果が実感できない
- (3) 行動するためのお金がない
- (4) 何をどう行動すればよいか分からない
- (5) 家族や仲間の協力が得られない
- (6) 環境問題の現状が分からない
- (7) 何となく抵抗感がある
- (8) 必要性を感じない
- (9) その他(内容:)
- (10) 難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由は特にない

環境に関する情報について伺います

問6 環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報は得られていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)(3)、(4)に○をつけた方で、分かる方は、併せて得られていない情報を記入してください。

- (1) 十分に得られている
- (2) だいたい得られている
- (3) あまり得られていない(得られていない情報:)
- (4) まったく得られていない(得られていない情報:)
- (5) 必要な情報はない

問7 問6で(1)～(3)を選んだ方に伺います。あなたが環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報を得る主な手段は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のSNS(LINE、YouTube、X(旧Twitter)等)
- (6) 国や県、市町村のホームページ
- (7) 大学や研究所、民間団体などのホームページ
- (8) 家族や友人・知人
- (9) 教育機関(学校等)からの情報提供
- (10) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (11) イベント・セミナー・講演会
- (12) その他(内容:)

県が実施する環境施策について伺います

問8 県が現在行っている環境に関する以下の事業（次頁参照）について、あなたはどの程度知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	よく 知っている	少しは 知っている	知らない
(1) 「ぎふエコアクション」の推進	1	2	3
(2) 「脱炭素相談窓口」の設置	1	2	3
(3) 「気候変動適応センター」における共同研究等の実施	1	2	3
(4) G-クレジット制度の運用	1	2	3
(5) 企業との協働による森林づくりの推進	1	2	3
(6) 「岐阜県野生動物管理推進センター」における野生動物の管理	1	2	3
(7) ツキノワグマによる被害の防止	1	2	3
(8) 「ぎふジビエ」の推進	1	2	3
(9) 「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承	1	2	3
(10) 中部山岳国立公園の魅力増進事業	1	2	3
(11) 「清流調査隊」の編成	1	2	3
(12) 「カワゲラウオッチング（水生生物調査）」の実施	1	2	3
(13) 「ぎふ食べきり運動」の推進	1	2	3
(14) 「フードドライブ」の推進	1	2	3
(15) 「環境にやさしい買い物（グリーン購入）」の普及	1	2	3
(16) 「岐阜県リサイクル認定製品」の認定	1	2	3
(17) 岐阜県プラスチック・スマート事業所「ぎふプラスマ!」の登録制度	1	2	3
(18) 「岐阜県清掃活動ウェブサイト『クリーンアップぎふ～海まで届け清流!～』」の運営	1	2	3
(19) 「清流ミナモの未来づくり」の推進	1	2	3
(20) 「清流月間」における普及啓発の実施	1	2	3
(21) 「環境教育推進員」の派遣	1	2	3
(22) 「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成	1	2	3
(23) 「ぎふ環境学習ポータルサイト」の運営	1	2	3
(24) 「脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー」の開催	1	2	3

【参考】

- (1) ぎふエコアクション
環境省では国民運動「デコ活」を推進しており、これに岐阜県も賛同しています。特に、脱炭素の推進をより身近な取組みとして感じてもらい、県民の皆さまの積極的な行動を促したいことから、県で独自の呼びかけを行っているものです。
- (2) 脱炭素相談窓口
岐阜県地球温暖化防止活動推進センター内に再生可能エネルギー・省エネルギーに関する相談窓口を設けています。
- (3) 気候変動適応センター
岐阜県と岐阜大学が共同で設置している「気候変動適応センター」が中心となり、気候変動の影響や適応策について、情報収集・分析や共同研究、人材育成等を実施しています。
- (4) G-クレジット制度
県内の適切に管理された森林による二酸化炭素吸収量を県が認証する県独自の森林由来のカーボン・クレジット制度のこと。令和5年11月から運用を開始しています。
- (5) 企業との協働による森林づくり
平成19年7月から、企業、市町村、地域住民等との県との協働による森林づくりに取り組んでいます。
- (6) 岐阜県野生動物管理推進センター
岐阜県と岐阜大学が共同で設置している「岐阜県野生動物管理推進センター」では、野生動物の適切な管理を実施するため、生息状況の調査研究や、シンポジウム・講座の開催などの普及啓発を実施しています。
- (7) ツキノワグマによる被害の防止
ツキノワグマの個体数を維持しつつ、人の生活圏周辺での人身被害等を防止するため、生息状況の調査や出没防止に関する普及啓発、クママップによる情報提供などを実施しています。
- (8) ぎふジビエ
県が独自に策定した「ぎふジビエ衛生ガイドライン」に沿った「岐阜県産」のイノシシ・ニホンジカのお肉のこと。安全・安心なジビエの安定供給を図るため、解体処理施設の整備支援や、フェア開催等による消費拡大とPR活動を実施しています。
- (9) 清流長良川の鮎
平成27年12月に「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されました。これを記念して7月第4日曜日を「GIAHS 鮎の日」として制定し、世界農業遺産の意義の理解と鮎に対する関心を高める取組みを進めています。
- (10) 中部山岳国立公園の魅力増進
中部山岳国立公園の自然観光資源を活かしたエコツーリズムや自然体験プログラムを推進するとともに、映像やSNSを活用した情報発信等によって地域の魅力向上及び誘客促進を図っています。
- (11) 清流調査隊
生活排水による河川水質の汚濁負荷を軽減しようと「清流調査隊」を編成し、地域の皆さんと生活排水対策に取り組んでいます。
- (12) カワゲラウオッチング(水生生物調査)
身近な河川に棲む生物を調べることで、河川の水質を知っていただくとともに、調査の体験を通じて水質の保全及び浄化の重要性を認識していただくことを目的としたものです。
- (13) ぎふ食べきり運動
食品ロスの削減に向け、県民の皆さんの日常生活でも「食べきり」を実践いただくこと目的に、家庭でもできる食べきりレシピの発信や「てまえどり」などの啓発を行っています。
- (14) フードドライブ
家庭から出る未利用食品を集め、食品を必要とする地域の福祉施設などに寄付を行う活動です。
- (15) 環境にやさしい買い物(グリーン購入)
買い物をするときにマイバッグを持参する、環境ラベルのついた商品を購入するなど、環境のことを考え、環境負荷ができるだけ少ないものを優先して購入することです。
- (16) 岐阜県リサイクル認定製品
主として県内で発生する循環資源を使用し、県内で製造されるリサイクル製品を「岐阜県リサイクル認定製品」として認定しています。
- (17) 岐阜県プラスチック・スマート事業所「ぎふプラスマ！」
持続可能な社会・自然環境を構築していくため、使い捨てプラスチック製品使用の合理化や再生可能原料への代替などに取り組む事業所を「岐阜県プラスチック・スマート事業所『ぎふプラスマ！』」として登録しています。
- (18) 岐阜県清掃活動ウェブページ『クリーンアップぎふ～海まで届け清流！～』
専用のごみ拾いSNSと連動し、企業や団体、県民のみなさんによる自主的な清掃活動の成果を「見える化」するとともに、散乱ごみの分布調査結果をヒートマップの形で掲載しています。
- (19) 清流ミナモの未来づくり
清流を「守る」、「活かす」、「伝える」という環境保全の取組みを県民、団体、行政等地域社会が一体となって推進するため、これに賛同する清流の保全に資する様々な活動を「清流ミナモの未来づくり」とし、県のウェブページやFacebookに掲載し、活動情報を広く発信しています。

(20) 清流月間

「第30回全国豊かな海づくり大会」を契機として高まった県民の皆さんの環境保全意識を継続、発展させていくため、7月を「清流月間」と定め、清流を「守る」、「活かす」、「伝える」ための様々な活動を行っています。

(21) 環境教育推進員

岐阜県内に所在する学校、企業及び団体等へ環境保全にかかる普及や活動を実施している環境の専門家等を環境教育推進員として、依頼に応じて派遣しています。

(22) 清流の国ぎふ環境教育副読本

県内の小学5年生を対象に、環境問題についてわかりやすく記載した「環境教育副読本」を毎年配布し、学校や自宅での副読本の活用を進め、環境配慮行動のできる人づくりの促進を図っています。

(23) ぎふ環境学習ポータルサイト

「脱炭素社会ぎふの実現」という目標に向け、県民の暮らしが環境へやさしいスタイルへと変化するよう、環境を学ぶ場の情報や教材などを「ぎふ環境学習ポータルサイト」で提供しています。

(24) 脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー

小中学生とその保護者の方を対象に、森・里・川・海での自然体験や保全活動を通じて流域のつながりや環境問題について考え、環境にやさしい行動を学ぶ環境学習ツアーです。

問9 県の環境施策に関してご意見・ご要望があれば、ご記入ください。(自由記述)

環境に関する意識調査（団体のみなさまへ）
【ご協力をお願い】

日頃から県政の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
岐阜県では、令和3年3月に「岐阜県環境基本計画（第6次）」を策定し、環境の保全及び創出に関する様々な取組みを推進しておりますが、令和8年3月に計画が満了することから、次期計画の策定を検討しております。

つきましては、次期計画の策定に当たり、環境の保全に関する活動を行っている県内の団体のみなさまの環境に対する意識などをお伺いするため、アンケート調査を行うことといたしました。

この調査票でご回答いただき、記入された内容は、すべて統計的な数値として処理を行い、調査結果としてホームページ等で公表しますが、回答者が特定されたり、回答いただいた内容を本調査以外の目的に使用することは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。なお、ご回答いただいた内容について、確認のためにご連絡させていただくことがありますので、ご承知おきください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年10月
岐阜県

《ご記入にあたってのお願い》

- ・封筒のあて名の団体として回答してください。
- ・回答は、該当する番号に○を付けてください。なお、「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが（ ）内に具体的な内容を記入してください。

《調査票の返送方法》

- ・同封の返信用封筒に入れて、**令和6年 11月 22日（金）**までにご投函ください（切手は不要です）。

《調査結果の公表予定》

- ・公表時期は令和7年3月頃を予定しています。
県ホームページに掲載（<http://www.pref.gifu.lg.jp/>）

【問い合わせ先】

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
岐阜県 環境生活部 環境生活政策課 政策企画係
電 話：（県庁代表）058-272-1111（内線2912）
F A X：058-278-2605

環境に関する意識調査票（団体のみなさまへ）

はじめに

調査を統計的に分析するために、貴団体についておたずねします。
該当する番号に○を付けてください。

③ 貴団体の種別を教えてください。

1	特定非営利活動法人（NPO法人）	2	1以外の法人	3	任意団体
---	------------------	---	--------	---	------

④ 貴団体の人員規模（役員、会員数）を教えてください。

1	1～9人	2	10～19人	3	20～29人
4	30～39人	5	40～49人	6	50人以上

⑤ 貴団体が所在している地域を教えてください。

1	岐阜地域 （岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
2	西濃地域 （大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
3	中濃地域 （関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）
4	東濃地域 （多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）
5	飛騨地域 （高山市、飛騨市、下呂市、大野郡）

環境に対する関心や行動について伺います

問1 貴団体は、県の環境の現状（水、大気、自然などの状況）について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）

（4）、（5）に○をつけた方は、（ ）内の具体的な分野に○をつけてください。

- (1) かなり良好
- (2) 良好
- (3) ふつう
- (4) 悪い

（具体的な分野：水・土壌・大気・生活環境（騒音・悪臭等）・自然・動植物・その他（ ））

- (5) かなり悪い

（具体的な分野：水・土壌・大気・生活環境（騒音・悪臭等）・自然・動植物・その他（ ））

問2 貴団体は、県の環境の現状について、5年前と比べてどのようになったと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）

（4）、（5）に○をつけた方は、（ ）内の具体的な分野に○をつけてください。

- (1) かなり良くなった
- (2) 良くなった
- (3) 変わらない
- (4) 悪くなった

（具体的な分野：水・土壌・大気・生活環境（騒音・悪臭等）・自然・動植物・その他（ ））

- (5) かなり悪くなった

（具体的な分野：水・土壌・大気・生活環境（騒音・悪臭等）・自然・動植物・その他（ ））

- (6) わからない

問3 貴団体は、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	分野	非常に 関心がある	少しは 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
気 候 変 動	(1) 地球温暖化対策（温室効果ガス削減）	1	2	3	4
	(2) 気候変動への適応（熱中症対策、防災・減災対策）	1	2	3	4
	(3) ZEH※や再生可能エネルギーの導入	1	2	3	4
自 然	(4) 希少野生生物の保護	1	2	3	4
	(5) 野生鳥獣の被害防止対策	1	2	3	4
	(6) 外来種の防除対策	1	2	3	4
	(7) 里川や水辺の保全	1	2	3	4
	(8) 里山や森林の保全・整備	1	2	3	4
環 境	(9) 水質汚濁対策（河川・地下水）	1	2	3	4
	(10) 地盤沈下・土壌汚染対策	1	2	3	4
	(11) 大気汚染対策	1	2	3	4
	(12) 騒音・振動・悪臭対策	1	2	3	4

廃棄物	(13) 廃棄物対策	1	2	3	4
	(14) リサイクル・資源循環・循環経済	1	2	3	4
	(15) 家庭ごみ・食品ロスの削減	1	2	3	4
	(16) 環境教育	1	2	3	4

※ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは

家庭で使用するエネルギーと、太陽光発電などで創るエネルギーをバランスして、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする家のこと。

問4 貴団体において、現在実施されている環境活動と今後実施したい環境活動について、次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

	現在 実施している	今後 実施したい
(1) 地球温暖化防止活動	1	2
(2) エコ通勤・エコドライブに関する活動	1	2
(3) 省エネルギー・再生エネルギー等に関する活動	1	2
(4) 地産地消に関する活動	1	2
(5) 自然保護活動	1	2
(6) 希少動植物の保護活動	1	2
(7) 外来種の防除活動	1	2
(8) 里地・里山の保全活動	1	2
(9) 市街地等の緑化に関する活動	1	2
(10) 森林整備に関する活動	1	2
(11) ごみ減量化に関する活動	1	2
(12) 3R（リデュース・リユース・リサイクル）に関する活動	1	2
(13) 食品ロス削減に関する活動	1	2
(14) グリーン購入に関する活動	1	2
(15) 水環境の保全に関する活動	1	2
(16) 土壌環境の保全に関する活動	1	2
(17) 大気環境の保全に関する活動	1	2
(18) 生活環境の保全に関する活動	1	2
(19) 環境美化活動	1	2
(20) 自然体験等などの環境教育活動	1	2
(21) 教育機関と連携した環境教育活動	1	2
(22) その他（内容： ）	1	2

問5 貴団体内で実施している研修や会員の研鑽を深める活動について、次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 会員が各自で研修を受講している
- (2) 団体内で勉強会を開催している
- (3) 教育機関や関係団体と連携した研修を実施している
- (4) 全会員を対象とした研修会を年1回以上実施している
- (5) 会報等で情報の共有や情報提供をしている
- (6) 特にない
- (7) その他(内容:)

環境に関する情報について伺います

問6 貴団体が環境問題を考えたり、環境活動を行ううえで必要な情報は得られていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)(3)、(4)に○をつけた方で、分かる方は、併せて得られていない情報を記入してください。

- (1) 十分に得られている
- (2) だいたい得られている
- (3) あまり得られていない(得られていない情報:)
- (4) まったく得られていない(得られていない情報:)
- (5) 必要な情報はない

問7 問6で(1)～(3)を選んだ方に伺います。貴団体が環境問題を考えたり、環境活動を行ううえで必要な情報を得る主な手段は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のSNS(LINE、YouTube、X(旧Twitter)等)
- (6) 国や県、市町村のホームページ
- (7) 大学や研究所、民間団体などのホームページ
- (8) 家族や友人・知人
- (9) 他団体からの情報提供
- (10) 教育機関(学校等)からの情報提供
- (11) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (12) イベント・セミナー・講演会
- (13) その他(内容:)

問8 貴団体が実施している環境活動には、どのような人に参加してもらいたいですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 大人
- (2) 高校生、大学生等
- (3) 小学生、中学生
- (4) 親子
- (5) 企業関係者
- (6) その他(内容: _____)

問9 貴団体が行っている環境活動の情報をどのように発信していますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 貴団体のホームページ
- (2) 貴団体のSNS
- (3) 貴団体の会報
- (4) チラシの作成、配布
- (5) 新聞・情報誌等での周知
- (6) イベントでの告知
- (7) 貴団体会員のSNS
- (8) 他団体との交流の場における情報交換
- (9) ぎふ環境学習ポータルサイト
- (10) その他(内容: _____)

県が実施する環境施策について伺います

問10 県が現在行っている環境に関する以下の事業（次頁参照）について、貴団体はどの程度知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	よく 知っている	少しは 知っている	知らない
(1) 「ぎふエコアクション」の推進	1	2	3
(2) 「脱炭素相談窓口」の設置	1	2	3
(3) 「気候変動適応センター」における共同研究等の実施	1	2	3
(4) G-クレジット制度の運用	1	2	3
(5) 企業との協働による森林づくりの推進	1	2	3
(6) 「岐阜県野生動物管理推進センター」における野生動物の管理	1	2	3
(7) ツキノワグマによる被害の防止	1	2	3
(8) 「ぎふジビエ」の推進	1	2	3
(9) 「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承	1	2	3
(10) 中部山岳国立公園の魅力増進事業	1	2	3
(11) 「清流調査隊」の編成	1	2	3
(12) 「カワゲラウオッチング（水生生物調査）」の実施	1	2	3
(13) 「ぎふ食べきり運動」の推進	1	2	3
(14) 「フードドライブ」の推進	1	2	3
(15) 「環境にやさしい買い物（グリーン購入）」の普及	1	2	3
(16) 「岐阜県リサイクル認定製品」の認定	1	2	3
(17) 岐阜県プラスチック・スマート事業所「ぎふプラスマ!」の登録制度	1	2	3
(18) 「岐阜県清掃活動ウェブサイト『クリーンアップぎふ～海まで届け清流!～』」の運営	1	2	3
(19) 「清流ミナモの未来づくり」の推進	1	2	3
(20) 「清流月間」における普及啓発の実施	1	2	3
(21) 「環境教育推進員」の派遣	1	2	3
(22) 「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成	1	2	3
(23) 「ぎふ環境学習ポータルサイト」の運営	1	2	3
(24) 「脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー」の開催	1	2	3

【参考】

- (1) ぎふエコアクション
環境省では国民運動「デコ活」を推進しており、これに岐阜県も賛同しています。特に、脱炭素の推進をより身近な取組みとして感じてもらい、県民の皆さまの積極的な行動を促したいことから、県で独自の呼びかけを行っているものです。
- (2) 脱炭素相談窓口
岐阜県地球温暖化防止活動推進センター内に再生可能エネルギー・省エネルギーに関する相談窓口を設けています。
- (3) 気候変動適応センター
岐阜県と岐阜大学が共同で設置している「気候変動適応センター」が中心となり、気候変動の影響や適応策について、情報収集・分析や共同研究、人材育成等を実施しています。
- (4) G-クレジット制度
県内の適切に管理された森林による二酸化炭素吸収量を県が認証する県独自の森林由来のカーボン・クレジット制度のこと。令和5年11月から運用を開始しています。
- (5) 企業との協働による森林づくり
平成19年7月から、企業、市町村、地域住民等との県との協働による森林づくりに取り組んでいます。
- (6) 岐阜県野生動物管理推進センター
岐阜県と岐阜大学が共同で設置している「岐阜県野生動物管理推進センター」では、野生動物の適切な管理を実施するため、生息状況の調査研究や、シンポジウム・講座の開催などの普及啓発を実施しています。
- (7) ツキノワグマによる被害の防止
ツキノワグマの個体数を維持しつつ、人の生活圏周辺での人身被害等を防止するため、生息状況の調査や出没防止に関する普及啓発、クママップによる情報提供などを実施しています。
- (8) ぎふジビエ
県が独自に策定した「ぎふジビエ衛生ガイドライン」に沿った「岐阜県産」のイノシシ・ニホンジカのお肉のこと。安全・安心なジビエの安定供給を図るため、解体処理施設の整備支援や、フェア開催等による消費拡大とPR活動を実施しています。
- (9) 清流長良川の鮎
平成27年12月に「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されました。これを記念して7月第4日曜日を「GIAHS 鮎の日」として制定し、世界農業遺産の意義の理解と鮎に対する関心を高める取組みを進めています。
- (10) 中部山岳国立公園の魅力増進
中部山岳国立公園の自然観光資源を活かしたエコツーリズムや自然体験プログラムを推進するとともに、映像やSNSを活用した情報発信等によって地域の魅力向上及び誘客促進を図っています。
- (11) 清流調査隊
生活排水による河川水質の汚濁負荷を軽減しようと「清流調査隊」を編成し、地域の皆さんと生活排水対策に取り組んでいます。
- (12) カワゲラウオッチング(水生生物調査)
身近な河川に棲む生物を調べることで、河川の水質を知っていただくとともに、調査の体験を通じて水質の保全及び浄化の重要性を認識していただくことを目的としたものです。
- (13) ぎふ食べきり運動
食品ロスの削減に向け、県民の皆さんの日常生活でも「食べきり」を実践いただくこと目的に、家庭でもできる食べきりレシピの発信や「てまえどり」などの啓発を行っています。
- (14) フードドライブ
家庭から出る未利用食品を集め、食品を必要とする地域の福祉施設などに寄付を行う活動です。
- (15) 環境にやさしい買い物(グリーン購入)
買い物をするときにマイバッグを持参する、環境ラベルのついた商品を購入するなど、環境のことを考え、環境負荷ができるだけ少ないものを優先して購入することです。
- (16) 岐阜県リサイクル認定製品
主として県内で発生する循環資源を使用し、県内で製造されるリサイクル製品を「岐阜県リサイクル認定製品」として認定しています。
- (17) 岐阜県プラスチック・スマート事業所「ぎふプラスマ！」
持続可能な社会・自然環境を構築していくため、使い捨てプラスチック製品使用の合理化や再生可能原料への代替などに取り組む事業所を「岐阜県プラスチック・スマート事業所『ぎふプラスマ！』」として登録しています。
- (18) 岐阜県清掃活動ウェブサイト『クリーンアップぎふ～海まで届け清流！～』
専用のごみ拾いSNSと連動し、企業や団体、県民のみなさんによる自主的な清掃活動の成果を「見える化」とするとともに、散乱ごみの分布調査結果をヒートマップの形で掲載しています。
- (19) 清流ミナモの未来づくり
清流を「守る」、「活かす」、「伝える」という環境保全の取組みを県民、団体、行政等地域社会が一体となって推進するため、これに賛同する清流の保全に資する様々な活動を「清流ミナモの未来づくり」とし、県のウェブサイトやFacebookに掲載し、活動情報を広く発信しています。

(20) 清流月間

「第30回全国豊かな海づくり大会」を契機として高まった県民の皆さんの環境保全意識を継続、発展させていくため、7月を「清流月間」と定め、清流を「守る」、「活かす」、「伝える」ための様々な活動を行っています。

(21) 環境教育推進員

岐阜県内に所在する学校、企業及び団体等へ環境保全にかかる普及や活動を実施している環境の専門家等を環境教育推進員として、依頼に応じて派遣しています。

(22) 清流の国ぎふ環境教育副読本

県内の小学5年生を対象に、環境問題についてわかりやすく記載した「環境教育副読本」を毎年配布し、学校や自宅での副読本の活用を進め、環境配慮行動のできる人づくりの促進を図っています。

(23) ぎふ環境学習ポータルサイト

「脱炭素社会ぎふの実現」という目標に向け、県民の暮らしが環境へやさしいスタイルへと変化するよう、環境を学ぶ場の情報や教材などを「ぎふ環境学習ポータルサイト」で提供しています。

(24) 脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー

小中学生とその保護者の方を対象に、森・里・川・海での自然体験や保全活動を通じて流域のつながりや環境問題について考え、環境にやさしい行動を学ぶ環境学習ツアーです。

問 1 1 県の環境施策に関してご意見・ご要望があれば、ご記入ください。(自由記述)

--

※差し支えなければ、貴団体の活動内容等をお聞きしたい時の連絡先を記載してください。

団体名	
担当者（本件窓口）	
住 所	
連絡先（電話番号）	
メールアドレス	

環境に関する意識調査（企業のみなさまへ）
【ご協力のお願ひ】

日頃から県政の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
岐阜県では、令和3年3月に「岐阜県環境基本計画（第6次）」を策定し、環境の保全及び創出に関する様々な取組みを推進しておりますが、令和8年3月に計画が満了することから、次期計画の策定を検討しております。

つきましては、次期計画の策定に当たり、県内企業のみなさまの環境に対する意識などをお伺いするため、県内に本社を有する企業から200社を選ばせていただき、アンケート調査を行うことといたしました。

この調査票でご回答いただき、記入された内容は、すべて統計的な数値として処理を行い、調査結果としてホームページ等で公表しますが、回答者が特定されたり、回答いただいた内容を本調査以外の目的に使用することは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。なお、ご回答いただいた内容について、確認のためにご連絡させていただくことがありますので、ご承知おきください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年10月
岐阜県

《ご記入にあたってのお願い》

- ・ 封筒のあて名の企業として回答してください。
- ・ 回答は、該当する番号に○を付けてください。なお、「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが（ ）内に具体的な内容を記入してください。

《調査票の返送方法》

- ・ 同封の返信用封筒に入れて、**令和6年 11月 22日（金）**までにご投函ください（切手は不要です）。

《調査結果の公表予定》

- ・ 公表時期は令和7年3月頃を予定しています。
県ホームページに掲載（<http://www.pref.gifu.lg.jp/>）

【問い合わせ先】

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
岐阜県 環境生活部 環境生活政策課 政策企画係
電 話：（県庁代表）058-272-1111（内線2912）
F A X：058-278-2605

環境に関する意識調査票（企業のみなさまへ）

はじめに

調査を統計的に分析するために、貴社についておたずねします。
該当する番号に○を付けてください。

⑤ 貴社の主な業種を教えてください。

1	農業、林業、漁業	2	鉱業、採石業、砂利採取業	3	建設業
4	製造業	5	電気・ガス・水道業	6	情報通信業
7	運輸業	8	卸売業、小売業	9	金融業、保険業
10	不動産業、物品賃貸業	11	学術研究、専門・技術サービス業	12	宿泊業、飲食サービス業
13	生活関連サービス業、娯楽業	14	教育、学習支援業	15	医療、福祉
16	複合サービス業	17	その他（ ）		

（日本標準産業分類の区分でお答えください。）

⑥ 貴社の企業規模（従業員数）を教えてください。

1	100人未満	2	100～299人	3	300～499人
4	500～999人	5	1,000人以上		

⑦ 貴社の本社が所在している地域を教えてください。

1	岐阜地域 （岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
2	西濃地域 （大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
3	中濃地域 （関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）
4	東濃地域 （多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）
5	飛騨地域 （高山市、飛騨市、下呂市、大野郡）

環境に対する関心や行動について伺います

問1 貴社は、県の環境の現状（水、大気、自然などの状況）について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）
（4）、（5）に○をつけた方は、（ ）内の具体的な分野に○をつけてください。

- (1) かなり良好
- (2) 良好
- (3) ふつう
- (4) 悪い

（具体的な分野：水・土壌・大気・生活環境（騒音・悪臭等）・自然・動植物・その他（ ））

- (5) かなり悪い

（具体的な分野：水・土壌・大気・生活環境（騒音・悪臭等）・自然・動植物・その他（ ））

問2 貴社は、県の環境の現状について、5年前と比べてどのようになったと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）
（4）、（5）に○をつけた方は、（ ）内の具体的な分野に○をつけてください。

- (1) かなり良くなった
- (2) 良くなった
- (3) 変わらない
- (4) 悪くなった

（具体的な分野：水・土壌・大気・生活環境（騒音・悪臭等）・自然・動植物・その他（ ））

- (5) かなり悪くなった

（具体的な分野：水・土壌・大気・生活環境（騒音・悪臭等）・自然・動植物・その他（ ））

- (6) わからない

問3 貴社は、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	分野	非常に 関心がある	少しは 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
気候変動	(1) 地球温暖化対策（温室効果ガス削減）	1	2	3	4
	(2) 気候変動への適応（熱中症対策、防災・減災対策）	1	2	3	4
	(3) ZEH※や再生可能エネルギーの導入	1	2	3	4
自然	(4) 希少野生生物の保護	1	2	3	4
	(5) 野生鳥獣の被害防止対策	1	2	3	4
	(6) 外来種の防除対策	1	2	3	4
	(7) 里川や水辺の保全	1	2	3	4
	(8) 里山や森林の保全・整備	1	2	3	4
環境	(9) 水質汚濁対策（河川・地下水）	1	2	3	4
	(10) 地盤沈下・土壌汚染対策	1	2	3	4
	(11) 大気汚染対策	1	2	3	4
	(12) 騒音・振動・悪臭対策	1	2	3	4

廃 棄 物	(13) 廃棄物対策	1	2	3	4
	(14) リサイクル・資源循環・循環経済	1	2	3	4
	(15) 家庭ごみ・食品ロスの削減	1	2	3	4
	(16) 環境教育	1	2	3	4

※ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは

家庭で使用するエネルギーと、太陽光発電などで創るエネルギーをバランスして、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする家のこと。

問4 貴社では、環境保全に対する企業の役割について、どのようにお考えですか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つ）

- (1) 非常に重要である
- (2) 少しは重要である
- (3) あまり重要でない
- (4) まったく重要でない
- (5) わからない
- (6) その他（内容： _____）

問5 貴社では、事業活動においてどのような環境保全の取組みを実施していますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

- (1) ISO14001やエコアクション21などの認証取得
- (2) 環境報告書の作成・公表
- (3) 環境負荷データの公表
- (4) 環境ラベルの採用
- (5) 岐阜県温室効果ガス排出削減計画等の評価制度の活用
- (6) グリーン購入
- (7) グリーン契約（環境配慮契約）
- (8) カーボン・オフセット
- (9) 太陽光発電設備やRE100の導入など、再生可能エネルギーの活用
- (10) 省エネ診断や設備の省エネ化など、省エネルギー化の取組み
- (11) ZEB（ネット・ゼロ・エネルギービル）の実現
- (12) EV・FCV等の導入
- (13) 食品ロス削減
- (14) 3Rやサーキュラーエコノミーの推進
- (15) ワンウェイプラスチックの使用削減
- (16) DXやAIを活用した環境負荷の低減
- (17) ESG（環境・社会・ガバナンス）の取組み
- (18) 環境問題についての社内教育
- (19) 特に取り組んでいない
- (20) その他（内容： _____）

問6 貴社において、環境保全の取組みを実施するうえで抱えている課題はありますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 取組みに対する関心度が低い
- (2) 取組みに必要な資金が不足している
- (3) 取組みに必要な人材が不足している
- (4) 他社との交流や情報交換の機会がない
- (5) 取組みに必要な知識などを習得する機会がない
- (6) 行政との連携が弱い、つながりがない
- (7) 課題はない
- (8) その他(内容: _____)

問7 貴社では、事業活動以外でどのような環境保全の取組みを実施していますか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 事業所敷地内の緑化推進
- (2) クールビズ、ウォームビズの推奨
- (3) ボランティア活動への社員の参加促進
- (4) 環境美化活動
- (5) 森林整備や里地・里山の保全活動
- (6) 外来種の防除や希少動植物の保護活動
- (7) 環境保全活動への資金協力
- (8) 地域住民や学校への環境教育出前講座
- (9) 社会見学の受け入れ
- (10) 地域と連携した環境保全の取組み
- (11) 特に取り組んでいない
- (12) その他(内容: _____)

問8 問5・問7でお伺いした取組みを始めたきっかけは何ですか。次のうち、あてはまるものを3つ以内で選び、番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- (1) 企業の社会的責任として
- (2) 地域や顧客から信頼を得るため
- (3) 社会・地域貢献のため
- (4) 競争上有利になると考えたから
- (5) 取引先に要請されたから
- (6) コスト削減のため
- (7) 環境問題を解決するビジネスをしているから
- (8) 加入している団体の方針だから
- (9) 社員の環境保全に対する意識を高めるため
- (10) 特に取り組んでいない
- (11) その他(内容: _____)

問9 貴社において、環境保全に関する社員への教育をどのように実施していますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(1)、(2)に○をつけた方は、()に内容を記入してください。

- (1) 全社員に対して環境保全に関する教育を年1回以上実施している
(内容:)
- (2) 管理職または環境に関連する部署の社員に対して環境保全に関する教育を実施している
(内容:)
- (3) 特に研修制度は設けていないが省資源やリサイクルについて社員に呼びかけている
- (4) 特に環境保全に関する社員教育は行っていない
- (5) その他 (内容:)

環境に関する情報について伺います

問10 貴社が環境問題を考えたり、環境保全の取組みをするために必要な情報は得られていますか。次のうち、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つ)

(3)、(4)に○をつけた方で、分かる方は、併せて得られていない情報を記入してください。

- (1) 十分に得られている
- (2) だいたい得られている
- (3) あまり得られていない (得られていない情報:)
- (4) まったく得られていない (得られていない情報:)
- (5) 必要な情報はない

問11 問10で(1)～(3)を選んだ方に伺います。貴社が環境問題を考えたり、環境保全の取組みをするために情報を得る主な手段は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- (1) 新聞
- (2) 本・雑誌
- (3) テレビ・ラジオ
- (4) 国や県、市町村の広報紙・チラシ
- (5) 国や県、市町村のSNS (LINE、YouTube、X (旧Twitter) 等)
- (6) 国や県、市町村のホームページ
- (7) 大学や研究所、民間団体などのホームページ
- (8) 関係企業からの情報提供
- (9) 業界団体からの情報提供
- (10) 教育機関 (大学等)・学会からの情報提供
- (11) 地域活動・ボランティア活動を通じて
- (12) イベント・セミナー・講演会
- (13) その他 (内容:)

県が実施する環境施策について伺います

問12 県が現在行っている環境に関する以下の事業（次頁参照）について、貴社はどの程度知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	よく 知っている	少しは 知っている	知らない
(1) 「ぎふエコアクション」の推進	1	2	3
(2) 「脱炭素相談窓口」の設置	1	2	3
(3) 「気候変動適応センター」における共同研究等の実施	1	2	3
(4) G-クレジット制度の運用	1	2	3
(5) 企業との協働による森林づくりの推進	1	2	3
(6) 「岐阜県野生動物管理推進センター」における野生動物の管理	1	2	3
(7) ツキノワグマによる被害の防止	1	2	3
(8) 「ぎふジビエ」の推進	1	2	3
(9) 「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承	1	2	3
(10) 中部山岳国立公園の魅力増進事業	1	2	3
(11) 「清流調査隊」の編成	1	2	3
(12) 「カワゲラウオッチング（水生生物調査）」の実施	1	2	3
(13) 「ぎふ食べきり運動」の推進	1	2	3
(14) 「フードドライブ」の推進	1	2	3
(15) 「環境にやさしい買い物（グリーン購入）」の普及	1	2	3
(16) 「岐阜県リサイクル認定製品」の認定	1	2	3
(17) 岐阜県プラスチック・スマート事業所「ぎふプラスマ!」の登録制度	1	2	3
(18) 「岐阜県清掃活動ウェブサイト『クリーンアップぎふ～海まで届け清流!～』」の運営	1	2	3
(19) 「清流ミナモの未来づくり」の推進	1	2	3
(20) 「清流月間」における普及啓発の実施	1	2	3
(21) 「環境教育推進員」の派遣	1	2	3
(22) 「清流の国ぎふ環境教育副読本」の作成	1	2	3
(23) 「ぎふ環境学習ポータルサイト」の運営	1	2	3
(24) 「脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー」の開催	1	2	3

【参考】

- (1) ぎふエコアクション
環境省では国民運動「デコ活」を推進しており、これに岐阜県も賛同しています。特に、脱炭素の推進をより身近な取り組みとして感じてもらい、県民の皆さまの積極的な行動を促したいことから、県で独自の呼びかけを行っているものです。
- (2) 脱炭素相談窓口
岐阜県地球温暖化防止活動推進センター内に再生可能エネルギー・省エネルギーに関する相談窓口を設けています。
- (3) 気候変動適応センター
岐阜県と岐阜大学が共同で設置している「気候変動適応センター」が中心となり、気候変動の影響や適応策について、情報収集・分析や共同研究、人材育成等を実施しています。
- (4) G-クレジット制度
県内の適切に管理された森林による二酸化炭素吸収量を県が認証する県独自の森林由来のカーボン・クレジット制度のこと。令和5年11月から運用を開始しています。
- (5) 企業との協働による森林づくり
平成19年7月から、企業、市町村、地域住民等との県との協働による森林づくりに取り組んでいます。
- (6) 岐阜県野生動物管理推進センター
岐阜県と岐阜大学が共同で設置している「岐阜県野生動物管理推進センター」では、野生動物の適切な管理を実施するため、生息状況の調査研究や、シンポジウム・講座の開催などの普及啓発を実施しています。
- (7) ツキノワグマによる被害の防止
ツキノワグマの個体数を維持しつつ、人の生活圏周辺での人身被害等を防止するため、生息状況の調査や出没防止に関する普及啓発、クママップによる情報提供などを実施しています。
- (8) ぎふジビエ
県が独自に策定した「ぎふジビエ衛生ガイドライン」に沿った「岐阜県産」のイノシシ・ニホンジカのお肉のこと。安全・安心なジビエの安定供給を図るため、解体処理施設の整備支援や、フェア開催等による消費拡大とPR活動を実施しています。
- (9) 清流長良川の鮎
平成27年12月に「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されました。これを記念して7月第4日曜日を「GIAHS 鮎の日」として制定し、世界農業遺産の意義の理解と鮎に対する関心を高める取り組みを進めています。
- (10) 中部山岳国立公園の魅力増進
中部山岳国立公園の自然観光資源を活かしたエコツーリズムや自然体験プログラムを推進するとともに、映像やSNSを活用した情報発信等によって地域の魅力向上及び誘客促進を図っています。
- (11) 清流調査隊
生活排水による河川水質の汚濁負荷を軽減しようと「清流調査隊」を編成し、地域の皆さんと生活排水対策に取り組んでいます。
- (12) カワゲラウオッチング(水生生物調査)
身近な河川に棲む生物を調べることにより、河川の水質を知っていただくとともに、調査の体験を通じて水質の保全及び浄化の重要性を認識していただくことを目的としたものです。
- (13) ぎふ食べきり運動
食品ロスの削減に向け、県民の皆さんの日常生活でも「食べきり」を実践いただくこと目的に、家庭でもできる食べきりレシピの発信や「てまえどり」などの啓発を行っています。
- (14) フードドライブ
家庭から出る未利用食品を集め、食品を必要とする地域の福祉施設などに寄付を行う活動です。
- (15) 環境にやさしい買い物(グリーン購入)
買い物をするときにマイバッグを持参する、環境ラベルのついた商品を購入するなど、環境のことを考え、環境負荷ができるだけ少ないものを優先して購入することです。
- (16) 岐阜県リサイクル認定製品
主として県内で発生する循環資源を使用し、県内で製造されるリサイクル製品を「岐阜県リサイクル認定製品」として認定しています。
- (17) 岐阜県プラスチック・スマート事業所「ぎふプラスマ！」
持続可能な社会・自然環境を構築していくため、使い捨てプラスチック製品使用の合理化や再生可能原料への代替などに取り組む事業所を「岐阜県プラスチック・スマート事業所『ぎふプラスマ！』」として登録しています。
- (18) 岐阜県清掃活動ウェブサイト『クリーンアップぎふ～海まで届け清流！～』
専用のごみ拾いSNSと連動し、企業や団体、県民のみなさんによる自主的な清掃活動の成果を「見える化」するとともに、散乱ごみの分布調査結果をヒートマップの形で掲載しています。
- (19) 清流ミナモの未来づくり
清流を「守る」、「活かす」、「伝える」という環境保全の取り組みを県民、団体、行政等地域社会が一体となって推進するため、これに賛同する清流の保全に資する様々な活動を「清流ミナモの未来づくり」とし、県のウェブサイトやFacebookに掲載し、活動情報を広く発信しています。

- (20) 清流月間
「第30回全国豊かな海づくり大会」を契機として高まった県民の皆さんの環境保全意識を継続、発展させていくため、7月を「清流月間」と定め、清流を「守る」、「活かす」、「伝える」ための様々な活動を行っています。
- (21) 環境教育推進員
岐阜県内に所在する学校、企業及び団体等へ環境保全にかかる普及や活動を実施している環境の専門家等を環境教育推進員として、依頼に応じて派遣しています。
- (22) 清流の国ぎふ環境教育副読本
県内の小学5年生を対象に、環境問題についてわかりやすく記載した「環境教育副読本」を毎年配布し、学校や自宅での副読本の活用を進め、環境配慮行動のできる人づくりの促進を図っています。
- (23) ぎふ環境学習ポータルサイト
「脱炭素社会ぎふの実現」という目標に向け、県民の暮らしが環境へやさしいスタイルへと変化するように、環境を学ぶ場の情報や教材などを「ぎふ環境学習ポータルサイト」で提供しています。
- (24) 脱炭素社会ぎふを支える人づくりツアー
小中学生とその保護者の方を対象に、森・里・川・海での自然体験や保全活動を通じて流域のつながりや環境問題について考え、環境にやさしい行動を学ぶ環境学習ツアーです。

問 1 3 県の環境施策に関してご意見・ご要望があれば、ご記入ください。(自由記述)

※差し支えなければ、貴社の環境保全の取組み内容等をお聞きしたい時の連絡先を記載してください。

会社名	
担当部署（本件窓口）	
担当者	
住 所	
連絡先（電話番号）	
メールアドレス	